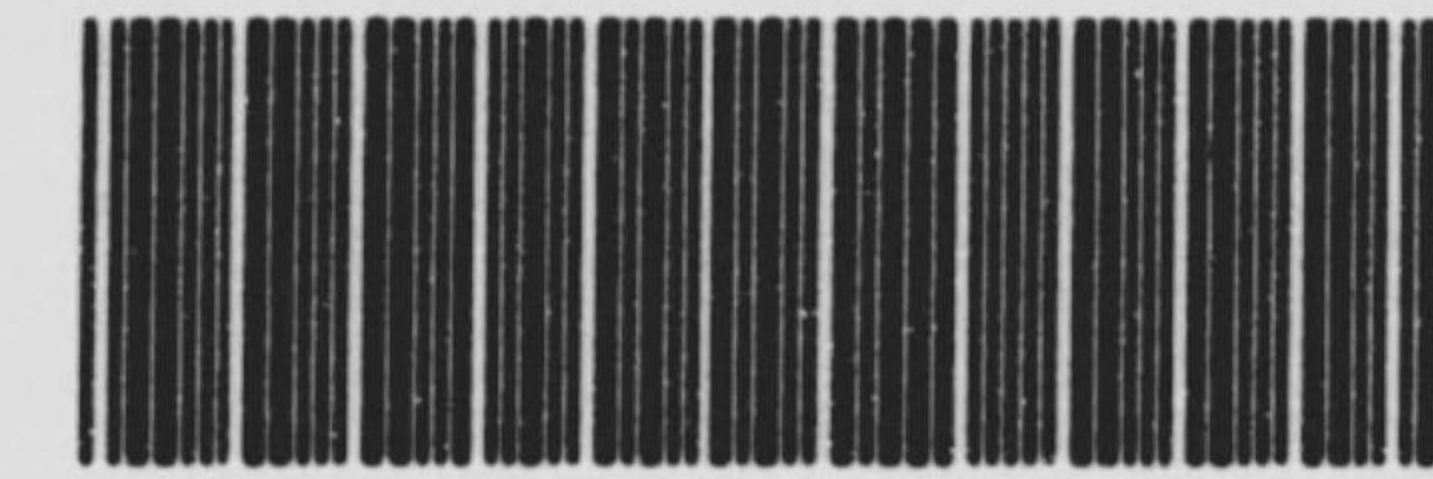


784  
195

×  
複  
写



\* 0024443000 \*

0024443-000

784-195

紀元二千六百年奉祝在外同胞代  
表者會議議事録

拓務省、外務省・編

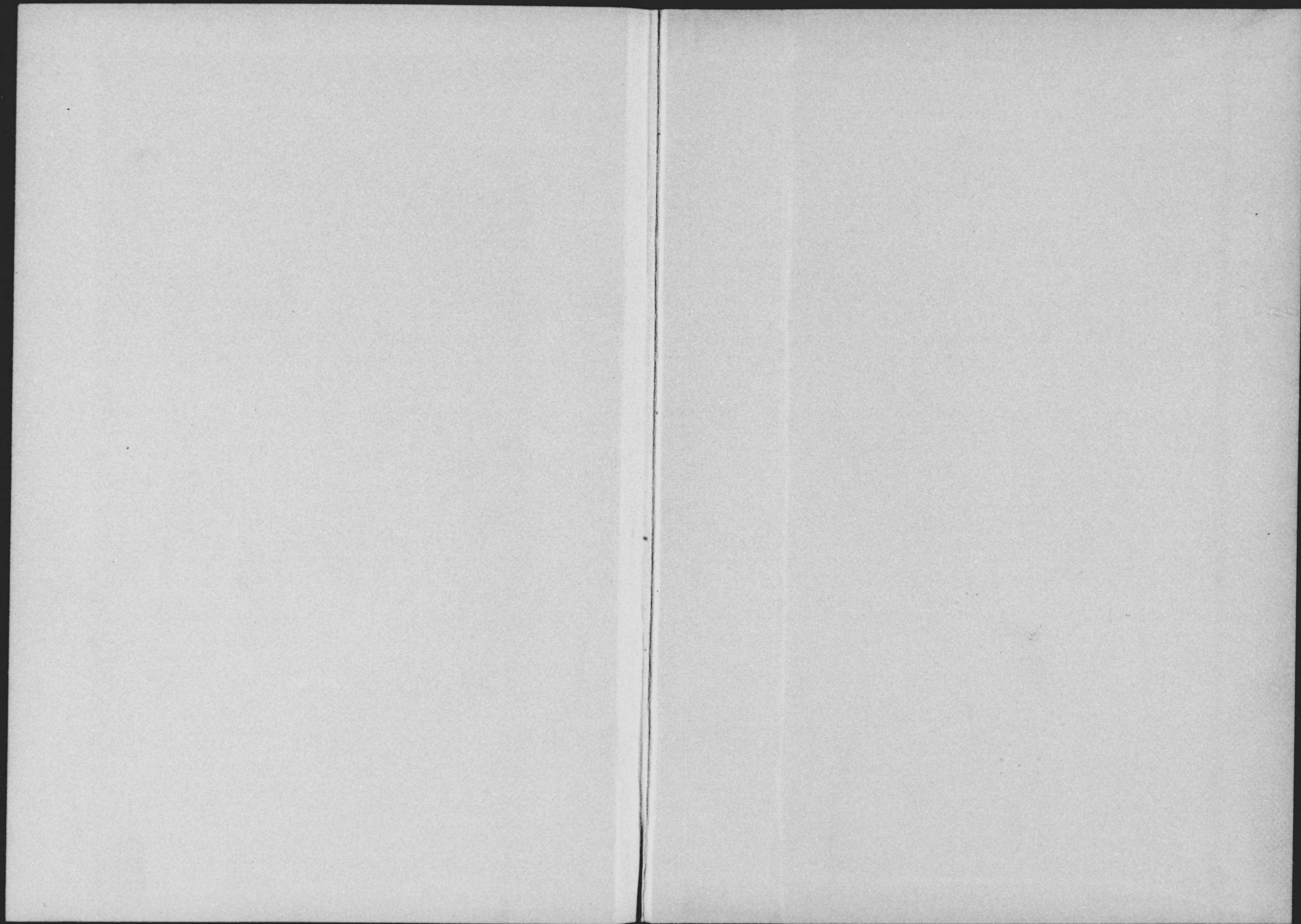
〔拓務省〕

第1回

昭和16

ADE







6



KE 34-29



昭和十五年十一月

奉紀元二千六百年  
祝

第一回在外同胞代表者會議議事錄

外拓

務務

省省



784  
195

### 第一回在外同胞代表者會議

昭和十五年十一月六日開會

○司會者 只今ヨリ第一回在外同胞代表者會議ヲ開會致シマス、最初ニ宮城ヲ遙拜致シマス

一、宮城 遙拜



拓務大臣 秋田 清氏  
光緒二十六年奉祝式典ヲ舉行セラルルニ  
遠ク海外各地 リ參集セラレマシタル多數ノ  
同胞諸君此ノ盛儀ニ參列スルノ光榮ヲ得ラレマシタコト  
ハ廣大無邊ニ至思フ賜テマシテ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘ  
ズ。而シテ茲ニ拓務、外務兩省主催ノ下ニ  
第一回在外同胞代表者會議ヲ開催致シマシテ、相共ニ奉祝  
式典ヲ行ハシ、萬歲ヲ壽ギ奉ルト共ニ、才互ニ懇談、  
和ヲ確保シ、初メテ世界永遠ノ平和ヲ招來セムトスルモノ

マス。我が國近代ノ海外發展ハ明治維新ト共ニ始ツタノデ  
アリマシテ、爾來茲ニ七十有餘年、今ヤ滿洲、支那ハ固ヨ  
リノコト、南洋、南米、北米、其ノ他東西各地域ニ亘ツテ海  
外ニ活躍スル同胞諸君ノ數ハ實ニ二百數十萬ニ達スルノ目  
醒シキ發展ヲ遂ゲ、更ニ著々堅實ナル地步ヲ築ギツ、アル  
ノデアリマス。顧ミマスレバ我が同胞諸君ハ夙ニ遠ク海洋  
ヲ越ヘテ異域ニ雄飛シ、幾多ノ困苦ト戦ヒ、萬難ヲ排シ、  
奮闘躍進、以テ今日ノ盛大ヲ來タサレタノデアリマスガ、  
其ノ間ニ於ケル血ト涙ノ辛酸、努力ニ對シマシテ、  
心ヨリ敬意ヲ表スル次第デアリマス。斯クシテ我が國ニ於  
ケル移植民及拓殖事業ノ礎石ヲ築キ、通商貿易ノ進展ヲ促  
シ、以テ彼我國交ノ親善、經濟ノ提携ニ偉大ニ貢獻ヲ來  
タサレマシタコトハ、畏クモ一萬里ノ波濤ヲ拓開シ國威ヲ  
四方ニ宣布シ、ト仰セラレマシタル 明治大帝ノ大御心ニ  
副ヒ奉ルモノデアリマシテ、又六治ヲ兼セテ以テ都ヲ開ク、  
八紘ヲ以テ宇ト爲スト宣ヒマシタル我が肇國ノ大精神ヲ發  
揚セルモノト言ウベキデアリマス。今次我が國ガ支那大陸  
ニ聖戰ノ歩ヲ進メツ、アリマスノハ、之ニ依ツテ東亞ノ平  
和ヲ確保シ、初メテ世界永遠ノ平和ヲ招來セムトスルモノ



デアリマシテ、道義ヲ四界ニ發揚シ、八紘一字ノ大理想ヲ顯現スル所以ニ外ナラナイノデアリマス。而モ世界ハ必シモ我が眞意ヲ正シク認識セズ、新シキ世界秩序ノ建設ニ對シテ之ヲ妨害セムトスル態度ニ出ルモノガアルノデアリマス。併シナガラ我が國ト致シマシテハ萬難ヲ排シ、斷ジテ之ガ貫達ヲ期サナケレバナラナイノデアリマス。外ニ於キマシテハ獨伊兩國ト提携シ、内ニアリマシテハ新シク體制ヲ整備シ、一億一心、官民打ツテ一丸ト爲リ、大業ヲ實ニ邁進シテ居ル次第デアリマス。世界新秩序ノ導火線トナリマシタ滿洲事變ニ付テハ茲ニ贅言ヲ致シマセヌ。硝煙未ダ納マラザル昭和七年ニ第一回武裝移民ヲ滿洲ニ送りマシテ以來、正ニ八年、開拓民並青少年義勇軍ヲ併セマシテ、開拓平和ノ戰士ハ正ニ九萬ニ達スル次第デアリマスガ、是等平和ノ戰士コソハ我が大陸發展ノ最重要ナル役割ヲ爲スモノデアリマシテ、日滿一體ノ關係ヲ強化シ、滿洲建國ノ理想達成ニ貢獻スル所以デアリマスルガ故ニ、政府ニ於キマシテハ既定計畫タル二十ヶ年百萬戸ノ移住、之ヲ目標ト致シテ、之ヲ不拔ノ國策トシテ著々實行致シテ居ル次第デアリマス。併シナガラ東洋ノ永遠ノ平和確立ハ單ニ日滿一

體化ノ實現ニ依ツテノミ成就スルモノデアリマセヌ。支那ハ固ヨリ泰國、佛印モ、亦蘭印モ東亞ノ諸地域ニ屬スル各民族ガ協心戮力シテ、有無相通ジ、以テ目的ノ達成ニ邁進致スノデナケレバ眞ノ平和ハ確立シ得ナイノデアリマス、茲ニ今次事變ノ意義ガアリ、茲ニ東亞共榮圈確立ノ眞意義ガ存スルノデアリマス。南洋方面ニ關シマシテ、同地方ガ我が國經濟力ノ充實ニ極メテ重要ナル關係ニアルコトハ敢テ多言ヲ要セザル所デアリマス。東亞共榮圈ハ實ニ又我が國ノ生存圈デアリ、而シテ同地方ニ活躍スル邦人並邦人企業ノ漸次進展ノ趨勢ニアリマスコトハ洵ニ欣慶ニ堪ヘマセヌ。東亞ノ指導者タル我が國ガ世界平和ノ建設ニ貢獻スル第一歩トシテ、東亞共榮圈ヲ確立シ、善隣提携、以テ東亞民族ノ東亞ヲ建設スルノガ我が國民ニ課セラレタ重大且崇高ナル責務デアリマシテ、政府ハ日夜之ガ實現ニ努力致シテ居ルモノデアリマス。諸君モ亦此ノ眞意義ヲ十分把握セラレ、之ガ達成ニ渾身ノ御協力ヲ致サレタイノデアリマス。東亞共榮圈内ニ於ケル相互提携ヲ基調トセル經濟發展、特ニ我が不足資源ノ充實、輸出振興等、時局ニ即應スル南方拓殖政策ノ確立ハ實ニ焦眉ノ急ヲ要スルコトデア

リマス。中南米各地ニ在任スル邦人ハ實ニ二十五萬ノ多キニ達シ、農業ハ固ヨリ商工業、其ノ他各部門ニ亘ツテ著々地盤ヲ固メテ居リ、更ニ對手國ノ産業開發ニ寄與スルノミデナク、我が不足資源ノ充足、彼我通商貿易ノ促進、文化ノ提携、向上等ニ寄與スル所、實ニ多大ナルモノガアリマスガ、今後益々共存共榮ノ方策ヲ講ジ經濟的並文化的提携ヲ緊密ナラシメナケレバナリマセヌ。尙遠ク祖國ト隔絶シタル是等地方ニ在ツテ、外國人ノ間ニ伍シ、活動シツ、アル同胞ニ對シ其ノ堅實ナル發達ヲ企圖スル爲ニハ常ニ或程度ノ後援部隊ヲ送出スルト云フコトハ絕對ニ必要デアリマスルノミデナク、是アルガ爲ニ在任同胞ハ安ンジテ異域ニ働クコトヲ得ルノデアリマスルト考ヘマスガ故ニ、此ノ非常ノ際ニ於ケル處置トシテ、緩急宜シキヲ制スベキハ論ナシト致シマシテモ、移民後援部隊送出ノ根本方針ニ至ツテハ今後ト雖モ之ヲ繼續ヲシテ行フ政府ノ方針ニ變リハナイノデアリマス。北米合衆國、「カナダ」、「ハワイ」等ヨリ參列致サレマシタ諸君モ亦政府ノ意ノ在ル所ヲ諒承セラレマシテ、益々奮勵、以テ海外雄飛ノ礎石ヲ遂ゲラレ、世界平和ノ確立ニ貢獻セラレムコトヲ御願ヒ致ス次第デアリマス。

惟フニ今日ノ如キ世界情勢ノ下ニ於キマシテハ海外各地ニ在任セラルル同胞諸君ハ種々ノ點ニ於テ今後一層困苦艱難ニ逢着セラルルコトト察セラレルノデアリマス。併シナガラ先ニモ申述べマシタ通り我が國ノ理想ハ、萬邦ヲシテ各々其ノ所ヲ得セシメ、以テ世界悠久ノ平和ヲ實現スルニアルノデアリマシテ、支那事變ノ遂行、東亞共榮圈ノ確立將又獨伊兩國トノ同盟、總テ此ノ根本精神ニ基クモノデアリマスルガ故ニ、諸君ハ此ノ點ヲ深く銘記セラレマシテ如何ナル困難ニ遭遇スルモ不屈不撓ノ精神ヲ持シ、毅然タル最高ノ態度ヲ示シツ、海外發展ノ大目的達成ニ邁進セラレムコトヲ切望シテ己ミマセヌ。之ガ即チ國是外交ニ協力セラルル所以デアリマス。固ヨリ政府ニ於キマシテハ現下内外ノ情勢ニ照應シテ、益々海外在留邦人ノ地位ヲ向上セシメ、産業的、經濟的發展ヲ促進スベキ方策ニ極力努力致シテ居ルノデアリマスカラ、諸君ノ隔意ナキ御意見ヲモ十分ニ承リ、以テ今後ノ參考ニ資シタイト考ヘル次第デアリマス。何卒此ノ機會ニ於テ忌憚ナキ抱負、意見ヲ開陳シ政府ニ對シマシテ質スベキハ之ヲ質シ、以テ時局ニ對スル深キ認識ヲ把握シ、我が日本ノ擔フベキ崇高ナル責務ヲ理



解シ、以テ皇國臣民トシテノ固キ決意ヲ新ニセラレ、再ビ在留地ニ歸ラレルニ及ビマシテハ此ノ曠古ノ式典ニ參列シテ感銘セラレタル無限ノ感懷ヲ在外同胞ニ分タル、ト共ニ各方面ニ對シ帝國現時ノ真相ヲ誤リナク傳ヘテ戴イテ、以テ今回ノ目的ノ所ヲ十分ニ達成スルニ至ラムコトヲ切望致スノデアリマス。之ヲ以テ私ノ御挨拶ト致シマス。

○外務大臣挨拶

外務大臣 松岡 洋 右氏

紀元二千六百年ノ式典ニ際シ外務、拓務兩省主催ノ下ニ在外同胞代表者會議ヲ開催スルニ當リマシテ、遙々各位ノ御參集ヲ得マシタコトハ本大臣ノ欣快トスル所デアリマス。各位ハ或ハ北米合衆國、「カナダ」、「ハワイ」或ハ中南米及南洋方面ニ於テ永年在住、活動セラレ、各々其ノ在留同胞ノ先達トシテ努力セラレマシタ結果、今日經濟的ニモ、將又社會的ニモ多數在留同胞ノ指導的立場ニ居ラル、方々ト承リ、其ノ御勞苦ニ對シテハ茲ニ深甚ナル敬意ヲ表スル次第デアリマス。最近我が國ハ獨伊トノ間ニ三國同盟ヲ結ビマシタガ、其ノ目的ハ既ニ屢々聲明セラレマシタ如

ク強大ナル三國ノ結合ニ依リマシテ、差當リハ大東亞ニ於ケル共榮圈ヲ作り、進ンデ我が建國ノ理想タル世界ノ各國民、各民族ヲシテ其ノ所ヲ得セシムルコトヲ目的トシ、而モ其ノ目的ヲ達成スル途上ニ於テ世界ノ混亂ガ今日以上擴大スルコトヲ防止スルコトヲ眼目トシテ居ルノデアリマスガ、右目的達成ノ過程ニ於キマシテ變轉極マリナキ國際場裡ノ最前線ニ活動セラルル在外同胞諸君ニ對シマシテハ時ニ本邦内地ニ於ケルヨリモ風當リガ強ク、一層ノ苦心ヲ要スルコト、御察シスルノデアリマスガ、右ニモ拘ラズ、各位ハ管々トシテ我々大和民族海外發展ノ貴重ナル足場ヲ築キ上ゲテ居ラレルノデアリマシテ、我々ノ衷心ヨリ感謝ニ堪ヘナイ所デアリマス。我が國ノ目標ガ大東亞共榮圈ノ確立ニアリト申シマシテモ、是ハ別ニ我が國ガ大東亞ニ盤居セムトスル一種ノ鎖國主義デハアリマセヌ。從ツテ大東亞共榮圈内ニ在住スル同胞ハ勿論ノコト、右以外ノ地域ニ活動スル諸君ニ對シマシテモ、我々ハ夙ニ深イ考慮ト關心ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、同胞諸君ハ世界何レノ地域ニ活動スルヲ問ハズ、何レモ一樣ニ各自ノ努力ガ國家ノ發展ト繁榮ニ寄與スルモノデアルト云フヲ矜持ト自信トヲ有ツテ

各々其ノ生業ニ精勵シテ戴キタイ、又ソレト同時ニ長クモ御詔書ニ御示シノ通り我が海外發展、究局ノ目的ガ八紘一字、即チ世界全人類ガ各々其ノ所ヲ得テ、共存共榮スルニアルト云フ有難キ御精神ヲ體シテ、在住地ニ於ケル大國民トシテノ襟度ヲ持シツ、其ノ地ノ官民トノ協調、和親ニ此ノ上トモ心ヲ致シ、一層ノ御努力、御自重トヲ切望スル次第デアリマス、尙以上ノ趣旨ハ各位ガソレレ、在留地ニ御歸リノ上、廣ク我が同胞諸君ニ御傳達ヲ御願ヒ致シマス。之ヲ以テ私ノ今日ノ御挨拶ニ代ヘマス。

拓務局長 森 部 隆氏

私ハ拓務局長ノ森部デアリマス。極ク簡單ニ拓務省關係ノコトニ付キマシテ御話ヲ申上ゲタイト存ジマス。ドウゾ餘リ固苦シイコトデゴザイマセヌシ、又餘リ長時間ニハ互ラナイト存ジマスガ、最モ御樂ナ姿勢デ、實ハサウ云フ椅子デアリマスカラ、御樂ニト申シテモ無理カモ知レマセヌガ、御樂ナ氣持ト御姿勢デ御聽取リヲ戴ケバ非常ナ仕合ハセト存ジマス。紀元二千六百年ノ式典ニ際シマシテ外務、拓務兩省主催ノ下ニ第一回ノ在外同胞代表者ノ會議ヲ開催

スルコトニ致シマシテ、近クハ滿洲、南洋諸地方ヨリ、遠クハ北米、中南米ノ各地カラ御參集ヲ願ヒマシタ所、文字通り遠路ナルニモ拘ラズ多數各位ノ御參集ヲ得マシタコトハ洵ニ欣快トスル所デゴザイマス。此ノ機會ニ於キマシテ我が國民ノ海外發展ノ狀況、拓務省ノ幹旋申上ゲテ居リマスル概況ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス。唯御斷リ申上ゲマスガ、各地域カラ御出マシニナリマシタ方々ハ、私ノ申上ゲマスヨリモ、モウ其ノ地域ニ付キマシテハ十分御詳シイ譯デ、何レ明日、明後日等ハ其ノ地方ノコトニ付テ寧ロ其ノ御話ヲ承リタイト存ジテ居ルヤウナ次第デゴザイマス。尙先程拓務大臣カラモ御挨拶ノ中ニ相當私ノ述べマスヤウナ部分ガ話サレタヤウナ狀況デアリマスカラ、唯相當離レタ地域相互ニ御居デニナリマス關係上、何カノ御參考ニナレバ、外ノ地域ニ斯ウ云フコトガ行ハレテ居ルト云フコトヲ御聽取リ願フト云フ意味ニ御考ヘ願ヒタイト存ジ上ゲル次第デアリマス。我が國ガ古來生成發展ノ氣ニ滿チマシテ、國民ガ進取ノ氣性ニ富ミ、古イコトヲ申セバ神功皇太后ノ新羅ノ御親征ヲ初メ、豊臣秀吉ノ朝鮮攻略、山田長政ノ南方進出等、色々我が國民ハ昔カラ海外ニ雄飛、飛躍セ



ムト致シタノデアリマスガ、皆様方御承知ノ通り徳川三百年ノ鎖國政策ニ依リマシテ、海外發展ト云フコトガ我が日本ノ政策ノ爲ニ一時停頓致シタヤウナ狀況デ、此ノ點從來外國ガ我が國ニ先ズルコト五十年、百年、百五十年以前ニ海外各地ヲバ侵シタ狀況ヲ見テ、今更齒痒クテ堪マラスヤウナ狀況デアリマス。是モ今カラ申シマスレバ何トモ仕方ノナイヤウナコトニ存ズルノデアリマス。明治時代ニ至リマシテカラハ、先程モ大臣ノ御話ニモアリマシタガ、明治天皇ノ「萬里ノ波濤ヲ拓開シ國威ヲ四方ニ宣布シ、天下ヲ富嶽ノ安キニ置カンコトヲ欲ス」ト、斯ウ宣ハセラレマシタ御言葉ニ從ヒ、皆様方ノ先輩ノ方々ガ、一躍鎖國ノ舊體制カラ蟬脱シテ、或ハ通商ニ、航海ニ、或ハ海外移住ニ其ノ天稟ヲ發揮サレマシテ、世界ニ雄飛セラル、ニ至リマシタ點ハ、途中鎖國政策ナカリセバ、丁度正ニ二千六百年以前ニ於ケル盛國ノ理想、八紘一字ノ顯現ガ現在ニ於テヨリ強ク、廣ク行ハレテ居ツタラウト存ズルノデアリマシテ、之ヲ益々力強ク進メテ參リマスコトハ我が國民ノ古來カラノ不動ノ國是ヲ實現スル譯デアリ、我が國民ニ課セラレタ光榮ナル責任デアルト存ズルノデアリマス。海外發展ト申

トヨリ御列席ノ皆様方ガ能ク御承知ノヤウニ、殆ンド何等施設モ指導モナク、自發的ニ、獨力デ行ハレタヤウナ狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス。拓務省ノ設置セラレマシタノハ昭和四年デ、近々十年來デゴザイマスガ、其ノ設置以前ニ於キマシテモ、或ハ拓殖局時代、或ハ其ノ以前、外務省、内務省ノ一部デ移殖民、其ノ他ノ御世話ヲ申シタコトモアリマスノデゴザイマスガ、役所ガ公ニ世話ヲ申出スト云フコトニナリマス前ニ、明治當初以來ノ最モ先ニ移殖民トシテ御進出ニナリマシタ方々ハ全ク自力デ、援助ナク、指導ナクト申シテモ宜イ位ナ姿ヲ以テ御發展ニナリマシタノデ、此ノ間ノ多クノ御苦心ト云フコトニ對シマシテ、而モソレガ著々發展ノ實ヲ擧ゲテ居リマスコトニ付キマシテ深甚ナル敬意ト謝意トヲ表スル次第デゴザイマス。以上大體總括的ノコトヲ申上ゲマシタガ、モウ少シ細部ニ亙ツテ眺メテ見マスルナラバ、先程申シマシタヤウナ移殖民拓殖事業ノ時代のニ見マス逆ナコトニナリマスガ、距離ニ於テ、又時代ニ於テ近イ方面ノ滿洲開拓方面ノコトカラモウ少シク其ノ内容ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス。御承知ノヤウニ滿洲ハ明治二十七年、八年、明治三十七、八年及滿洲事

シマシテモ、其ノ妻ノ現ハル、所ハ一面通商貿易等ニ依ル場合、又移殖民、拓殖事業ニ依ルコト、マア大キク言ヘバ二ツニ分ケラレルト存ズルノデアリマスガ、此ノ通商貿易方面等ニ關シマシテハ後刻外務省、商工省ノソレレノ關係ノ局長カラ御話ノアリマスコト、存ジマスノデ、拓務省關係ノコトニ付テ極ク簡單ニ一言申上ゲタイト存ジマス。今更私カラ我が國ノ明治時代ノ移殖民沿革史ト云フヤウナコトヲ詳シク申上ゲル必要モナク、既ニ御承知ノコト、存ジマスガ、明治ニ入りマシテ後ノ我が國ノ移民、海外發展ハ先ヅ「ハワイ」方面ニ向ツテ行ハレ、ソレカラ次イデ明治十五年頃カラデゴザイマスガ、北米大陸方面ニ漸次御進出ニナリ、更ニ明治三十七、八年ノ戰役前後カラ所謂南洋方面ニ進出ヲセラレタヤウニ存ジテ居リマス。南米方面ニ付キマシテハ「ブラジル」ヲ主トシ、最モ早カツタノガ「ベルー」方面ト存ジマスガ、南米各地ニ御進出ニナリ、次イデ滿洲事變後、滿洲開拓政策ノ遂行ト云フコトガ我が國民ノ重大ナル責務トナツテ參ツタ次第デゴザイマス。此ノ明治以來ニ於キマシテ「ハワイ」、北米、ソレカラ中南米、或ハ南洋方面、當初ノ間ハ、所謂政府ノ援助、指導ト云フコ

變ノ大キナダケデモ三回、我等ノ先輩ガ、祖先ガ骨キ血ヲ流シタ所デゴザイマス。又將來ノ國際狀勢ヲ考ヘテ見マシテモ、ドウシテモ東亞新秩序建設トカ、東亞共榮圈確立トカ申シマシテモ、アノ地域ハ絶對的ニ確保スル必要ガアル所デアルノデアリマス。是ハ經濟的ニ見マシテモ、亦國防的ニ見マシテモ、日滿不可分一體トナツテ滿洲國ノ健全ナル發達ヲ企圖スル、其ノ事ハ取りモ直サズ日滿支ノ經濟的ニモ、其ノ他ノ點ニ於テモ對敵立場ニ立ツテ見テ行カナケレバナラヌ所ニアルノデアリマス。此ノ意味カラ申シマシテ滿洲開拓政策遂行ト云フコトガ最近ニ於キマシテノ日滿ノ重要國策、滿洲國ト致シマシテハ三大國策ノ一ツニ取上ゲテ、滿洲國ノ發展デアリ、且又ソレガ日滿兩邦ノ爲ニ裨益スルモノデアルト云フ關係カラ此ノ滿洲開拓政策ト云フコトガ遂行セラル、ニ至ツタノデゴザイマス。是ハ昭和七年ニ第一次ノ開拓民ヲ送出致シマシテ、八年、九年、十年、最初四年間位ハ武裝移民ト申シマスカ、試驗移民ト申シマスカ、匪賊ノ居リマス中ニ、匪賊ト戰ヒツ、入ツテ參リマシタヤウナ狀況デアリマス。最初ハ一團宛位入リマシタヤウナモノデ、其ノ後段々擴大致シテ參リマシテ、最近ニ於



キマシテハ、一年ニ數十團、二百戸乃至三百戸モ居リマス  
團ガ百五十一集團、其ノ他ノモウ少シ小規模ナモノヲ混ゼ  
合ハセマスト普通ノ開拓民ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマス  
ガ、普通ノ形ヲ以テ入植シテ居リマス人ガ約五萬ニ垂ント  
スル狀況ニナツテ居リマス。ソレカラ昭和十三年カラ十四、  
十五、今迄三年間デアリマスガ、青少年義勇軍ト云フノヲ  
送出シテ大規模ニ、而モ又國防的ノ意味ヲモ有テマシテ、  
優秀ナル青少年ヲ年々多數送りマシテ、之ガ約四萬、合計  
致シマシテ九萬人バカリヲ送出致シテ居ルヤウナ狀況デゴ  
ザイマス。政府デハ先ニ二十ヶ年間ニ百萬戸移住ト云フコ  
トヲ目標トシテ、官民非常ナル努力ニ依ツテ著々實行シツ  
、アルノデアリマス。勿論本事業ハ日本ト致シマシテ組織  
的ニ大規模ニヤリ始メタ民族移住デゴザイマス。此ノ時局  
下或ハ勞務ガ不足ダ、或ハ資金、資材等不足ダト云フコト  
ガアリマシテモ、中斷スルコトナク實施シテ行キタイト云  
フ積リヲ以テマシテヤツテ居ル譯デゴザイマスガ、實施以  
來幾多ノ困難ガゴザイマス。矢張り何レノ方面デモ政府ノ  
援助、指導ナクシテ行カレタ、先ニ申シマスヤウナ地方ノ  
方々ノ御勞苦ハ是ハ勿論デアリマスガ、滿洲ニ於キマシテ

モ亦異ツタ意味ノ困難ニ遭遇シテ、色々ノ經過ハゴザイマ  
スガ、現在ニ於キマシテハ頗ル順調ナ經過ヲ辿ツテ、良好  
ナル成績ヲ納メテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス。尙近時國  
内ニ於キマス各種産業經濟ノ統制強化ヲ致シマスニ從ツ  
テ、是等ニ從事シテ居リマシタ中小商工業者デ已ムヲ得ズ  
轉業シナケレバナラヌト云フ人ガ相當出テ來ルノデハナイ  
カト存ジマスノデ、是モ其ノ身體、精神、其ノ他滿洲開拓  
ニ適スルト云フヤウナ方ハ、是等ヲ訓練ノ上滿洲方面ニモ  
送出スルト云フコトニ致シタイト思ツテ、關係方面ト銳意  
折衝中デゴザイマス。此ノ事ハ先ニ申シマシタヤウニ滿洲  
開拓ノ遂行ト云フコトハ普通ノ海外發展ト申シテハ語弊ガ  
アリマスガ、其ノ他ノ地域ニ於ケルノト聊カ其ノ國防的見  
地ト申シマスガ、サウ云フ色ガ濃厚ナモノト御考ヘ願ヒマ  
シタナラバ宜カラウカト存ズル次第デアリマス。南洋地方  
ニ於キマシテハ十五、六世紀ノ頃カラ「ヨーロッパ」各國  
ノ勢力東漸致シマシタ結果、其ノ占領トナリ、今日ニ及ン  
デ居リマスコトハ皆様御承知ノ通りデゴザイマス。是等ノ  
地方ハ我が國トハ遠イ、近イト言ヘバ近イ、中南米、北米  
地方ニ比レバ指顧ノ間トモ言ハレマセヌガ、色々交通ガ

頻々ト行ハレ、政治、文化、或ハ經濟方面ニ密接ナ關係ヲ  
有シタ地域デアリマス。從來此ノ方面ニ於キマシテハ「ゴ  
ム」「マニラ」麻、椰子等ノ農林業、鐵、「マンガン」、「ボ  
ーキサイト」ノ鑛業ヲ初メト致シマシテ、林業、水産業等  
各種邦人拓殖事業ノ發展ヲ見マシテ、其ノ投下資本ガ約三  
億ニ達シテ居ル狀況デアリマス。我が國現在ノ經濟力ノ充  
實ヲ期スル上ヨリ見マシテ、其ノ資源ノ供給地、資本ノ投  
下先トシテ、又我が商品ノ市場トシテ極メテ重要ナ地位ヲ  
占メテ來タノデアリマス。今日事變以來ノ情勢ヲ通觀致シ  
テ見マスと、諸種ノ事情カラ見テ我が既得權益ノ危殆ニ瀕  
スルガ如キ例モ少クナカツタノデアリマス。此ノ間ニ處シ  
テ有ラユル苦難ヲ剋服セラレテ、權益擁護ノ爲ニ力ヲ致サ  
レテ居ルコトハ是亦深甚ノ敬意ヲ表スル次第デゴザイマ  
ス。他方東亞ニ於キマシテノ安定勢力タル帝國ノ地位ノ強  
化ニ伴ヒマシテ、日滿支三國ノ紐帶確立ノ上ニ於キマシテ  
南方諸地域ト申シマスレバ佛印、蘭印及其ノ他「フィリッ  
ピン」地方ハ大東亞經濟共榮圈確立ノ上ニ於キマシテ、其  
ノ一環的存在トシテ從來以上一層重視セラレナケレバナラ  
ヌ形勢ニ進ンデ居ルノデゴザイマス。他方「ヨーロッパ」

ニ於キマスル戰亂ノ進展ハ帝國ト其ノ目的ヲ同ジウ致シマ  
ス所ノ獨伊兩國トノ間ニ三國同盟ガ締結セラレマシテ、世  
界新秩序ノ建設ニ向ツテ各々其ノ分擔ノ地域ヲ定ムルニ至  
リマシテ、南方諸地域ニ於テハ我が日本ガ指導的立場ニ立  
ツ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスヤウデ、經濟方面ハ固  
ヨリノコト、政治、文化ノ方面ニ於キマシテモ從來トハ面  
目ヲ一新、躍進シナケレバナラヌコト、存ジマスノデ、政  
府ニ於キマシテハ此ノ新情勢ニ照應致シマシテ、我が南方  
拓殖政策ノ遂行ニ愈々果斷、而モ機宜ノ處置ヲ致シタイト  
思ツテ、準備ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、次ニ中南米方  
面ハ北米ニ次ギマシテ古クカラ邦人ノ移住ヲ見タ地域デゴ  
ザイマスガ、既ニ四十年餘リノ歲月ヲ經過シテ、其ノ在留  
同胞ハ「ブラジル」ノ二十萬以上ヲ初メトシ、「ペルー」ノ  
二萬三千、「アルゼンチン」ノ七千、其ノ他ヲ合シマシテ優  
ニ二十五萬ノ多キヲ數ヘル狀況デアリマス。是等ノ同胞ハ  
多年ノ經驗ニ基キマシテ、棉花、蔬菜、果樹ノ栽培ニ、或  
ハ牧畜等ノ農業ヲ初メトシテ、商工業、或ハ水産業、鑛山  
事業等ノ各部門ニ向ツテ、内地デハ迎モ想像ノ出來ナイ  
程ノ確固タル經濟的基礎ヲ固メテ居リマシテ、單ニ對手國



ノ産業開發ニ寄與シテ居ルバカリデナク、彼我ノ通商貿易ノ方面ニモ目醒シイ活動ヲ爲シテ居ラレル狀況デゴザイマス。特ニ南洋方面ニ活動シテ居ラレマス所ノ邦人ト及ビ邦人ノ拓殖事業、ソレト同ジ意味ニ南米ハ我が國ノ現下必要欠クベカラザル所ノ農産物、或ハ鑛産物等、不足資源ノ供給ニ付テ日夜努力セラレテ居リマス。母國ノ要望ニ應ヘマシテ居リマスコトニ付キマシテハ、母國々民ト致シマシテ洵ニ力強く、感激致シテ居ルモノデゴザイマス。歐洲戰亂ノ勃發ヲ契機トシテ中南米各國ト我が國トノ經濟關係ハ益々好調ヲ辿ツテ、現在ニ於キマシテハ南洋諸地域ト共ニ我が唯一ノ市場タルノ觀ヲ呈スルニ至ツテ居リマスガ、此ノ間ニアリマシテ各位ノ努力ノ輕少ナラザルコトヲ認識シマシテ、益々其ノ活動ニ期待致シテ居ルモノデゴザイマス。特ニ中南米國民各自ノ我が國々民ニ對シマス所ノ感情ハ割合ニ良好デアリマシテ、進ンデ我が國トノ經濟提携ヲ益々緊密ニシヨウト云フ意味デ「ブラジル」「アルゼンチン」「パラガイ」「チリー」「メキシコ」等ノ各國カラ或ハ文化、或ハ經濟使節ノ來訪ガゴザイマシタヤウナコトデアリマシタ、合衆國、北米ガ其ノ資本力ニ委セマシテ汎米主義ヲ翳

シテ、中南米ヲ北米ノ傘下ニ獨占シヨウトスル有ラユル政策ヲ弄シテ居ルカノヤウニ存ジマスケレドモ、北米ト中南米トノ利害ハ一致スル點モアレバ、又然ラザル點モアリ、サウ簡單ニ中南米諸國ガ北米ノ言フガ儘ニナル譯デモナク、寧ロ日本ノ地位、國力、其ノ他ヲ認メ、日本ニ好意ヲ有ツテ居ル所ガ多數アルヤウデゴザイマス。斯ウ云フ情勢デアリマスノデ、益々我が國、中南米諸國トノ間ニハ相互ノ親善、融和ト、經濟ノ提携ニ努ムル必要ガアルコトハ申ス迄モゴザイマセヌ。又先程來申シテ居リマスヤウニ、二十餘萬ノ同胞ガ進出シテ居ラレマス次第デゴザイマスカラ、其ノ後續部隊ヲ如何ナル事情ノ下ニ於キマシテモ相當程度ニ繼續シテ送出スルノ必要ガアルト存ジテ居ルモノデゴザイマス。先程大臣モ此ノ意味ノコトヲ申サレタト思ヒマス。遠キ異域ニ在ラセラレテ、色々ナ事情デ御働キニナツテ居ラレル方ノ精神的ニモ之ガ非常ナ味方トナル譯デハナイカト存ジテ居ル次第デアリマス。ソレカラ北米合衆國「ハワイ」「カナダ」方面ニ對シマシテノ我が邦人ノ發展ハ明治以來六、七十年ノ歲月ヲ經マシテ、邦人ノ近代移民史、移住史デ明治以來ノ最モ古イモノデ、今日デハ他ノ地方ノ

如ク眞ニ自由ノ渡航ガ不可能ナヤウナ狀況ニナツテ居リマスガ、各位トモ或ハ事業ヲオヤリニナルノニ或ハ精神上ニモ色々不利、不満足、不便ノ點モ御有リノコト、存ジマスガ、他方半世紀ニ亘リマシテ御努力ニナリマシタ結果、既ニ他地域ニ見ルコトヲ得ザル所ノ固イ、牢固タル地盤ヲ築イテ、祖國ニ在ル以上ニ祖國ノ爲ニモ御活躍爲サレテ居ルコトニ付キマシテ、是亦非常ナ敬意ト謝意ヲ表スル次第デゴザイマス。殊ニ先程カラ兩大臣カラモ御話ガゴザイマシタガ、國際情勢ノ急變ニ依リマシテ、特ニ北米方面ノ我が國及我が國民ニ對シマス感情ガ兎角昔日ノヤウデナイ、モウ少シザツクバラニ言ヘバ敵意ヲ有ツテ居ルト云フコトニ付キマシテ、此ノ間ニ處シテ御活躍、御奮闘サレマス所ノ皆様方ノ御苦心ハ想像ニ餘ルモノガアルト存ジマス。然ルニ皆様方ニ於キマシテハドコ迄モ其ノ居住國ノ市民トシテ踏止マリ、居住國ノ爲ニ、又祖國ノ爲ニ盡シテ行クト云フコトヲ覺悟シテ御居デニナリマスコトハ、國際情勢ノ急迫ニ際シテ、急遽本國ニ引上ゲヨウトシマス所ノ他國人ニ比較致シマシテ、實ニ涙グマシクモ、亦雄々シク感ゼラレル次第デアリマス。是コソ八紘一字ノ大精神ヲ身ヲ以テ實

現シテ御居デニナル所ト存ズル次第デ、御苦心ヲ察シ、非常ナ謝意ト感謝トヲ申上ゲル次第デゴザイマス。甚ダ簡單デアリマスガ、一渡リ我が國民ノ過去ニ於ケル移民、拓殖事業ノ概要ニ付テ申上ゲタ次第デアリマス。丁度皆様方好イ機會ニ御目ニ掛リマスノデ、一言附言シテ置キタイト存ジマスコトハ、我が國民ガ進取ノ氣性ニ富ミ、海外二十數ヶ國ニ雄飛セラレテ居ツテ、二十數ヶ國カラ其ノ代表ノ方々ガ二千六百年奉祝ノ式典ニ御參列戴キ、斯ノ如ク我が國民ガ海外ニ飛躍發展、進展シテ居ラレマスノニ付キマシテ、ドウモ拓務省ト云フ關係ニ於キマシテモソレニ即應シタ體制ニナツテ居ラヌノデゴザイマス。此ノ意味カラ申シマシテ極ク簡單ニ此ノ拓務省ノ機構ノ丁度極ク最近擴充ノ部分ガアリマスカラ申上ゲタイト存ジマスガ、拓務省ノ關係シテ居リマスコトハ移民海外拓殖事業ノ指導獎勵ト云フコト、外地關係ノ仕事デゴザイマスガ、其ノ外拓務省ノ仕事ニ付キマシハ或ハ朝鮮、臺灣、南洋廳、南洋委任統治領並樺太廳、所謂日本ノ領土、若クハ委任統治領ノ範圍ノ事務ヲ致シテ居リマシテ、先程來海外移民拓殖事業ノ概況ヲ申上ゲマシタヤウナ二十四ヶ國ニ御發展ニナリマス



方面ノコトハ擧ゲテ拓務局一局デ處理シテ居リマシタヤウ  
ナ狀況デ、甚ダ申譯ナク存ジテ居リマシタ譯デアリマス。  
今回拓北局ト拓南局トノ二ツニ分ケマシテ、滿洲、蒙疆カ  
ラ支那、北支、中支、支那ノ部分ハ御承知ノ通りマダ事變  
中デゴザイマスノデ、其ノ他拓殖事業ニ付テハ興亞院ノ關  
係モゴザイマスガ、其ノ方面ニ關シマス移植民ノ仕事ヲ拓  
北局ノ所管トスル、ソレカラ拓南局ノ方ハ南米、外南洋方  
面所謂蘭印、「ポルトガル」領、色々ノ地域、佛印並ニ南  
支那方面ヲ管轄スル、ソレデ從來ノ拓務局ノ仕事ヲ二ツ  
ニ切ツテ分ケテ行ク、斯ウ云フコトノ機構改革、擴充ニナ  
ツテ居リマシタガ、丁度本日午前中樞密院ノ本會議ニ於テ  
決定致シマシテ、官制ガ決定セラレマシタノデ、近ク上奏  
裁可ヲ經マスレバ、マア數日中ト言ヒマスガ、本月中頃迄  
ノ間ニハ從來拓務局ト言ツテ居リマシタノガ拓南局ト拓北  
局、南米、南洋、南支方面ヲ司ル所ト、滿洲、蒙疆方面ヲ  
所管スル局トニ分レルコトニナツテ居リマス。分レルト云  
フノハ、是ダケデモ皆様方ガ海外ニ御活躍ニナツテ居リマ  
スノニ即應スルダケノ體制デハ勿論ナト存ジマスケレド  
モ、幾ラカデモ皆様方ノ海外ニ於ケル御活躍ニ即應シテヤ

所謂肇國以來ノ理想ヲ實現スル意味ニ於キマシテオ互ヒニ  
出來ルダケ奮闘、精進、努力致シテ行キタイト存ジマス。  
皆様方ニ於キマシテモ此ノ上トモソレノ地域、ソレゾ  
レノ職分ニ御活躍アラムコトヲ希望致シマス。又皆様方ノ  
愈々御健勝ヲ祈リマシテ、私ノ甚ダ簡單ナ、要領ヲ得ナイ  
説明デゴザイマスガ、之ヲ以テ終リト致シマス。

(休憩)

通商局長 水野伊太郎氏

私ハ外務省ノ通商局長ノ水野デアリマス。先程ハ拓務省  
ノ拓務局長ノ纏ツタ有益ナ御話ガアリ、アトカラハ貿易局  
ノ第一部長ノ大島君ヨリ色々詳シイ御話ガアルト思ヒマス  
ガ、私ハ實ハ外ニ用ガアリマシテ、纏ツタ準備ヲスル暇ガ  
ナカツタノデ、從ツテ私ハ難談的ニ私ノヤツテ居リマス仕  
事ニ關聯シマシタコトニ付キマシテ申上ゲタイト思ヒマ  
ス。皆様ハ海外デ永ク御働キニナツテ、十數年、或ハ中ニ  
ハ數十年振リデ日本ニ御歸リノ方モアリマシテ、色々ト内  
地ノ事情ヲ親シク目撃セラレテ、色々ノ御感想ガアルト存  
ジマス。其ノ御感想ヲ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、其ノ内

ツテ登リタイト云フ積リデ斯ウ云フ機構ノ擴充ト云フコト  
ニ相成リマシタ次第デゴザイマス。官制ノ公布サレマスノ  
ハ或ハ十日過ぎ、十五日頃ニナルカモ知レマセヌガ、其ノ  
期間ニハ公表セラル、コトニナツテ居リマスカラ、此ノ機  
會ニドウゾ御諒承置キヲ願ヒタイト存ジマス。機構ノ擴充  
ト云フコトハ、ソレ自體ヨリモ、更ニ將來我ガ新進氣鋭ナ  
潑刺タル、其ノ徳性ニ於テ、身體ニ於テ、精神ニ於テ不撓  
不屈ナ多數ノ優秀ナ人々ヲ各地域ニソレノ必要トスル後  
續部隊ヲ御送り致シマスコト、又既ニ各地域ニ御進出ニナ  
リ、御發展ニナツテ居リマス方々ノ産業經濟、所謂拓殖事  
業、更ニ進ンデハ衛生、教育方面、是ハ何モ拓務省バカリ  
ノ所管ト云フ譯デハゴザイマセヌガ、斯ウ云フ方面ノコト  
ニ付キマシテモ外務省、商工省、或ハ陸海軍省ト云フ方面  
ト協力致シマシテ努力致シタイト存ジマス。一國ガ所謂隆  
々トシテ居ルカ、衰運ニ向ツテ居ルカト云フコトハ正ニ其  
ノ國ガ海外ニ如何ニ發展シテ居ルカ否カト云フコトデ現ハ  
シ得ルトモ存ズルコトデアリマス。徳川三百年ノ鎖國政策  
ガ我が國ニ非常ナ一時停滯氣分ヲ與ヘマシタ。海外發展ニ  
支障ヲ來タシタト思ヒマスガ、今後我々ハ我が國ノ發展、

機會ガアレバ何ハシテ戴キタイト思ヒマス。御存知ノ通り  
今日本ニ取りマシテハ非常ニ重大ナ時期デアリマス。内治  
外交上、有史以來ノ重大ナル時期ニ直ニシテ居ル譯デアリ  
マス。是ハアナタ方ガ此處ヘ居ラツシヤツテ物ノ不足ノ問  
題トカ、或ハ中小商工業ノ問題、其他色々ノ問題ヲ親シク  
御考察ノコト、思ヒマス。併シ是ハ日本ガ非常ナル躍進ヲ  
シ、發展ヲセムトスル途上ニ於ケル苦シミデアリマシテ、  
是ハ當然日本國民トシテハ忍バナケレバナラヌノデアリマ  
シテ、「ヨーロッパ」諸國ノ衰亡ノ過程ニ於テ苦シンデ居ル  
ノトハ違フノデアリマス。日本ハ今後大發展ヲ爲シ、東亞

共榮圈ノ指導者トナル爲、是ニ對スル建設ヲ開始シタノデ  
アツテ、サウ云フ大キナ目標ノ爲ニ日本國民ガ學ツテ邁進  
シテ居ル。從ツテ其ノ爲ニ色々ノ國內的ニ困難ナコトガ生  
ジマスコトハ當然ノコトデアリマス。唯我々ハ其ノ目標ノ  
達成、日本民族ガ東亞大共榮圈ノ指導者トシ或ハ世界ノ民  
族ニ對スル覇者トシテ發展スル爲ニ今日苦勞シテ居ルト云  
フコトハ、私一面カラ見レバ今生キテ居ル日本人ハ非常ナ  
光榮ヲ擔ツテ居ル、非常ナル日本歴史ノ上ニ於テ名譽ヲ懷  
イテ居ル、サウ云フ意氣込テ私共當ツテ行クノデナケレバ



ナリマセヌノデ、從ツテ海外ニ居ラレル方々モサウ云フ意味デ日本ノ實情ヲ御覽ニナリマシテ、サウシテ更ニ此ノ上御歸リニナリマシタ上、海外ニ居リマスル同胞諸君ヲ御指導下サレマシテ、我々ノ如キ、祖國ニ殘ツテ働イテ居ルモノニ違クカラ御後援ヲ下サツテ、相呼應シテ日本國ノ發展ヲ圖ルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト存ジマス。大東亞共榮圈ト申シマスノハ是ハ歴史の必然デアリ、又肇國以來ノ理想デアリマシテ、今日此ノ理想實現ヘノ「スタート」ヲ切ツタ譯デアリマス。我々ノ時代ニ此ノ大キナ事業ニ取掛ルト云フコトハ洵ニ我々トシテモ喜ンデ、努力シナケレバナラヌ譯デアリマスガ、併シ先程外務大臣ガ申サレマシタヤウニ、大東亞共榮圈ノ確立ト云フコトハ、此ノ極東ニ躊躇スルト云フコトデナイコトハ勿論デアリマス。之ヲ最小限度ノモノト致シマシテ、今後益々世界ニ發展シ、肇國ノ精神タル八紘一宇ノ精神ヲ以テ世界ニ雄飛スルト云フ譯デアリマスカラ、大東亞共榮圈ガ出來ルカラ、ソレダケデ日本人ガ活動シテ行ケバ、其ノ他ノ土地トハ交渉ガ要ラナクナル、少クモ少クナルト考ヘルコトハ非常ナ間違デアリマス。大東亞共榮圈ガ出來レバ其ノ中デ日本ハ自給自足ガ出

來ル。從ツテ外國トノ貿易モ要ラナクナリ、其ノ地方ニ行ツテ何モ働ク必要ガナイノダト云フヤウニ早吞込ヲスル人ガアルヤウデアリマスガ、是ハ非常ナ間違デアリマシテ、私共ハ大東亞共榮圈ト云フノガ出來テ、ソレガ大キクナルバナル程更ニ大キナ貿易ガ、共榮圈外トノ貿易ガ、大東亞共榮圈ノ擴ガルニ從ツテ海外トノ交渉モ多クナルト云フ風ニ考ヘテ居リマス。一方ニ於テハ大東亞共榮圈ノ確立ニ努力スルト共ニ他方ニ於テハ海外ニ對スル發展ト云フコトヲ一日モ忘レテハナラヌト、斯ウ思ツテ居ル譯デアリマス。物質的ニ申シマスレバ、大東亞共榮圈ガ確立シマスレバ其中デ日本ノ有ラユル物質ガ自給サレルノデ、從ツテ是ダケデ日本ガ行ケルト云フコトニ考ヘラレルガ、併シ日本ノ精神ハ、日本民族ノ精神ト云フノハサウ云フ小サナモノデナイ、世界ニ雄飛シ、世界ノ指導者ト爲ル使命ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、只今ノヤウナ議論ヲサレル方ニハ私ハ何時モ反對ヲシテ居ル譯デアリマス。大東亞共榮圈ト云フモノガドノ位ノモノヲ考ヘテ居ルカト云フコトハ、是ハ其ノ立場々々ニ依ツテ違ヒマス。一番大キナ大東亞共榮圈ト云フノハ印度、濠洲、「ニュージランド」デアリマスガ、一

足飛ビニ其處ヲ考ヘル譯ニ行カナイ、從ツテ第一段トシテハ佛印、蘭印、「泰國」ト云フモノヲ第一段ノ共榮圈トシマスガ、日本ノ國力ガ進ムニ從ツテ大キクナル。斯ウ云フヤウニ考ヘテ行ク、併シ一番小サイ大東亞共榮圈デモナカナカ一朝一夕ニハ出來ナイノデアリマシテ、是ニハ非常ナ努力ト、困難ヲ忍ブ奮闘ガ要ル譯デアリマス。ソレデ只今ノ問題トシマシテハ、サウ云フ大東亞共榮圈ノ理想ニ達スル迄、自分ノ國ガ忍バナケレバナラヌ困難ガ澤山アル、其ノ中デ私ノ不斷仕事ヲシテ居リマス外國貿易ノ關係ニ付テ一言申上ゲタイト思ヒマス。國內ノ事情、其ノ他ニ付テハ後程大島部長ガ御話シニナルコト、思ヒマスカラ、私ハ主トシテ海外トノ交渉ノ問題ヲ申上ゲタイト思ヒマス。外國貿易モ非常ナ破目ニ陥リマシタ。尤モ海外トノ交渉ハ現ニ進行中デアリマシテ、茲ニ一切ヲ詳シク御話シスル自由ハナイノデアリマスガ、差支ナイト思ヒマス範圍ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス。先程モ外務大臣ガ申サレタヤウニ三國同盟ガ出來マシテ、日本ノ外國貿易ノ方針、國策ノ動向ト云フモノハ決定サレタ譯デアリマス。三國同盟ノ出來マス前ハ色々ナ議論モアリ、色々ナ見方モアリマシタガ、今日之

ガ出來タ以上、之ニ對スル優渥ナル詔勅モ出テ居リマス。今日是ノ是非ヲ論ズルコトハ出來ナイ、既ニ國策ハ決定シテ、其ノ方向ニ向ツテ日本ノ國力ヲ發展スルト云フコトシカ外ニ考ヘルコトハナイノデアリマス。此ノ三國條約ト申シマスト、是ハ御存知ノヤウニ、日本ノ趣旨ハ現在ノ世界ノ情勢ヲ是レ以上混亂サセタクナイ、戰禍ヲ是レ以上擴ゲタクナイ、此ノ儘々放ツテ置ケバ世界ハ戰爭ノ爲ニ、現在ノ人類ハ滅亡スルダラウト云フ傾向サヘアルノデアリマス。從ツテサウ云フ傾向ヲ防止シマシテ、一日モ早ク世界ノ平和ヲ確立シ、サウシテ東洋ノ民族ヲシテ其ノ所ヲ得セシメ、日本ハ其ノ本來ノ歴史の使命ヲ遂ゲテ、大東亞共榮圈ノ指導者トシテ東洋民族ヲ指導スルト云フ爲ニ三國同盟ハ作ツタノデアリマス。此ノ點ハ度々外務大臣、或ハ外務省カラ色々ナ形ニ於テ聲明サレテ居ル譯デアリマス。併シナガラ或國カラ見マスト、是ヲサウ云フ風ニ解釋シナイ、要ハ或國ヲ目標ニシテ、斯ウ云フモノヲ作ツタノダ、從ツテ是ニ依ツテ敵對ノ意思ヲ明瞭ニ表明シタモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル國ガアルノデアリマス。殊ニ「アメリカ」トカ「イギリス」ト云フモノガサウ云フヤウニ考ヘ



テ居ル。日本ノ貿易ト云フモノハ從來英米ノ勢力範圍ニ於テ殆ソド行ツテ居リ、最近ノ統計ニ依リマス、英米ノ勢力範圍ト申シマス、英米ノ植民地ヲ含シテ英米ノ權力範圍内デ日本ガ爲サレタ貿易ハ恐ラク四分ノ三位アルノデアリマス。滿支ハ除キマシテ、日本ノ第三國貿易ノ四分ノ三位ハ英米ノ勢力範圍ニ於テ行ツテ居リマス。其ノ英米ニ對シテ採ツタ政策ガ、少クトモ向フカラ見レバ明カニ敵性ヲ發揮シタト云フヤウニ誤解サレテ居ル爲ニ貿易ガ非常ナル影響ヲ受ケ、非常ナル異變ヲ受ケルコトハ已ムヲ得ナイ、從ツテ貿易關係ニ付テハ目下非常ナル苦シイ立場ニアラズデアリマス。是ハドウモ日本ノ大キナ國策カラ見テ、是レ以外ニ方法ガナイト云フコトニ政府ハ決意シ、サウシテ三國同盟ヲ締結シタ以上ハ是ハ覺悟ノ前デアツタノデアリマス。從ツテ日本ノ貿易モ非常ナ異變ヲ受ケテ、或種ノ轉換ヲ受ケナケレバナラス、英米依存ヲ脱却シタ、別ナ土地ニ於ケル、別ナ土地ヲ主トシテ對手ニスル貿易ニ轉換シナケレバナラスト云フコトハ當然考ヘラレルノデアリマス。從ツテ其ノ意味ニ於テ貿易關係業者ハ勿論、私共貿易ノ行政ニ一部ヲ擔當シテ居リマス者ハサウ云フ意味テ斯ノ如キ方

ウニ簡單ニハ行カナイモノデアリマス。サウ急ナ轉換ハ出來ナイ、一言ニシテ言ヘバ早急ニ日米間ノ通商關係ガ斷絶シテシマフト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ。日本ガ「アメリカ」ニ對シテ生糸ヲ賣ツテ居ルノガ弱味デアルトモ言ハレマスガ、見方ニ依レバ生糸ヲ賣ツテ居ルノガ強味デアリマシテ、「アメリカ」トシテモ「アメリカ」ノ婦人ガ全部絹ノ靴下ヲ穿カヌト云フ状態ニナラヌ限り日本ノ生糸ハ必需品デアル。從ツテ絹ヲ賣ツテ居ルコトハ弱味デナイ、強味デアル。日米通商條約ガ日本ダケノ弱味ガアルヤウニ考ヘテ居ル人ガアルガ、私共ハ必シモサウハ考ヘテ居ラナイ、其ノ關係ハ多少困難スルコトハアルカモ知レナイガ、是ハ續ケテ行ケルノデアル。斯ウ考ヘル、「イギリス」ニ對シテモ同様デ、「イギリス」ノ重要物資ニ付キマシテハ相當輸出ノ制限ヲ致シ、或ハ日本ノ輸出品ニ對シテ或種ノ困難ヲ設ケ居ル場合モアルノデアリマスガ、戰爭スレバ別トシテ自然ノ經濟關係ト云フモノハ早急ニビタツト變ルモノデナイ、戰爭ニ至ラナイ限りハ「イギリス」ニ付テモ「アメリカ」ト同ジヤウニ經濟關係ガ全ク斷絶スルト云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ。唯英米トノ貿易ガ困難ニナツテ來ル、段々

向ニ進マナケレバナラヌノデアリマス。方向ハ今言ヒマシタヤウニ貿易ノ轉換デアル。今迄ノヤウナ貿易ノ方法デハイケナイ、換ヘナケレバナラヌ。是モ一朝一夕ニハ出來ナイコトデ、永年ノ自然的情勢ニ依ツテ貿易ト云フモノガアル。ソレヲ政府ノ國策ノ變更ニ依ツテ方法ヲ換ヘルト云フコトハサウ直グニ出來ナイ。併シ是ハ努力シナケレバナラヌ。此ノ儘ニ置イテハ日本ノ國ハ立ツテ行カナイト云フノデヤツテ居ル譯デアリマス。御存知ノヤウニ「アメリカ」ト日本ノ關係ハ、從來貿易關係ハ、日本ノ輸入對手國トシテモ、輸出ノ對手國トシテモ第一番デアツタト思ヒマス。其ノ國デモ、今ノヤウナ政治關係ニナツテ、何か其ノ貿易ガ色々ノ意味ニ於テ阻害サレルト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、御存知ノヤウニ或種ノ重要物資ニ對スル「アメリカ」ハ輸出ヲ禁止シ、又ハ輸出ノ制限ヲシテ居ルノデアリマシテ、ソレハ何處カニサウ云フ輸入物資ノ轉換ヲシナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス。併シ私共ハ「アメリカ」トノ貿易ハ直グ止マツテシマフト云フヤウニハ考ヘテ居ラス。是ハ以前ノ經濟的關係、通商關係ト云フモノハ、ナカ〜「アメリカ」ノ一部ノ強硬論者ガ言ウヤ

障害ガ多クナツテ來ルト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデ、從ツテ英米ニ對スル經濟依存ト云フモノヲ一日モ早ク脱却シ、轉換シナケレバナラヌト云フコトハ尤モデアリマス。是ハ不斷カラサウ云フ要求ガアル、英米ニ日本ノ第三國貿易ガ四分ノ三依存シテ居ツテハ、結局日本ガ如何ナル政策ヲ執ツテモ常ニ日本ハ弱イ位置ニ立ツト云フ點カラ言ヒマシテモ、是ハ如何ナル場合デモ英米依存關係ヲ脱却スルト云フコトハアル譯デアリマスガ、今日ニ於テハ其ノ要求ガ更ニ強イ譯デアリマス。從來其ノ點ニ氣ガ附イテ居ナガラモ餘リ政府、或ハ日本ノ指導者ト云フモノガ無關心デアツタ爲ニ日本ノ經濟ハスツカリ英米ニ依存シテシマツテ、何デモ彼デモ英米ガナケレバ立ツテ行ケヌヤウニ出來テ居ツタノハ非常ナ失政デアツタト思ヒマス。併シ是モ現在ニ於テハ過去ノ政策ヲ答メテモ仕方ガナイ、一日モ早ク日本ガ英米ニ依存シナイデ行ケルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス。其ノ爲ニ色々ナ術策モシ、色々ナ工夫モシテ居ル譯デアリマス。現在サウ云フ目標ヲ以テ英米以外ノ國トノ間ノ通商關係ノ緊密化ト云フコトニ努力シテ居ル譯デアリマス。其ノコトヲ順次少シ宛申上ゲマスガ、第一番ニ東亞共



榮國、是ニ對スル指導的ノ地位ヲ日本ガ得ナケレバナラヌ、從ツテ東亞共榮圈內ニ於ケル貿易ト云フモノハ、先ヅ日本ガ根幹ニナラナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマシテ、從ツテ只今御存知ノヤウニ蘭印、佛印、「泰」、「サウ」云フ國ニ對シテハ、ソレ々ノ通商發展ノ途ヲ講ジテ居ル譯デアリマス。蘭印ニ付キマシテハ御存知ノヤウニ小林商工大臣ガ行カレマシテ、交渉ヲシテ、此ノ方モ順調ニハ行ツテ居リマスガ、併シドウモ相手ガアルコトデスカラ、非常ニ急ニ良クナルト云フヤウニ、何か日本ノ方ニ直グニ有利ナコトニナルト云フコトハ初メカラ考ヘテ居ラナイノデス。然シ世間デハ、何か小林商工大臣ガ行カレ、バ直グニ蘭印ノ經濟狀況ガ有利ニナルヤウニ、非常ニ早クモノヲ考ヘル方モアリマスガ、何分外交交渉ハ相手ガアルコトデ、藉スニ時ヲ以テシナイトイケナイノデ、從ツテマダノ交渉ノ半ニモ行ツテナイ、日本ノ要求ノ三分ノ一モ果タシテ居ラナイメデアリマス。從ツテ今後何等カノ交渉ガ要ルト思ヒマス。併シ大體ニ於テ蘭印ノ當局モ日本ノ實力ヲ認メ、東亞共榮圈ト云フ眞意モ解シテ、少シ宛歩ミ寄ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス。初メハ或一部ノ蘭印ノ官民ノ間ニハ、

永イ目デハ「イギリス」ガ戰爭ニ勝ツノダト云フコトニ確信シテ居リマシテ、サウシテ「イギリス」ノ援助ニ依ツテ「オランダ」ガ回復出來ルノダト云フヤウニ考ヘテ居ル人が多イヤウデアリマス。從ツテモウ少シ辛棒シテ「ヨーロッパ」ノ形勢ガ變換スル迄辛棒シロ、日本ヲ餘リ怒ラセナイ限リデ相當長引カシテ居レバ、「イギリス」ガ有利ニナルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル人モアルヤウデアリマス。併シ先方ニモ相當識者ガアリマシテ、サウデアツテハイカヌ、日本ト提携シナイ限リ蘭印ハ生キテ行ク途ガナイト云フコトヲ考ヘル人モアリマシテ、交渉ハ先ヅ我々ノ希望シテ居ル方向ニハ向ツテ居ルノデス。併シ相當困難ナコトモアラウト思ヒマス。佛印ニ付キマシテモ、目下松宮大使ヲ首班トシテ經濟使節團ガ行カレマシテ、目下佛印ト交渉中デアリマス。「フランス」政府ハ御存知ノヤウニ「ドイツ」ト一應ノ平和ヲ得テ、從ツテ或程度ニ於テ「ドイツ」ノ指導下ニ立ツテ居ル譯デアリマス。從ツテ「オランダ」ヨリハ餘程日本ニ對スル感情ガ違ツテ居ルヤウデス。佛印ノ交渉モ蘭印ノ交渉ト同ジヤウニ相當ノ時間ト努力ガ必要ト思ヒマス。殊ニ或程度ノ原則的ナ妥協ガ出來、細目的ノ

協定ニ入ツテ居リマスガ、是ハ近ク、或ハ蘭印ノ方ヨリ早ク或種ノ協定ニ達シヤシナイカト思ツテ居ル譯デス。尤モ「フランス」ノ方デ、日本ノ東亞共榮圈ニ於ケル指導的地位ハ認メルガ、交渉ハ東京デシタイ、軍隊ノ進駐シテ居ル佛印デヤルコトハ色々不便デアルシ、感情的ニモ面白クナイカラ東京デヤリタイト云フヤウナ希望ガアツテ、是モ一應尤モデ、斯カル威壓ノ下ニ交渉ヲスルコトハ如何ニ「フランス」ガ今日ノ狀態ニアリマシテモ、世界ノ大國トシテアツタコトデ尤モデ、大體「フランス」側ガ希望シテ居ルヤウニ東京デ會商ヲスルコトニ原則的ニ妥協ガ出來テ居リマス。但シ「フランス」ノ本國カラ代表者ガ來ル迄、色々細カイ問題、其ノ他現地ニ於テ細則的ノ問題ハ解決シテ、ソレガ濟ミマシタラ、直グソレト同時ニ「フランス」本國カラ政府代表ガ來タラ交渉ハ東京ニ移スト云フコトニナツテ居リマス。尤モ現地デ解決出來ルモノハ澤山アリマスガサウ云フモノニ付テハ着々ト解決シテ居リ、ソレヲ纏メテ一ツノ條約、或ハ全體ノ貿易ヲドウスルカト云フヤウナ協定ヲ作ルト云フ場合ニハ東京デスルコトニナツテ居リマス。「泰國」デアリマスガ、「泰國」ニ付テハ是ハ色々政治的

ニ最近非常ニ接近シテ參リマシテ、色々ナ交渉ガ行ハレテ居リマスガ、通商ノ方ノ關係モ、實質的ニ兩方ノ經濟關係ヲ特ニ密接ニナラシムルモノヲ作りタイト、目下關係方面ト交渉シテ、近ク谷公使ガ赴任セラレマスノデ、訓令ヲ出シマシテ先方ニ交渉サシタイト思ヒマス。「泰國」ハ御存知ノ通り日本ノ方ガ非常ナ出超デ、「泰國」ハ四、五千萬圓ノモノガ日本カラ入ツテ居リマシテ、ソレニ對シテ先方カラ約千萬圓カ千五百萬圓ガ出超ニナル關係ニナリマスガ、最近デハ殆ンド日本ノ米ノ事情ニ依リマシテ米ヲ買附ケルトカデ、今デハ却テ入超ノヤウニナツテ居リマスガ、先方トシテハ重要物資ノ米ヲ出スコトガ重大問題デアリマシテ、米ヲ日本ガ買フ以上ハ、從來ハ日本ノ方ハ米ヲ買ハナカツタノデ、ドウシテモ其處ニ大キナ制約ヲ受ケテ發展出來ナカツタノデスガ、ソレハ一面カラ考ヘレバ不幸ナコトデスガ、一面カラ考ヘレバ日本ガ米ヲ買ツテヤレルヤウニナツタノデ、「泰國」トノ通商關係ガ非常ニ樂ニナリマシテ、今後通商貿易ノ躍進ト云フコトハ、非常ニ期待出來ルト思ヒマス。此ノ方ハ私ハ非常ニ早ク或種ノ協定、妥協ニ達スルヤウニ考ヘテ居リマス。大東亞共榮圈ト申シマシテモ先程



申シマシタヤウニ色々アリマスガ、大キク考ヘレバ「ビルマ」ノ問題、濠洲、「フイリツピン」ノ問題ガアリマスガ、是ハ何レモ英米ノ勢力圏内デアリマシテ、之ニ對シテ今申シマシタヤウニ三ツノ國ト同ジヤウナ政策ヲトルコトハ目下非常ニ困難デアリマシテ、從ツテ是ハ寧ロ英米トノ關係ガ調整サレタ後デナケレバ此ノ方面ニ對スル日本ノ發展、非常ナル躍進ト云フモノハ出來ナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス。次ニ「ヨーロッパ」ノ貿易ニ付キマシテ、是ハ御存知ノ通り戰爭ニナリマシテカラ「ヨーロッパ」トノ貿易ト云フモノハ段々縮マル一方デアリマシテ、是ハ交通、運輸其ノ他ノ關係デ已ムヲ得ナイコトデアリマス。併シ「ドイツ」トノ間ハ今日モ行ハレテ居リマスシ、是ハ三國條約ノ關係デオ互ヒニ經濟的ニ援助シヨウ、オ互ヒニ經濟的ニ發展シテ行カウト云フ當然ノ了解ガ其處ニアル譯デ、從ツテ今後、此ノ方面ニ對シテハ一定ノ貿易ノ促進ト云フコトハ出來ルヤウニ心得マス。日獨間ニハ既ニ昨年ノ八月頃ニ或種ノ協定ガ出來テ、之ヲ實施スルヤウニナツテ居ツタノデスガ、其處ニ丁度「ヨーロッパ」戰爭ガ勃發シマシテ、其ノ協定ガ流産ノヤウニナツタ譯デ、其ノ儘ニナツテ居リマ

スガ、ソレヲ基礎ニシテ近ク話合ヲシタイト云フヤウニ考ヘテ、目下準備中デアリマス。「ドイツ」側カラ見マシテモ相當日本ノ方ニ欲シイモノガ多イヤウデアリマス。大豆、其ノ他先方カラ見テ日本ニ對シテ欲シイ物資ガアリ、日本カラ申シマシテモ、殊ニ「アメリカ」ノ關係ガ今日ノヤウニナリマス。「ドイツ」ニ期待スル品物ガ殖エテ來ルヤウデアリマス。藥品トカ染料トカ、日本デ出來ナイヤウナモノ、從ツテ或程度有無相通ズル關係デアリマス。而モ良好ナル成績ヲ納メ、友交關係ニアリマスノデ、今後ノ貿易ハ非常ニ促進サルベキモノト思ヒマス。「イタリー」トハ本年佐藤前外相ヲ首班トスル經濟使節團ガ行ツテ、元カラアツタノデスガ、通商條約ヲ更改シテ、其ノ機會ニ相當都合ノ好イ協定ガ出來テ居ルノデアリマス。從ツテ今後ハソレヲヤツテ行クト云フコトニナルト思ヒマス。唯一ツ問題ハ輸送ノ問題デアリマシテ、現在ノ狀態ニ於キマシテハ先ヅ「シベリヤ」鐵道ガ唯一ト言ツテ宜イ位ノ交通路ニナツテ居リマスカラ、此ノ問題ニ依ツテ對獨、對伊ノ貿易ハ非常ナ制約ヲ受ケルノデアリマス。現在ニ於テモ或程度行ハレテ居リマスガ、更ニ之ヲ發展スル爲ニハ日本ト獨伊トノ意思ガ

合致シテ、其ノ間ニ「ソヴイエート」ガ之ニ對シテ或程度ノ友好的ナ處置ヲ執ツテ呉レナケレバ、其ノ點ニ於テ非常ナ制約ヲ受ケルト云フ状態ニアルト思ヒマス。日蘇關係ハ政治關係カラ申シマシテモ非常ナ重大ナコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、通商經濟ノ關係カラ申シマシテモ日蘇關係ハ當然非常ニ重要ニナツテ來ル譯デアリマス。是ニ對シテモ昨年ノ暮頃カラ通商關係ノ交渉ヲ「ソヴイエート」トシテモヤツテ居ツタノデアリマスガ、色々技術的ノ困難ガアリマシテ、本年四月迄ヤリマシタガ、纏ラズニ一時中止ニナツテ居リマシタ。處ガ最近ニ建川大使ガ赴任ニナリマシテ、其ノ親任サレル時、極東情勢ニ關スル非常ナ任務ヲ有ツテ行カレタノデアリマシテ、從ツテ其ノ方ノ關係ガ何ウシマスレバ、日蘇ノ通商關係、經濟關係ノ方面ニ於テモ近接化スルカト云フ爲ニ交渉ヲシタイト云フコトデ、其ノ方モ建川大使ガ行カレテカラ間モナク、サウ云フ機會ヲ狙ヒマシテ、通商關係ノ交渉シタイト云フ譯デアリマシテ、相當見込ガアルコト、私ハ思ツテ居リマス。實ハ此ノ前四ケ月モ交渉シマシタノデ、ドウ云フ點ガ困難デアツタカト云フコトガ相當分ツテ居ルノデアリマス。從ツテソレニ對

スル對策ヲ考ヘマシテ、今度始メレバ割合直グ妥協ニ達シ得ルノデヤナイカト云フヤウニ期待ハシテ居ル譯デアリマス。其ノ他ノ「ヨーロッパ」ノ諸國ニ對シマシテハ、是ハ尤モ秩序ノ關係デ色々ナ制約ヲ受ケテ居リマシテ、今ノ所ツ「ヨーロッパ」ヘ行ク線ガアル譯デアリマス。ソレハ「イラーク」ノ「バスラ」ト云フ所デアリマス。「ペルシヤ」灣ノ「バスラ」カラ「バグダット」ヲ通ツテ、「トルコ」ヲ通ツテ「ヨーロッパ」ニ行クト云フ鐵道ガ最近完成シタノデス。「バスラ」迄ハ日本ノ船ガ行ツテ居リマス。從ツテ鐵道輸送デスガ、或程度「シベリヤ」經由ニ依ラナイデ上陸ガ出來ルト云フ可能性ガアルノデアリマス。現在ニ於テ「トルコ」等デハ多少利用シテ居ルヤウデアリマスガ、是ハマダ開通後間モナイノデ、非常ナ大キナ程度ノ利用ハ出來マセヌガ、目下調査中デアリマシテ、私ハ其ノ「イラーク」ナリ「トルコ」ナリト協定ヲ結び、話合ガ附キマスレバ此ノ方ノ交通路ガ或程度開ケルト思ヒマス。サウスレバ「ヨーロッパ」ニ對シテモ其ノ交通路ニ依ツテ貿易ガ出來ルト考ヘテ居リマス。「アフリカ」ノ方ニ付キマシテハ最近非常ニ



貿易が萎縮シマシタガ是ハ大キナ理由ハ、大體「アフリカ」ト申シマシテモ「イギリス」ノ領地、或ハ自治領デアアルノデスガ、サウ云フ國ニ對シテハ爲替關係ガ非常ニ困難デ、日本ガ輸出シマシテモ先方カラ自由ナ爲替ガ組メナイ、「ブロツク」サレタ「ポンド」シカ貰ヘナイト云フノデ、結局輸出シマシテモ、ソレガ輸入力ニ貢献スルコトガ出来ナイト云フ問題ガアリマシテ、其ノ問題ヲ早ク何トカ解決シナイト無闇ニ輸出出来ナイト云フ状態デ、其ノ方モ對策ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス。最後ニ中南米方面ニ付キマシテ、是ハ御承知ノ通り今ノ所ハ或意味ニ於ケル唯一ノ殘サレタル自由市場デアリマシテ、此ノ方面ニ對スル貿易ノ發展ハ非常ニ日本トシテ期待シナケレバナリマセヌガ、最近ニ中南米方面ガ變ツテ盛リマシテ、矢張り色々ナ實際上ノ困難ガアツテ、向フノ政府ノ方ニ相當ノ力ヲ入レナイ限り我々が考ヘテ居ツタ程容易デナイト云フヤウニ考ヘラレマス。最近、中南米ト云フモノハ大體「ヨーロッパ」カラ物資ヲ入レテ居ルガ、「ヨーロッパ」カラ來ナクナツタノダカラ幾ラデモ日本カラ行ケル譯デナイカ、ドウシテ發展シナイカ不思議ダト云フ話ヲ伺ツタノデスガ、成程大難把ニ考ヘル

アルヤウニ思ヒマス。モウ一ツハ矢張り向フノ物ヲ買ツテヤラナケレバイケナイ、少シ此方デ物ヲ買ツテヤラナケレバ、向フノ輸入力ガ出ナイ、思切ツテ向フノ物ヲ買ツテヤラナケレバナラヌト云フノデ、斯フ云フ意味デ、色々此方ノ供給力ヲ増ス點ニ付キマシテ、向フノ物ヲ買ツテヤル、ソレニ付キマシテモ事變下ノ今日ニ於テハ相當程度ノ限度ガアルノデスカラ、其ノ限度ヲ考ヘテ、少シデモ努力シテ兩方ノ賣ル品物ヲ研究シテ、向フノ物ヲ買ツテヤル。斯ウ云フ方面ヲ有ラユル困難ヲ忍ンデモ少シ宛殖ヤサナケレバナラヌ、其處ガ中南米貿易ニ對スル發展ノ根本デアルト考ヘテ、微力デアリマスガ、努力シテ居ル譯デアリマス。大體私共ノ接シテ居リマス仕事ノ概要ヲ大難把ニ申上ゲマスト、現在、是ハアナタ方ガモウ既ニ澤山御耳ニ入ツテ居ルト思ヒマスガ、日本ノ貿易業者ト云フモノハ非常ニ困ツテ居ラレル、ソレハ日本ノ貿易ト云フモノハ段々形ガ變ツテ來ル爲ニ、從來ノ關係ガ段々役ニ立タナクナツテ來ルト云フ關係デ、非常ニ困難ノ地位ニアルヤウニ思ヒマス。ソレニ對シテモ商工省ノ方デ色々對策ヲ考ヘテ居ラレマスガ、貿易ト云フモノハ、平和ノ時代ニ於キマシテモ、貿易政策

ト不思議ナ位ニ貿易ガ發展シナイ、幾ラデモ發展スル筈デアアルニ拘ラズ發展シナイト云フノハ色々ナ理由ガアリマス。其ノ理由等ハ此處ニ居ラツシヤル方ハ御存知デセウカラ申上ゲマセヌガ、唯私ノ結論トシマシテハ、矢張り輸入、輸出物資ノ轉換ト申シマスカ、輸出物資ヲモウ少シ日本ガ擴ゲナイトイケナイ。從來ノ貿易デハイケナイ、日本ノ輸出力ト云フモノガ其處ニ伴ハナケレバイケナイ。中南米ニ對スル貿易ノ發展ノ遅イノハ、矢張り日本ノ方ニ原因ガアルノデ、中南米ノ方ニ原因ガナイ、斯ウ云フヤウニ感ジマシテ、サウ云フ意味デ關係方面ト話ヲシマシテ、成ベク中南米ニ對スル物資ノ原料品ノ配給ヲ受ケ、日本ノ供給力ヲ殖ヤシテ欲シイト云フコトヲ御話シテ居ル譯デアリマス。「ドイツ」ナリ「イギリス」ナリガ從來輸出シテ居ツタヤウナモノニ代ルニハ、サウ云フ國ガ從來輸出シテ居ツタヤウナモノト違ツタ種類ノモノデハイケナイカラ、サウ云フモノヲ研究シテ、サウ云フモノニ對スル供給力ヲ殖ヤスコトガ一番大切ダ。ソレガ一番根本デ、ソレガ解決シナイト色々ナ貿易ノ發展ニ幾ラ努力シテモナカク、甘ク行カヌデハナイカ、斯ウ云フ考デ、其處ニ私ハ一番ノ大キナ原因ガ

ノ根本ト云フモノハ輸出促進デアツテ、輸出ラズレバソレデ日本ノ輸出産業ガ發達スル、ソレニ依ツテ人口ガ養ヘルソウシテ其ノ輸出シタ金ニ依ツテ色々ナ物ヲ買ツテ、サウシテ日本人ノ生活ヲ向上スルト云フコトデ、輸出振興ト云フコトガ根本デ、是ハ何時ノ時代デモサウデアリマス。併シ現在日本ニ取ツテハ其ノ状態ガイカヌデハナイカ、日本ガ大東亞共榮圈ヲ作ル爲ニ、先ヅ日本ノ國家ヲ國防ノ完備シタ、國防的ノ國家ヲ作ラナケレバナラヌ、高度國防國家ト云フ大キナ目的ガアル、其ノ目的ヲ達スル爲ニ何ガ日本ニ必要カ、ドウ云フ物資ガ日本ニ必要カト云フコトカラ割出シテ、サウ云フモノヲ輸入スル、國內ニ於テハ之ヲ生産シ、増産スルノハ勿論デスガ、ドウシテモ日本ニ出來ナイモノハ外國カラ買ツテ來ナケレバナラヌ、何ガ必要カト云フコトヲ考ヘテ、サウ云フモノヲドウシテ取ルカト云フコトガ貿易ノ根本ニナツテ來ル譯デアリマス。從ツテ單ニ輸出サヘスレバ宜イト云フ譯デナイ、サウ云フモノヲ買ツテ來ル爲ニ必要ナ資金ヲ得ル、其ノ代リニナルモノヲ出スト云フコトガ必要ニナツテ來ルト思ヒマス。從ツテ貿易ヲ矢張り日本ノ國防國家ヲ建設スル爲ニドウ云フモノガ日本ニ



必要カ、ソレヲ得ル爲ニハドウシタラ宜イカ、是ニ對スルヤウニスルニハ日本ノ輸入力ヲ殖ヤス爲ニ何ウ云フ輸出ヲシナケレバナラヌカ、輸入ノ方ヲ先ヅ考ヘテ貿易ト云フモノガ行ハレナケレバナラヌノヂヤナイカト思フノデアリマス。是ハ必シモ貿易ノ觀念ニ付キマシテハ理想的ノモノデナイカモ知レマセヌガ、現在日本トシテハサウ云フヤウニ考ヘナケレバナラヌ、從ツテ輸入第一主義ト云フコトが現在ノ日本ノ貿易ノ根本ニナルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス。ソコデソレニ付キマシテハ、尤モ日本ニ非常ニ澤山ナ金ガアツテ、金ヲ賣レバ何デモ買ヘルカト言ヘバ、現在ハ金ガサウナイ、金ヲ賣ツテモ買ヘヌト云フ場合ガアリマスカラ、其處ニ色々困難ガアル。日本ノ物ヲ持ツテ行ツテ、其ノ物ノ代リニ欲シイ物ヲ持ツテ來ル、サウ云フ爲ニ輸出振興ヲ致シタイ、斯フ云フヤウニ考ヘテ居リマス。此ノ點ハ私ノ誤リカモ知レマセヌガ、私ハドウモサウ云フヤウニ考ヘテ居リマス。從ツテアナタ方ノソレレノ御國ニ御歸リニナリマシテ、先ヅ日本ニドウ云フモノヲ輸出シタラヨイカ、日本ハ斯ウ云フモノヲ欲シイノダト云フヤウナモノヲ御探シニナツテ、ソレヲ日本

ニ送ル爲ニハ又日本カラ何ヲ取ツタラ宜イカ、ドウ云フ方法デ日本ノ物資ヲ送ツテヤラウカト云フコトヲ御考ヘニナルト、非常ニ日本トシテハ助カル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。サウ云フ點ニ付テハ商工省ガ専門デアリマシテ、商工省ノ大島サンカラモ色々御話ガアルト思ヒマス。大體私ノ話ハ非常ニ纏ラナイ話デ、難駁ナ話デアリマスガ、私ガヤツテ居リマス仕事ヲ思ヒ附ク儘ニ申上ゲマシテ、何かアトデ時間ガアリマシタラ御意見ヲ伺ヒマシテ一ツ御答ヘ致シタイト存ジマス。

商工省貿易局第一部長 大島 永明氏

只今御紹介戴キマシタ商工省ノ大島デゴザイマス。日頃貿易關係ノ仕事ヲ致シテ居リマス關係上、皆様が現地デ色々貿易其ノ他國家ノ爲ニ御活躍ノコトニ付キマシテハ間接ニ蔭ナガラ承ツテ居ツタノデアリマスガ、本日親シク皆様ニ御目ニ掛ルコトヲ得マシタコトヲ洵ニ嬉シク存ジマス。又只今ハ水野通商局長ヨリ對外的ノ通商事情ニ付キマシテ非常ニ詳細ニ、又御懇切ナ御話ガアリマシタノデ、私ハ成ベクソレノ重複ヲ避ケマシテ、主トシテ國內的ノ立場ヨリ

最近色々貿易ニ付キマシテ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲタイト存ズルノデアリマス。先ヅ最初ニ、是ハ只今ノ水野局長ノ御話ニモアツタノデアリマスガ、皆様日本ニ御歸リニナリマシテ御感ジニナリマシタ一ツハ、ドウモ近頃貿易業者、殊ニ輸出關係ノ業者ニ於キマシテ何トナク氣分ガ沈滞シ、萎縮シテ居ルト云フコトヲ多分御感ジニナツタデアラウト思フノデアリマス。此ノコトハ時々新聞ニモ現ハレテ居リマスガ、成程先刻モ通商局長ノ御話ニモゴザイマシタヤウニ各種ノ貿易事情ガ色々變リマシテ、貿易ノ障害ガ多クナリマスノデ、貿易御關係者カラ申シマス、從前ノヤウニ意ノ如ク貿易ガ出來ナイト云フ立場ハ洵ニ御察シ致スノデアリマスガ、併シ若シ現在ノヤウナ沈滞セラレタ御氣分ガ、現在ノ日本ノ最近ノ事情ニ於テハ貿易ハサウ重要デハナイノデハナイカト云フヤウナ誤解ニ基イテ居リマスナラバ是ハ非常ニ遺憾ナコトデゴザイマス。此ノ點ニ付キマシテハ只今モ水野サンカラ縷々御話ガアツタト思フノデアリマスガ、中央ニ於キマシテモ此ノ點ヲ非常ニ憂ヘテ居リマシテ、是モ新聞其ノ他デ御覽デアラウト思ヒマスガ、現在經濟閣僚會議ガ行ハレテ居リマスガ、其ノ豫定ノ項目ノ

中ニモ貿易振興ト云フコトニ付テ相當立入ツテ色々ノ問題ガ論議サレルト云フコトモ皆様御存知ノ通りデアリマシテ現在ノ日本ノ立場カラ申シマス、矢張り依然トシテ貿易ハ重要デアリ、一段ト御關係者ノ御奮勵ヲ願ハナケレバナラヌ事情デアルノデアリマス。勿論各種ノ對外事情モ色々變化ヲシテ居リマスノデ、必シモ從前ノヤウナ貿易ノヤリ方、或ハ對手國、或ハ取扱ノ品物ト云フモノガ其ノ儘デ宜シイカドウカト云フ點ニ付キマシテハ一段ノ御研究ヲ必要トスルカト思フノデアリマスガ、ドウシテモ現代ノ事情カラ申シマス、各種ノ支障ヲ剋服シテ戴キマシテ、勇躍貿易ヲ御續ケ願ハナケレバナラヌコトニナツテ居リマスカラ、特ニ冒頭ニ申上ゲ、御願ヒヲ致ス譯デアリマス。我が國ノ貿易ノ事情ガ大キナ轉換ヲ致シマシタノハ、近年デハ日支事變ノ勃發デアツタノデアリマス。日支事變ノ勃發ニ伴ヒマシテ、我が國ハ支那事變ノ遂行ノ爲ニモ、或ハ又新東亞ノ建設ノ爲ニモ、生産力擴充カラ申シマシテモ、ドウシテモ多額ノ資材ヲ輸入セネバナラヌ、從ヒマシテ此ノ輸入力ヲ確保スル爲ニ國內ニ於テハ産金ノ増産、對外的ニハ輸出ノ振興ニ依リマシテ出來ルダケ輸入力ヲ獲得スルト云



フコトニ依リマシテ、我が國ノ貿易ノ性格ハ先ヅ大キナ變化ヲ見タ譯デアリマス。當時日本ノ貿易ハ昭和十二年ヲ境ト致シマシテ漸次頹勢ニ傾イテ居リマシタノデ、官民非常ナ努力ヲ拂ヒマシテ、或ハ綿業、其ノ他ニ於キマスル「リソク」制デアリマス。更ニ又輸出品ニ仕向ケマス物資資材ガ非常ナ窮屈ニナツテ居リマシタノデ、此ノ方面ノ圓滑ヲ圖ル爲ニ色々ノ施設モ致シマシタ。又爲替ノ方面ニ於キマシテモ、或ハ金融ノ方面ニ於キマシテモ、更ニ又海外ニ於キマスル各種ノ施設ノ整理、擴充等ノ方法モ講ジマシテ、漸次貿易ノ改善ノアトヲ見テ參ツタノデアリマスガ、現ニ昭和十四年、昨年末ニ於キマシテハ貿易尻モ入超ガ大分減ツテ參ツタノデアリマス。併シナガラ此ノ入超ノ減ツタト云フ數字ダケニ樂觀出來マセヌノデ、具ニ其ノ内容ヲ檢討シテ見マスレバ、輸出ニ於キマシテハ外貨獲得ニナリマスル第三國關係ノ輸出ハ餘リ増加致シマセヌシ、他方支那、其ノ他圓「ブロック」ニ對スル輸出ガ非常ニ殖エテ參ツテ居ルノデアリマス。他方輸入ニ於キマシテハ是亦圓「ブロック」ヨリノ輸入ハ思ヒノ外増加致シマセヌデ、反對ニ第三國ヨリ參リマスル輸入ガ非常ニ殖エテ參ツタノデアリ

ノガ漸次確立セラレ、從ヒマシテ世界的ニ數個ノ共榮圈ガ確立セラレルト云フ情勢ニナリツ、アルノデアリマスガ、此ノ三國條約ノ締結ニ依リマシテ一層其ノ方向ガハツキリ致シマシテ、我が國ト致シマシテハ日滿支ヲ中核ト致シマシテ、大東亞ノ共榮圈ノ確立ノ下ニ自給自足ノ經濟ヲ確立スル、而シテ他方獨伊ト提携シ、更ニ又必要ノ他ノ共榮圈ト聯絡ヲ取りマシテ、日本ノ經濟關係ヲ對處セネバナラヌト云フヤウナ情勢ニ立至ツタノデアリマス。此ノ間ノ我が國ノ經濟ノ考ヘ方ニ付キマシテハ、丁度一昨日日滿支經濟建設十年計畫ト云フモノガ發表ニナリマシテ、ソノ内ニ此ノ貿易經濟ノ行クベキ方向モハツキリ示サレテアリマス。コトハ十分皆御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス。對外的ノ經濟事情ハ只今申上ゲマシタヤウニ、外交ノ轉換ニ依リマシテ、判然新シイ方向ニ立向ヒマシタ關係上是ニ處シマスル貿易政策ハ自ら大キナ變化ヲ來タサザルヲ得ヌ譯デアリマス。從來ノヤウナ所謂自由通商的ノヤウナ貿易ハ今後ハ續ケテ參ルコトガ相當困難デハナイカト思フノデアリマス。從ヒマシテ物品ニ付キマシテモ、或ハ販路ニ付キマシテモ、亦貿易ノヤリ方ニ於キマシテモ餘程新シ

マス。從ツテ外貨獲得ノ見地カラ申シマスルト、矢張り非常ナ入超デアツタノデアリマス。其ノ後本年ノ上半期ノ貿易ノ事情ヲ見マス。ト云フト、輸出ニ付キマシテモ、第三國ニ對シマシテハ昨年ヨリモ多少ノ増加ヲ致シテ居リマス。コトハ洵ニ御同慶ニ堪ヘヌ次第デアリマスガ、他方圓「ブロック」向ケノ輸出ハ更ニ是ヨリモ増加ノ率ガ多イト云フコトニナツテ居リマシテ、輸出ノ方面ニ於キマシテモ矢張り外貨獲得ハ十分デナイノデアリマス。反對ニ輸入方面ニ於キマシテハ昨年末ヨリモ一層第三國ヨリ輸入スルモノガ増加致シテ參ツテ居リマスノデ、本年上半期ニ於キマスル第三國關係ノ入超ハ昨年以上ニナツテ居リマス。他方歐洲戰爭ノ進展ニ伴ヒマシテ、或ハ「ポンド・ブロック」ノ爲替ガ全面的ニ管理セラレル、其ノ他政治的ノ各種ノ事情ニ依ツテ日本ニ對スル貿易ノ壓迫ト云フモノガ加ハツテ參ツテ居リマスノデ是等ノ事情ヲ綜合致シマス。ト、本年度ノ下半期ノ貿易ハ決シテ樂觀ガ出來ナイト云フ情勢デアアルノデアリマス。丁度此ノ機會ニ於キマシテ日獨伊三國條約ノ締結ヲ見タノデアリマスガ、ソレ以前、獨伊ノ歐洲制覇ニ依リマシテ歐洲ノ方面ニ於キマシテハ所謂歐洲共榮圈ト云フモ

イ貿易政策ノ確立ヲ必要トスルト思フノデアリマス。殊ニ從來ノ日本ノ貿易ハ輸出モ輸入モ所謂英米ニ依存スルコトガ非常ニ大キカツタ爲ニ各種ノ政治的ノ困難ヲ來シマシタコトニ鑑ミマシテ、今後ニ於キマシテハ是等ニ對シテ一層ノ再検討ヲ加ヘテ、新シイ、又安定シタ日本ノ經濟政策ト云フモノヲ考ヘ直サナケレバナラヌヤウニナツタノデアリマス。從ヒマシテ我が國ノ貿易政策ハ從來ノヤウナ自由主義的ノ立場カラ、所謂計畫經濟的ノ貿易ニ變ラネバナラヌト云フコトハドナタガ御考ヘニナリマシテモ當然デアラウト思フノデアリマス。從ヒマシテ是等ノ貿易政策ノ根幹ヲ成シマスルモノハ、對手ノ事情ニ依リマシテ、或ハ國毎ニ依リマシテ、ソレ々々日本ノ立テル貿易政策ト云フモノガ定マラネバナラヌト思フノデアリマス。是ニ付キマシテハ先程御話モゴザイマシタヤウニ現在ノ日本ノ國情カラ申シマス。ト、資源ヲ相當外國カラ齎ラサナケレバナリマセヌ關係上、如何ナルモノヲ如何ナル所カラ輸入スルカ、而シテソレノ決済ニ日本ノ物ヲ持ツテ行クト云フコトニナラウト思ヒマスルノデ、從ヒマシテ貿易ノ形カラ申シマス。ト、所謂償債主義、バーター主義ノ貿易ニナルト思ヒマス。更ニ



又貿易致シマシタ決算ノ問題カラ申シマス、成ベク金ヲ使ハナイ、所謂支拂協定、或ハ生産協定ノヤウナ形ヲ以テマシテ決済ヲシテ行クト云フノガ新シイ貿易ノヤリ方デハナイカト思フノデアリマス。既ニ我が國ニ於キマシテハ斯ウ云フヤウナ「ライン」ニ依リマシテ各種ノ貿易政策ヲ立テ、參ツタノデアリマスガ、先刻モ水野サンカラ御話ガゴザイマシタヤウニ、大東亞共榮圈ノ中ニアリマス蘭印、佛印、「泰」ト云フモノニ付キマシテハ其ノ「ライン」ニ於キマシテ各種ノ對策ガ行ハレテ居リマスシ、更ニ又中南米ニ致シマシテモ、又其ノ他ノ地方ニ於キマシテモ既ニ其ノ「ライン」ニ依リマシテ日本ノ貿易對策ガ立テラレ、着々實行ニ移サレツ、アルノデアリマス。從ヒマシテ今後ハ我が國ノ貿易ノヤリ方ト云フモノハ非常ニ變ツテ參ルト思フノデアリマス。現ニ其ノ最モ變リ方ノ著シイ例ハ、所謂圓「ブロツク」ノ貿易デアアルノデアリマス。圓「ブロツク」ノ貿易ハ現在ニ於キマシテハ日本ノ輸出カラ申シマス、日本ノ輸出ノ大半ヲ圓「ブロツク」、滿洲、關東州、支那、是等ノ圓「ブロツク」ニ輸出ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ三者間ノ物資ノ交流ガ圓滑ニ行ハレマスコトガ現在ノ

新東亞ノ建設カラ申シマシテモ何ヨリ必要デアルト考ヘラレルノデアリマスガ、事變勃發後ノ情勢ヲ見マスルト、主トシテ貨幣價值ノ問題ニ原因シテ居リマスガ、滿洲ニ於キマシテハ非常ニ物價ガ高クナリマシテ、從ツテ日本カラ物ガドン／＼流レテ行キマシタ爲ニ、第三國ニ輸出スル豫定デ居リマシタモノモ此ノ方ニ流レテ行キ、又非常ニ不足シテ居リマスル國內ノ各種ノ資源モ、商品モドシ／＼此ノ方面ニ流レテ行クト云フコトカラ、國內ニ於キマシテモ各種ノ困難ナ問題ヲ派生致シマシタ關係上、昨年ノ九月カラ先ヅ數量ノ統制ヲ致シマシテ、此ノ方面ニ流レテ參リマスル品物ノ數量ヲ限定致シタノデアリマス。併シ數量ヲ限定致シマシテモ、直接價格ノ問題ニ觸レマセヌ爲ニ、矢張り價額ノ差ガ大キイ爲ニ日本ノ物ガ色々ノ經路ヲ以テマシテ是等ノ方ヘ流レテ行ク、殊ニ困リマスノハ折角重要ナ資源ト致シマシテ滿洲、支那カラ日本ヘ持ツテ行カウト云フ豫定デ居リマシタモノモ此ノ物價高ノ爲ニ日本ニ入ツテ來ナイ、從ツテ日本ノ圓「ブロツク」ノ關係カラ申シマスト必要以上ニモノガ流レテ行ク、他方必要ナ材料モ入ツテ來ナイト云フヤウナ情勢ニナリ、更ニ又色々圓券通貨ノ問題等

モ非常ニ重要ナ問題ニナツテ參リマシタ關係上、ドウシテモ圓「ブロツク」貿易ノ價格ノ調整ヲ致シマシテ、此ノ間ノ諸般ノ問題ヲ解決スルト云フコトニナリマシタ爲ニ、此ノ九月ヨリ全面的ニ價格ノ調整ヲ致シタ譯デアリマス。從ツテ日本ヨリ向フヘ輸出致シマスモノ、是ハ支那ニ對スル輸出デアリマスガ、支那ニ對スル輸出ニ付キマシテハ、日本ニ於キマシテ其ノ兩者ノ價格ノ差ヲ留保スルト云フヤウナ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス。從ツテ他方又向フヨリ日本ヘ齎ラス物資ニ付キマシテハ此ノ價格ノ差ヲ調節スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス。斯ウ云フヤウナ價格ノ調整ニ依リマシテ是等ノ圓「ブロツク」間ノ物資ノ交流ヲ圓滑ニシ、更ニ又圓券通貨ノ價值維持ヲ圖ル、又日本ニ於キマスル低物價政策ノ完遂ヲ期スルト云フヤウナ各種ノ目的ヲ以テ現ニ實行政シテ居ルノデアリマスガ、此ノ目的ヲ達シマスル爲ニ輸出ノ機構ヲ可ナリ改メタ外、即チ日本カラ參リマスモノモ、彼方カラ參リマスモノモ、全部商工大臣ノ指定致シマスル統制機關ノ手ヲ經ナケレバ入手ガ出來ナイト云フヤウナ原則ヲ立ツタ譯デアリマス。現在ニ於キマスル統制機關ハ、日本デハ輸出組合聯合會ト

云フ、輸出組合ノ「オール・ジャパン」ノ聯合會デアリマスガ全部其ノ手ヲ經テ輸出ヲスル、之ヲ詳シク申シマスト、輸出ノ關係カラ申シマスト、輸出業者ハ一應此ノ統制機關ニ賣渡シテ、更ニ又統制機關ハ同一人ノ委託ヲ受ケテ輸出ヲスルト云フヤウナ風ニ致シマシテ、全面的ノ統制ヲ確立シタ譯デアリマス。最近迄行ハレマシタ貿易上ノ一番大キナ沿革ハ此ノ圓「ブロツク」向貿易デアツタラウト思ヒマスガ、而モ其ノ重要性ノ程度カラ申シマス、現在ノ日本ノ輸出貿易ノ過半數ガ之ニ依ツテ行ハレルト云フコトニナツタノデアリマス。此ノ制度ニ付キマシテハ皆様内地ニ御歸リニナリマシテ、色々關係者カラ御聽キト思ヒマシガ、何分ニモ九月早々、價格調整ノ仕事ヲ加ヘマシタ關係上、當初ニ於キマシテハ新シイ仕事ダケニナカ／＼仕事ガ「スムース」ニ動キマセヌ、其ノ關係上、一時輸出ハ相當阻害サレタノデアリマスガ、最近ニ於キマシテハ各種ノ支障モ除カレマシテ、漸ク軌道ニ乗ツテ參ツタヤウデアリマス。今後ニ於キマシテモ各種ノ改善スベキ點ハ改善致シマシテ、現在日本トシテ最モ大事ナ圓「ブロツク」貿易ノ圓滑ナル運行ヲ期シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ



ス。尙圓「プロツク」ヨリノ輸入ノ統制ニ付キマシテハ準備ノ都合上マダ致シテ居リマセヌノデ、近ク之ヲ實施スルコトニシテ居リマス。從ツテ輸出、輸入ニ付テ圓「プロツク」ノ貿易ハ此ノ新シイ態様ニ依ツテ行ハレルト思フノデアリマス。勿論圓「プロツク」以外ノ他ノ事情ニ付キマシテモ色々ノ新シイ貿易ノ對策ハ立テラレルト思フノデアリマスガ、必シモ圓「プロツク」ニ採リマシタヤウナ方法ガ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ各市場ノ狀況ニ應ジマシテ、ソレ々ノ對策ヲ講ジタイト思フノデアリマス。何レニ致シマシテモ貿易ノ事情ガ非常ニ變ツテ參リマシテ、所謂計畫貿易ニナリツ、アリマス關係上、從來ノ各種ノ貿易事項ハ色々ナ點檢計ガ加ヘラレ、新シイ機構ガ出來ルノデヤナイカト思ヒマス。最近各種ノ方面ニ於キマシテ所謂新體制ト云フ事ガ言ハレテ居ルノデアリマスガ、貿易ニ付キマシテモ矢張り新シイ體制ガ茲ニ確立サレルノデヤナイカト思フノデアリマス。勿論貿易ノ新體制ハ他ノ經濟ノ新體制ト步調ヲ合ハセマシテ出來上ルト思フノデアリマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハマダ確定サレタモノガ發表セラレテ居リマセヌ、中央ニ於キマシテモソレゾ

レ御研究デアラウト思ヒマスカラ、遠カラヌ内ニ貿易ノ新體制ノ發表モアルト思フノデアリマスガ、私共ガ大體ノ方向ヲ想像致シマスナラバ、矢張り貿易ノ理念ト致シマシテハ、此ノ言ハレテ居リマスヤウナ公益優先ト云フヤウナ理念ニナルコトハ當然デゴザイマスガ、併シ其ノ機構ト致シマス所ハ、官民一致シマシテ、從來ノ知識、經驗ヲ最モ有效ニ働カシ得ル機構デアラウト思フノデアリマス。先刻申シマシタヤウニ現在ノ我が國ノ經濟事情カラ申シマスルトドウシテモ貿易ヲ振興セネバナラヌト云フ點ハ朝時意見ノ一致スル所デゴザイマスルノデ、新機構ニ於キマシテハ貿易ヲ最モ效果アルヤウニ發展セシメルト云フ意味デ出來上ルコトハ當然ト推察スルノデアリマス。私ハ其ノ貿易ノ新體制ト云フモノガ出來上リマス迄ニ於キマシテハ從前執ラレテ居リマスル戰時貿易對策ノ線ニ沿ツテ、ソレ々ノ仕事ヲ致シテ居ルノデアリマス。皆様御記憶デアラウカト思フノデアリマスガ、丁度七月ノ初メデアリマシタ、前内閣ノ時代デアツタノデアリマスガ、戰時貿易對策ニ付キマシテ閣議決定、第一ノ方針ガ發表サレテ居リマシタコトヲ御想起ヲ願ヒタイト思ヒマス。即チ貿易ニ付キマシテハ所謂

輸出品ノ原料會社、更ニ輸出品買取會社ト云フモノヲ作りマシテ、戰時貿易ニ寄與スルト云フコトノ方針ガ發表セラレテアルノデアリマスガ、此ノ輸出品原料會社ト申シマスノハ、既ニ昨年來、東京、大阪、名古屋、神戸等八大都市ヲ中心ト致シマシテ所謂輸出品原料會社ト云フモノガ作ラレマシテ、輸出品ニ必要ナル原料ノ圓滑ヲ期スルト云フ趣旨ノ下ニソレ々ノ仕事ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、ソレヲ全部合併致シマシテ、最近ニ於キマシテハ、日本貿易振興株式會社ト云フ一ツノ會社ヲ作ツタ譯デアリマス。之ガ先程申シマシタ戰時貿易計畫ノ中ニ申シマシタ輸出品原料會社デアリマスガ、此ノ會社ニ依リマシテ輸出品ニ必要デアリマス所ノ原料トシテ、輸入ニ付キマシテモ、或ハ又内地生産ノモノニ付キマシテモ十分御世話致シマシテ、從來兎モシマス、折角輸出ノ振興ヲシタニ拘ラズ、ソレノ原料ノ配給ニ於キマシテ各種ノ支障ガアツテ、其ノ目的ヲ達セナイト云フ弊害ヲ除キタイト云フ趣旨デアアルノデアリマス。更ニ又輸出品買取會社ト申シマスノハ、輸出業者ト製造家ノ丁度中間ニ出來マスル一種ノ輸出品ノ統制會社デアリマシテ、此ノ會社ヲ組織致シマスモノハ輸出組合、輸

出品生産關係ノ工業組合、更ニ又只今申上ゲマシタ輸出品原料會社ト云フヤウナ關係者ガ此ノ會社ヲ作りマシテ、其ノ生産ト輸出ノ關係ヲ統制シヨウト云フコトデアリマス。從來ハ生産ト輸出ノ關係ガバラ／＼ニナツテ居リマシタ爲ニ、ドウシテモ其ノ間ニ非常ナ「ロス」モ起キマシタシ、從ツテ現在ノヤウニ物資ノ不足ノ時代ニ於キマシテハ洵ニ遺憾ノ點ガ多少ゴザイマシタノデ、今度ハ今ノ會社ガ中心トナリマシテ、生産ト輸出ノ「ライン」ヲ「スムーズ」ニ統制シテ行カウト云フノガ此ノ輸出品買取會社ノ本來ノ目的デアアルノデアリマス。從ツテ將來ニ於キマシテハ輸出業者ハ此ノ會社ヲ通ジテ製造家ニ注文ヲサセルト云フコトニナル譯デアリマス。此ノ輸出品買取會社ハ纖維品以外ノ重要輸出品ニ付キマシテ數個ノ會社ガ共同セラレテ出來ル譯デアリマス。纖維品ニ付キマシテハ特殊ノ事情モアリマスノデ輸出品買取會社トハ別ノ一ツノ機構ヲ考ヘラレテ居ルノデアリマス。尙申落シマシタガ、輸出品ノ原料會社デモ、即チ「リンク」制ニ付キマスルモノニ付キマシテハ今申シマシタ原料會社カラ除外シテ、又別ニ特殊ノ機構ヲ考ヘヨウト云フコトニナツテ居リマス。此ノ輸出品買取會社



ハ既ニ出來上ツテ居ルモノモアルシ、又着々準備モ進ンデ居ルモノモアリマスノデ、遠カラヌ内ニ必要ナモノガ出來上ルト思フノデアリマスガ、丁度兩三日前ニ新聞ニ出テ居リマシタガ、纖維雜品ノ輸出品買取會社ガ出來タト云フコトガ出テ居リマシタガ、是等モ皆様ノ御目ニ觸レタコト、思ヒマス。只今申上ゲマシタヤウニ原料並製品ニ付キマシテハ今申上ゲマシタ二ツノ會社ヲ十分盛り立ツテ行カウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ先刻來申シマシタヤウニ是等ノ貿易ニ付キマシテハ各市場毎ニソレソレノ貿易對策ヲ樹立セネバナラヌト云フヤウナ情勢ニアリマスノデ、今後ニ於キマシテハ主要ノ市場毎ニ、之ニ對シ各種ノ貿易對策ヲ立テル組織ガ編ミ出サレルト思ヒマス。是等ノ市場毎ノ貿易對策ノ組織ニ付キマシテハ今申上ゲマシタヤウナ原料會社、買取會社、更ニ又從來アリマスル貿易組合ト云フ、是等ノ組織ガ或ハ縱糸トナリ、横糸トナツテ、十分ナ活動ヲ御願ヒスルコトニナラウト思ヒマス。從ヒマシテ貿易關係ノ營業者ニ於カレマシテハ、將來ハ是等ノ組織ト十分ナル聯繫ヲ保レマシテ、皆様ノ知識、經驗ヲ十分働カシテ戴クヤウナコトニナラウト思フノデアリマス。買

易ニ付キマシテハ各種ノ統制ガ從來相當行ハレテ參ツタノデアリマシテ、從來兎モスレバ各種ノ非難ノ的ニナツテ居リマシタ、日本人業者同志ノ競争ノ爲ニ國益ヲ害スルト云フヤウナコトハ、從來ニ於キマシテモ貿易組合ノ統制ニ依リマシテ相當改善サレテ參ツタノデアリマスガ、併シナガラ將來ノ計畫貿易ノ下ニ於キマシテハ、ドウシテモ現在ノヤウナ貿易組合ダケノ統制デハ十分其ノ效果ヲ擧ゲ得ヌト思ヒマスノデ、只今申シマシタヤウナ組織ノ下ニ十分ナ統制ノ實ヲ擧ゲテ行クト云フコトニナラウト思ヒマス。從ツテ皆様ノヤウニ海外デ貿易ノ第一線ニ御立チノ方々ニモ特ニ御願ヒヲ致シタイト思フノデアリマスガ、内地ノ貿易ノ機構ガ斯ウ云フ風ニ漸次變ツテ參リマスノデ、現地ニ於キマスル皆様ノ貿易ニ付テノ御考ナリ、仕方ト云フモノモ亦相當變ツテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマスノデ、非常ナ寡聞デアリマスガ、内地ニ於キマシテハ貿易組合其ノ他ノ統制デ、相當ニ統制ガ確立サレツ、アルノデアリマスガ、ドウモ現地ニ於キマスル日本人ノ投資者ニ於キマシテモ、色々極端ナ競争ガ行ハレテ居リマシテ、爲ニ日本ノ國益ニナラナイト云フヤウナ例モヨクアツタノデアリマス

ガ、又中ニハ洵ニ遺憾デアリマスガ、日本ノ方ノ相互ノ競争ノ爲ニ又不測ノ損害ヲ齎ラシテ居ルト云フ例モ相當ニアツタヤウニ承ツテ居ルノデアリマス。ドウカ此ノ度現地ニ御歸リニナリマシタナラバ、ヨク内地ノ事情、又私共ノ考ヘテ居リマスル將來ノ貿易ノヤリ方ト云フヤウナモノナドモ現地ニ於キマスル日本人ノ方ニ御傳ヘ下サイマシテ、ドウカ内外相呼應致シマシテ日本ノ貿易ノ伸展ニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。以上ガ私が現在考ヘテ居リマス貿易ノ政策並機構ノ點デアリマスルガ、是等ハ何レモ着々其ノ方向ニ向ヒツ、アルノデアリマス。唯先程申上ゲマシタヤウニ貿易ノ新體制ガマダ發表ニナリマセヌノデ、新體制ガ發表ニナリマスレバ其ノ「ライン」ニ沿ツテ、又各種ノ色々ナ新シイ機構モ考ヘ、編ミ出サレルト思ヒマスガ大體ノ私共ノ氣持ハサウ云フ點ニアリマスノデ、特ニ御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。併シ斯ウ云フヤウニ色々ナ機構ヲ考ヘマシテモ、現在非常ニ困ツテ居ラレル貿易業者ノ立場ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、又一段ト工夫ヲ凝ラサナケレバナラヌト思フノデアリマス。先刻來通商局長カラ御話ガゴザイマシタヤウニ、或ハ「ボン

ド・プロック」ノ問題ト言ヒ、或ハ英米方面カラハ政治上ノ壓迫ト言ヒ、現在ノ日本ノ貿易ハ非常ナ支障ト、非常ナ危険ニ曝サレテ居ルノデアリマス。從ツテ私共ハ色々ナ觀點ヨリ之ニ對スル對策ヲ考ヘテ居リマスルシ、又先刻申上ゲマシタヤウニ經濟關係會議等ニ於キマシテモ此ノ點ヲ十分取上ゲテ論議セラレルト思フノデアリマスガ、ドウカ官民協力致シマシテ、是等ノ支障ヲ除クコトヲ早急ニ致サネバナラヌト思フノデアリマス。即チドウシテ現在ノ日本ノ貿易ガ曝サレテ居ルヤウナ危険ヲ減スルカ、更ニ又爲替上幾多ノ困難ガアルノデアリマスルガ、此ノ爲替上ノ障害ヲドウシタナラバ避ケテ、日本ノモノヲ輸出、又日本へ必要ナモノガ輸入出來ルカ、更ニ又決済ノ問題ニ付キマシテモ色々難問題ガアリマスガ、是等ノ問題ニ付キマシテドウシタラ宜イカト云フ、色々ナコトヲ考ヘテ居リマス。勿論全般のニモ研究致シテ居リマスルシ、更ニ地方別、國別ニ色々異ツタ事情モアリマスノデ、之ニ對シ色々具體的ノ考慮モ私共致シテ居リマスノデ、ドウカ皆様折角日本ニ御歸リニナリマシタ機會デアリマスノデ、皆様ノ現地ノ事情ニ付キマシテ、斯ウシタナラバ自分ノ居ル國ニ貿易ガ旨ク行クダ



ラウ、或ハ少クトモ現在ノ支障ガ除カレルドラウト云フ點ニ御氣附ガアリマシタナラバ、如何ナル方法デモ結構デゴザイマスカラ、ドンノ私共ノ耳ニ御聽カセテ願ヒタイト思フノデアリマス。ドウモ日頃ハ皆様ノ御意見等ヲ書面其ノ他デ伺ツテ居リマスガ、ソレデハナカノ要ヲ盡シ難イト思ヒマスノデ、ドウカ直接皆様ノ御意ヲ吐露シテ戴キタイト申シマスノガ私共ノ何ヨリノ念願デアアルデアリマス。大變御粗末ナ御話デゴザイマスガ、最近ノ貿易事情ニ付キマシテ私共ノ考ヘテ居リマス一端ヲ申上ゲタノデアリマスガ、何分ニモ未熟ナ點ガ多イノデゴザイマスノデ、ドウカ是等ノ點ニ付キマシテモ御遠慮ナク御批判、御教示ヲ賜リマシテ、ヨリ共々ニ現在日本ガ最モ企圖致シテ居リマスル貿易ノ進行ニ付キマシテ御助力ヲ願ヒ、共ニ々々御奉公出來マシレバ何ヨリノ幸ト存ジマス。大變御粗末ナ御話ヲ御清聽戴キマシテ有難ウゴザイマス。

○司會者 之ヲ以テ本日ノ會議ハ終了致シマス。

散會

### 第一回在外同胞代表者會議 (一)

#### (北米部會)

昭和十五年十一月七日 午前九時十分開會

出席者

代表者側

南 彌右衛門 (北米代表)  
坂田 龜 喜 (北米代表)  
奥田 平次 (北米代表)  
熊本 俊典 (北米代表)  
中山 武夫 (北米代表)  
清野 主 (北米代表)  
竹岡 大一 (北米代表)  
花月 榮吉 (カナダ代表)  
藤本 伊作 (布哇代表)  
飯田 鴻一 (布哇代表)  
本重 和助 (布哇代表)  
住田 多次郎 (布哇代表)

政府側

吉田亞米利加局第一課長、平澤外務事務官  
坂外務省囑託、利行外務省囑託、濱野拓務屬

○司會者 吉田(亞米利加局第一課長) 此ノ度ハ太平洋ノ彼方カラ應々二千六百年奉祝ノ爲ニ御歸朝ニナリマシタノデアリマス。私如キ者ガ失禮ヲモ省ミズ一言御挨拶ヲ申上ゲタイト思ヒマス。各位ハ米國及「カナダ」「ハワイ」ノ方ニ御渡リニナツテ以來、數十年ニ亘ツテ營々トシテ大イニ御自身ノ生活營業ノ爲ニ努力サレテ、各自ソノ方面ニ大發展ヲナサツタト云フノミナラズ、絶エズ在留同胞ノ中心トナツテ、在留同胞ノ融和ヲ圖リ、進ンデ日米兩國民ノ融和ニ御努力ニナリ、各方面カラ見マシテ誠ニ代表的ト稱スベキ方々デアリマシテ、今日日本ノ誠ニ有難キ紀元二千六百年奉祝大會ニ際シマシテ、遠路應々御歸朝ニナツタコトハ誠ニ有意義デアルト考ヘルノデアリマス。

特ニ私一個人ト致シマシテ過去三年間、恰モ日支事變



ノ三年間ニアリマシテ、親シク沿岸ノ同胞各位ト共ニ協力シタコトヲ追懐致シマシテ、茲ニ皆サンヲ御迎ヘスルコトヲ特ニ欣快ニ存ズル次第デアリマス。

本日ハ外務、拓務ノ兩省係官ガ此處ニ見ヘマシテ、皆サンガ過去數十年ニ亘ツテ、努力サレタ其ノ努力ノ跡ヲ親シク拜聴致シマシテ、之ヲ記録ニ止メマシテ、今後我國ノ移民政策、海外拓殖政策、或ハ又日本ノ通商貿易ノ發展、若クハ日米兩國ノ融和ニ付キマシテ努力スルニ當リマシテ、最モ貴重ナル參考資料トシタイト云フ意味デ、特ニ御集リヲ願ツタ次第デアリマス。

本日ハ相當長イ「プログラム」ニナツテ居リマスガ、是カラドウゾ御自由ニ、十分ニ御所懐ノオアリノ所ヲ御述ベ願ヒマシテ、同時ニ又今後私共ノ心掛クベキ點ニ付テ、御希望ノ點ガアリマスナラバ、此ノ點ヲ御腹藏ナク、御聽キ致シタイト考ヘルノデアリマス。極ク簡單デゴザイマスガ一言以テ御挨拶ト致シマス。

之カラハ平澤事務官ニ此ノ會ヲ「リード」シテ頂クコトニ致シマス。

○平澤事務官) 只今吉田課長カラ話サレマシタヤウニ、

ハ類似團體ノ強化ノ問題等ニ付キマシテノ御話。

次ハ日米貿易ノ海ノ向フカラ見タ概観。更ニ第二世ノ問題デハ、二世ノ教育問題、就職問題、結婚問題、斯フ云フ問題ニ付テノ皆サンノ實際ニ體驗サレテ居ル其ノ御意見ト云フモノヲ御伺ヒシタイ。コレハマア各項目ノ中ニ割當テデモ結構デゴザイマスシ、又別ニ政府ニ對シテ斯ウ云フコトヲシテ欲シイ、從來斯ウ云フ憾ガアツタ、ト云フ點ヲザツクバラニ話シテ頂キタイノデアリマス。

最後ニ我々ガ斯ウ云フ問題ニ對シマシテドウ云フ氣持ヲ以テソレヲ土臺ニシテドウ云フコトヲ行ヒ、又行ハムトシテ居ルカ、又最近ニ於ケル日米關係並ニ日本内地ノ近況ガドウナツテキルカト言フコトニ付テモ時間ガアレバ御説明申上ゲテ見タイ。ト先ヅ大體此ノ様ナ順序ニ依ツテ本日ノ會議ヲ進メテ行キタイ考ヘデアリマス。先程申上ゲマシタヤウニ此ノ「ファミリー」ノヤウナ一ツノユツタリシタ穩カナ氣持デ何デモ腹藏ナクザツクバラニ御話ニナツテ頂キタイト思ヒマス。坂サン一ツ細イ點ヲ……。

此ノ度ハ人數モ少ク御互ニ腹藏ナク意見ノ交換ガ出來ル次第デ非常ニ嬉シク思ヒマス。ドウゾ皆サンモ御寛ギニナツテ一ツノ「ファミリー」ト言ツタ様ナ氣分デ、十分ニ御考ヲ述ベテ頂キ度イト思ヒマス。又我々モ我々ノ考ヘテ居リマス所ヲ卒直ニ申述ベマシテ本日ノ此ノ會議ヲ最モ有益ニ終始サセ度イト思フノデアリマス。

ソレデ細イコトハ段々話ノ進行ニ伴レテ坂囑託ニ述ベテ貰フコトニシマスガ、大體ノ「プログラム」トシテハ、先ヅ在米加同胞ノ發展概況——、コレハ加州地方、北部地方、東部地方、加奈陀地方及布哇地方ト夫々地方別ニ分ケテ伺ヒ度イト存ジマス。次ハ在米加同胞ノ苦心談——、究リ皆サンガ過去數十年ニ亘ツテ種々御苦心ナスツタツノ苦心談ヲ承リタイノデアリマス。ソレカラ次ハ米加兩國ノ對日輿論ト在留邦人ノ對策ト云フヤウナ最近ノ問題——、コレモ米國本土ト他ノ地方、即チ「カナダ」トカ「ハワイ」トカ地域的ニ異ル點ガアリマスレバ其レヲ御聽キシタイノデアリマス。

ソレカラ次ハ最近ニ於ケル在米加同胞ノ動靜。在米加同胞ノ經濟的發展策。金融機關ノ設置問題。日本人會又

○坂(囑託) 先ヅ最初ニ在米加邦人ノ發展概況——。是ハ

各地域ニ依ツテ違ツテ居ルダラウト思ヒマス。加州デモ南部ト北部デハ大分違ツタ點ガアルト思ヒマスガ、マアサウ云フモノヲ一切引括メマシテ熊本サンニ御願ヒシタイト思ヒマス。殊ニ南部加州ハ農産物ノ本場デアリマシテ、「ロスアンゼルス」ニハ同胞ガ其ノ勢力ノ大部分ヲ占メテイル市場等モアリ、外ノ地方トハ大變異色ガアルヤウニ思フノデアリマス。デ、サウ云フ點ヲ熊本サンカラ特ニオ話願ヒタイト思ヒマス。ドウゾ熊本サン……

○熊本俊典君(合衆國代表羅府日會長) デハ甚ダ僭越デゴザイマスガ、私ハ加州ノ方ニ住ンデ居リマス。本大會ニ代表者トシテ坂田先輩、南先輩ト不肖私ト三人參リマシタ。兩先輩ヲ措キマシテ、又色々ノ意味ニ於キマシテ年モ若イシ、在米年間モ非常ニ淺イノデアリマスガ、只今坂囑託カラ御話ガアリマシタノデ、色々天惠の氣候ニ惠レテ居ル南加州ノ農産業ニ只管從事シテ居ル關係上、一ツ兩先輩ヲ措キマシテ私ガ「オブザーバー」式ニ打解ケテ御話シテ見タイト思ヒマス。



大體今日ノ地盤ヲ築キ上ゲルニ付キマシテハ、其ノ都  
度都度各在外領事館初メ大使館アタリノ詳シイ報告、又  
ハ色々各地ノ團體、日會初メ産業團體等ニ依ツテ發表シ  
タ「パンフレット」デ故國朝野ノ方モ巨細ニ分ツテ頂イ  
テ居ルト思ヒマス。

人口ハ十二三萬ト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ  
十二三萬モ現在デハ寧ロズツト二世ノ方ガ多クテ一世ハ  
此ノ四割弱ト云フヤウナ程度ニナツテ居ルノデアリマシ  
テ、其ノ大部分ノ人ガ、約八〇%強ト云フモノガ農産業  
ニ従事シテ居リマシテ、其ノ農産業ノ中ニモ色々切花商  
等モゴザイマシテ、大體ニ今申シマシタ通り農産業ガ主  
トナツテ居ルノデアリマス。之ハ實ニ統計ノ上ニ見マシ  
テ御承知ト思ヒマスガ、本當ニマア「アメリカ」ト云フ  
國ガ開カレテカラ歴史ハ淺イノデゴザイマスガ、海外移  
民トシテハ「ハワイ」ニ次グ古イ歴史ヲ持ツテ居ルノデ  
アリマシテ、其ノ世紀カラ言ヒマスト僅ノ間ニ巨額ノ産  
額ヲ持ツ今日ノ農産業ノ地盤ヲ先聲諸氏ハ築キ上ゲラレ  
タノデアリマス。

大體私ハ「カルホルニヤ」ニ居リマスノデ、南加州ヲ

居ルノデアリマス。ソレデ「ロスアンゼルス」ノ人口ハ  
日ニ日ニ多クナリツ、アルノデアツテ、現在百七八十萬  
人、之等ノ市民ガ日ニ日ニ食ベテ居ル野菜ハ殆ンド日本  
人ノ手デ作ラレ、日本人ノ卸商ニ依ツテ捌カレ、又日本  
人ノ小賣商ニ依ツテ賣ラレ、二百萬近クノ市民ノ臺所ニ  
運バレテ居ル狀況デアリマス。之ハ私ガ此處デ説明申上  
ゲル丈ケデモ實ニ愉快ニ堪ヘナイ。之ハ一ツノ事實デア  
リマシテ、ソレカラ單ニ「ロスアンゼルス」ノ市民ガ食  
ツテ居ルダケデナク、遠ク東部ノ地方ニモ相當ナ數ガ出  
サレテ居ルノデアリマス。此處ニ居ラレル南先聲ハ只管  
此ノ業ニ携ハラレマスガ、南氏個人デモ何十車ト出サレ  
テ居ルノデアリマス。偶々東部ニ日本カライラツシヤル  
朝野ノ名土モ、又私共行キマシテ店ニ飾ラレテ居ル野菜  
ヲ見、ソレノ箱ニ南サンノ所ノ「レツテル」ノ貼ツテア  
ルノヲ見、又大變ナ山ノ中ニ行ツテモ日本人ノ農園ノ「マ  
ーク」ノ貼ツタ箱ヲ見ルノデアリマス。此ノ事實ヲ見テ  
モ如何ニ我々同胞ガ「アメリカ」農産業ニ貢獻シ今日ノ  
大キナ地盤ヲ拵ヘテ、我ガ大和民族トシテノ氣焔ヲ吐イ  
テ居ルカト云フコトハ争ハレヌ事實チヤナイカト思フノ

中心トシテ御話申上ゲタイト思ヒマスガ、此ノ農産業ハ  
大體ニ於テ年額三千萬弗ト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル  
ノデスガ、其ノ中ニマア南部ノ産業ト云フト外ニ養豚業、  
養鶏或ハ漁業、或ハ只今申シマシタ花卉ト云フヤウナ産  
業ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ野菜ノ方ニ付キマ  
シテハ殆ド特殊ナモノ、外ハ全部百%日本人ノ獨占的ノ  
モノデアリマシテ、又花ナドモ之ニ類似シタ非常ニ好成  
績ヲ持ツテ居ルノデアリマス。

次ニ漁業モ之ハ唯南加州バカリデナク、「アメリカ」全  
體ノ漁業ノ立場カラ申シマシテモ見通スベカラザル大キ  
ナ産業ヲ持ツテ居ルノデアリマス。「ロスアンゼルス」ハ  
只今申シマシタヤウニ非常ニ氣候ニ恵マレテ居リマシ  
テ、春夏秋冬ヲ通ジテ色々ノ野菜ガ出來ル、又花等モ同  
ジデアリマス。

農産業ヲ中心トシテ申上ゲマスガ、「ロスアンゼルス」  
ヲ中心トシテアスコニ三ツノ野菜市場ガアリマス。私モ  
其ノ野菜市場ニ生活シテ居ル者デアリマスガ、日本人ダ  
ケデ取扱ツテ居ルモノト云フノハ非常ニ大キナモノデア  
リマシテ、只今申上ゲマシタヤウニ三千萬弗以上持ツテ

デアリマス。

漁業モ「ロスアンゼルス」ガ中心ニナツテ居ツテ、「サ  
ンビードル」「サンデーゴ」此ノ二ツガ中心ニナツテ漁業  
ハ管マレテ居ル。其ノ數モ可ナリニ上ツテ居ル。産額ハ  
約四百萬噸ト稱セラレテ居ルノデアリマシテ、ソレニ依  
ツテ生活シテ居ル同胞モ多數デ、約千數百名ガソレニ携  
ツテ居ル。之ニ付テハ色々新聞紙上等ニ於テ御承知ダト  
思ヒマスガ、「カルホルニヤ」州ニハ二年毎ニ州議會ガ開  
カレテ其ノ州議會ニ日本人排斥ノ漁業法案ガ出サレタノ  
デアリマス。其ノ都度領事館ヤ官邊ノ方ヲ始メ在留民モ  
頭ヲ痛メテ其ノ都度々々ソレヲ處理シテ今日ニ至ツテ居  
ルノデアリマス。最近ニ於テハ斯カル世界ガ騷擾タル時  
デアリマシテ、昨年ハ漁業法デ在留邦人ハ苦心ヲ嘗メタ。  
其ノ宣傳ナルモノガ、所謂米國本土ノ要塞地帯デアル所  
ニ日本人ノ乗ツテ居ル漁業船ガ侵入シテ居ル。其ノ漁業  
船ハ實ニ立派ナモノデ、完全シタ冷蔵庫モアルシ、又製  
氷機械モ無電モ裝置シテ遠ク南米沖迄出テ居ル。サウシ  
タ優秀ナ船ヲ以テ、日本人ノ優秀ナ漁夫ガ乗ツテ居ル。  
其ノ人達ニ依ツテ海ノ深サヲ知ラレ、潮流ヲ知ラレ、山



ノ高サヲ見ラレル。之ハ國防上重大事デアルカラ日本人  
カラ漁業權ヲ剝奪セヨト云ツタヤウナコトヲ聲ヲ大ニシ  
テ昨年アタリハヤツタノデアリマス。漁業ニ付テハ從來  
サウシタ苦心ヲ幾回モ嘗メテ居ルノデアリマスガ、依然  
トシテ同様ノ問題ガ起リ都度我々ハ對策ヲ立テ、ソノ防  
止ニ力メテ居ルノデアリマス。

ソレカラ少シ話ガ前後シマスガ、農産業ノ今日ノ地盤  
ヲ拵ヘルニ至ル迄モ色々ナ苦心ト慘憺ヲ嘗メ、又總ユル  
排日ノ土地法其ノ他ニ依ツテ苦心シテ參ツタ結果ガ今  
日ノ地盤ヲ築クニ至ツタノデアリマシテ、ソレニ付キマ  
シテハ後程各先輩ガマザ〜ト自分達ガ血ヲ流シ涙ヲ流  
シテ來ラレタ尊イ體験等ヲ御話ニナルト思ヒマス。此ノ  
點ニ於キマシテハ私ハ差控ヘマシテ、大體加州ノ同胞ノ  
八十%ト云フモノガ農産業ニ携ツテ居ル。現在ノ農産業  
ハ斯ウシタ大キナ地盤トサウシテ心強イ發展ヲ持ツテ居  
ルノデアリマス。大體ニ於キマシテハ農産業ト云フ方面  
ニ於キマシテハ之ハ簡單デゴザイマスガ、只今申上ゲマ  
シタ通りデゴザイマシテ、最初ニ申上ゲマシタ我々同胞  
ノ人口中ニモ六〇%ノ二世ト云フモノガドウ云フ風ニ今

四〇

日伸ビツ、アルカト云フコトヲチヨツト總括シテト云フ  
御話デゴザイマシタカラ簡單ニ申上ゲマス。

此ノ二世ノ教育ニ付キマシテハ。モウ之ハ非常ニ大キナ  
問題トサレテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマスガ、トモス  
ルト人ノ親トシテサウデナクチヤ居ラレナイノデアリマ  
ス。又サウデナクチヤイカヌノデゴザイマスケレドモ、  
ア、シテ外國ニ居ツテ日々ノ仕事ニ追ハレツ、アル今日  
デゴザイマス。子弟ノ教育ト云フコトニモ油斷スルトオ  
ロソカニナリ勝デアリマスガ、今日ニ至ツテハ只今申上  
ゲマシタヤウニ二世モ殖ヘマシタシ、色々ナ點デ米國教  
育ヲ施スト同時ニ日本ヲ識ラシメ日本語ヲ教ヘル必要モ  
生ジテ參リマシタノデ、何レモ非常ニ熱心ニナツテ居リ  
マス。ソレカラサシヅメ迫ツテ居ル問題ハ第二世ヲドノ  
方面ニ伸バシテ行クカ、各先輩ガ有ユル苦心ヲ嘗メテ今  
日ニ至ツタ其ノ尊イ地盤ヲドウカシテ此ノ二世達ニ譲ラ  
ナケレバナラナイト言フ大切ナ秋ニ遭遇シテ居ルノデア  
リマス。處ガ何シロア、シタ自由ナ國ニ生レテ、又色々  
ノ物質的ニ惠レタ二世達ハ、ドウモコノ土地カラ離レテ  
大キナ産業ヲ拵ヘタ其ノ土地カラ離レテ都會ニ出タガツ

テ居ルヤウナ傾向ガアリ〜ト見ヘルノデアリマシテ、  
之ハ我々同胞ノ重大問題トシテ日會初メ各團體ハ色々ノ  
方法ヲ講ジテ、サウシテ二世ノ農業獎勵ト云フコトニ全  
力ヲ注イデヤツテ居ルノデアリマス。大體ニ於テ坂サン  
サウ云フモノデゴザイマスネ。甚ダ纏ラナイ御話デゴザ  
イマシタガ、現在ヲ總括シタモノヲ簡單ニ申上ゲマシタ。

○坂(囑託) 定ニ結構デス。有難ウゴザイマシタ。ソレデ  
ハ次ハ北部地方デ、「ワシントン」州、「オレゴン」州方面  
ノコトヲ伺ヒマセウ。「オレゴン」州カラハ竹岡サンガ御  
見ヘニナツテ居リマスガ、竹岡サンニハ別ノ方面ノコト  
ヲ御願ヒスルコトニシテ、奥田サンニ一ツ——、奥田サ  
ンハ明治二十六年カラズツト「シヤトル」方面ニ行ツテ  
居ラレルヤウデスカラ、「シヤトル」、「ポートランド」及  
ビ其ノ附近ノコトヲ纏メテ御話願ヒマス。

○平澤事務官 ドウカ坐ツタ儘……………。

○奥田平次君(合衆國代表商業) 坐リマスト横着ニナツタ  
ヤウナ氣分デゴザイマシテ……、西北部ハ「ポートラン  
ド」ノ竹岡サンガ四十年オイデニナツテ居リマスノデ、  
日本人會ノ責任者トシテズツト御働キニナツテ居リマス

ノデ詳シク御承知デゴザイマスカラ、若シ「タイム」ガ  
ゴザイマスナラバ竹岡サンニ御願ヒシタイト思ヒマス。  
私ガ此方ニ參リマシタノモ、單ニオ祭ニ御招キ下サツテ  
有難ウゴザイマシタト云フヤウナ考ダケデ出テ來マシテ  
日本人會ニ御願ヒシテ、調査ノコトナリ外ノ方々ノヤウ  
ニ氣ノ利イタコトガ出來テ居リマセヌ。遅播ニ出テ參リ  
マシタヤウナコトデ、在留同胞モ私ノ方ハ他ノ地方ノ五  
萬六萬モ居ルノト違ツテ、一萬五千シカ居ラヌノデ到底  
比較ニナリマセヌシ、御話スルニモドウモ張合ガナイヤ  
ウデアリマス。

御承知デモアリマセウガ、一八八〇年ノ米國ノ國勢調  
査ニ依リマスト日本人ハ米國ニ百四十八名シカ居ラナカ  
ツタ。所ガ支那人ハ十萬五千人居リマシタ。「カルホルニ  
ヤ」州ニ百四十七名、「ワシントン」州ニ一名、ソレガ  
今カラ六十年前ノコトデス。ソレガ四十年前頃カラダン  
〜西北部モ發展シテ來テ、今日デハ一萬六千、一時ハ  
二萬人ヲ越シタコトガアルガ、現在ハ一萬六千八百人ト  
云フノガ五年前ノ「ワシントン」州ノ十年毎ノ統計ニ現  
レテキルノデアリマス。西北部ハ大體一九〇〇年頃ガ時

四一







商賣ヲ土臺ニシテ興ツタ所デアリマシテ、人間ノ數モ今ハ此ノ南加事情ヲ拜見シテ總領事館範圍ノ人口ハ三千八百人トアリマスガ、最近國勢調査ナンカ致シマシタ所デアリマス、<sup>「ニューヨーク」</sup>附近ガ二千五百人見當ト云フ所デヤナイカト云フコトニナツテ居リマス。總領事館管轄ハアノ大西洋岸一帯<sup>「メキシコ」</sup>邊カラ<sup>「フロリダ」</sup>邊迄行クノデアリマシテ、所ガ此ノ日本人ノ人數ガ非常ニ内容ヲ調べテ見ルト云フト違ツテ來ル。ト云フノハ歐洲戰爭前後ガ非常ニ日本人ガ殖エタ時デゴザイマスガ、其ノ時代ト較べルト内容ガスツカリ變ツテ居ル。之ハドウ云フコトカト云フト、元ハ若イ者ガ外ニ出テ奮闘スルト云フ意味デ、マダ此ノ頃日本ガ發達シテ居ナイモノデカラ皆若イ者ガ獨身デ、家ヲ持ツテ居ル者ハ家族ハ内地ヘ置イテ向フデ一人デ奮闘スル、サウ云フ氣持ノ時代デアツタ。所ガ近年、過去十五年位ノ様子ハ大抵妻帯デ出掛ケルモノデスカラ今度ハ實際ニ働カナイ<sup>「エレメント」</sup>ガアルノデ、今二千五百人居ルトシテモソレハ昔ノ二千五百人ト同數デアツテモ實際働イテ居ル人間ハ千八百人、或ハ千四百人位デ、昔ハ二千五百人全部ガ働ク

斯ウ云フ状態デアツタカラ實質ガ非常ニ違ツテ居ルノデアリマス。  
ソレカラ<sup>「ニューヨーク」</sup>ノ動キヲチヨツト申上ゲマストズツト前カラ言フト商賣ノ關係ノ起リハ明治初年カラ起ツテ居ルノデアリマシテ、私共ノ店ハ明治九年ニ開イタノデアリマス。其ノ時ハ丁度<sup>「ヒラデルヒヤ」</sup>ニ<sup>「アメリカ」</sup>ノ獨立百年ノ記念ノ萬國博覽會ガアリマシテ、其ノ時代ニ<sup>「アメリカ」</sup>ノ事情ニ通ジテ居ツタ<sup>「佐藤桃太郎」</sup>ト云フ人ガ五人ノ二十前後ノ若イ人達ヲ連レテ行ツタ。其ノ中ニ<sup>「新井良一郎」</sup>ト云フ人ガ生糸ヲ持ツチ行ツタ。ソレカラ私ノ勤メテ居リマス會社ノ先代ノ弟ノ森村豊ト云フ人ガ雜貨ヲ持ツテ參リマシテ私共ノ仕事ハソコデ始マル。ソレカラ新井サンハ生糸ヲ種播キサレタト云フ事情デ、其ノ時代ハ日本人デ商賣シテ居ル者ハ殆ドナイ位デアツタ。サウ云ツタ風デアリマシテ銀行モ何モナシ、面白イ話ヲ申上ゲマスト銀行モ何モナイノデ金融ノ道ガサツバリナイ。向フデ賣ツタ金ハ此方ヘ送ル道ガナイ。所ガソコニ<sup>「コンカ」</sup>ト云フ領事ガ居ラレタノハ明治十年頃……領事館ガアツタ。領事館デ賄ガ出來ナイ、ソコ

デ色々考ヘテソレデハ我々ガ日本ヘ送ル金ヲ領事館ヘ差上ゲテ領事館ヲ賄ツテ、領事館ノ分ヲ日本デ頂クコトニシヤウト言フコトニナツテ、ソナ風ヲ途ヲ付ケテ居ツタコトガアル。サウスルト正金銀行ガ明治十五年ニ起ツテ銀行ガマア開ケタ。

私ガ明治三十七年、一九〇七年ニ行キマシタ頃ニハ銀行ト云フモノハ一ツシカナカツタ。日本ノ商社ト云フモノガ十三シカナカツタ。ソレガ歐洲戰爭ノ一九一四年、大正三年頃ヲ機會ニドシ<sup>「殖エテ銀行ガ六ツニナリ、今ハ船會社ガ六ツモアル。商社モ殖エテ四十幾ツニナリマシテ、日本カラノ出張所、支店トカ云フ風ナモノガ澤山出來タ。ソレガ歐洲戰爭ガ濟ンデカラ又縮ンデ、サウシテ此ノ十年前、滿洲事變ガ起ル前カラ日本ノ輸出ガ勃興シ、色々貿易ガ盛ンニナツタ爲ニ又新シイ商社ガ進ンデ來テ、今デハ五十以上六十近クノ日本ノ商店ガアルトスウ云フ風ナ状態ニナツテ居リマシテ、ソレデマア「アメリカ」ノ貿易ノ大部分ハ「ニューヨーク」デ扱フ斯ウ云フコトニナツテ居リマス。</sup>

ソレカラ在留同胞ノ内容ヲ申上ゲマスト在留邦人ハ今

二千五百位ト斯ウ申シマシタガ、其ノ中デ八百人カラ九百人近クト云フモノハサウ云ツタ日本ノ銀行諸會社ノ支店ニ勤務シテ居ル人及ビ其ノ家族ト云フモノデ、元ハ之等ハ一人モ居ナカツタモノガ今ハ家族同伴ト云フコトニナツテ居ルカラ、實際從事シテ居ル人間ハ日本人デハ先ヅ四百人カ五百人ト云フ所デスカ、其ノ家族ヲ勘定スルト八百人ト云フコトニナルト思ヒマス。サウ云ツタ譯デ之等ノ人ハ三年ナリ四年ナリデ始終移動シテ交代シテ居ルト云フノデ、之ハ浮イタ人數デ後ノ千五百人ト云フモノガ向フニ長ク居ル所謂在留同胞デス。ソシテ之等ノ人達ハ大體ニ於テ一九二四年ノ移民法實施以前ニ入國シタ者デ、ソレガ結婚シテ子供ガ出來テ居ルト云フ状態デスカラ、實際カラ云フト日本人ノ<sup>「アメリカ」</sup>ニ腰ヲ下シテ居ル所謂土着ノ人數ト云フモノハ此ノ人達ニ限ラレルト云フコトニナルノデアリマス。之ガ今ノ状態カラ申シマスト誠ニ情ケナイ状態ニアルノデ、實際人間ノ社會ト云フモノハ年ヲ取ル、後カラ生レル者ガ段々殖エテ來ルト云フノデ、社會ガ發達モシ又支ヘラレテモ行クノデスガ東部地方ノ情況ハ其ノ根ガ張ラナイデ段々缺ケテ行ク



ヤウナ状態デ、ダカラ今ハモウ年寄が多クナツテ、若イ者ガ少イト言フ有様デアリマス。サウシテ之ガ又ドウ云フ仕事ヲシテ居ルカト申シマスト色々國藝ノ方ヲヤツテ居ル人モアリマスシ、飲食店ヲヤツテ居ル人モアルシ、雜貨ノ小賣店ヲヤツテ居ル人モアルシ、家屋労働ヲシテ居ル人モアルシ、又サウ云ツタヤウナ所ニ働イテ居ル人デ成立ツテ居ル。其ノ中ノ大部分ハ家内労働ヲヤツテ居ル人ガ多イノデアリマス。之ガ年ガ六十以上ニナルト働ケナクナル。サウスルト之ハ使ツテ貰フ途ガナイ、サウ云ツタ人数ガ段々殖エテ來ルノデ、之ガ「ニューヨーク」ニ居ル日本人社會ノ一ツノ惱ミニナツテ居ルノデアリマス。サウシテソレ等ニ對シテハ日本人會アトリデ色々オ世話ヲシテキル。「ニューヨーク」ニ日本人會ト云フモノガ生レタノハ一九一三年大正二年頃デ、丁度排日移民問題ガ盛ニナツタ時デアリマス。「ニューヨーク」ハ元々サウ云フ商業ヲ中心ニシテ興ツタ所デスカラ餘リサウ云ツタ日本人會トカ何ントカ云フ問題ガ起ラナカツタガ、ドウシテモ之ハ日本人間ニ一ツノ團體ヲ作ツテサウシテ同胞ノ地位向上、共済、又權利ノ保護ト云フ風ナ目

的デ機關ガ必要ダト云フノデ作りマシテ、之ガマア村役場ノヤウナ氣持デ同胞ノ福祉ヲ圖ツテヤツテ居ル次第デアリマス。其ノ外ニハ「クラブ」ガゴザイマシテ、之ハ明治三十八年、一九〇五年ニ作ツタガ、其ノ作ツタ由來ハ、マア日露戰爭デ日本ノ地位ガ相當實業界ニモ認メラレ、サウシテ「アメリカ」人トノ社交ノ必要ガ起ツタモノデスカラ、「クラブ」ト云フモノヲ作ツテヤツテ行カナケレバナラヌ。同時ニ其ノ時代ニハ先程申シマシタ通りニ日本人ノ諸會社ニ勤務シテ居ル者ハ皆若イ者デ獨身デ、實際私ガ一九〇四年ニ參リマシタ時ニ日本人デサウ云ツタ商社、銀行、總領事館デ結婚シテ居ル日本ノ婦人ト云フモノハ四人シカナカツタ。サウ云ツタ状態デシタカラ獨身青年ノ慰安所モ拵ヘナケレバナラヌト云フノデ日本人「クラブ」ガ出來マシテ、之ガ一九〇五年、日本人會ガ一九一三年、其ノ外ニ宗教ノ方デモ教會ガ三ツゴザイマス。矢張りツツト前カラ學生ナドガ東部ニ參リマシテ泊ル所ガナイシト云フノデ、宗教上デ色々サマナイヤウニ慰安ノ出來ル宿ヲ拵ヘルト云フノデ「ミツシヨ」ガ出來タノデアリマス。ソレガ現在ノ教會トシテ殘

ツテ居ル。其ノ外ニ數年前ニ佛教會ガ出來マシテ、今ハ「キリスト」教ノ教會ガ三ツト佛教會ガ一ツ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス。之ガマア「ニューヨーク」ニ於ケル公共團體ノ有様デアリマスガ、尙チヨト御參考迄ニ申上ゲマスト色々「ニューヨーク」デハ商賣、「ニューヨーク」ト云フコトハ日米貿易ヲ代表スル所、日米貿易ノ起リガ明治九年前後デ今日迄非常ナ發展ヲシテ來テ居ルノデアリマスノデ、最初ニ申上ゲマシタ新井良一郎ト云フ人ハ明治九年以來六十二年、去年迄「ニューヨーク」ニ居ツタノデアリマシテ、十四年ノ四月ナクナリマシタ。雜貨デ努力シテ長齡デアツタノハ村井安太郎、之ハ私ノ方ノ中心ニナツテヤツタ人デスガ、之ガ明治十二年ニ參リマシテ丁度昭和十二年ニナクナリマシタ。其ノ外堀越善次郎サンモ四五年前ニナクナリマシタ。日本ハ御一新以來外國貿易ハ素人デ分ラナカツタノデ皆外國人、「アメリカ」人、「イギリス」人、「フランス」人「ドイツ」人ニ壟斷サレテ居ツタノデアリマスガ、國威ノ發達ト共ニ之ガ段々伸ビテ行ツテ、現在デハ日米貿易ハ大部分ガ日本人ノ手デ行ハレルヤウニナツテ居ルノデアリマス。尙

又其ノ外ニ「アメリカ」ニ於テ日本ノ名ヲ擧ゲタ人ガ二人「ニューヨーク」カラ出テ居リマス。ソレハ科學界デ高峯讓吉ト云フ人、之ハ今デハ大分時勢ガ變ツテ忘レラレテ居ル形ニナツテ居リマスガ、「アメリカ」ノ醫界ナシカデハマダ高峯サンガ發明サレタ藥ガ醫者ニ響イテ居リマスカラ、何カ醫者ト話ヲシテ居リマスト、「ドクタ」高峯ノ「アドリン」ナンカハ醫者ニナクテハナラヌモノダト云フヤウナ話ヲシテ居リマス。ソレカラ「ドクトル」野口英世ト云フ人デス。之ハ「ロツフエラー」ノ「インステチユート」ノ一研究員トシテヤツテ居ラレタ方ガ名ヲ殘サレタト言フノデ、向フデハ此ノ二人ハ日本人デモ「アメリカ」ノ實ト云フ風ニ認メラレテ居ツタノデアリマス。之ハ日本ヲ土臺ニシテヤツタ方デナク事業ヲ世界的ニ貢獻サレテ居ルノデ、其ノ爲ニ又「ニューヨーク」ニ居ル同胞ガ非常ニ肩身ガ廣ク感じタヤウナ次第デアリマス。マダ其ノ外ニモ醫學界デハ名ヲ擧ゲタ人モアリマス。癌ノ方デ杉浦博士、之ハ癌ノ方ノ「オーソリテイ」ト認メラレテ癌ノ研究所デヤツテ居ラレルノデ醫學界デモ相當認メラレテ居ルヤウニ聽イテ居リマス。



又建築界デハ松井安雄ト云フ人ガアリマシテ、之ガ「アメリカ」人ノ中ニ這人ツテ「アメリカ」人ノ仕事ヲシテ矢張り建築界ノ「オーソリテイ」トシテ認メラレテ居ル。之等ガ日本人トシテ「アメリカ」人ノ中ニ名ガ知ラレテ居ルヤウナ人デアリマシテ、我々モサウ云ツタ人ニ依ツテ意ヲ強ウサレルノデアリマスガ、私共ハ成ルベクサウ云フ人ガ「ニューヨーク」ニ出テ賞ヒタイ。何故ナラバ商賣ヲシテ居ルト之ハ相對同志ノコトデソレツキリノ問題デ、唯良イ品物ヲ送ツテ居レバ向フデ買フト云フダケデ一般ニハ日本人ト云フモノヲ紹介シ、宣傳スル材料ニハナラヌ。デスカラスウ云ツタコトガ日本人ノ名ヲ大イニ擧ゲルニ力ガアルト思フノデアリマス。貿易ノ方カラ申シマスモウ既ニ之ハ何モ申上ゲルコトハアリマセヌガ段々制限ヲサレテ向フカラ輸入スルモノガ減ル、ソノ上斯ウ云フ風ニ空氣ガ悪クナルト自然ニ米國側デモ購買ヲ制限スルコトニナルチヤナイカト云フ風ニ心配サレテ居ルガ、我々ハ昨年ノ條約廢棄ノ時ニドウナルカト云フコトヲ一時心配シテ居ツタ人ガアリマスガ、ア、云ツタコトハ「フランス」デモ「ドイツ」デモ「イタリー」

デモ度々前ニ起ツタ問題デ「パブリック」ノ上カラチツトモ感じハナク商品ハ動イテ居ツタノデアリマスカラチヨットモソレハ心配ナシニ行クダラウト私共モ思ツテ居リマシタガ、事實ハサウ云フ風ニナツテ來マシテ、斯ウ云フムヅカシイ世ニナツテモ我々ハ日本ノ品物ヲ向フヘ賣レルダケ賣ルト云フコトヲ努力スル覺悟デヤツテ居ルノデアリマス。丁度私共ガ「アメリカ」ニ居リマシタ時ニ、日露戰爭前後デ、マダ日本ガ世界カラ知ラレナイ國デアツタノガアレダケ大キナコトヲシタト云フノデ、丁度若イ男ガエライコトヲヤルト云ツテ先輩ガ可愛ガルト云フ風ナ工合ニナツテ日本人ニ對シテ居ツタノデ、ソレガ段々伸ビテ來テ、商品ナドニシテモ骨董品ダトカ何ントカ云フ風ニ色々纏ラナイ雜貨ガ賣レテ居ツタノデアリマス。之ハ珍ラシイト云フノデ賣レテ居ツタ、ソレガ段々日本ノ産業ガ發達スルニ從ツテ組織化サレテサウシテ筋ガ通ツタ商品ニナツテ來ル。ソレデ現在デハ骨董品ノヤウナ仕事ハナクテ、絹製品、綿製品、或ハ陶磁器ト云フ風ニ筋ノ通ツタ商品デ向フヘ這入ツテ行ク。サウシテ向フノ製造品ト對抗スル、問題ヲ起ス、過去十年間色々

ノ形デ關稅問題ヲ起シタリシタガ、マア安イ物ハ自發的ニ制限スルト云フヤウナ工合デ其ノ難關ヲ切り抜ケテ來タノデアリマス。サウシテ居ル中ニ滿洲事變ガ起リ何カ宣傳機關ヲ以テ日本ノ事情ヲ懇ヘナケレバイカヌト云フノデ其處デ今迄申上ゲマシタ公共機關、日本人會、日本人「クラブ」、「キリスト」教會三ツ、佛教々會一ツアツタ所ニ初メテ商業會議所ト云フモノヲ作ツテ、外ノ名前デハ工合ガ悪イモノデスカラ、初メハ時局懸談會ト云フ名前デヤツテ居リマシタガ、之ガドウモ工合ガ悪イカラ商業會議所ト云フ名前ヲ付ケテヤツタノデアリマス。ソレガ時勢ノ動キニ依ツテ段々「アメリカ」トノ商賣上ノ摩擦ガ酷クナツテ來マシタカラ、必要上宣傳機關ニ作ツタ此ノ商業會議所ガ今デハ本當ノ商業會議所ノ仕事ヲスルヤウニナツテ非常ニ有効ニ動イテ居リマス。昨年博覽會ガアリマシタ時ニモ其ノ商業會議所デヤリマシタ。支那事變ガ起ツテ以來排日貨ノ運動ガ起リマシタノデ色々工作ヲ致シマシタガ、段々「アメリカ」デハ御承知ノ通り外國ノサウ云ツタ宣傳機關ヲ喧シク調べルヤウニナツテ來テ居リマスノデ、餘リ我々ガサウ云ツタ政治機關ニ首

ヲ突込ムト面倒ニナリマスノデソレハ中止致シマシテ、商業本位ノ宣傳機關ニシヨウト云フコトニ決メマシテ、ソレデ第一ニ博覽會ヲ利用シテ出來ルダケ日本ノ産業ヲ向フニ紹介シテソレニ依ツテ貿易ヲ進メヨウト云フコトニ致シマシテ、相當博覽會ハ好評ヲ博シ、又ソレガ宣傳ノ材料ニナツタヤウナ次第デアリマス。大體サウ云ツタヤウナ要旨デゴザイマスガ、此處ニ一ツ私ハ申上ゲタイコトハ長イ間關係シテ居ツタガドウモ「ニューヨーク」カラ見マス各商社ノ支店長カラ事務員ガ三四年デ交代サレルト云フコトニナルト、ドウモ「アメリカ」人トノ實際ト云フコトガ出來ナイ。「アメリカ」ト云フ所ハ矢張り對人關係ガ主デアリマシテ、日本人ヲ知ルト云フコトガ此ノ色々ノ問題ノ解決ノ元ニナルダラウト私ハ思フ。サウスルト矢張り外國ニ出テ居ル者銘々ガ「アメリカ」人ト接觸シテ日本人ヲ知ツテ貰フ。ソレニハ日本人モ「アメリカ」人ヲ知ルト云フコトガ一番必要デハナイカト思フ。之ガ何處デサウ云フコトヲ熟々ト感じルカト云フト「アメリカ」人ノ團體デ日本ニ好意ヲ持ツテ居ツタ人カラ或ル團體ガ生レタ。之ハ一九〇七年ニ生レタノ



デスガ、之ハ「ジャパン・ソサイテイ」之ハ此方ニア  
ル日米協會ノ筆頭ヲ切ツタノデアリマス。之ハ親日家ニ  
依ツテ作ラレ、今ハ七十前後ノ人バカリデス、此ノ人々  
ガ全盛期詰リ日露戦争時代ニ日本ニ對シテ好感ヲ持ツタ  
人デ、今居ル若イ人ハ唯通り一遍ノ知己デ、取引ノ關係  
カラ會員ニナツタト云フ具合デ、ソレデ近來ニナルト色  
々ナ問題ガ起ツタ時デモ、東部ノ「ニューヨーク」ニ於  
ケル「ジャパン・ソサイテイ」ハ何モヨウシナカッタ。  
斯ウ云フコトニナル。サウシテ今度反對ニ後カラ生レタ  
太平洋沿岸ノ様子ヲ見マストナカレ活動シテ居ル。ソ  
レカラ私共歸ル途中ズツト各地方ノ様子ヲ見マスト、排  
日ノ起ツタノハ太平洋沿岸デ大西洋沿岸ハ非常ニ親日デ  
アツタ。今度ノ事變ニナルトソレガ逆轉ヲシテ居ツテ、  
排日ハ寧ろ東部ニアツテ太平洋沿岸ノ方ハ日本ニ對シテ  
非常ニ理解ヲ持ツテ居ルヤウニ私ハ感ジテ居リマス。之  
ハドウ云フ風ナ具合カト云フト、太平洋沿岸デハ先程皆  
サンガ御話ニナツタヤウニ、十數萬ノ日本人ガ居ツテ二  
世ガ段々殖ヘテ來テ、サウシテ排日ノ問題ハ一九一三年  
頃カラ起ツタガ能ク之ヲ解決シテ、サウシテソレ等ノ二

五〇

世ガ向フノ人ト同ジニ子供ノ時カラ育ツテ御互ニ理解セ  
ラレ、サウシテ日本人ニ對スル區別ガ昔ノヤウニ酷クナ  
イ。其處ヘ持ツテ來テ二世ノ使用スル投票權ト云フモノ  
ガ非常ナ力デ動イテサウシテ自然「アンダースタンディ  
グ」ガ付イタノデヤナイカト思フ。東部ニ於テハ二三年  
長クテ四五年デ人ガ代ルカラ向フノ人ニシテモ「エブリ  
スリー・イヤーズ」ニ繰返スト云フコトハ嫌ニナル。  
君等ハ直グ代ツテ嫌ニナルデヤナイカ、能ク心持ガ分ツ  
タ時代ニ代ルト云フノデ困ツタモンダ。何故落着イテ長  
ク居ルヤウニシナイダラウカ。斯ウ云フコトヲ聞クノデ  
ス。ダカラドウカシテ此ノ同胞ガ「アメリカ」ニアツテ  
日本ト云フモノヲ理解シテ貰フニハ餘程向フニ行ク人ガ  
自分等銘々ガ日本ヲ背負ツタ氣持デ多少ノ不便ハ犠牲ニ  
シテ、腰掛ケ的ノ氣持ヲ抜イテ一年居ツテモ二年居ツテ  
モ自分ハ其處ニ永住スルト云フ覺悟ヲ持ツテ行ク人多  
クナルヤウニ、又外交官ノ方モ大使、總領事ナドモ自分  
ノ理想ヲ此ノ土地デ完成スルト云フ風ナ具合ニナルト大  
分違フノデヤナイカト思フ。其ノ例ニハ英國ノ總領事ハ  
二十年、三十年居ツテ向フデ「サー」ヲ貰ツタリシテ居

ル。我々モ商賣デ始終考ヘテ居リマスガ、面識ガナイ時  
ニハ名刺ヲ通シテ順番ヲ待タサレル。サウシテ長イコト  
クドクド言ツテモ巧ク行カヌ。「アメリカ」人ハお互  
ニ知り合フト「チャイレー」、「ジョン」デ話ガ付ク。ア  
ノ男ガ言フノダカラ宜イノダト云フノデ非常ニ簡單ニ濟  
ム。サウ云ツタ風ニ商賣デモ役人方ノ交際デモナルヤウ  
ニナレバ之ハ非常ニ好クナルノデヤナイカ。ドウカ諸會  
社ノ人モ政府ノ方モ「アメリカ」ト云フ所ニ腰ヲ据ヘテ  
ヤルト云フ風ナ空氣ニシタイト考ヘテ居リマス。私ハ「ニ  
ューヨーク」デハ色々ノ更迭ノ度ニ繰返シテ居リマスノ  
デ、中山ガ挨拶スレバアレヲ聞クノダト云フコトヲ申シ  
マスガ、ドウカ皆サンモソレヲ一ツ強ク主張シテ頂キタ  
イト思ヒマス。失禮致シマシタ。

○坂(囑託) 色々アリガタウゴザイマシタ。實ハ中山サン  
カラハ東部地方ノコトヲ大體御話願ヒマシテ、後デ日米  
貿易問題ニ付テ御伺ヒシタイト考ヘテ居タノデアリマス  
ガ、私ソレヲ前以テ申上ゲテ置カナカツタ爲ニ、全部總  
括シテ御話シテ下サイマシタ。何レニシテモ、色々ト詳  
細ニオ話下サイマシテ、有難クウゴザイマシタ。次ハ「カ

ナダ」方面デゴザイマスガ、「カナダ」ハ御承知ノ通り  
漁業モ盛ンデゴザイマスシ、又林業、農業ト色々ノ方面  
デ發展サレテ居リマス。ソウシタ各方面ノコトヲ一括シ  
テ御話ニナルト云フコトハ非常ニ御迷惑デアラウト存ジ  
マスガ、加奈陀カラハ代表者ハ花月サン一人キリデアリ  
マスノデ、花月サンニ簡單ニ括メテ御話願ヒタイト思ヒ  
マス。

○花月榮吉君(カナダ代表カナダ日會長) 先程打解ケテ話  
セト云フコトデアリマシテ、何ンダカウレシイヤウナ氣  
ガ致シマス。今度ノ御催シニ私共迄態々御招待ヲ受ケマ  
シテ、今迄苦勞シタ所ガ酬ヒラレタト思ヒマシテ、又認  
メテ頂イタカト斯ウ云フ風ナコトヲ感ジマシテ大變ウレ  
シク存ジマス。

「カナダ」ノ事情ニ付テハ「ブツク」ニ纏メテ御手許ニ  
配布シテゴザイマスカラ何ンデスカ、チヨツト搔摘ンデ  
申上ゲマス。「カナダ」ト云フノハ相當大キナ國デアルニ  
モ拘ハラズ人口ガ少イ爲ニ、或ハ開ケテ間モナイ爲ニ「カ  
ナダ」ト云フ國ハ動モスルト忘レラレマシテ色々催シガ  
アツテモ、「カナダ」ノ手紙ハ北米カラ廻ツテ來ルヤウナ



コトガアリマシテ「カナダ」ハ「カナダ」デ別デアルト云フコトヲ、御承知デナイ方モ相當アリ、一般ニハ大分認識ガ不足ナ様デアリマス、「カナダ」ノ沿革ニ付キマシテチヨツト申上ゲタイト思ヒマス。

ソレハ「カナダ」ハ初メハ「フランス」ノ植民地デアリマシテ、「フランス」ノ施政方針ガ餘リ巧ク行カナクテ所謂大地的ト云フヤウナ工合デ小作人ヲ虐メテ見タリ、或ハ宗教ニシテ見テモ自分ノ宗教デナケレバナラヌ。他ノ宗教ヲ禁ジルトカ、又通商ニシテモ自國ノ旗ヲ掲ゲタ船デナケレバナラヌト云フノデ極端ナル保護主義デアリマシタノデ段々オカシナコトニナツテ一七六三年ニナツテソレガ「フランス」ノ支配カラ脱シテ英國ノ領有ニナリマシタ。丁度其ノ時米國ノ獨立戰爭ガアリマシテ、ソレデ米國ニ居リマシタ所ノ王黨ニ屬シタ者ヤソレカラ資本ヲ持ツタ連中ガ「カナダ」ニ逃ゲテ來テ人口ガ多クナツテ來タ。「カナダ」ノ東部ノ「モントロー」モ佛國ノ領有當時ハ六萬五千ト云フ人口デホンノ僅カデゴザイマシテ、其ノ後一八〇〇年ニハ四十萬人ニナツテ居リマス。

氣候モ奥地ハ大陸地デアリマスガ沿岸ハ温暖デアリマシテ、雨量モ多イノデゴザイマシテ地味ハ相當肥エテ居リマス。大麥、小麥、雜穀、野菜果物ヲ主トシテ色々ノモノガ餘リ手入モセズシテ、肥料モ餘リヤラズニ相當成績ヲ擧ゲテ居リマス。其ノ他家畜、家禽、毛皮、煙草等農産物トシテ年産額十億二千萬弗。サウシテ太平洋、大西洋ノ兩洋ニ面シテ居リマスノデ、暖イ氣流ト寒イ氣流ガ交流シテ居リマスノデ各種ノ魚族ガ居リマス。大西洋方面ニ於テハ、鱒、鱈、鯡、鯖ト云ツタヤウナモノガ相當獲レルノデアリマシテ、太平洋ノ漁業ハ鱈、鱒、鮭、鯨、鯨ト云フヤウナモノガ主ナモノデアリマシテ其ノ年産額ガ四千萬乃至五千萬弗ト云フコトニナツテ居リマス。鮭ハ罐詰ニシマシテ主トシテ歐洲方面ニ輸出シマスノデアリマスガ、同胞ノ創始ニ依リマス鹽鮭或ハ鹽鱈ハ以前ハ相當此ノ東洋方面ニ輸出シマシタガ、此ノ頃ハ戰爭下ニアリマスノデ禁止セラレテ居リマス。

鑛産物モ世界デ一二ト云ハレテ居リマス、金モ出マス白金、銅、ニッケル、石綿、亞鉛、石炭等年産額六億五千七百萬弗ト云ハレテ居リマス。

完全ニ英國ノ領土ニナリマシテカラ英國ハ「カナダ」ヲ二ツニ分ケテ「イーストカナダ」「ウエスト・カナダ」ト斯ウ云フ風ニナツテ全領土ヲ統轄シテ居リマシテ、英國ノ國王ノ命令ニ依ツテ總督ヲ派遣シソレニ依ツテ行政ヲヤル、立法部ハ上下兩院カラ成リマスガ上院議員ハ英國國王ガ之ヲ任命シマス。下院ノ方ハ人民ノ選舉トシテ「フランス」ノ施政ト較ベレバ大變自由ナ制度ヲ設ケマシタ。サウシテ今日ノ「カナダ」トナツタノデアリマス。今日ノ「カナダ」ハ九州カラ成リソノ人口ハ一千五百十萬、之ハ一九三〇年ノ調デアリマスガ、英國系ガ三割五分、「アイルランド」系ガ一割強、「フランス」系ガ約三割、獨歐系其ノ他中歐系一割五分、其ノ他世界ノ人種ガ相當アルノデアリマス。

今日ノ産業ノコトニ付テ申上ゲマスト、中央部ガ御承知ノ通り一望千里ノ大平原デアリマス。西部一帯ハ之ハ「ロッキー」山系デ無盡藏デアルト云ハレル森林地方デアツテ、林業ハロシヤ、合衆國ニ次ギマシテ世界ノ第三位ニアリマス。年産額ガ一億六千三百餘弗ト云フコトニナツテ居リマス。農業モ重要ナ産業ノ一ツデアリマシテ、

ソレデ投資ト申シマスト英國ノ投資ガ二十七億弗、米國ガ三十九億弗、米國ガ少シ多イノデアリマス。ソレニ依ツテ工業モ次第ニ發達シテ來マシテ、製材、製紙、パルプ、食料品、自動車、織物、家具、什器等ガ製造サレマシテ一九三七年ニハ三億弗ヲ越エテ居リマス。

貿易ニ付テ申上ゲマスト一九三八年ノ統計ニ依リマスト輸出額九億六千九百萬弗、輸入六億五千八百萬弗デアリマスカラ三億一千萬弗ノ出超ヲ示シテ居リマス。同年度我ガ日本トノ貿易ハ輸出ハ二千百萬弗、輸入四百五十萬弗デアリマスガ、「カナダ」ハ原料輸出國デアリ、我ガ日本ハ製品輸出國デアリマス故ニ貿易ノ正常ナ狀態ニ復シマス時ハ其ノ額モ更ニ増加スルコトハ何人モ豫想スルコトガ出來ルダラウト思ヒマス。私共同胞ガ二萬三千人餘リト云フノガ「カナダ」ニ住ンデ居リマスガ、サウシテ其ノ二萬餘人ト云フノハ殆ド太平洋沿岸ノ「ブリテイッシュ・コロンビヤ」州B.C.Cニ住ンデ居ルノデアリマス。其ノ他三千人位ガ奥地ニバラノト這入ツテ居リマス。此ノB.C.Cハ日本デ言ヘバ府縣ト云ツタモノニ當リマスガ其ノ面積ハ約日本ノ一倍半アリマス。サウシ



マシテ氣候モ此方ト殆ド大差ナイノデアリマシテ、大變住心地ノ好イ所デアリマシテ我日本人ノ在留地ハ「バンクーバー」ト其ノ附近デアリマス。

「バンクーバー」ニ於キマシテハ一角ヲ爲シマシテ堂々ト日本人街ヲ形成シテ居リマス。雜貨、食料品、藥品商店其ノ他ノ旅館ト云ツタヤウナモノガ軒ヲ並ベテ居リマス。料理店、理髮店等モアルト云フノ殆ド日本ノ町、日本ノ情緒ニ富ンダ生活ヲシテ居リマス。在留同胞ノ歴史ハ既ニ六十年モ經ツテ居リマス。現在ノ地盤ト權利ヲ獲得スルニハ幾分困難ハアリマシタノデスケレドモ、祖國ヲ遠ク離レテ彼ノ地ニ活動シテ居ルノデアリマスカラ困難ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、併シ何時迄經ツテモ排斥ハ止マナイ。此ノ排斥ト云フ問題ハ以前ハチカツタノデアリマス。明治三十年ニ初メテ排斥ガ起ツタ。其ノ時ニ日本人ハドウシタラ宜イカ、斯ウシタラ宜イカト云フノデヤツタガ、今日モ益々惡質ノ排斥ヲ續ケテ居リマス。明治十二年頃ニ二三ノ日本人ガ鮭ヲ獲リ始メタノガ土人ノ食物或ハ小量地方販賣スル程度デアリマシタガ、其ノ後明治二十九年ニハモウ既ニ大分罐詰工場

ナドガ出來テ日本人ガ大分居ツタノデアリマス。ソレデ日本人ハ魚ヲ獲ルコトニシテモ何ニシテモ、技術ニ於キマシテ、技術ニ於キマシテ白人ナリ土人ヨリモ一層勤勉デアルシ、且何ヲヤラシテモ彼等ニ負ケナイト云フノデ、七千枚ノ鑑札ノ中カラ三千百枚迄ハ持つテ居ツタ。即チ四十%迄ハ日本人ガ持つテ居ツタト云フ全盛時代モアツタノデアリマス。大正十年頃カラ益々漁獲モ減リ、昨年モ減リマシテ、一日閉令デ決ツタノデアリマスガ、私共ハソレヲ訴訟ヲ試ミマシテソレハ有利ニ解決シタノデアリマス。結局今日ハ鑑札ノ全部ニ對スル一割五分シカ持つテ居ナイ。以前ハ四割持つテ居リマシタガ今日ハ一割五分シカ持つテ居ナイト云フ状態デアリマス。

次ハ農業デアリマスガ、明治四十一年ト記録サレテ居リマスガ其ノ時ニ駐在サレテ居リマシタノガ矢田領事デアリマス。此ノ方ガ「カナダ」ノ農業ノ重要ナルコトヲ認メマシテ同胞間ニ慫慂サレマシテ今日ハ實ニ一千餘リノ自作農業者ガアルノデアリマス。ソレカラソレニ付テノ從業者モ相當アル譯デアリマス。之モ技術ニ於キマシテ白人ヨリモ上手デ、手ノ先ガ巧イ。辛抱ガ好イト云フ

ノデ大變工合好ク行ツテ居リマス。白人農業者ト親密ナ連絡ヲ取ツテヤツテ居リマスノデ此ノ方面デハ日本人排斥ノ聲ハナイノデアリマス。

次ハ林業デアリマスガ、之モ最初ハ小規模ニ經營サレ就働者モ少數デアリマシタガ、段々日本人ノ之ガ技能ガ充實シテ參リマスト白人ト較ベテ相當能率ガ上ルノデ、白人事業者モ日本人勞働者ヲ好ムノデ大正七年ニハ二千名以上モ働ク様ニナリマシタ。然シ之モ閉令ヲ以テ領有林、州有林ハ日本人ニ伐ラセテハイケナイト云フコトニナリマシテ、亦訴訟シタノデアリマシテ矢張り有利ニ解決シタノデアリマスガ、今ノ所デハ官有林ニハ日本人ハ遣入ツテ居リマセヌ。併シ相當大キナ私有林ヲ買入レテ相當大規模ニ經營シテ居ル者ガ五六ヶ所、從業者モ五六百人ト云フコトニナツテ居リマス。製材所モ邦人經營者ガ五六ヶ所デ、白人經營ノ所ノ從業者モ合セレバ邦人ハ一千人近クモアルト思フノデアリマス。

次ハ商業デアリマス。同胞ノ經營シテ居ル雜貨食料品等先程申シタヤウナ日本人町ノ百軒餘リガ相當大キナ商人デゴザイマス。主ニ日本品ヲ扱ツテ居リマスガ、中ニ

ハ色々絹物、色々サウ云フモノヲ扱ヒマシテ白人ノ方ニ進出シテ大イニ成績ヲ擧ゲテ居ルコトモ段々見ヘテ參リマシタ。其ノ他ニ「コンフエクションナリ」ヲヤツテ居ル商人ガ二百四五十人居リマス。果物ナドヲ賣ル商人ハ「バンクーバー」市ニ於テ殆ド半分ヲ占メテ居リマス。ソレモ今後ハ鑑札ノ制限ダト云フコトデ現ニ市會デ願イデ居リマスガ之モ亦ドウナルコトヤラ分ラナイノデアリマスガ、外ニ洋服ノ「クリーニング」旅館、料理店其ノ他色々ノモノニ從事シテ居ル者ガ凡ソ二百人。

全「カナダ」ノ在留邦人ハ大正二年ノ調査ニ依リマスルト凡ソ一萬二千人デアリマシタガ、昨昭和十四年度ノ調査ニ依リマスルト凡ソ二萬三千人、中二世ガ一萬三千人位トナツテ居リマス。

次ハ二世ノ教育問題ニ付テ申上ゲマスガ、「カナダ」ノ義務教育ハ滿六歲カラ十五歲ト云フコトニナツテ居リマスノデ、子供ハ全部英語ノ教育ヲ受ケル。ソシテソノ英語ノ教課ガ終ツテカラ一時間乃至二時間日本語ノ教育ヲ援ケルト云フノデ日本語學校ヲ各部落共同出資ニ依リマシテ設立致シテ居リマス。大正十年ニハ學校數五校、



學童五百名デアリマシタガ、今日ハ四十九校アリマシテ  
學童數モ四千五百人モ居ルノデアリマス。何レモガ日  
本文部省ノ檢定済ミノ教科書ヲ使ツテ居リマス。サウシ  
テ今日州立ノ大學ニ在學シテ居ル者ガ百名、日本ニ留學  
シテ海外教育協會ニ御世話ニナツテ居ル者ガ大分アルノ  
デアリマス。

一般ノ情勢ハ斯クナ工合デアリマシテ精シクハ小冊子  
ニアリマスカラドウカソレヲ御覽願ヒマス。

ソレカラ御言葉ニ甘ヘマシテ一言致シタイノハ「カナ  
ダ」ノ今ノ領事館デアリマスガ、ドウモ領事サンガ頻繁  
ニオ代リニナル……。

○坂(囑託) チョット、——花月サン、ソレハ後ニ政府當  
局ニ對スル希望ト云フノガゴザイマスカラ、其ノ時ニ御  
話ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○花月榮吉君 ソレデハ私ハ此ノ位ニ致シマス。

○坂(囑託) ドウモ有難ウゴザイマシタ。本日ノ會議「ブ  
ログラム」ハ先程平澤事務官カラ此ノ會議ノ開會ニ當ツ  
テ讀ンデ頂イタノデスガ、皆サンノ御手許ニ差上ゲマセ  
ヌデシタノデ、ハツキリ致サナカッタカト思ヒマス。政

府ニ對スル御希望ニ付テハ、別ニ悠リ伺フコトニナツテ  
居リマス。——デハ次ニ「ハワイ」地方ノ同胞ノ發展狀  
況ヲ飯田サン……

○飯田鴻一君(布哇代表ホノルル日會理事長) 私ハ丁度三  
十四年前ニ「ハワイ」ニ參リマシテ此ノ度ハ七年ブリニ  
歸ツタノデアリマス。其ノ以前二三回歸ツタコトガアリ  
マシタ。其ノ都度日本ノ各地ニ參リマシテ、私ハ「ハワ  
イ」カラ參ツタト申シマシテモ、「ハワイ」ハ何處ニアル  
カト云フコトスラ知ラヌ人ガ澤山アツタノデアリマス。  
現ニ「ハワイ」ニ居リマシテモ「アメリカ」カラ「ハワ  
イ」ニ來ル方々ノ話ニ依リマスト之ハ「アメリカ」ノ領  
土デアルカ外國デアルカ分ラナイト云フヤウナ狀態デア  
リマシテ大變遺憾ニ思フテ居リマスガ、今回拓務省カラ  
御招待ニ依リマシテ、斯ウ云フ機會ヲ御與ヘ下サイマシ  
テ「ハワイ」ノ事情ヲ日本ノ方ニ御話スルト云フ機會ヲ  
得マシタコトハ大變私ハ私自身ノミナラズ「ハワイ」ノ  
在留同胞トシテ大變愉快ニ存ジマス、只今御指名ニ依リ  
マシテ概括ヲ申上ゲマス。  
「ハワイ」ハ御承知ノ通り太平洋上ノ北緯十八度五十四

分ヨリ二十二度十五分ニ亘リ、西經百五十四度五十分ヨ  
リ百六十度三十一分ニ亘ル十二島ヨリナツテ居リマシテ  
其ノ中ニ主ナル島ガ八島アリマシテソレハ「ニ住ツテ居  
リマシテ「ハワイ」八島ノ通稱ガアル所以デアリマス。  
其ノ面積ハ凡ソ我國ノ四國ニ匹敵シテ居リマス。此ノ布  
哇島ハ一七七八年、今ヨリ百六十二年前、英國ノ探檢家  
デアアルキヤブテン・ゼームス・クツク氏ニヨツテ發見サ  
レ、氏ノ後援者デアアル當時英國ノ海軍大臣サントウイツ  
チ伯爵ノ名ヲ取り記念スル爲サントウイツチ群島ト命名  
シテ記錄ニ殘サレテ居リマス。其ノ當時ハ此ノ群島ニハ  
各々王族トカ酋長ナル者ガ居リマシテ恰モ群雄各據ノ有  
様ヲ呈シテ居リマシタガ、「コハラ」ト云フ地ノ酋長ノ子  
トシテ生レタ「カメハメハ」ガ後各島ヲ平定シテ一七八

二年、今ヨリ百二十二年前途ニカメハメハ王朝ヲ樹立シ  
「リクオカラニ」王迄八世百十年間王朝ノ命脈ヲ保ツテ  
來タノデアリマスガ、漸次衰微シテ一八九四年、明治二  
十七年「ハワイ」ニ共和政府ナルモノガ樹立サレテ、サ  
ンフォードビー・ドール氏ガ第一次大統領ニ選舉サレ、  
越エテ一八九七年、明治三十年マツキンレー氏ガ米國ノ

大統領ニ就任スルヤ米布合併ニ乗り出シ、同年八月十二  
日遂ニ合併式ヲ行ヒ「ハワイ」ハ獨立ヲ失ツテ米領ハワ  
イ群島トナツタノデアリマス。米國へ合併後ノ「ハワイ」  
ハ實ニ目覺シイ長足ノ發展ヲ見セマシテ、今日デハ太平  
洋ノ十字路トシテ「ホノルル」市ノ如キハ世界ニ取ツテ  
ノ重要ナ地位ヲ占ムルニ至ツタノデアリマス。

現在「ハワイ」ニ幾莫ノ人口ガアルカト申シマスト、  
丁度私ガ日本ニ歸リマス少シ前九月四日、米國ノ國勢調  
査ノ方ノ發表トシテ新聞紙上ニ掲載サレマシタモノニ依  
リマスト、「ハワイ」ノ人口ハ四十二萬三千三百三十二人  
ニ増加シテ居ルト云フコトデアリマス。サウシテ「ホノ  
ルル」市ノ人口ハ十七萬九千三百五十九人ト出テ居リマ  
シタ。

而シテ「ハワイ」ニハ日本人ガ幾人居ルカト申シマス  
ト、昨年六月ノ調査ニ依リマスト十五萬五千四十二人、  
内初代同胞ノ數ガ三萬五千六百八十一人デ、次代同胞即  
チ日系米國市民ノ數ガ十一萬九千三百六十一人デアリマ  
ス。其ノ當時「ハワイ」ノ總人口ハ四十一萬四千九百九  
十一人デ各國人別トシテ見マスト、日本人ガ十五萬五千



四十二人。ハワイ人及混血ハワイ人ガ六萬三千八百五十八人。白哲人種十萬七千三百八十一人。比島人五萬二千四百三十人。支那人二萬八千六百一人。朝鮮人六千七百三十八人。其ノ他九百四十一人。合計四十一萬四千九百九十一人デアルト云ハレテ居リマス。

新ノ如ク「ハワイ」ニ於テハ日本人ガ最モ多ク住ンデ居ルノデアリマス。

之カラ「ハワイ」ニ於ケル産業ニ付テ申述ベテ見マス。ト、「ハワイ」ハ何ント云ツテモ砂糖ノ國デアリマシテ其ノ砂糖耕地ノ數ガ三十九アリマシテ、之等砂糖耕地ニ就業シテ居ル日本人ノ數ハ一萬一千人以上モ居ルノデアリマス。「ハワイ」ノ糖業ハ一八三五年今ヨリ百一年前米國ラツト商業會社ガ「ハワイ」王並ニ「ハワイ」長官ノ許可ヲ得テ同島「コロア」ニ製糖會社ヲ成立シ砂糖耕地トシテノ最初ノ成功者デアリマシテ、爾來年ト共ニ糖業ハ潮ノ如キ勢力ヲ以テ勃興シ、今日ノ如キ「ハワイ」ヲ砂糖王國ノ稱ヲ得ルニ至ツタノデアリマス。毎年約九千萬噸カラ百萬噸内外ノ製糖額ニ上ルサウデアリマシテ、一斤ノ價格最低三仙六厘三毛、一噸五十三弗七十仙、

三仙二五ノ場合ハ一噸六十五弗ニナル譯デアリマス。毎年七千萬弗位ノ輸出デアリマス。嘗テ歐洲大戰ノ時ハ一斤十仙乃至二十仙臺ニ上ツタモノデアリマシテ「ハワイ」モ底ナシノ景氣ヲ呈シタモノデアリマスガ、昨年九月「ドイツ」ト「ポーランド」ノ戰爭ガ始マリ九月三日英國ガ對獨宣戰ヲ布告スルヤ糖價一斤二仙臺ノモノガ忽チ三、四仙臺ニ上リ、糖業界ニ再ビ黃金時代ヲ招來スルノ感ガアリマシタガ、現在モ矢張り三仙臺ヲ保ツテ居ルヤウデアリマス。

砂糖ニ次ク産業ト致シマシテハ鳳梨事業ガアリマシテ今日ノ隆盛ヲ來スニ至リマスニハ「ハワイ」鳳梨會社前社長ゼームス・デー・ドール氏ニ因ル所ガ大デアリマス。最初一九〇三年、明治三十六年ニ千八百九十三箱ノ製造ヲ見タノデアリマスガ、之ガ「ハワイ」鳳梨會社ノ最初ノ産額トサレテ居リマス、爾來年ヲ遂ツテ此ノ鳳梨ノ生産ハ隆盛ヲ來シ、一九三二年、昭和七年度ノ使用人員二千名ガ、一九三九年（昭和十四年度）ニハ實ニ一萬四千四百人ノ多數ヲ使用シテ居ルノデアリマスカラ之モ大イニ長足ノ進歩ヲ見テ居ル譯デアリマス。

砂糖並ニ鳳梨事業ニ次イデ「コーヒー」栽培ガアリマス。

之ハ現在殆ド日本人ノ手デヤウテ居リマスガ、一ケ年ノ收穫ガ約八百萬斤カラ九百萬斤ト云ハレ、百五十萬弗カラ二百萬弗内外デアリマス。「コーヒー」栽培ハ一八一七年今ヨリ百二十三年前西班牙人ニ依ツテ植付ケラレタモノヲ以テ最初トサレテ居リマス。日本人ノ手ニ依ツテ盛ニ栽培サレルヤウニナリマシテカラ約四十年ノ歴史ヲ持ツテ居リマス。毎年「コーヒー」ノ實ノ熟スル頃トナリマスト猫ノ手デモ借リタイ程多忙デアリ、且人員ガ少イ爲メ、學校ノ生徒ガ手傳ノ爲休校スルノヲ特大目ニ許シテアル程デアリマシテ、之ハヤ、衰微セントスル「コーヒー」事業ノ保護トモ言フベキデアリマス。輸出高ハ百萬弗内外デアリマス。

米作業ハ一八五九年今ヨリ八十一年前「ローヤルハワイヤン」農會ノ獎勵ニ依ツテ少量ノ米ガ收穫サレテカラ漸次盛ンニナリマシテ一九三〇年（明治四十三年）時代ニハ耕作地實ニ一萬英町ニ達シテ産額モ四千萬斤餘ニ達シテ居リマシタガ、爾來米國ノ加州米ニ逐ハレテ現今デハ其ノ全盛時代ノ十分ノ一ノ耕作地ト減ジテ耕作ハ殆ド

「ハワイ」島ニ限ラレタ感ガアリマス。

「ハワイ」ニハ牧畜業ガ約二十六ヶ所モアリマシテ、殆ド外國人ノ經營ニ屬シテ居リマス。其ノ飼育畜類ニ十一萬五千頭、羊一萬五千頭ト云ハレ、牛肉類ヨリノ收入ハ一ヶ年七百萬弗位デアルト云ハレテ居リマス。

養豚業ハ殆ド日本人ノ獨占事業デアリマシテ、約四百名ノ斯業者ヲ有シ、一ヶ年約八十萬弗ノ收入ヲ見テ居リマスガ、尙ホ毎年米大陸ヨリ別ニ五十萬弗内外ノ豚肉ヲ輸入シナケレバ需要ニ充テナイト云ハレテ居リマス。

酒ノ釀造ハ一九三三年今ヨリ七年前米國禁酒法案撤廢ト共ニ酒ノ釀造業ガ復活サレ、現在デハ外人經營ノ「ビール」會社ト日本酒釀造ノ六會社デ、日本酒釀造會社ハ日本人經營デアリマス。資本金ハ既ニ拂込濟ニナツテ居ルノガ百萬弗アリマシテ、釀造額二十二萬石、所謂百萬「ガロン」デアリマス。

次ニ漁業ハ日本人獨占ノ有様デアリマシテ、明治三十二年紀州ノ人中筋五郎吉氏ガ鯉漁船及船具ヲ携ヘテ渡來シ、新式漁業法ニ依ツテ大量ノ捕獲ヲ爲シ、爲ニ魚ノ市價ヲ變ジタト云ハレテ居ル程デアリマス。斯クテ年ト共



ニ小舟ハ大型漁船ト代リ今日デハ二百馬力ノモノサヘ見ルニ至ツタノデアリマス。毎年ノ産額ハ二百萬弗ヲ越ヘテ居ルノデアリマスガ、現在デハ唯一ツ憂慮サレテ居ルノハ經驗アル初代同胞ハ漸ク考イテ、之ニ代ルベキ次代同胞ノ少キコトデアリマス。茲ニ於テ斯業者ノ中ニハ若キ者ニ對シテ漁業ニ付テノ講習ヲ爲シテ居ルト聞キ及ンデ居ルノデアリマス。

次ニ「ハワイ」ニ於ケル貿易ニ付テ申上ゲテ見マスルト、「ハワイ」ハ現在米大陸ヲ對貿易ノ重要部分トシテ居リマシテ、其ノ他ノ對外貿易ニ至ツテハ僅ニ其ノ一部分ニ過ギナイノデアリマス。「ハワイ」ヨリノ輸出品ノ主ナルモノハ何ント云ツテモ砂糖、鳳梨、「コーヒ」等デアリマシテ、一方輸入品ハ「ハワイ」在住民ノ食料品及日用生活用品、並ニ砂糖、鳳梨、「コーヒ」ノ生産ニ要スル資料等デアリマス。一九三八年(昭和十三年)ノ輸出入統計ニ依リマス、輸出總額九千八百八萬六千二百二十一圓デアリマシテ、輸入總額一億九百四十七萬八千五百八十五圓デアリマシテ、之ハ差引一千三百三十九萬二千四百六十四圓ノ輸入超加ヲ示シテ居リマス。「ハワイ

イ」ニ於ケル輸出入ノ統計ガ記錄ニ殘サレルヤウニナツタノハ、一九〇一年、明治三十四年カラデアリマスガ、以來今日ニ至ル迄三十七年間ニ於ケル最初ノ輸入超加ヲ示シタモノデアリマス。「ハワイ」ノ景氣ノ好悪ハ、砂糖、鳳梨、「コーヒ」等ノ營業ノ如何ニヨル所ガ多大ナルコトハ云フ迄モナイコトデアリマシテ、一九三八年(昭和十三年)度ノ入超ヲ示シテ居ルノモ同年ハ「ハワイ」ノ砂糖耕地會社ノ大部分ガ損失ヲ招イテ居リマス爲デ、總額四百萬弗内外ノ損失デアラカラデアリマス。一九三八年日本ヨリ「ハワイ」ヘノ輸入總額ハ約三百萬弗デアリマシテ、米大陸ニ次グモノデアリマス。

次ニ建築界ヲ見マスルニ逐年人口ノ増加ニ伴フテ建築業ハ隆盛ヲ見テ居ルノデアリマス。一九三八年「ハワイ」建築検査官ノ統計ニ依リマス、總額九百三十八萬四千四百三十八弗ト云ハレテ居リマシテ、日本人請負業者ガ「ホノルル」市内ノミニテ優ニ七、八十名ヲ算シテ居リマス。

次ニ「ハワイ」ニ來ル漫遊客ヲ見マスルニ「ハワイ」ハ太平洋上ノ樂園ノ稱ガアルダケニ熱帶地帯内ニアリナ

ガラ絶エズ貿易風ニ見舞ハレテ、年中殆ド同ジヤウナ氣温ヲ呈シ、六十七八度カラ八十七八度位ノ處ヲ昇降シテ居ルノデアリマシテ、二年中通ジテ海濱ニハ水泳者デ賑ツテ居リマス。斯カル狀態デアリマスカラ觀光客ハ殊ニ多ク、ソノ上「ハワイ」旅客局ハ「ハワイ」ヲ世界ニ紹介スル爲年々二十五萬弗ヲ投ジテ廣告シテ居ルコトガ、又與ツテ大イニ力ガアルノデアリマス。

而カモ觀光客ニ依ツテ「ハワイ」ニ落サレル金ハ、一ケ年實ニ八百萬弗カラ一千萬弗位ト云フニ至ツテハ觀光客ガ如何ニ「ハワイ」ニ取ツテ重要ナル御客デアリ、又重要ナル産業ト見テモ宜イ譯デアリマス。

次ニ宗教方面ヲ申上ゲマス「ハイラム・ビンガム」氏ト、「アワ・サーストン」氏ガ醫師、牧師、農業技師一團ヲ連レテ一八二〇年、今ヨリ百二十年前ニ來布シテ、「ハワイ」島「コナ、カイルア」海岸ニ上陸シテ「カメハメハ」第二世王ノ許可ヲ得テ「キリスト」教ノ布教ヲ始メタノガ最初デアリマス。

佛教トシテハ一八九七年、明治三十年京都本山執行所ヨリ出張所ノ公認ヲ得同年十月開教使ノ來任ヲ見テ今日

ノ本流本願寺「ハワイ」別院ノ基ヲ爲シタモノデアリマス。爾來各派ノ宗教モ布教ヲ見ルニ至リ、現今デハ百十ヶ寺ノ多數ニ及ンデ居リマス。

「ハワイ」ニ於ケル神道ハ一九〇四年(明治三十七年)ニ太神宮ヲ尊奉スル者ガアツテ遂ニ太神宮ヲ奉祀スルコト、ナリ續イテ各神道ノ布教サレル様ニナリマシテ、目下十四五ノ神社ヲ有シテ居リマス。

次ニ教育方面ヲ述ベテ見マスト六歳ヨリ十二歳迄ハ義務教育ヲ授ケルコトニナツテ居リマシテ之ヲ一般公立學校トシテ居リマス。約八十八校デアリマシテ、其ノ教師ハ男教師六百四十八人、女教師二千六百二十三人、生徒數ガ男生四萬七千二百二十八人、女生四萬四千七百六十八人、合計先生三千二百七十一人、生徒九萬一千九百九十六人、之ハ一九三八年、昭和十三年十二月三十一日現在デアリマス。本年度ノ生徒數ハ十萬人内外ト云ハレテ居リマス。尙ホ大學、中學校、私立學校等ヲ加ヘマスト約十五萬人内外ト想像サレテ居リマス。更ニ又日本語學校ハ約二百校ト言ハレ、教師數ハ約七百名バカリデ、初代同胞教師數三百五十、日系市民教師數三百五十バカリ



アリマス。殆ど同数ノ教師デアリマス。日本語學校ニ通學スル生徒ハ約四萬人ニ達シテ居リマス。之等日系市民ハ朝八時ヨリ午後二時迄公立學校デ英語ヲ學ビ、更ニ一時間日本語學校ニ通ツテ日本語ヲ學ンデ居ルノデアリマス。日本語學校ノ創立サレタノハ一八九六年、明治二十九年四月デアリマシテ、約四十四年ノ歴史ヲ有シテ居リマス。嘗テ第一次歐洲大戰ヘ米國ガ参加シテヨリ米國市民ガ俄ニ高唱サレ、同時ニ日本語學校ハ日系市民ニ對シ日本帝國ヘ忠誠ヲ鼓吹スルモノデアルトノ誤解ガ一部ノ米人間ニ叫バレ、外國語學校取締法案ナルモノヲ以テ大イニ壓迫サレタノデアリマスルガ、同法案ハ明カニ米國憲法ニ違反スルモノデアルトナシ、言論機關「ハワイ」報知社ノ主張ヲ始メトシ、一般在留民ノ當業者ニ依ツテ一齊ニ叫バレ、續イテ試訴期成會ナルモノヲ組織シ遂ニ試訴ヲ提出シ、米國大審院迄顧問辯護士ヲ送り訴訟ノ結果ハ遂ニ一九二七年公正ノ判決ノ下ニ日本語學校側ノ勝訴トナリ、爾來日本文化ノ吸入、日本語ノ必要痛切ニ感シラレ、日本語教育ハ益々隆盛ノ一路ヲ辿ツテ居ルノデアリマスガ、極ク最近ニ至リ日本語教育ニ付テ面白カラ

又記事ガ外字新聞ニ散見スルコトハ憂慮ノ至リデアリマス。

尙ホ日本人病院ハ創立四十年ノ長キニ亘リ、現在デハ養老院ヲモ經營シ、更ニ近代醫學ノ殿堂恩賜記念館ハ畏クモ聖旨ヲ奉戴シテ遂行サレタル大事業ニシテ昨年十月一日在留同胞ノ盛大ナル落成式兼祝賀會ヲ舉行サレマシタ。之ハ初代同胞ヨリ次代同胞ヘ遺フ好個ノ記念物デアリマス。

次ニ日系市民ニ付テ少シク御話シタイト思ヒマス。次代同胞、即チ日系市民ノ生活ニ付テ申上ゲマスト日本人移住五十年ノ今日デモアリ次代同胞ノ中ニハ四五歳ノ人モアルノデアリマシテ、最近之等日系市民ノ目覺シイ活躍振リヲ見ルニ至ツタノモ蓋シ不思議デハナイノデアリマス。先ヅ第一ニ「ホノルル」市郡檢事トシテ日本人間ハ勿論外人間ニ於テモ非常ナ好評ヲ得テ居ル築山長松氏ヲ始メトシ、縣會下院議員定員三十名中ニハ「オアフ」島江口守氏、「ハワイ」島木村一雄氏、加哇島大上友一氏ノ三氏ハ共ニ共和黨、郡參事トシテハ「ハワイ」島石井猛氏(共和)、馬哇島酒井作一氏(民主)、安藤敏雄氏(共

和)、加哇島濱本豐氏(共和)、渡瀬勝登氏(民主)、三宅昇氏(共和)等ガアツテ大イニ活躍致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ外郡判事トナツタモノ、郵便局長ニナツタ者等モアリマスガ。

更ニ醫師方面ヲ見マスト醫師約七十七名中ニ次代同胞ガ約八割ヲ占メ、齒科醫ノ如キハ六十名位デ約九割強ヲ占メテ居ル有様デアリマス。

宗教界ニ於テハ次代同胞ノ牧師ハ勿論、開教師ニモ其ノ數ヲ増シシ、アリマス。

學校教師ハ縣下ノ公立學校ノ教師ヲ奉職シテ居ル者モ相當ノ數ニ上ツテ居リマスケレドモ、日本語學校教師トシテ實ニ三百五十名ノ多キニ達シ初代同胞ノ教師數ト相半バシテ居ルノヲ見テモ如何ニ次代同胞ガ各方面ニ亘ツテ活動シテ居ルカ、窺ハレルノデアリマス。將來我ガ同胞ノ發展ヲ双肩ニ擔ツテ勇躍シテ居ルコトハ誠ニ力強イコトデアリマス。

次ニ金融ニ付テ申上ゲマスガ、日本人銀行ト致シマシテハ正金ト住友ト太平洋、「ローカルバンク」デアリマス。其ノ預金高ハ一千万弗デアリマシテ外國ノ銀行ニ

預金シテ居リマスモノヲ總體シマスト二千五百萬弗デアリマス。マダ申上ゲタイコトハ澤山アリマスガ之ヲ以テ終リマス。

○坂(囑託)「ハワイ」ハ日本民族ノ海外發展ト云フ點カラ

見マシテ何處ニ較ベテモ先ヅ先輩ト申シマスガ、古イ歴史ヲ持ツテ居リマスノデ、只今御話ヲ伺ヒマスト第二世ノ方デ四十ヲ越エタ方モ相當居ラレルヤウデアリ、而カモソレ等ノ人口ガ政治、經濟、教育、官界其ノ他總ユル方面ニ非常ナ御發展ヲシテ居ラレルト云フコトデアリマシテ、此點甚ダ心強ク感ジル次第デアリマス。

次ハ順序ニ依リマス「在米同邦ノ苦心談」ト云フコトニナツテ居リマス。併シ只今迄伺ヒマシタ御話デ、大體皆サンガドウ云フ風ニ御苦心サレタカト云フコトハ略々推知出來ルヤウニ考ヘマスノデ、後ニ時間ガゴザイマシタラ、ソナナ點ヲユツクリ伺フコトニシマシテ、唯一人南加ノ方デ特殊ノ大發展ヲサレテ居ル南サンニ、アノ地方ノ發展ノ狀況並ニソレニ付テノ苦心談ト云ツタヤウナモノヲ、極ク簡單ニ伺ツテ見タイト思ヒマス。南サンドウゾ……。



○南彌右衛門君(合衆國代表、南加中央日會南加日商顧問)

私ノ體験談トシテ續イテ話サシテ頂クノデアリマスガ、之ハ私ノ居リマス所ノ地方ノ御話デ唯私バカリデナク、事業ノ大小ノ區別ガアルノミデ仕事ヲシテ居ルノハ皆サシ同ジヤウニ仕事ヲシテ居ラレルノデアリマスカラ其ノ邊ヲドウゾ皆サン御諒解ノ上ニ御聽キヲ願ヒマス。

私ノ居リマス「ガダルーブ」ト云フ所ハ加州太平洋岸「サンフランシスコ」ト「ロスアンゼルス」トノ中間デ、「サンフランシスコ」ヘ二百七十哩「ロスアンゼルス」ヘ百八十哩アリマス。平原ノ大キサハ東西二十哩、南北十哩位デ氣候ハ頗ル温和四季サシタル變化モナク、十一月カラ三月ヘカケテ偶ニハ氷點下ニ下ルコトモアリマスガソレモ極メテ稀デ、大抵ハ華氏寒暖計ノ四十度カラ七十五度位、サウシテ空氣ガ概ネ乾燥シテ居リマスカラ合着一着アレバ一年中間ニ合フト云フ好イ氣候デゴザイマス。サテ「ガダルーブ」地方ノ御話ヲ申上ゲルノニ私自身ノ經驗ヲ御話スル方ガ話ノ下手ナ私ニ取リマシテハ一番容易デアリ、且又皆様モ同地ニ於ケル同胞ノ今昔ヲ比較ナサルノニ一番便利デハナイカト思フノデアリマス。

六四

私ハ明治三十八年「ハワイ」ニ渡航、滞在一ヶ月ニシテ米國本土ニ轉航、「サンフランシスコ」ニ上陸、間モナク現住所タル「ガダルーブ」ニ参リマシタ。當時同胞ハ砂糖大根事業ノ盛ンナ所デ在留同胞ノ殆ド總テガ同地「ユニオン」製糖會社ノ工場又ハ農園ニ働イテ居タノデアリマス。私モ他ノ同胞ト共ニ同製糖會社ノ農園ニ或ハ發芽後間モナイ砂糖大根ノ間引キ或ハ草取り、又收穫期ニハ或ハ大根ノ首切り、或ハ荷車ヘノ積込等ヲ致シテ居リマシタガ、其ノ内労働者ノ供給ヲスルヤウニナリ又進ンデ耕作請負ヲモスルヤウニナリマシタ。

大正六年耕作請負ヲ止メテ、約一千「エーカー」ノ農園ヲ借り入レ、砂糖大根ニ限ラズ、麥類、豆類、馬鈴薯等ノ栽培ヲ始メマシタ。

大正九年「ガダルーブ」平原ニ「レタス・カーリーフ・ラワー」等ノ野菜栽培ガ紹介サレマシタノデ、私ハ私ノ支配スル農耕地ノ約四分ノ一ヲ砂糖大根耕作ニ殘シ、他ハ擧ゲ、之ヲ野菜栽培ニ轉換シタノデアリマシタ。爾來私ノ方針ヲ踏襲シテ居リマス。現在私ノ支配スル約五千「エーカー」即チ二千町歩ノ中千二百「エーカー」約五

百町歩ハ砂糖大根ヲ耕作シテ居リマスガ、其ノ残りハ全部野菜類ヲ作ツテ居リマス。

斯ク大部分ヲ擧ゲテ野菜耕作ニ轉換シマシタノハ從來ノ作物ガ一年一作デ萬一不作不況ノ場合、一ケ年間之ガ恢復ノ機會ガナイノニ反シ、野菜耕作ハ少クトモ年二回、殊ニ「レタス」ノ如キハ同一地方カラ年三回モ收穫スルコトガ出來マシテ、投機的性質ヲ多分ニ減ズルカラデアリマシタ。

又總反別ノ約四分ノ一ヲ常ニ砂糖大根耕作ニ充テテ居リマスノハ砂糖大根ノ値段ガ前以テ決定シテ居リ、上手ニ耕作スレバ一般經濟界ノ況不況ニ關セズ契約値段ニ依ツテ支拂ヲ受ケ、常ニ相當ノ利益ヲ擧ゲルコトガ出來テ農業經營ヲ安全ニナラシムルカラデアリマス。

擬テ「ガダルーブ」地方ノ同胞農家ガ野菜耕作ニ轉換シツ、漸ク堅實ナル發展ヲ遂ゲヤウトシテ居リマスト一九二〇年(大正九年)加州ハ一般投票ニ依リ第二次排日土地法ヲ制定致シマシタ。其ノ法律ハ歸化權ヲ持タナイ日本人ハ土地ノ所有權ハ勿論農業ヲ營ムニ必要ナ土地ヲ地主カラ借リル權利スラナイト云フノデアリマシタ。サ

ウシテ萬一違反シタラ地主カラハ其ノ土地ヲ沒收シ、日本人ハ罰金並ニ體刑ヲ課スト云フ酷イ罰則デアリマシタ。茲ニ於テカ同胞農家ハ信賴スル米人又ハ米國ノ市民權ヲ有スル二世ヲ借地人トシ自分ハ其ノ下ニ働ク使用人ト云フコトニシテ農業ヲ繼續致シマシタ。而シテ斯様ナ法律ガ嚴然ト存在シテ居タニ拘ラズ實際ニ於テハ殆ド處罰ヲ受ケタ者ナク、事實ニ於テハ同胞農家ノ數ハ次第ニ増加シ、遂ニ今日ノ盛大ヲ來スニ至リマシタガ、其ノ一面ノ理由ハ一般投票デハアツタガ、少數排日煽動家ガ嘘八百ヲ並ベテ通過サセタモノデ、一般加州民ガ此ノ法律ヲ支持スル意思ガナカツタコト、裁判所ガ公平ニ米國憲法ヲ日本人ニモ適用シタコトデアリマスガ、最大ノ理由ハ加州内ニ在留同胞ノ一人々々ガ常ニ日米親善ヲ心掛ケテ善キ隣人デアツタコトデアリマシテ、地主ハ日本人ノ借地人ニ心カラ満足シテ居リ、一般民衆ハ日本人農家ノ生産セル品質良好ノ野菜ナシニハ一日モ暮セナクナツテ居タコトナドモ理由ノ中ニ擧ゲナケレバナリマスマイ。

私ハ昭和四年南農產商會ヲ創立致シマシテ、管ニ野菜

六五



類ノ耕作ノミナラズ、之ガ賣買荷造及輸送業ヲ始メマシテ、自家栽培ノ野菜類ノミナラズ、廣ク同胞農家、サテハ米農家ノ生産物ヲモ太平洋岸ノ市場ハ勿論遠ク米國東部、「シカゴ」、「ニューヨーク」、「ボストン」其ノ他全米ノ市場ニ直接鐵道冷蔵貨車ヲ輸送販賣シテ居リマス。現在私共ノ地方デハ本年四月ニ物故セラレマシタ荒井節雄氏ノ「ガダグループ」農産商會、友岡豐吉氏ノ「サンタマリヤ」農産商會並ニ乙井益之助氏ノ乙井農産商會等ノ同業者ガ何モ頗ル盛大ニヤツテ居リマス。

尤モ「ロスアンゼルス」、「サンフランシスコ」等ノ近距離市場ニハ各自所有ノ「トラック」ヲ輸送シテ居リマス。現在「レタス」三百五十箱積「トラック」三臺、二百二十箱積五臺ヲ之ニ充テ、居マス、「サンフランシスコ」ハ「ロスアンゼルス」ヨリ餘計ニ時間ガ掛カリマシガ、「ロスアンゼルス」ヘハ毎日午後行デ其ノ晩ノ中ニ歸リ、毎週六回往復シテ居リマス。ソレデモ出荷ノ盛リ時ニハ二三臺臨時ニ雇入レネバ間ニ合ハヌコトガ度々アリマス。「レタス」ノ箱ハ長サ二十四寸、巾十八寸、高サ十三寸アリマス。

私共ノ耕作スル野菜ハ初メ殆ド「レタス」ト「ガリー」ト「ラワー」ニ限ラレテ居マシタガ、間モナク人參ノ大量生産ガ始マリ、十年前位カラ「セロリー」、チコリー、アニス、トメト」等ノ栽培モ紹介サレ、七八年前ヨリハ「プロカリ」、アーチチヨーク」モ耕作サレ、又此處五年以前ヨリ馬鈴薯モ品質良好ナルノ故ヲ以テ重要生産物トシテ數ヘラル、ニ至リマシタ。

斯様ニ作物ノ種類モ漸次變化シテ參リマシタガ、同時ニ耕作ノ方法、農具、種子、及肥料ノ其ノヤリ方等モ著シキ進歩發達ヲ遂ゲマシタ。「ローテーション」ノ方法ナドモ獎勵サル、ニ至リ、好結果ヲ得テ居ルヤウデアリマス。私共ガ最初農業ニ取り掛カリマシタ頃ハ耕作及運搬ノ動力ヲ馬ヨリ得テ居ツタノデアリマスガ、今日デハ私共ノ作業ニ適當ナ五十馬力内外ノ便利ナ「デイゼル・トラクタ」ガアリ、又二十馬力位ナ足高ノ「トラクタ」ナドモ出來テ、迅速且容易ニ大キナ反別ヲ耕作スルコトガ出來、運搬モ前ニ申上ゲタヤウニ大キナ「トラック」デヤレルコト、ナリ、殆ド馬ノ力ヲ要シナイコト、ナリマシタ。

御手許ニ差上グテアリマスル「南加事情」ノ六頁カラ八頁ニ掛ケテ南加州ノ農業關係事項ガ記サレテアリマシガ、七頁ハ「ロスアンゼルス」ニ於ケル農産市場ノコトガ述ベテアリマシテ、其ノ一番終リノ行カラ八頁ニ掛ケテ私共ノ居リマス「ガダグループ」方面ノ事ガ認メテゴザイマス。其ノ第四行ニ中部沿岸聯合農産組合トアルハ私共ノ「ガダグループ」農産組合ヲ中心トシテ加州中部沿岸六十哩ノ間ニアル「ガダグループ」、サンルイス、ランボオク、オシヤナ」四箇ノ同胞農産組合ノ聯合デアリマスガ、此ノ聯合農會ガ更ニ「ロスアンゼルス」市場ノ同胞農産商組合ト協調シテ、南加州中央農産組合ヲ組織シテ農産物ノ集散ヲ合理化シテ、農商提携ヲ實ヲ擧ゲ、以テ同胞間ノ福利増進ニ邁進シテ居マス。

尙ホ中部沿岸聯合農會ノ區域ハ加州農業統制第二區デアリマシテ、州法ノ下ニ過去六ヶ年間日白人共同一致シテ「ロスアンゼルス」市場向「レタス」ノ出荷調節ヲシテ、其ノ成績ハ州内二十幾箇ノ統制實施區域中第一ダト云ハレテ居リマス。其ノ統制委員七名中五名ハ日本人デ其ノ中不肖私モ末席ヲ汚シテ居マス。

肥料モ砂糖大根ヤ麥類、豆類等、一年一作ノ頃ハ殆ド之ヲ用ヒルコトモナク、僅カニ自家飼養ノ家畜ノ副産物ヲ使用スルニ過ギナカツタノガ、野菜耕作トナツタナラバ肥料ハ生産費中重要ナ地位ヲ占ムルコト、ナリマシテ私共ノ使用スル有機肥料、配合肥料、化學肥料合計年二千五百噸以上ニ上リ、其ノ價格又十萬弗ニ達シテ居リマス。サウシテ一般ニ使用サル、肥料ノ種類ハ次ノ如クデアリマス。有機肥料ハ魚肥、(フイツシユミール) 獸肉又ハ魚肉ノ屑(タンケーヂ) 獸肉ノ血粉(ブラッドミール) 鳥糞、鶏糞。配合肥料ハ八―八―四、九―十一―七、六―九―六、四―十一―ト。化學肥料ハ十一―十五、十六―二〇。〇。〇。硫安、曹達等デアリマス。

勞働賃金等モ私達ガ最初「ユニオン」製糖會社ノ農園ニ働キマシタ頃ハ一日十一時間勞働ニ對シ一弗五十仙位デアリマシタガ、今日デハ農園勞働者ノ最低賃銀三十五仙、荷造工場ニ於テハ最低賃銀一時間五十五仙、最高ハ七十仙「トラック」運轉士ハ農園荷造工場一時間六十二仙五厘。市場行「トラック」ハ一時間一弗ヲ運轉士ニ拂ハヌト動カヌ。



御承知ノ通り昭和六、七年ノ殺人的米國經濟界ノ不況ガ一段落ヲ告ゲテ、漸ク好況ニ向ハムトスル頃カラ頭ヲ擡ゲ出シタ勞働ユニオン運動ハ驚クベキ速力ヲ以テ全國ヲ風靡シ、昭和九年ヨリ「ガダルーブ」平原モ幾度カ勞働爭議ニ悩マサレ、其ノ結果ガ前述ノ如ク加州デ一番勞銀ノ高イ所トナツタノデスガ、私共ハ終始一貫米人同業者ト一致團結シテ之ニ當ツテ参リマシタ。毎年十一月十八日ガ彼等「ユニオン」トノ契約改訂期日トナツテ居リマス。

勞働賃銀ガ數年來上騰ノ一路ヲ辿ツテ参リマシタノデ荷造工場ハ次第ニ機械化、電氣化サレ、今日私共ノ工場ハ殆ンド總テノ仕事ガ自動的デ二十五馬力ノ電氣「モーター」ニ臺以下大小電氣「モーター」二十ニ達シテ居マス。又荷造ニ必要ナル容器即チ木箱製造ノ如キモ自動的デ一時間ニ千數百ヲ造ル機械數臺ヲ備ヘテ居リマス。「トラツクター」ヤ「トラツク」ノ次第ニ大キクナリマシタノモ時代ノ推移、進運トハ申シナガラ、勞働爭議モ大ナル原因ノ一ツデアリマス。私共デハ先程申シマシタ「ロスアンゼルス」ヤ「サンフランシスコ」通ヒ八臺外

ニ收穫物ヲ荷造工場ニ送り、或ハ肥料ヤ農具ヲ運搬スル爲中小ノ「トラツク」十臺以上モ持つテ居リマス。「トラツクター」モ大小各々十五臺宛位アリマス。斯様ニ多クノ機械ノ修繕ヲ一々他ニ頼ンデ居タノデハ間ニ合ヒマセヌカラ、農場本部ニ相當設備シタ修理所ガアリマシテ鍛冶屋一人、「メカニツク」四人、大工一人ガ毎日々々忙シクヤツテ居リマス。

目下高島屋八階ニ開催中ノ日本民族發展展覽會ニ私共ノ農園ニ於ケル作業ノ大キナ寫真ガ五枚程出品サレテ居リマスカラ御序ノ節御覽下ツタヲヨリ能ク御諒解ガ出來ヤウト存ジマス。之デ私ノ經驗談ヲ終リマス。

○坂(囑託) 南サンハ耕地面積五千「エーカー」以上ニモ及ブ廣大ナ農園ヲ經營セラレ、毎日六七百人モノ人ヲ使ツテ居ラレルノデアリマス。御自分デハ申サレマセンデシタガ、私ハ嘗テアツチニ永ク居ツタコトガゴザイマシテヨク存ジテ居リマス。南サンハ毎朝四時、遅クトモ五時迄ニハ必ズ起キラレテ、自分デ只今申シマシタ廣大ナ土地ヲ見廻ラレ、ソノ日ノ仕事ニ采配ヲ振ラレルノデアリマス。又南サンハ別ニ自分ノ住宅ト言フモノヲ御持チ

ニナラズ就働人ト一緒ニ「キャンブ」生活ヲシテ居ラレルノデアリマス。南サンガ御成功ナサツタノハ勿論南サンノ御手腕ニモ依ルコトハ言フ迄モアリマセンガ、一方其ノ下ノ者ガ南サンヲ能ク「ヘルプ」シタ。コノ事モ見逃セナイ大キナ一ツノ原因デアラウト思ヒマス。ソシテソノ配下ノ人々ガ骨身ヲ惜マズ南サンヲ「ヘルプ」シタト言フコトハ、要スルニ南サント就働員トノ間ガヨク融和シ信頼シ合ツタ結果ニ外ナラナイ、ト斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス。

デハ午前ノ會議ハ之デ休ミマシテ他ノ地方ノ代表者ト一緒ニ御食事ヲ願フコトニシマス。

午後十二時三分 休憩



## 第一回在外同胞代表者會議 (二) (北米部會)

昭和十五年十一月七日 午後一時開會

○平澤(事務官) ソレデハ午前ニ引續イテ續ケテ頂キマス。最近ニ於ケル排日輿論ト申シマスカ、皆サンノ生活シテ居ラレル其ノ周圍ノ空氣ト云フヤウナモノ、御話ヲ願ツテ、ソレニ對シテドウ云フ風ニシタラ宜イト云ツタヤウナ御考モアルカト思ヒマスノデ伺ヒタイト思ヒマス。

大體全般的ナ御話ヲ竹岡サンニ御願ヒシテ、ソレカラ各地ニ異ツタ特別ノ事情ガアレバ又後デソレヲ御伺ヒシタイト思ヒマス。

○竹岡大一君(合衆國代表オレゴン州聯合日會長) 或ハ前後複雑シタ話ヲスルコトニナルカモ知レマセヌガ、先ヅ自分ノ過去四十年間ニ於ケル經驗談ヲ致シマシテ、ソレニ加ヘテ其ノ間ニ我が在留民ノ立場。ソレカラ日支事變ガ起ツテ以來ドウ云フ排日行動ガ起ツタカ、之ニ對シ

テドウ云フ風ニ捌クカト云フコトノ仕事ヲ農會ガ初メテ手ヲ着ケタノデアリマシテ、此ノ組織ニ付テ不肖私モ全カラ注イダ者デアリマス。サウシテ皆サンモ御承知デアリマセウガ、私ノ在留シテ居ル「オレゴン」州ノ「ボートランド」ト云フ港ハ恐ラク米國ニ於テ最も日本人ノ氣受ケノ良イ所デゴザイマシテ、從ツテ排日土地法ト云フ様ナモノガ出來タノモ「オレゴン」州ガ一番最後デアリマス。其ノ他ノ點ニ於キマシテモ「オレゴン」州ハ日本及日本人ニ向ツテ常ニ好意ヲ示シテ居タノデアリマス。處ガ一九二四年ニアノ排日移民法ガ出來マシテ其ノ翌年デアリマシタ。各地カラ排日ノ氣勢ガアフリ立ツテ來ル。其ノ時或ル製材所ニ日本人ガ三十五人程仕事ヲ始メルコトニナツタ、其ノ製材所ニ於テ日本人放逐事件ト云フノガ起リマシタ。ソレハ一九二五年デアリマシテ、米國ニ於テ最も大キナ日本人放逐事件トシテ當時世界人ノ耳目ヲ聳動シタノデアリマス。其ノ事件ニ付キマシテ不肖私ハドウシテモ放逐サレタ儘デ黙スル譯ニ行カナイト考ヘマシテ、日本人會ヲ主體トシテ色々ノ方法ヲ取りマシテ逸ニ之ヲ法廷ニ持ち出シタノデアリマス。其ノナリユキ

テドウ云フコトヲシタカト云フコトヲ御報告ヲ申上ゲ、更ニ進ンデ今後米國ニ對シテ政府モ我々在留民モドウ云フ仕事ヲ持ち掛ケタラ宜カラウカト云フコトヲ申述ベルコトニ致シマス。若シ御參考ニナレバ大變幸ト思フノデアリマス。

今日此處ニ申上ゲルコトハ何等材料ヲ持つテ來テ居リマセヌノデ、只私二千六百年式典ニ招カレテ、サウシテ故國ノ土ヲ踏ンデ我が祖國ガ如何ニ底力ノアル、國ヲ愛スル我が日本民族ニ依ツテ包マレテ居ルカト云フコトヲ目ノアタリ拜見シマシテ私ハ愉快ニ感ズル者デアリマス。

先ヅ私ハ四十年前ニ出稼移民トシテ「アメリカ」ニ渡リマシテ、サウシテ色々ナ勞働ニ從事シマシテ、ソレカラ「スクールボーイ」トナリ、一九一二年ニ「オレゴン」大學法科ヲ卒業致シマシテ爾來「オレゴン」州日本人會ニ關係シテイルノデアリマス。

「オレゴン」州ニ日本人農會ト云フモノヲ組織致シマシテ、サウシテ我が日本人農業者ノ間ニ此ノ日本人農會ヲ基礎トシテ各方面ニ農業ノ發展ヲ圖リ、作り上ゲタ品物

ヲ申シマス、餘リ長クナリマスカラ省キマスガ、何レニシテモ結果之ハ「フエデラル」ノ問題トシテ、在米大使館ヲ通ジテ色々ノ交渉ガ行ハレ遂ニ「フエデラルコー」トニ於テ最後ノ勝利ヲ得タノデアリマス。我々ノ側ニ勝訴ノ判決ガ下ツタ時、親日家トシテ能ク努メテ呉レテ居ツタ「O.M.ブラーグ」ト云フ人ガ居リマシタガ、此ノ人ハ當時遊蕩子爵ト特ニ親密ナ關係ニアツタ人デ、アノ裁判事件ガ、我々日本人ノ勝訴ニナツタ時、態々遊蕩子爵ニ祝電ヲ送ツテ喜ンデ呉レタト云フヤウナコトモアリマシタ。兎ニ角アノ當時ヲ想ヒ起シマス、實ニ恨骨儲ニ徹スルモノガアルノデアリマス。

サウシテ日支事變ガ起リマシテ、丁度支那人ガ「オレゴン州」ニ四千人程在留シテ居リマスガ、ソノ大半ハ「ボートランド」デ料理店ヲヤツテ居リマス。料理店ハ支那料理デアリマスガ、其ノ外ハ殆ド賭博業デアリマス。日支事變ガ起ツタ時ニ在留支那人、勿論「ボートランド」ニハ華僑ノ支那人ガ多イノデアリマシテ、之等ガ大ナル運動ヲ起シテ、米人ト相提携シテ排日宣傳ヲドンノ始メテ來ル。サウシテ名譽領事ヲ廢シテ正式ニ領事ヲ置キ、



副領事ヲ二人殖シ、書記生ヲ三人置ク、斯ウ云フ諒解ガ出來マシテ、ソレカラ後凡ユル角度カラ日本及我々在留民ニ向ツテ排日的行動ヲ始メタノデアリマス。サウシテ丁度其ノ時米人側ニ於テ「コンモン・ウエルス・フエデレーション」ト言フ——之ハ共產主義的思想ヲ多分ニ含シテ居ル——大キナ團體ガ出來テ二年ノ歴史ヲ持ツテ居ツタ時デアリマス。此ノ團體ハ「オレゴン」州デ約四萬人ノ會員ヲ持テ大學ノ教授連ナドモ入ツテ居ル有力ナ會デアリマスガ、之ガ支那人ト一緒ニナツテ排日思想ヲ煽リ、排日運動ニ狂奔シタノデアリマス。先程中山サンガ紐育地方ノ事情ニ付イテ申サレマシタガ、恐ラク日支事變ガ起ツテ以來本質的ニ排日運動ノ激シカツタ所ハ「ニューヨーク」ニ續イテ「ボートランド」デアリマセウ。言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ「ボートランド」ハ日支事變ニ依ツテ此ノ排日運動ガ起リ、我々ガ之ニ向ツテ何ントカシナケレバナラヌト云フ立場ニ置カレタノデアリマシテ、ソコデ一番ノ貧乏籤ヲ引イタ譯デアリマス。之ハ話ガ色々ノ方面ニ脱線シマスケレドモ、先ヅサウ云フコトカラシテ、支那人ハ領事館ヲ本格的ニ拵ヘテ堂々ト米

人側ト相提携シテ運動ヲヤルト云フコトニ付テ、無論之ニ先立ツテ私共モ時局委員會ト云フモノヲ組織シマシテ不肖私ガ其ノ委員長ニ舉ゲラレ、出來ルダケノコトハ在留民ト共々盡シタノデアリマスガ、先ヅコノ「コンモン・ウエルス・フエデレーション」ノ働キ、支那人側ノ働キニ向ツテドウ云フ方法ヲ執ツタカト云フト、「パンフレット」ヲ刷ツテサウシテ米人側ノ方ニ之ヲ配ツタノデアリマス。所ガモウ頭カラ我々ノ出シタ出版物ハ誰モ讀ンデ呉レナイ。讀ンデ呉レナクテモ構ハズ出シテ凡ユル方面ニ送ル。サウシテ各地ニ講演會ヲ開イテ討論ヲヤルト云フヤウナコトヲヤリマシタガ、之モ餘リ我々ノ開イタ時ニハ聽キニ來テ呉レナイ。聽キニ來テ呉レナクテモ努メテソレヲヤル。コンナ状態デ丁度「パンフレット」ヲ八回刷リマシタガ、最後ニ刷リマシタ「パンフレット」ハ相當効キ目ガアツタト思ヒマス。之ハ以前ノ七回ノ經驗ニ鑑ミテ全然我々ガ出シタト云フ名目ニシナイデ、有力ナ米人宗教家ノ名義デ出シタノデアリマス。最初三萬部刷リマシテ、ソレヲ各地ノ大學「ハイスカール」ハ勿論ノコト、三萬部ヲ「オレゴン」州及近隣ノ「ステート」ニ

モ送ツタノデアリマス。後ニ「ニューヨーク」州カラモ其ノ「パンフレット」ヲ送ツテ呉レト云フヤウナコトモアリマシテ、四五百送ツタコトモアリマス。二萬部刷増ヲシマシテ合計五萬部刷ツタノデアリマス。斯ウ云フコトニ依ツテ日本ノ立場ガ多少米人間ニ分ツテ來タノデアリマスガ、如何ニシテモ支那人ハ「ニューヨーク」ニ續イテ「ヘッドクォーター」ヲ「ボートランド」ニ置イテ居リマスカラ全然彼等ノ運動ハ絶エズ續ケテ居ル。サウシテ昨年ノ三月ニ日本ノ船ガ這入ツテ來テ之ガ屑鐵ヲ積ム爲ニ「ボートランド」ニ這入ツテ來マシタ。然ルニ支那人ノ「ビケット」ニ依ツテ積込ガ出來ナイ。一週間バカリ睨ミ合フ状態ニナツテ居ツタ。其ノ後二杯ノ船ガ這入ツテ來タ。之モ日本ニ屑鐵ヲ積ンデ行クノダガ、後ノ二杯ハ外國船デアリマシタガ、日本ガ「チャーター」シテ居リマシタノデ、結局日本ニ向フ屑鐵ガ妨ゲラレテ荷積ガ出來ナイ。此ノ彼等ノ運動タルヤ迎モ筆ニモ言葉ニモ盡スコトガ出來ナイノデアリマス。何故カト申シマス「コンモンウエルス・フエデレーション」ノ連中ガ約千五百名位、之ハ米國人デスヨ、斯ウ云フ連中ガ出テ來

テ所謂同情的ノ運動ヲスル。支那人ガ八百人バカリ腕ノ揃ツタ者ガ出テ來ル。サウシテ二百人バカリノ學校生徒、年ハ六七歳カラ十四五歳ノ者ヲ第一線ニ立テ、其ノ次ニ腕ノ利クヤウナ支那人四五百人宛皆取巻クノデス。其ノ後ニ米人ノ同情者ガ立ツト云フヤウナ具合ニシテ、仲仕ガ荷物ヲ積ム爲ニ、二十人三十人隊ヲ組ンデヤルノダガ「ビケット・ライン」ガアル爲ニ妨ゲラレテ仕事ガ出來ナイ。彼等ノ間ニ默契ガアルカラ仲仕ハ仕事ヲシタクナイ、共產主義的ノ頭ヲ持ツテ居ルカラ、形式ニ於テハ仕事ニ行ク恰好ヲスルガ「ビケット・ライン」ガアルカラ行クコトガ出來ナイ。四日モ五日モ十日モ出タリ這入ツタリシテ何ントモ方法ガ付カナイ。船主側デハ日々何千弗ト云フ損ヲシナケレバナラヌ。ソレヲ新聞雜誌デ報導サレル。サウナルト我々時局委員會ノ者ノ出入迄寫眞ヲ撮ル。又支那人ノ側ノ寫眞モ出テ、我々ガ色々運動シテ居ルコトガ事々シク報導サレルノデアリマスカラ、益々人心ヲ煽リ立テルト云フコトニナリマシテ、ソレデ三週間モ經ツテ我々ハ警察ニ願ツテ、アノ「ビケット・ライン」ヲ取去ルヤウニト云フコトヲ交渉スル、處ガ警察



ハ皆サン御承知ノヤウニ市長ニ依ツテ動クノデアリマシテ、市長へ交渉ヲ始メル。市長モ労働者ノ方ノ歡心ヲ買ハナケレバナラヌ。支那人カラ相當ノ運動ガ進ンデ居ルカラ市長モ何ントモ方法ヲ取ラナイ。仕方ガナイカラシテ私共ハ領事館ト相携ヘテ、丁度又ソノ時ハ運悪ク領事不在デ、領事代理ノ書記生ヲ伴ツテサウシテ知事ニ交渉ヲ始メタノデス。知事モ「シテイ・ガバメント」ガ何ントモ言フテ來ナイノデ「ステート・ガバーナント」トシテ手ヲ出スコトガ出來ナイト云フノデ何ントモ要領得ナイ。ケレドモ抑々此ノ事件タルヤ米國ニ在ル日本ノ商人ガ品物ヲ買ツテ、サウシテ米國ノ品物ヲ賣ツタモノハ買フタ者ニ渡ス。買ツタ者ハ賣ツタ者カラ受取ル。此ノ商品受ケ渡シノ妨ヲシテ居ル者ハ誰デアルカ。第三國ノ外國人デアル。ダカラシテ之ハ知事ノ權能ニ依ツテ方法ヲ取ツテ買ハナケレバナツヌト云フコトヲ迫ツタノデアリマス。處ガ知事曰ク之ハ外交問題ニ關スルカラ一ツ日本ノ大使館ヲ通ジテ國務省ニ交渉シタラ宜カラウ。國務省カラノ命令ニシテ買ヒタイ。ソレニ依ツテ自分ハ動クト云フ約束ヲシテ呉レタ。ソレガドンノ新聞紙上ニ傳ヘ

ラレテ來テ、ソコデ一世ノ支那人、年寄ノ支那人ハ此ノ報導ニヘコタレテ、アノ「ビケット」ヲ癡サウヂヤナイカト云ツタヤウナ氣持ガ出テ來タ。處ガ第二世ノ支那人達ハ我々ハ「アメリカ」ニ生レテ「アメリカ」市民デアル。「アメリカ」人トシテドウシテモ「ビケット」ヲ續ケル。斯ウ云ツテ今度ハ二世ノ支那人ガ一世ノ支那人ニ向ツテ、ソナナコトデヘコタレテ逃ゲルヤウナコトガアツタラ、承知シナイト云フノデ腕力沙汰ニ訴ヘテ、一世支那人ヲ苦シメルト云フコトガアリマシタノデ、此處ニ於テ警察ガ動キ、知事モ調停ノ勞ヲ執ルト言フコトニナツタノデアリマス。ソシテ愈々金曜日ニ「ボートランド」港ヲ閉鎖スルト言フコトニナツタ前日、即チ水曜日ノ午後五時ニ知事ハ日本人側、支那人側及荷主側ノ代表者ヲソノ「オフヒース」ニ集メタノデアリマスガ、此ノ時ノ會議ニハ支那人側カラハ米人ノ顧問辯護士ノ外ニ支那人ガ五人、日本人側トシテハ不肖私ガ一人、荷主側ノ方カラモ二人宛參リマシテ種々協議シタノデアリマス。結局知事ハ支那人ニ向ツテ第二世ノ君達ハ「アメリカ」ニ生レテ「アメリカ」人デアルト云フコトヲ宣誓スルカ。サ

ウシテ「アメリカ」ニ忠誠ヲ盡スト云フコトヲ宣誓スルカト云フ問ヲ發シタ。勿論「アメリカ」ニ生レテ「アメリカ」人デアルカラ「アメリカ」ニ忠誠ヲ盡スモノデアル。之ダケハ宣誓スル。スルト最後ノ切札トシテ然ラバ「ボートランド」ヲ金曜日ノ朝ハ「クローズ・アツプ」スルコトニナツテ居リ、ドウシテモ話ガ付カナイ。「ボートランド」ノ市民トシテハ港ヲ「クローズ・アツプ」スルコトヲ希望スル者ハ一人モ居ナイ。唯君達ノ動キニ依ツテ已ムヲ得ズ港ヲ「クローズ」スルト云フコトニナツテ居ル。「アメリカ」ニ忠誠ヲ盡スト云フコトヲ宣誓シテ居ツタガ之ハ「アメリカ」ニ忠誠ヲ盡スト云フコトデハナイ。之ニハ「スポーツ・マン」モ詰ツテ、ソレナラバ自分達ハ主張ヲ撤回スルト云フコトニナリマシテ、其ノ爲ニ直ニ知事ハ電話ヲ掛ケテ、サウシテ漸ク肩鐵ヲ積ミ上ゲタト云フヤウナコトガアリマシテ、其ノ時ノ光景ヲ思ヒ起シテモ涙デアリマス。

一方ニ於キマシテ丁度州ノ議會ガ開カレテ居ル。此ノ州ノ議會ニハ二ツノ建議案ガ提出サレテ居タノデアリマス。一ツハ「メード・イン・ジヤパン」ト書イテアル品

物ハ州議會ノ決議ヲ以テ「オレゴン」州デハ使ハナイコトニシヨウ、州ノ議會ヲ通過サセテカラ中央議會ニ上ボスノデアリマス。ソレカラ今一ツハ軍需品「エンバーゴ」ノ建議案ガ出タノデアリマス。其ノ當時ハ「ドイツ」ニ向ツテ又「イタリー」ニ向ツテ可ナリ反對ノ聲ガ起ツテ居ル時デアルカラ日本ト云フコトヲ使ハナイデ「ドイツ」「イタリー」ヲ含メルト云フ氣持カラ何處デモ「アグレッサー」ニ對シテハ「アメリカ」ノ品物ヲヤラナイ。サウシテ「アグレッサー・カンツリー」ノ品物ハ使ハナイ。第一ニ「ジヤパニー・グード」ハ使ハナイト云フコトト日本ニ軍需品ヲ出サナイト云フ建議案ガ二ツナガラ上院ヲ通過シテ下院ニ來タ。此ノ運動ハ矢張り加州ニモ出タシ、ワシントン州ノ議會ニモ出タノデアリマス。何故同ジ案ガサウ云フ時ニ出タカト云フト先刻申上ゲタ「コンモンウェルス・フェデレーション」ガ盛ニ運動シタカラデアリマス。加州ハ三十年來ノ習慣ヲ破ツテ現在「ガバナー」ハ民主黨デアル。ソレデ副知事ノ「バタソン」ヲオレゴンニ呼ビ付ケテ我々ハ今度斯ウ云フ運動ヲ始メタ。大會ヲ開タカラ君モ一ツヤツテ來テ呉レト云フコト





デ、ワザ／＼「オレゴン」ニ副知事ノ「バトソン」ガヤ  
ツテ來テ大キナ演説會ヲ開イタ。此ノ「マスミーティン  
グ」ニ約三千二百位ノ人ガ集ツタト云フヤウナ具合デ  
結局「マスミーティン」ノ決議ハ大統領「ルーズベル  
ト」ニ向ツテ送ルシ、加州「オレゴン」、「ワシントン」  
州選出ノ上院下院兩院議員ニモ悉ク「マスミーティン」  
ノ決議文ヲ送ルト云フヤウナ運動ヲ始メタ。ソレダカラ  
日本ニ向ツテモ凡ユル角度カラ毒付イテ來タ譯デアリマ  
ス。サウシテ州議會ノ上院ハ二ツノ案ヲ通過シテ下院ニ  
廻ツテ來タ。下院ニ廻ツテ來タ時ニドウシテモ下院デハ  
喰止メナケレバイケナイト云フコトデ、ソレデ色々ノ運  
動ヲシマシタ結果、少シ話ガ長クナリマスガ、之ダケハ  
私ハ述べサセテ頂キマスガ、此ノ議會ノ光景ヲ申シマス  
ト、我々ノ方ニ同情シテ呉レテ居ル代議士ハ極ク少數ナ  
ノデアリマス。ケレドモ彼等ハ必死トナツテ盡シテ呉レ  
タ。一人ノ議員ガ演説シテ曰ク「若シ此ノ案ヲ通過シテ  
日本ニ向ツテ我ガ「オレゴン」州カラ何等軍需品ヲ送り  
出サナイ、日本ノ品物ヲ使ハナイト云フコトヲシタト假  
定シタナラバ其ノ結果ガドウデアルカ。支那ト云フ國ヲ

土臺トシテ日米ノ間ニ香シカラザルコトガ起ツタ、其ノ  
責任ハ誰ガ負フカ、我ガ「オレゴン」州ノ議會ガ負ハナ  
ケレバナラス。サウスルコトニ依ツテ「アメリカ」ガド  
レダケノ利益ヲ得ルカ」ト云ツテ懇々ト説イテ呉レタ議  
員モアリマシテ、又他ノ議員曰ク「自分ガ選出サレテ出  
テ居ル所ニ日本人ガ澤山在留シテ居ル。之等ノ日本人ハ  
色々ノ事業ニ従事シテ自分達ノ居ル町ニ貢献シテ呉レテ  
居ル。ノミナラズ彼等ハ「ロー・アバイディング・ビー  
ブル」トシテ尤モ堅實ナル業ニ服シテ居ル。若シ此ノ案  
ニ對シテ自分ガ賛成シマスドドウシテ自分ガ歸ツテアノ  
日本人ニ會フコトガ出來ルカ」ト云ツテ演説シテ呉レル  
者モアリマシタ。其ノ結果、斯ウ云フ演説ヲ五人ガヤツ  
テ呉レマシテ結局下院デ三票ノ差ヲ以テ私共ハ喰止メル  
コトガ出來タノデアリマス。私共ハ喰止メノ爲ニ凡ユル  
工作ヲシタノデアリマス。今其ノ涙ト膏トヲ絞ツタコト  
ヲ思ヒ起シマシテ、無論商業會議所ガ中心ニナツテ盡シ  
テ呉レタ結果デモアリマスガ、併シ我々在留民ニ課セラ  
レタアノ手枷、足枷ヲドウカシテ取除イタコトヲ今思ヒ  
出スダケデモ身ノ毛ガヨダツ感じガ致シマス。サウ云フ

ヤウナコトカラシテ此ノ「ボートランド」ガ日支事變ニ  
付テ貧乏籤ヲ引イタ立場ニ置カレテ、ケレドモ我々ハ屈  
セツ掩ズ一方ニ於テ國防献金トカ恤兵金其ノ他慰問品ト  
云ツタヤウナモノヲ時局委員會ハ募リ、サウシテ米人ニ  
對シテ出來ルダケノコトヲシナケレバナラヌト云フコト  
ハ數少イ我々同胞デアリマスガ、結束シマシタカラドウ  
ナリ斯ウナリ潜リ抜ケルコトガ出來タノデアリマス。サ  
ウシテ此ノ結果多少我々ノ立場ガ認メラレルヤウニナツ  
テ來タ。新聞社ノ方ニ私共近寄ツテ行ツテドウカシテ我  
ガ在留日本人ガ「オレゴン」州ニ對シテ盡シテ居ル今迄  
ノ功績ヲ紹介シテ費ヒタイト云フヤウニ工作シタノデア  
リマス。之ハ一年餘リノ時日ヲ掛ケタノデアリマスガ  
抑々「オレゴン」州民ハ百十萬デアリマスガ、「オレゴ  
ン」州ニ於テ「ボートサイド」ハ二百五十萬ノ人口ヲ抱  
擁スル意味ニ於テ港ガ置イテアル。ソレハ今申シマス百  
十萬ノ「オレゴン」州ト其ノ他ノ州ニ我々ノ日本人ノ力  
ノ効果ヲ知ラシテヤルベク、詰リ「ボートサイド」ヲ發  
展サスノニハ東洋貿易ヲ相手トシナケレバ「ボートサイ  
ド」ノ港ハ發展出來ナイト云フコトヲ彼等ニ教ヘタノデ

アリマス。何故ナラバ「オレゴン」州ハ材木ト麥、羊毛、  
斯フ云フ三種類ノ產物デアリマシテ、之ハ外ノ方面ニ賣  
ルコトガ出來ズシテ總テ東洋貿易ニ頼ツテ居ルノデアリ  
マス。ダカラシテ若シ日米ノ間ニ事ガ起ルト云フコトガ  
アツタ時ニ「オレゴン」州ハドウスルコトモ出來ナイ。  
ダカラドウシテモ日米間ノ親善ヲ圖ル必要ガアルト云フ  
コトヲ感じテ來テ、之ヲ感じサス爲ニ我々ハ色々ノ工作  
ヲシテ其ノ爲ニ商業會議所モ動キ、新聞社モ動キ、彼等  
ノ氣持モダン／＼暖カクナツテ來テ、我々ノ頼ンダ「オ  
レゴン」州ニ於ケル日本人ノ貢獻ヲ廣ク紹介シテ呉レル  
ト言フコトニナツテ色々ナ調査ヲシタノデアリマス。  
現在「オレゴン」州ニハ約六千人ノ同胞ガ在留シテ居  
リマス。其ノ中デ六五%ガ農業ニ従事シテ居ルノデアリ  
マシテ、三%ガ「ボートランド」其ノ他ノ小サイ町ニ住  
ンデ居リマス。ソシテ其ノ残りガ各種ノ労働ニ従事シテ  
居ルノデアリマス。農產物ノ昨年ノ產額ガ約三百七十萬  
弗、六千ノ六五%ノ農業者ニ依ツテ作り上ゲタモノガ三  
百七十萬弗、斯ウ云フコトヲズツト記録ニ上ゲテサウシ  
テ新聞ニ出シタノデアリマシテ、新聞社ガ一頁ニ亙ツテ



斯ウ云フ日本ノ寫眞ヲ入レテ(新聞ヲ披見ス)此ノ記事ヲ掲ゲタノデアリマス。私共ハ先ヅ此ノ東京ノ米國大使館ヲ始メ關係方面ニ送ルト共ニ「アメリカ」内ノ目星イ所ハ殘サズ送ルト云フヤウナコトヲシマシタ結果、非常ニ好結果ヲ得マシテ到ル所カラ「コンメント」ヲ受ケタコトデアリマス。斯ウ云フコトヲキツカケニドウシテモ新聞社ノ氣持ヲ和ラゲル必要ガアルト云ツタヤウナコトカラ、マア今年三月三日雜祭ニ之ヲ利用シテ活花トカ色々ノコトヲシテ、サウシテ日本ノ良イ習慣ヲ米人間ニ知ラセルト云フコト、同時ニ、各病院ニ惱ンデ居ル病人ニ心バカリノ贈物ヲスル。病人ヲ慰メルト云フ意味ニ於テ之ヲ日本ニ於テハ三月三日ノ御雜祭ニハ女子ヲ持ツテ居ル家ニ雜ヲ飾ル。同時ニ此ノ習慣ニ依ツテ親ガ如何ニ子供ヲ愛スルト云フコトノ意味ヲ現ス氣持デアル、ダカラ病氣ノ人ニ二世ノ子供カラ送物ヲスル。之ヲ新聞雜誌デ傳ヘテ貰ツテ之ガ相當ノ效果ヲ舉ゲテ、日本ハ今迄我々ガ凡ユル角度カラ責メタケレドモ、在留民トシテハ斯ウ云フコトヲ「ステート」ニ向ツテシテ呉レタ。之ダケノ効ヲ現ハシテ居ル。サウシテ色々ノ催事ニ依ツテ病者

ヲ慰メルト云フ習慣ガアル。斯ウ云フ祭ナドノ日トシテヤツテ呉レルト云フコトハ日本ハナカノタノモシイ國民デアルト云フ氣持ヲミナギラシタノデ大分氣持ガ轉換シテ來タノデアリマス。ソレカラ今年ノ九月初旬「レバレー」ヲ中心トシテ全米ノ日系市民ノ大會ヲ開キマシテ之ガ本年ガ十二回目ノ大會デアリマスガ「エブリ・ウィー・イヤーズ」ニヤルノデ「ボートランド」デ六回目ニナツテ居リマス。「オレゴン」州在留民ノ二世ハ少クトモ八年ハ遅レテ居ル。「オレゴン」州ノ二世ノ年ガ遅レテ居ル。ダカラマダ幹部トシテ立ツテ居ルノモ若クテ餘リ經驗ガナイ。ダカラ第一世ノ我々ガ後ニ廻ツテ手助けヲスルト云フ立場カラドウシテモ之ヲ助ケナケレバナラヌ。今年度ノ日系市民ノ大會ハ大成功ニ終ルヤウニシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘマシテ、先ヅ大會ガ開カレルニ先立ツテ各新聞記者ヲ集メ、サウシテA.P.通信、U.P.通信員ヲ招キマシテ、所謂スキ燒「パーティー」ヲ開イテ、サウシテ記者ヲ集メテ懇談會ヲ開イテ、今度「ボートランド」デ日系市民大會ガ開カレル此ノ市民協會ハドウ云フ目的ニ向ツテ進ムモノデアルカト云フコトヲ彼

等ニチヤント認識サシタノデアリマス。其ノコトニ依ツテ彼等ニ二世ト言フモノヲ克ク認識シタ。ダカラ其ノ大會ヲ開ク時期ニハ新聞紙ハ悉ク好イ論說ヲ掲ゲ、社説ノミナラズ色々ノ報導ヲシテ呉レルト云フ風ニ種々便宜ヲ計ツテ呉レタノデアリマス。又此ノ大會中ニ於テハ色々ノ決議モシ、協議モシタ。サウ云フ時ニハ各大學ノ教授モ頼ンデサウシテ講演ヲ聽クト云フヤウナコトヲシマシテ、之等ヲ悉クA.P.、U.P.デ報導スルト云フヤウナコトヲシタノデアリマス。之等ノ記事ハ私ハ參考ノ爲ニ持ツテ來テ居リマス。實ハ私ハ斯ウ云フ仕事ヲ先ヅ外務大臣ニ報告シテ、サウシテ將來ニ於ケル私共ノ希望ヲ述べテ置キタイト云フ氣持デアリマス。モノヲ持ツテ來テ居ルノデアリマスケレドモ、本日此處ニ斯ウ云フ機會ヲ得マシタカラシテ述べルノデアリマスガ、マアサウ云フ具合デ「ラチオ放送」ヲNBCヲ通ジテヤリマシタ。ソレヲ遠ク「ニューヨーク」デ聽カレテ、多分米國ノ二十四人ノ評論家ノ一人デアル「レーズ・アダミツク」ハ日系市民ガ大會ヲ開イテ斯ウ云フ決議ヲシタト云フコトヲ聽イテ之ニ興味ヲ以テ懸々「ニューヨーク」カラ「ボートラ

ンド」ニヤツテ來テ、サウシテ能ク事情ヲ聽カシテ呉ルト云フコトデアリマシタ。多分十一月號ノ米國ノ優秀ナ雜誌ニ出スコトデアリマセウ。市民大會ノ模様ハ高島屋ニアノ當時ノ寫眞ガ陳列シテアリマス。其ノ寫眞ヲ見テ頂ケバ彼等ノ動キガドノ位デアツタカト云フコトヲ見ルコトガ出來マス。サウ云フヤウナ具合デ丁度放送シマシタ時ニ荒木前文部大臣閣下ニ放送ガ聽ヘタノデアリマセウ。日曜ノ夕方放送シマシタガ、月曜ニハ荒木大將ノ方カラ意見トシテ新聞紙ニ發表サレテ居リマシタガ、斯ウ云フヤウナコトモ新聞紙ニ載ツテ居リマス。ト云フヤウナコトデ、何レニシテモ市民協會ノ大會ハ皆サンニ御報告申上ゲマス。

彼等ガ協議中ニ於テ我々「アメリカ」ニ生レテ「アメリカ」ノ市民トシテ憲法ガ保護シテ呉レル所ノ「アメリカ」ニ向ツテ忠誠ヲ盡スト云フコトヲ決議スル、所ガ「アメリカ」ハ我々ノ「グループ」ヲ公平ニ待遇シテ呉レルデアラウカドウカ之ヲ懸ヘテ居ルノデアリマス。斯ウ云フコトニ依ツテ各新聞社ハ二世ト云フコトニ對シテ頗ル關心ヲ持チ、同時ニ公平ナル彼等ノ申分ヲ立テ、ヤラナ



ケレバナラヌト云フコトヲ報導シタノデアリマス。

ソレカラ話ガ前後シマスガ、同胞ガ「オレゴン」州ニ對シテ努力シテ居ル。詰リ大ナル貢獻ヲシテ居ルト云フコトヲ新聞ニ出ス。其ノ新聞記者曰ク「斯ウ云フコトガ今迄全然米人間ニ知ラレナカツタ。之ヲ機會ニ日本人ガ加州ニ於テモ大キナ農業ヲシテ居ル。其ノ他ノ點ニ於テ十分貢獻シテ居ルカラ全米的ニ在留日本人ハドウ云フ貢獻ヲシテ居ルカト云フコトヲ一ツ調査シテ、サウシテソレヲ「イブニングポスト」ト云ツタヤウナモノニ出スト云フコトニシタラドウカ、之ニハ我々ハ全力ヲ盡シテ援助シテヤル、」斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマシタ。之ニモ相當ノ費用ヲ要シマスガドウカシテヤツテ見タイト思ツテ居リマス。

丁度今年ノ夏デシタガ中山サンガ申サレマシタ高峯博士、野口博士、其ノ他農業ナドニ付テ米國ニ向ツテ貢獻シテ居ルコトヲNBCヲ通ジテ放送サレタコトガアリマシタガ、斯ウ云フ具合ニ日本人ガ我々ガ氣付カナイ所ニ努力シタ人ガアツタトカ、之ヲ一ツノ書類ニシテ出シタナラバモウ少シハ日本人ニ對スル認識ガ現ハレテ來ルデ

年ノ十二月ニナツテ五「ステート」ノ「リバブリカン」ガ同ジ運動ノ下ニ結束シテ、サウシテ今年ノ五月ノ時ニソレニ進マウト云フ決議ヲシタ。昨年ノ五月五「ステート」ノ「リバブリカン」ガ集ツテ叫ンダ。斯ウ云フコトヲ考ヘマシテモ如何ニ「オレゴン」ハ西北部ノ五「ステート」ヲ纏メテ日本ニ向ツテ好意ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ想像スルコトガ出來ルノデアリマス。ソノ氣持デ今日迄續ケテ來テ居ルト思ヒマス。

外ニモ色々申上ゲタイコトガアリマスガ、先ヅ其ノ概略ハ只今申上ゲタ通りデアリマシテ、要スルニ現狀ガ尙五年モ六年モ續ク譯ハナイ。必ズ日米親善ノ動キガ起ツテ來ルト思フ。ソレヲ起スコトハ何處ガ一番容易カト申シマスレバ無論「ポートランド」デアルト我々ハ確信シテ居リマス。何故ナラバ今負ケテ居リマスガ「マツクナレ」副大統領候補ハ上院デ重キヲ爲シテ居ツテ、而カモ自分ノ現在ノ立場トシテハドウシテモ日米ハ相提携シナケレバナラヌト云フコトヲ約束シテ呉レテ居ルノデアリマス。假令副大統領ニナルコトガ出來ナカツタニシテモ從前モサウデアツタ、將來ニ於テモ日本ニ向ツテ好意

アラウト云フコトヲ私共ハ交渉ヲ受ケテ居ルノデアリマス。我々ハ此ノ機ヲ通サズドウカ其ノ親日的ナ行動、又日本ノ立場ヲ能ク示スダケノコトヲシナケレバナラヌト云フコトノ氣持ヲ持ツノデアリマシテ、ソレガ元トナツテ昨年ノ八月五日デアリマシタ「オレゴン」州内ニ於ケル「リバブリカン・パーティー」ガ矢張り大會ヲ開イテ先ヅ我々「リバブリカン」トシテ日米條約ヲ改訂シテ、サウシテ從前ニ優ル親善ヲ圖ル必要ガアル。サウスルコトニ依ツテ日米ノ貿易ヲ進メヨウデハナイカト云フ決議ヲシタノデアリマシテ、丁度其ノ時「リバブリカン」ノ幹部カラノ發表ニ依リマス、歐洲ニ於テアノ動亂ガ起ツテ居ル。我々「アメリカ」ガ歐洲ニ向ツテ軍需品ヲ供給スル。之ニ依ツテ「アメリカ」ガ隨分儲カルカモ知レマセヌ。軍需品ハ東部諸州ニ出來ルノデアツテ、我ガ西沿岸ニ於テハ何處モ歐洲戰爭ニ依ツテ儲カル所ハナイ。唯西沿岸ノ者ガ儲カル爲ニハ日米貿易ヲ盛ニスルヨリ外ハナイ。少クトモ西沿岸ニ出來タモノハ日本ニ買ツテ貰フ。日本品ヲ我々ハ使フト云フコトヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトカラシテ決議ヲスル。其ノ決議ヲ昨

ヲ持ツテ居ル。「アメリカ」ト云フ國ハ皆サンモ御承知ノ通り各「ステート」ニ依ツテ其ノ氣持ヲ現ハスコトガ出來ル。ソレニ「フェデラル・ガバメント」デ斯ウデアルト云ツテモ「ステート」トシテハ別ニ「ガバメント」ヲ持ツテ居ルカラ大體ニ於テ「フェデラル・ガバメント」ニハ從ツテ行カナケレバナラヌガ、我々ノ氣持ヲ正シク現スト云フコトニ州議ガアレバ大統領ガ如何ニシヨウト思ツテモ出來ナイノデ、工作ヲヤツテ行ク上ニ其ノ端緒ヲ開ク所ハ「オレゴン」州デアルト信ズルノデアリマス。

更ニ附加ヘテ申シマス、全米ノ者ノ此ノ氣持ヲドウシテ轉換シテ良クシテ行カウカト云ヘバ各日本人會ヤ或ハ諸地方ニ時局委員會ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマスカラ、之ヲ通ジテ我々ハ結束シテ、唯我ガ祖國ノ政府ニタヨルバカリデナク結束シテ、在留民ト故國政府ト力ヲ併セテサウシテ衆人間ニ向ツテ極力活動ヲ始メナケレバナラヌト思ヒマス。サウスルコトニ依ツテ我々ハ新シイ途ガ開カレテ來ルト思ヒマス。日米ノ間ニ朗カニ動イテ行クコトガ出來ハシナイカト思ヒマス。之ガ何ヨリノ



途デアルト思フノデアリマス。

○坂(囑託) ドウモ有難クウゴザイマシタ。今竹岡サンカラ御話ゴザイマシタヤウニ、先年ノ滿洲事變ノ時モサウデゴザイマシタガ、殊ニ今度ノ支那事變ガ起リマシテカラト云フモノハ、「アメリカ」ニ於テモ、「カナダ」ニ於テモ又「ハワイ」ニ於キマシテモ、民衆ノ同情ハ支那ノ一方ニ傾倒スルト言フ、状態デアリマシテ、皆サンハソノ中ニ在ツテ直接色々御苦勞ヲサツテ居ルノデアリマス。皆サンハサウシタ色々御苦勞ヲサレナガラ、一方デ只今伺ヒマシタヤウニ何百萬圓ノ恤兵金、幾萬個ノ慰問品ヲ此方ニ送ラレ、更ニ其ノ上ニ只今御話ノ時局對策委員會ト云フヤウナモノヲ、日本人會ガ主トナツテ作ラレマシテ、米人或ハ「カナダ」人ノ輿論ノ鎮靜ト云フコトニ御盡シ下ツテ居ルノデアリマス。只今ノお話ハ「ボートランド」方面ノコトデアリマシタガ、之ハ獨リ「ボートランド」ダケデハナク、「カナダ」ニシテモ「ハワイ」ニシマシテモ、又「サンフランシスコ」、「ロスアンゼルス」、「ニニヨーク」何所モ同様デアリマシテ、在留同胞ハ祖國ノ爲ニ非常ナ御奉公ヲサレテイルノデア

リマス。此ノ機會ニ皆サンノサウシタ各地方々々ノ詳細事情ヲ御伺ヒシタイノデアリマスガ、何ンシロ今日ハ時間ガ餘リナイノデ、時局ニ對スル在留邦人ノ對策ト云フコトハ竹岡サンカラ伺ツタダケニ止メマシテ、コレカラ次ノ問題ニ移リタイト存ジマス。

○平澤(事務官) 政府ニ對スル皆サンノ希望ト云フモノヲ御聽キスルニ先立チ、一ツ説明的ニ前觸レ致シタイト思ヒマス。「アメリカ」ガ極東カラ引上ゲマシタリ、或ハ歐洲情勢ガ逼迫致シマシテ太平洋ノ浪ガ荒クナリマシテ、色々海外ニ於ケル皆サンノ氣持モ動搖スルコトガアリハシナイカト心配シテ居リマス。サウ云フヤウナ情勢ニ於テ、最近皆サンガドウ云フ氣持デ外ニ居ラレルカ。サウ云フ氣持カラ政府ニ對シテ斯ウ云フ希望ガアルト云ツタヤウナコト、更ニ大キク言ヘバモツト政策的ニ斯ウ云フコトヲシテ欲シイト云フ問題デモ宜シウゴザイマス。又更ニ細ク分ケマスレバ現在在米同胞ガ直面シテ居ル經濟發展策、之ヲドウシテ行クカ。初代同胞ガ過去數十年ニ亘ツテ總ニル方面ニ築キ上ゲタ其ノ地盤ヲドウ云フ風ニシテ次代ニ遺スカ。又從來問題ニナツテ居ル金融機關

之ヲドウ云フヤウニシタラ宜イカト云フヤウナ問題、更ニ在留同胞ノ中心機關トナルベキ日本人會等ノ強化問題、ソレカラ次代、三代ノ同胞ノ教育、結婚、就職ノ問題等ニ付テ、我々ニ對シテ斯ウ云フ方向デヤツテ貰ヒタイ。斯ウ云フ點ニ政府ハ注意ガ欠ケテ居ツタ。斯ウ云フコトヲスレバ宜イト云フコトガアレバ喜ンデ伺ツテ參考ニシタイト思ツテ居リマス。

我々ガ仕事ヲドウ云フ風ニシテ居リマスカザツト申上ゲマスト御承知ノ通り各地ニ領事館ガゴザイマシテ、ソレガ皆サント直接接觸シ、我々ノ所ニ色々報告シテ參ルノデアリマスガ、外務省デ「アメリカ」、「カナダ」ノ問題ヲ取扱ツテ居リマスノハ通商局ノ第五課ト亞米利加局ノ第一課デアリマシテ、其ノ分ケ方ハ亞米利加局ノ方ハ大體政治問題。通商局ノ方ハ經濟問題。然シ政治、經濟ト現在デハ劃然ト分ケルコトガ出來マセヌカラ殆ド仕事ノ上カラハ一ツニナツテ居リマス。形式上ハ分レテ居リマスガ、主トシテ在米同胞ノ問題ハ私共ノ方デ扱ツテ居リマス。ソコデ此ノ問題ハ今「ロスアンゼルス」ニ居ラレマス。福島領事ガ在米同胞ニ世問題ニ付テ關心ヲ持ク

レ、向フデ生レマシタ方ト結婚サレル程ノ二世問題ニ對スル徹底シタ體驗ヲ持ツテ居ラレルノデアリマス。ソレガ亞米利加局ノ事務官ヲシテ居ラレル時ニ、在米同胞ノ發展策、二世問題ヲ研究シ、更ニソレニ拍車ヲ掛ケテ研究セラレタノデアリマスガ、ソノ後ヤツテ居リマス我々モ是非此ノ仕事ハ眞劍ニヤラネバナラヌト思ヒマシテ、從來片手間々々色々ノ仕事ヲシテ居リマシタノ方分ケテ、斯ウ云フ問題ダケヲ専門ニ扱ツテ頂ク方ヲト云フコトカラ、特ニ坂サンニ亞米利加局ノ一課ニ這入ツテ頂キマシテ、ソレデ坂サント他ニモウ二人、サウ云フ陣容デ我々ト相談シテ特別ニ在米同胞並ニ二世問題ヲ扱ツテ居ルノデアリマス。我々モ眞劍デアリマスカラ皆サンノ御希望モソレニ付テ十分ノ關心ヲ以テ研究スルコトガ出來ル積リデアリマス。ドウカサウ云フ積リデ腹藏ナク仰シヤツテ頂キタイト思ヒマス。

先程カラ段々御希望ガ出テ居リマシタヤウニ、領事ヲモウ少シ長ク置イテ親シマセルト云ツタヤウナ問題、之ハ前カラ言ハレテ居ル問題デ、其ノ通りデアリマス。外ニ色々トアルト思ヒマスガ遺憾ナガラ餘リ時間ガゴザ



イマセヌノデ、モウ三十分カソコラノ間ニ纏メテ御話ヲ願ヒバ結構ダト思ヒマス。御遠慮ナク仰シヤツテ頂キタイト思ヒマス。

○本重和助君(布哇代表) 領事ヲ長ク置イテ頂イテソノ地方ノ在留民ト親ンデヤツテ頂クト云フコトハ之ハ「アメリカ」モ「カナダ」モ共通ダウト思ヒマスガ、殊ニ「ハワイ」デハ困ツテ居リマス。一年位居ラレテ領事サンガ代ラレル。私ハ此ノ三月ニ「ホノルル」カラ歸リマシテ亞米利加局長ノ吉澤サント通商局長ノ山本サンニ歸ルト早速御願ヒシテ置イタノデスガ、ソレデモ其ノ話ガマダ大臣ニ通ジナイ中ニモウ代ツタノデスカラ……。

○奥田平次君(合衆國代表) 私ノ意見ヲ申上ゲマシテ若シ變ツタ御意見ガゴザイマシタラ言ツテ頂クコトニシタラ一番簡單ダト思ヒマス。

大體現在ノ在留邦人ハ色々ノ問題カラシテ自分ノ問題ハ自分デ片附ケルコトニ力メテ居ル。第二世ノ問題デモ人サンニ御願ヒシテモ埒ガ明カナイ。日本人會ト云フ團體ヲ中心トシテ色々ノ研究材料ヲ作ツテヤツテ居ル。或ハ教育ノ問題ニ付テモ「シヤトル」ハ始メ四十一年以前カラ

設ケラレテ、今日デハ一時ハ一ヶ所ニ集メテ居ツタガ千五百人位居リマシタ。今ハ八百人位デ二十五人先生ガ居ル。又教科書問題デモ一時「ハワイ」デ日本語學校ノ教育ハイケナイト云フ問題ガアリマシテ、從ツテソレガ影響シテ「カルホルニヤ」デモ又私共ノ方デモ自分達デ「アメリカ」デ都合ノヨイヤウナ教科書ヲ作ツテ用ヒテ居リマシタ。處ガ、ソノ後試訴シテ結果合衆國ノ大審院ガ、ドンナ教科書ヲ用フノモソノ學校ノ自由デアルト言フ様ナ判決ヲ下シマシタノデ、今デハ極メテ自由ニ教育シテ居リマス。此ノ學校ニ對シテ日本カラ教育者ヲ送ツテ頂クコトガ出來レバ結構デアリマスガ、ソレハ移民法デ止メラレテイテドウニモナリマセン。ソレデ、ソノ對策トシテ「カルホルニヤ」デハ各學校ガ申合ハセテ費用ヲ出シ合ツテ東京市ノ教育主事ノ方ヲ招イテ講習會ナドヲ開イテ居リマス。第二世ハドン／＼大クナツテ參リマス。ソレデ結婚問題ガ問題ニナツテ居リマスガ、幾ラ女子ガ殖ヘテモ日本デ結婚ノ口ヲ探シテ貰フコトハ出來ナイシ、結局自分カラノ運命ヲ拓イテ然ルベク結婚スルト云フコトニ落着クノヂヤナイカ。親達ガ心配シテ居

ル程「アメリカ」生ノ子供ハ心配シテイナイ。學校ニ行ツテモ「オールドミス」ノ先生ガ大ゼイ居ル。結婚シナケレバ女ノ恥、男ノ恥ト云ツタヤウナ考ハアリマセヌ。幾ツニナツテモ「ワイフ」デ慮メラレルヨリ結婚シナイ方ガ宜イ。ト云フ單純ナ考ヘ方ヲシテ居ル。親ガ心配スレバスル程……デスカラ此ノ問題モ我々ハ重大ナ問題トシテ色々喧シク言ツテ日本人會アタリデ研究モシ議論スルガ、子供達ハ餘リ問題ニシテ居ナイノダカラオ話ニナラナイ。日本ニ對シテドウ云フコトヲシテ頂キタイト希望シテモソレガ果シテ出來ルカドウカ、出來テモソレガ實際ニ行フコトガ出來ルカト云フコトハ問題ダラウト思ヒマス。之ハ恐ラク「ハワイ」モ沿岸モ同ジダラウト思ヒマス。

萬一日米ノ戰爭ガ起ツタ時ニハドウスルカト云フコトニ付イテ中ニハ迷ツテイル者モアリマスガ、大多數ハ今日築キ上ゲタ土臺ヲ打チ捨テ、行クト云ツタヤウナ馬鹿ナコトハ出來ナイト言フコトニ意見ガ一致シテ居リマス。米國人ハ人道問題ヲ唱ヘテ世界ニ立ツテ居ルシ、日本ノ軍人デナイ、戰闘員デナイ者ヲ戰時状態ニナツタカ

ラト云ツテソレ等ヲ支那ヤ滿洲ニ行ツタヤウニ叩キ殺スト云フコトハアルマイ。結局我々ヲモツト壓迫シテ山中ニ入レル位ガ落トダラウト思ヒマス。ソレデスカラ私ノ出マス迄ハ別ニ人心ノ動搖ハアリマセンデシタ。「ハワイ」ノ方ハ餘程事情ガ違ヒマス。殊ニアスコニ兵營モアリマスシ、殊更ア、云フヤウナ目デ見ラレテ居ル所デスカラ別デスガ、併シ一部ノ諸君ガ心配スル程ノコトハ別ニナカラウト私ハ想像シテ居リマス。斯ウ云フ状態カラシテ今改メテ斯ウシテ頂キタイト、ア、シテ頂キタイト云フヤウナコトヲ私ハ持ツテ居リマセヌ。又ドウシテ頂クト云ヒマシテモソレハ實際問題トシテ不可能ナコトガ多カラウト思ヒマス。ソレデ出來ナイ相談ヲ持チカケテモ始マリマセンカラ、差當リ出來サウナコトデオ願ヒシタイトハ、第二世ノ就職ニ付イテ考慮シテ頂クコト、今一ツハ日本ニ於ケル文化ノ「フィルム」ヲヤウナモノヲ潤澤ニ我々ノ所ニ送ツテ頂イテ、サウシテ日本ニ來ルコトノ出來ナイ第二世ノ者ニ徹底的ニ日本ヲ紹介シテ貰フコトデアリマス。唯僅カ一年カ半年送ツテモ二世ノ氣分ガ變ツテ來マスカラ、ソレノ出來ナイ立場ニアル者ニハ「フ



イルム」ヲ通ジテ本當ニ日本ヲ諒解サセ、ソレヲスルコトニ依ツテ第二世自身ガ運命ヲ切り拓ク方向ヲ定メサセ度イト思ヒマス。私自分ノ經驗ト致シマシテ、ドウシテモ第二世ハ日本及日本人ヲ理解シ、日本精神ヲシツカリ把握シナケレバ將來役ニ立タナイト思ツテ居マス。ソレデサウ云フ氣分ヲ起サセル爲ニ出來ルダケ多クサウ云フ種類ノモノヲ廻シテ頂クト云フコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス。サウシテ時ニハ講演ナドヲシテ頂キマシテ、之ハ第一世ヘノ講演デナク第二世ニ向ツテ徹底的ニ日本ヲ知ラシメルモノデナケレバイケマセヌ。既ニ出來タ形ハ改メ惡イガ、根本的ニサウ云フモノカラヤツテ行カナケレバ我々ノ將來ハイカヌダラウ。ト斯フ言フ様ニ考ヘテ居リマス。大體以上ノヤウナ私ノ考ヲ申上ゲテ皆サンノ方デ變ツタ御考ガアレバ承ツタラ結構ダト思ヒマス。以上私ノ希望ダケヲ申上ゲマス。

○花月榮吉君(カナダ代表) 私ノ方モ同ジコトダト思ヒマス。私ノ方ハモウ少シ排斥ガ強イノデ、私ハ此方ヘ來ルノニ大分目ヲ付ケラレマシタ。色々時局委員會等デヤツテ居リマス關係デ、日本人會長ハ何時モ目ヲ付ケラレマ

ノデモ全部一々届ケナケレバ禁錮ト云フノデスカラ、少シテモ落度ガアレバ直グヒツカ、ルノデス。

○熊本俊典君(合衆國代表) 私ノ方ハ坂サンモ長イコト居ラレテ分ツテ居ラレルダラウト思ヒマスガ、今伺ヒマスト丁度好イ仕事ヲヤツテ居ラレルノデスガ、今私ノ方ハ「ハワイ」ニ次グ日本人ノ密集シタ所デアリマシテ、「ロスアンゼルス」ヲ中心トシテ六萬カ七萬、其ノ中ノ二割ガ「ロスアンゼルス」市ガ少シ離レタ所ニ居ル。色々政府ニ御願ヒシナケレバナラヌコトモアルシ、又我々自身デ改善シテ行カナケレバナラヌコトモ澤山アルノデアリマス。殊ニ現在早速手ヲ附ケナケレバナラヌハ、農産業ノ合理化デアリマシテ、丁度今内地デハ自由經濟カラ統制經濟ニ這入ツテキマスマウニ、アツチノ方ノ農産業モ轉換期ニアルノデアリマス。

各地ニ農産業組合ヲ拵ヘ、共同販賣、共同購買ヲヤラナケレバナラヌ時代ニナツテ居ルノデスガ、何レモ經驗ノナイ者許リデ一向實ガ上ラナイ。サウ云フ點ヲ御考慮下サツテ今迄拓務省ガ南米方面デヤツテ居ラレルヤウニ適當ナ指導者ヲ送ラレテ、我々ノ相談相手トナリ、指導者

シテ、一番張本人ダト云フヤウナコトニナツテ居リマス。甚ダ赤面ノ至リデスケレドモ實ハアツチヘ歸レルカ知ラト云ツタヤウナコトデ心配シマシテ領事サントモ相談シマシタ結果、「カナダ」政府ノ免狀ヲ貰ツテ來タ次第デス。

色々アチラノ戰時狀態ノコトヲ私共ハ知ツテ居リマスケレドモソレヲ若シ發表シテ新聞ニ出ヨウモノナラ私ハ縛ラレルノデスカラ……「アメリカ」ハサウ云フコトハアリマセヌガ、「カナダ」ハ我々普通歸ツテ來ル人間デモ二十五弗乃至五十弗シカ持ツテ出ラレナイノデ船ノ中ノ小使シカナイ有様デス。故國訪問ノ旅デモ、病氣ニナツテ歸ルト云フト病氣ナラ此方ニモ醫師ガアル、教育ニ歸ルト云ヘバ此方ニ學校ガアル。何ントカシテ歸ルニハ歸リマスガ金ハ持ツテ歸レナイ。金ハ二十五弗乃至五十弗位デ酷イモノデス。以前ハソシナコトハナカツタノデスガ手紙ノ調べガアルノデアリマシテ、慰問袋デモ五千カラ溜ツテ居リマシテ、申ニハ日本ノ兵隊サンガ喜ブコトヲ書イテ居リマスカラ、他所ノ國ノ兵隊サンニソシナコトヲスルコトハイケナイト云フヤウナコトデ……手紙ヲ出ス

トナラレテ、色々教示シテ頂キ度イト思フノデアリマス。次ハ日本人會ノ強化問題デアリマシテ、之ハ先輩諸氏ガヨク御承知ノヤウニ、同胞社會ノ所謂指導者ト言フモノハ何レモ莫大ナ金ヲ出シテ時間ヲ割イテ惡口ヲ言ハレル。同胞ノ爲ニ能ク働キタイト思ヘバ眞先ニ金ヲ出シテ熱心ニ働イテ惡口ヲ言ハレル、之ガ承知デナケレバ出來ナイト云フ狀態ニアルノデアリマシテ、日本人會ノ會長、幹部其ノ他役員モ皆只今申シマシタ様ナコトヲ經驗シテイルノデアリマス。デアリマスカラ政府ニ於テモ斯ウシタ點ヲ認メテ下サツテ、何事モ日本人會中心デ、同胞全部ガ結束シテヤツテ行ケルヤウニ御指導願ヒ度イト思ヒマス。日會ナド今ノ所誰モ押ヘル人ガナイカラ意見ガ合ハナケレバ勝手ニ色々ナ團體ヲ作ル。新タニ團體ガ出來ルコトニ依ツテ日本人ノ力ガ二分シ三分シテ來ル。ソレヲ何等カノ方法デ押ヘル力ガアレバ宜イト思ヒマス。要スルニ日會ノ強化モ金ノ問題ヨリモ精神ノ問題デナイカト考ヘテ居リマス。金融機關ノ問題デハ自分等ガ斯ウ云フト自慢ラシク聞ヘルカモ知レナイガ、「イタリー」ニハ「イタリー・バンク」ガアツテドンノヤツテ居ルガ、我



々ニハソレガナイ。我々ノ先輩ハ一ツノ契約移民デ布哇ニ渡リ、一定ノ年限ヲ済マシテ大陸ニ轉航シタ。成ル程正金ヤ住友ハアルケレドモナカク金ヲ貸シテ呉レルモノデヤナイ。コンナ工合ニ金融機關ノナイ所カラ今日迄ヤラレタト云フコトハ聖戰ニ立ツテ金鶏勳章ヲ貰ツタ人ト同ジヤウナモノガアルト私ハ考ヘテイル。最近私共ハ選時ナガラ色々ナコトヲヤツテイル。加州デハ二人半ニ一臺ト云フヤウナ多數ノ自動車ガアル。皆月賦デ買フ。ソレニ注目シテアレバ日本人ノ手デヤツテ、アノ莫大ナ自動車ヲ買ツテ高イ利子ヲ拂ツテ居ルノヲ何モ米國人ニ備サセル必要ハナイ。我々ノ手デヤロウト云フノデ、既ニ之ハ坂サンハ御承知デスガ——、此ノ話ハ筆記ハイライナイノデスガ(速記中止)トサウシタ惡イ事例ガアツタカラ如何ニ修理的ニ我々カラ勸誘シテモ誰モ其ノ株ヲ買ハナイ。又誤魔化サレハシナイカト躊躇スルノデアリマス。ソレデ我々三人ノ發起者ガ責任者トナツテ、兎ニ角皆サンガ百圓出シテ呉レバ、私共モ百圓出ス。ソシテ其ノ百圓ニ對スル利益ガアツタナラバ皆サント一緒ニ分配シマセウ。若シ不幸ニシテ損ガアツタナラバソレガ何

萬圓、何十萬圓アツテモ我々三人デ負擔シマス、ト説イタ。之ハ相當皆サンモ認メテ下サツテ、今日デハ相互信用組合ガ可ナリノモノニナツテ來テ居ル。其ノ金融ノ許ス限り自動車ノ月賦ノモノモ取扱ツテ居リマス。行ク行クハ保險事業ニモ携ハル積リデ、今日デハ世間カラ相當大キナ目ヲ以テ見テ居ラレテイマス。サウ云フ風ニ皆サンガ是非ヤラウト言フ氣ニナツテ協力スレバアレ丈ケ人間ガ居ルノダカラ大低ノコトハヤレヤウト思ツテイマス。

ソレカラ二世ノ問題ハソノ教育ニ付テ親ハ相當苦ンデ居ル。私モ二人連レテ來テ一人ハ青山學院、一人ハ「ミツシヨ」ノ學校ニ入レテ居ル。此ノ間「バンラレット」ニアツタ石井閣下ノ學校、ソレカラモウ一ツ何ントカ：ソレガ能ク内情ヲ調べ見ルト親トシテ安心シテ預ケラレナイヤウナ氣ガスル、私ノ息子ハ二十デアツチデ「サンスクリット」大學ヲ出テ商科ヲ專攻シテ居リマシタガ、青山學院、娘ハ十八デシテ、一番危險ナ年頃デスカラ大變心配デ監督ガ行届クノデハ私ノ郷里ノ九州デスガ、九州ノ言葉デ「バツテン」ナンカ覺ヘテ來テモ困ルト云フ

ノデ、ドウシテモ東京ト云フコトニナルノデ、一番危險ナ時デスガ、幸ヒ良イ所ガアリマシテ預ツテ頂イタノデスガ、サウ云フ所モ何ントカ政府デ的確ニ子供ヲ預ケル所ヲ何ントカシテ頂キタイ。之ハ自分ガサウ云フ必要ニ迫ツテ困ツタカラ申添ヘマス。

○竹岡大一君(合衆國代表)

今熊本サンノ仰ツシヤツタ通リデスガ、大同小異ノ御願ヒガアルノデス。先ヅ「フツトリバー」ト云フ所ニ日本人ガ三百人程居リマスガ、之ハ前申シマシタ三百七十萬弗ノ生産額ノ中ノ一ツデアリマシテ、林檎ヲ作ツテ居ルノデス。處ガ此ノ林檎ハ三年前以前カラ全然ソノ販路ガ杜絶サレタノデス。從來作ツタ林檎ハ英國、「ドイツ」、「ヨーロッパ」諸國ニ行キツ、アツタガソレガ全ク止ツテ終ツタ譯デス。此ノ「アツブル」ハ箱數ニシテ三十五萬箱、ロッキーマン山以西ノ「アメリカ」人、「ニューヨーク」、「ボストン」ノ人ニ食ベサシテ優ニ餘ルト云フ程大量ナノデス。今年ハ今申シマシタ通り輸出先ガ杜絶サレテ居ルノデ丸デ捨テルヤウナ値段デ非常ニ困ツテイル。此ノ「アツブル」ナドモ日本ニ向ツテ輸出出來ルナラバ……ソノ品質ハ世界一ダト稱サレテ居ルノ

デスガ、残念ナガラ之等ノ農家ハ最早二年三年ト之ヲ續ケテ行ク資力ガナイノデス。同胞農家ヲ救フ意味デ此ノ販路ヲ日本ニ振り向ケル途ヲ拓イテ貰ヘレバト有難イト思ヒマス。

ソレカラ最近、險惡ナ國際情勢下ニ於ケル我々ノ心構トシテ大體斯ウ思ツテイマス。我々ハ假令何ガ起ツテモ「アメリカ」ニ止ツテ「アメリカ」ニ骨ヲ埋ムベキデアル。ミンナ結束シテ此ノ考ヲ持ツテ居リマス。引揚ゲナドハ實際上不可能デアルカラ出來ナイコトヲ論ズル必要ハナイ。又歐洲大戰ノ時ノ經驗ニ依ツテモ之ハ見ルコトガ出來マス。「アメリカ」ハ各「ステート」ニ依ツテ動キハ多少變ツテ居ルガ、少クトモ「オレゴン」州ニ於テハ歐洲大戰ノ時ニ取ツタ「オレゴン」州民ノ態度ハ敵國「ドイツ」人ニ對シテモ唯ダ惡口ハ言ツタガ被害ハ加ヘナカツタ。幾ラ「アメリカ」人ガ惡クテモソコハ盲千人、目明千人デス。我ガ祖國ノ海外發展ノ大精神ニ我々ガ徹シタナラバドンナ苦シミガアツテモ、又之ヲ四十年昔メテ來テ居リマスカラ、之カラ日米ノ空氣ガ惡クナツテ來タ、ソレデ輕ハズミニ動搖スルト云フコトハ以テノ外ダ



ト思ヒマス。サウ云フ氣持ヲ鎮メテ貰フノニハ故國ノ政  
府カラサウ云フコトヲ言ツテ貰フ、サウスルコトガ一番  
近道カト思ヒマス。

日本人會ヲモウ少シ鞏固ナモノニスルコレハ地方々々  
ニ依ツテムツカシイカモ知レマセヌガ、殊ニ現在ノ様ナ  
情勢デハ、相當日本人ノ居ル處デハドウシテモ一ツノ中  
心トナル機關ガ必要デアリマスカラ、是非之ヲ實現化ス  
ル様御考慮願ヒ度イト思ヒマス。

○熊本俊典君(合衆國代表) 二代三代ト云フ長イ間デ拵へ  
タ地盤デスカラ、國際關係ガ面倒ダカラ引揚ゲテ了へト  
云フコトハ出來ナイ。三世ノ時代ニナツテ居ルノモアル  
ノデサウタヤスク投ゲ棄テ、引揚ゲテ了フコトハ  
出來ナイノデス。不孝ニシテ「アメリカ」ト日本ガ干戈  
ヲ交ヘル様ナコトニナツタ場合デモ我々ハ互ニ自重シテ  
決シテ日本人トシテノ體面ヲ汚サズ、堂々トシテ「アメ  
リカ」ニ留マル覺悟デス。

○坂(囑託) 今迄伺ヒマシタコトハ一々御尤ダト思ヒマ  
ス。金融機關ノ設立、日本人會ノ強化問題、在本邦第二  
世ノ指導問題、産業ノ合理化、斯ウ言ツタコトニ付テハ

ニ付テノ聲明デアリマシタガ、ソノ中ニ國民ニ對シテ最  
高ノ名譽ト最低ノ生活ヲ保證スルト云フ句ガアツタノデ  
アリマス。處デ此ノ最低ノ生活ト云フコトハ分リマスガ  
最高ノ名譽トハ何かト申シマス、ソレハ日本ガ世界新  
秩序建設ニ對シテ指導者トシテノ役割ヲ果シテ行ク。政  
府ガソレダケノ大キナ覺悟ヲ持ツテ行ク。國民ガソレニ  
參劃スル名譽ヲ持ツ。究リ次ノ世界ヲ創造スル名譽ヲ持  
ツコトヲ保證スルト言フ意味ナノデアリマス。

時恰モ二千六百年ノ目出度イ時ニ皆サンガ多年ノ御苦  
勞御努力ガ酬ヒラレテ、此ノ祖國ニ——、斯ウ云フ危局  
ニ即シナガラ、新シイ次ノ世界ノ建設ニ乘リ出サントシ  
テイル目出度イ、而カモ困難ヲ祖國ヲ見ニ歸ラレタコト  
ハ實ニ得難イ機會ヲ得ラレタ譯デアリ、又非常ナ名譽デ  
アルト思ヒマス。私ハ其ノ意味ニ於テ皆サンニ御目出度  
ウト云フ言葉ヲ御送リシタイノデスアリマス。同時ニ又  
皆サンハ多年外國ニ在ツテ色々言語ニ絶スル辛苦ヲサレ  
ナガラ世界ニ對シテ日本民族ノ力ト云フモノヲ示シテ下  
サツタ其ノ御努力ニ對シテ衷心カラ感謝ノ念ヲ捧ゲタイ  
ノデアリマス。

私共ノ方デモ十分考慮シツ、アルノデアリマシテ、何レ  
具體的ニ何等カノ措置ヲ講ズルヤウニ致シタイト思ツテ  
居リマス。尤モ中ニハ既ニ計畫ノ相當進ンデイルモノモ、  
アルノデアリマシテ、例ヘバ「以下速記中止」

右終ツテ部會ニ於ケル決議事項報告委員並ニ總會ニ於ケ  
ル決議案起草委員ノ選舉ヲ行ヒ、左ノ通り當選ス。

報告委員 奥田平次  
決議案起草委員 熊本俊典

○平澤(事務官) 今日ハ皆サンカラ色々御話ヲ承リマシテ  
非常ニ有益ニ存ジマス。皆サンガ向フニ御歸リニナリマ  
スレバ日本ハ一體ドウダツタト云フコトヲ先ツ聴カレル  
ダラウト思ヒマス。ソレデ皆サンガ現實ニ目デ御覽ニナ  
リ、サウシテ御感ジニナツタコトヲ御話シ下サルノガ一  
番ヨカラウト思ヒマスシ、又皆サンハ色々ノ機會ニ於テ  
現状ニ關スル御説明ヲ聞カレルコトモアラウカト思ヒマ  
スガ、私ハ何等カノ御參考迄ニ私ノ日頃信念的ニ考ヘテ  
居ルヤウナコトヲ簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス。

先日近衛總理ガ演説サレマシテ、今度ノ新體制ノコト

話ヲ元ニ戻シマスガ、私ハ日米關係ト云フモノニ付テ  
ハ數年間自カラ之ニ携ツテ來タ。事變始ツテ以來一昨年  
ノ夏迄ハ「ワシントン」ニ於キマシテ、以後ハ内地ノ亞  
米利加局ニ於キマシテ此處五中間ズツト此ノ方面ノ事バ  
カリヲヤツテ來タノデアリマス。ソウシタ自分ノ經驗カ  
ラシマシテ此ノ現在ノ狀態及ビ將來ニ對スル觀察ヲ極ク  
概括的ニ御話シテ見度イト思フノデアリマス。

私モ向フデ經驗致シマシタガ、皆サンモ其ノ通りダト  
思ヒマスガ、先程來ノ御話ノ通り日常生活ト云フモノニ  
付テハ日米關係ガ、例ヘバ條約ガナクナツタカラドウト  
カ云フコトハチツトモナイノヂヤナイカ。無論例外ハア  
ルデアリマセウガ、概括的ニ言ヒマシテ友達ハ友達デア  
リ、愉快ナ生活ハ愉快ナ生活トシテ其ノ儘變リハナイ。  
併シ今日ノ國ト國トノ關係即チ「ポリシー」ト云フモノ  
ハ、全然斯ウ云フ個人ト個人ノ交際、「クラブ」ト「ク  
ラブ」ノオ附合ト言ツタモノトハ別ニ出來テ行クノガ現  
在デハナイカト思ヒマス。コレガマダソウ深刻デナカッ  
タ時代ニハ相當個人ノ力ト云フモノデ動カシテモ出來タ  
シ、氣分モ轉換デキタノデアリマシタガ、現在ノ世界ノ



狀勢ト云フモノハソソナモノデハナカ、轉換出來ナイ程深刻ニナツテ、一ツノ國ノ活キ方ノ問題、ドウ云フ風ニシテ御互ガ活キテ行クカト云フ一ツノ大キナ流トナツテ居ル様ニ思フノデアリマス。之ハ概括的ナ言ヒ方デ表現ガ難駁デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ二ツノ潮流ノ衝突トナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ意味カラ申シマスト將來ノ世界ト云フモノハ益々争ヒガ激シクナル。ソレハ何モ戦争ソノモノヲ意味スルノデハナイガ、平和時代ノ商業文化、アラユル意味ニ於テモツト大キナ闘ト云フモノガ闘ハレテ行クノデヤナイカト思フノデアリマス。サウシテ段々サウ云フ意味ニ於ケル文化ノ戰、經濟ノ戰ト云フモノガ太平洋ヲ中心ニシテ起ツテ來ルノデヤナイカト考ヘラレルノデアリマス。ソレデアリマスカラ皆サンガ今後トモ益々御自分ノ周圍ニ對シテ出來ルダケノ力ヲ盡シテ頂キタイノデアリマスガ、同時ニ個人的ナ環境ト云フモノニ依ツテ國ト國トノ「ボリシー」ト云フモノ、衝突ノ深刻性ヲ見誤ラレナイヤウニシテ、日米關係ヲ見詰メテ頂キタイノデアリマス。

ソレデ事實此ノ兩國ノ關係ハ相當ニ深刻デアリマシテ

出來ナクナルカモ知レナイ。斯ウナルト「アメリカ」ニトツテハ南太平洋ト言フモノガ非常ニ重要ナモノトナツテ來ルノデアリマシテ、此ノ意味ニ於テ「アメリカ」ノ南太平洋ニ對スル關心ガ非常ニ積極的ニナツテ來タノデヤナイカト思フノデアリマス。御承知ノ通り從來ノ「アメリカ」ハ自分ノ持ツテイルモノヲ即チ既得權益ヲ其ノ儘保持シテ行コウト力メテイタノデアリマスガ、最近デハ餘程ソノ情勢ガ變ツテ來テイルノデアリマシテ、從ツテ將來ノ日米問題モ斯ウシタ觀點ニ立ツテ見マストドウシテモ一ツノ大キナ流レト流レノ衝突ニナルヤウニ見ヘルノデアリマス。而カモソレヲ我々ガ最悪ノ衝突ヲサセナイデ御互ニ活キル途ヲ發見シテ圓滿ニ解決シテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、此ノ責任ハ非常ニ重大且困難ナコトト御互ニ自覺シナケレバイケナイト思フノデアリマス。以上ハ相當悲觀的ナ方面バカリニナリマシタガ、ソレガ一ツノ大キナ流トシテ見タ關係デアリマシテ、ソレガ必ズシモサウ行クモノデアリマセヌシ、又サウサシテハイケナイノデアリマスガ、併シ現在ノ狀況其ノ儘ヲ「カウツ」シテ見マスト以上ノ様ナ様相ガ現レテ來ル

或ル意味ニ於テ最悪ノ場合モ全然考ヘラレナイコトハナイノデアリマス。「アメリカ」ハ全般的ニ日本ト云フモノニ對シテ非常ニ認識ヲ誤ツテ居ル。ソシテ之ハ改メテ吳レト云ツテモ仲々容易ニ改マリサウニハナイノデアリマス。昨年頃カラ米國デハ最近日本ハ財政的ニ行詰ツテ居ル。モウ少シ此ノ儘ニシテ置ケバ參ツテ終ラウト言フ前提ニ立ツテ居ル。モウ一ツハ日本人ト云フモノハ非常ニ良イ國民デアルガ、一部分ノ軍人其ノ他ニ依ツテ押ヘ付ケラレテ居ル。之等ノ軍部ノ人ノ思フ儘ニナツテ居ル。ソレガ滿洲事變以來ノ日本デアアル。殊ニ現地ニ行ツテ居ル者ノ鼻息ガ荒イ。斯ウ云フ二ツノ根本的ニ間違ツタ考ヲ持ツテ居ル。ソレハ違フト云ツテ我々ガ隨分證明シテ來タノデアリマスガ、兎ニ角未ニ其ノ考ガ拔ケテ居ラナイノデアリマス。

更ニ又最近「アメリカ」ノ太平洋ニ對スル關心ト言フモノハ非常ニ積極的ニナツテ來テイルノデアリマス。ソレハ將來若シ歐洲ノ經濟體制ガ「ドイツ」ノ支配ニ依ツテ「ドイツ」ノ欲スルヤウニ再編成サレルナラバ、「アメリカ」ハ從來ノ如ク此ノ方面ニ自由ニ進出スルコトガ

ノデアリマス。處デ「アメリカ」人ガ一般ニ考ヘテ居ルマサヤウニ日本ガ財政的ニ果シテ破綻ノ前徴ニアルヤ否ヤ、又日本ガ「アメリカ」ノ言フ「シリタリズム」ノ「リード」ノ下ニアツテ國民ハ仕方ナシニツイテ行ツテルノカドウカ、之ハ皆サンガ身ヲ以テ日本ヲ御歩キニナツテ體驗セラレレバ必ズソノ誤リデアアルコトガ分ルト確信スルノデアリマス。

又最近ノ新體制運動ト云フモノニ付テモ「アメリカ」人ハ一般ニ間違ツタ考ヘヲ持ツテイルヤウデアリマス。此ノ新體制運動ヲ日本ニ居ル「アメリカ」人ナドハ排外的運動デアアル。鎖國ニ歸ルノデハナイカト云フ風ニ見テ居リマシテ、ソレハ日本ノ爲ニ損ダカラソソナコトヲスルナト云フノデアリマス。併シ私ハサウ云フ人ニ對シテ何時モ斯ウ説明ヲシテ居ルノデアリマス。之ハ外人ニ對スル「レディーメード」ノ説明デナクテ私ノ信念デアリマス。實ハ私ハ此ノ正月ニ偶々上海ニ居リマシテ、丁度上海デ元旦ヲ向ヘタノデアリマスガ、ソノ時アコレデ愈々二千六百年ト云フ年ヲ迎ヘタノダト言フコトヲ考ヘテ言ヒ知レヌ感慨ヲ催シタノデアリマス。二千六百年ノ



輝シキ傳統ヲ背負ツタ日本ハ今日世界ハ危局ノ最唯中ニ立ツテ居ル。日本ハ一大國運ヲ賭シテ大キナ仕事ヲシテ居ル。此ノ時ニ上御一人ノ御心境ハ如何デアラウ。御宸襟ヲ安ジ奉ルノハ我々ノ責任ヂヤナイカト云フヤウナコトヲ、斯ウ云フコトヲ私ハ上海ノ「ホテル」ノ一室デ秘ニ考ヘタノデアリマス。ソレデ私ハ一體日本ノ現在ノ状態ハ之デ宜イダラウカト云フヤウナコトヲ考ヘタ時ニ斯ウ云フコトモイケナイ。斯ウシナケレバイケナイト云フコトヲ私個人トシテ種々痛感シタノデアリマスガ、結局新體制ト云フ問題ハ國民ガ二千六百年連綿トシテ續イテ來タ此ノ日本ノ傳統、ソレカラ我々ガ現在直面シテ居ル極東ノ危期、世界ノ危期ト、斯ウ云フモノヲ綜合シ大觀シタ時ニ果シテ我々ハ之デ宜イノカ、之デ上御一人ノ御心持ヲ安メ奉ルコトガ出來ルカト云フコトヲ反省シタ結果ガ新體制ト云フ一ツノ運動トナツテ盛上ツタ。究リ之デハ駄目ダト云フ皆ノ考ガ寄ツテ一ツノ形ニ現ハレタノデアル。ソシテ之ヲ何ントカシテ纏メヨウト云フノガ所謂大政翼賛會ダト私ハ斯ウ言フ風ニ考ヘテ居リマス。尤モ之ノ中ニモ色々ナ考ヘ方ノ人が居リマスカラ必

ズシモサウ斯拉ノト行クモノデハナイデセウガ、此ノ翼賛會ノ指導者ハ要スルニ日本人ヲ日本人本來ノ姿ニ還スノダ。互ニ和ノ心持ヲ以ツテ國民全部ガ融和シ、一體トナツテ事ニ當ツテ行ク、斯ウスルノガ此ノ運動ノ目的デアル。ソシテ之ヲ翼賛スルノガ我々本來ノ使命デアルト云ツテ居リマス。ソコデ若シ之ヲ「マルクス」流ノ闘争ノ精神デ行クナラバ先ヅ黨派ヲ作ツテソレデ次々ニ黨員ヲ獲得シテ行ク、ソウ言フ方法ヲ採ルデアリマセウガ、ソウ云フ行キ方ヲセズニモツト大ラカニ日本民族トシテ皆ノ中カラ和ノ精神ヲ喚ビ起ス、而モ其ノ組織化ノ方法トシテ最モ困難乍ラ國民全體ヲ直チニ打ツテ一丸トナスヤリ方ヲ採用シタ、其處ニ日本人ラシイ床シサガアルノヂヤナイカト云フコトヲ私ハ感ズルノデアリマス。デアリマスカラ此ノ新體制ノ運動ト云フモノモ斷片的ニ見マスト、例ハ外人ガ見マスト丸デ何ンダカ自分達ヲ排斥スル「ムーブメント」ノヤウニ感ズラレルカモ知レマセシガ、決シテ此ノ運動ハサウ云フ狭イ考ヘノモノデハナイノデアリマスカラ、ドウカ皆サンモ内地ニ居ラレル間ニ此ノ點ヲヨク感得シテ頂キタイト思ヒマス。ソレハ單

ニ自由主義ニ對スル反抗デモナク、全ク日本民族ノ反省ニ外ナラナイノデアリマス。デアリマスカラ日本固有ノモノデモ惡イ點ハ大イニ之ヲ反省シ、サウシテ自分ノ良イモノト外カラ來タ良イモノトヲ併セテ次ノ時代ノ文化ヲ創造シ、日本ヲシテ更ニ一段ノ飛躍ヲサシメル爲ノ「ムーブメント」ナノダト私ハ信ジテ居リマス。

コノ様ナ日本ノ眞ノ姿ヲ外人ニ理解サセルコトハ皆サシノ既ニ御經驗通り甚ダ困難ナノデアリマスガ、コノ様ナ眞ニ日本のナモノガ解ラナケレバ日本ノ政策モ結局解ラヌト云フコトニナルノジヤナイカト考ヘマス。例ハバ「アメリカ」人ナドハ數字ヲ見マシテ日本ノ「金」ノ産額ガコレコレダカラモウナイ筈デアアル。來年アタリハ日本ハ潰レルダラウト斯ウ云フコトヲ言ヒマスガ、成程數字ノ上カラノミ見レバ或ハソウ云ヘルカモ知レマセンガ實際ハサウデナイコトハ事實ガ證明シテイル通りデアリマシテ、鬼ニ角御承知ノ通り日本ハ之ダケノ國幣ト之ダケノ人命ヲ損失シテ大キナ戰ヲ戰ツテ居リナガラ、マダ裕々タル生活ヲシテ居ルノデアリマス。海外デハモウ恐ラク日本ニハ何モナクナツタ。國民ハ目ヲ釣リ上げて「カ

ン／＼」ニナツテイル、眞ニ酷イ國ニナツテイルノヂヤナイカト云ツタヤウナコトヲ御心配ニナツテイル向モアルカモ知レマセンガ、ソノ點デハマダ／＼日本ハ大丈夫デアリマスカラ、絶對ニ心配御無用ニ願ヒ度イノデアリマス。

總ベテ話ト言フモノハ成ルタケ人が面白ガヤウニ興味ヲ持ツヤウナコト許リ話スモノデアリマシテ、例ハバ「支那ハマダ危險ダ、自分ガ行ツタ時ニハ直グソノ前ノ汽車ガ匪賊ニヤラレテ大分殺サレタ」ト言フヤウナコトナドヲヨク土産話ニ聞キマスガ實際行ツテ見ルトサウデハナイ。又私ガ會テ「アメリカ」ニ居タ當時日本カラ來タ「ニュース」デ、「ゴルフ・バツグ」ヲ持ツテ行ツタラ撰ラレタト言フ様ナコトモアリマシタガ、實情ハ御覽ノ通りデアリマス。總ベテマア—此シナモノデアリマスカラドウカ皆サンハ折角來ラレタ機會ニ唯ダ日本ノ表面ダケデナク内部ヲ透シテヨク御覽ニナツテ、向フニ居ラレル同胞諸兄ニハ無論ノコト「アメリカ」人ニモソレヲ出來ルダケ分ラシテ頂キタイノデアリマス。尤モ之ハ先程申シマシタヤウニ「アメリカ」人ニ分ラスコトハ困難ナ



仕事ダト思ヒマス。然シ日本人ノ特別ノ氣持ト云フモノガ「アメリカ」人ナラ「アメリカ」人ニ分ラナケレバ實際日本人ノヤツテ居ルコトハ分ル筈ガナイノデアリマス。此ノ點ニ關シ私ガ「ワシントン」ニ居リマス時ニ齋藤大使ニオ件シテ「メイン」州ノ「ベイツ・カレツジ」ニ行ツタノデアリマスガ、其ノ時大使ハ西郷南洲ノコトヲ引用シテ話サレタノヲ思ヒ出シマス。南洲ガ月照ト抱合心中ヲシタ事ナドハ利害打算カラ言ヘバ實ニ馬鹿氣タコトデアルガ、此ノ氣持ガ日本人ニアツテ、イザトナツタ時ニハ人間普通ノ考ヘデハ分ラナイ氣持ヲ持チ、又想像スルコトノ出來ナイ働キモスル。此處ニ我々ノ「キヤラクターリスティツク」ト云フモノガアルノダト思ヒマス。サウ言フモノデ日本人ノ行動ヤ「ポリシー」ト言フモノヲ唯ダ表面ニ現レタ丈ケデ批判シタノデハ分ラナイ。之ハ口デ言ツテモ分ラナイノデ、ソレニハ皆サンガ毎日接觸シテ居ラレルノデアルカラ、皆サンノ日常ノ實行ニ依ツテ段々ニ周圍カラ分ラセテ貫ヒ度イ。之ハ甚ダ地味ナ様デハアリマスガ最モ堅實ナ方法デハナイカト思ヒマス。

從來日米關係ハ非常ニ親善關係ヲ保ツテ參リマシタ。併シソレハ「アメリカ」人ガ日本人ヲ可愛ラシイト思ツテ眺メタ親善關係デアツタ。我々ハ從來ノ日米親善ニ無反省デアツタト思フノデアリマス。對等ノ「レベル」ノ親善關係、コレコソ本當ノ親善關係ダト思フノデアリマス。齋藤大使ガ事變始ツテ以來チツトモ演説モ何モサレマセンデシタト云フノハ、宣傳ト云フモノハ押付ケデハイゲナイ。餌ト同ジデ魚ガ喰付イテ來ナケレバ駄目ダ。俺ハヤル時ニナレバヤルカラト云フコトヲ云ツテ居ラレマシタ。コノ様ニ沈黙ヲ守ツテ居ラレタ齋藤大使ニ對シ日本内地デハ、或ハコノ時期ニ一體「齋藤何ヲシテ居ルカ」ト云ツタヤウナ批判ガ出タカモ知レマセヌガ、大使ハソソコトニハ無頓着デ、唯向フカラ個人的ニ會ヒニ來タ者ニ言ツテ居ラレマシタノハ「コノ事變デ日米關係ハ好クナル」ト含蓄ノアルコトデアリマシタ。結局コノ短イ言葉ノ中ニハ只今私ノ申上ゲタ意味ガ含マレテイタト私ハ信ジテ居リマス。何故ナラバ齋藤大使ガ言ハレタノニ、俺ハ日本ニ歸ル時ニハ大統領ト本當ニ腹ヲ突合ハセテ人間ト人問トデ話ヲスル。俺ハ移民法ノ改正ト云フ

コトハドウシテモ忘レルコトハ出來ナイ。自分ノ時ニハ之ハ出來ナカツタガ次ノ者ノ時ニハ「ベター」ナ「ボデシヨン」ニ立ツテ仕事ガ出來ルヤウニ、少クトモ一歩前進シタ「バトン」ヲ引繼ギタイ。日米關係ハ日米間ノ精神的武裝ト云フモノヲ徹廢シナケレバドウシテモウマク行カナイ。是非コノ精神的武裝ヲ徹廢シタイト云フコトヲ常々言ツテ居ラレマシタ。私共モ今後共進ムベキ方向ハ大體之ト同ジ道ヲ進ンデ間違ヒナイト固ク信ジテ居リマス。

デアリマスカラ先程皆サンノ此ノ現在ノ危局ニ處シテノ御氣持ヲ何ツテ非常ニ安心シ心強ク思ツタノデアリマス。我々ノ同僚デアアル領事モ向フニ行ツテ居リマスガ、必ズヤ皆サント運命ヲ共ニスル覺悟デアルト思ヒマス。最惡ノ場合ニナツテモ運命ヲ共ニスルダケノ覺悟ダケハ持ツテ居ル筈デアリマス、併シ何レニシテモ努力スル方向ハ今申上ゲマスヤウナ方向デ最後迄努力スル覺悟デ居リマス。ソレカラ先程坂サンガ御話致シマシタ通り御希望ニハ出來ルダケ副フベク最善ノ努力ヲスル積リデゴザイマス。特ニ二世問題ニ付キマシテハ我々ハ決シテ一般

ガ考ヘテ居ルヤウナ輕薄ナ考ハ持ツテ居リマセヌ。現在二世諸君ノ直面シテ居ル問題ハモツト〱足許ニ火ノ點イタヤウナ問題デアリマシテ、寸刻モ忽ガセニスルコトハ出來ナイ。我々ハサウ云フ見方ヲシテ本當ニ二世諸君ト同ジ立場ニ自分等ヲ置イテ物事ヲ觀察スルヤウニ努力シテ居ルノデアリマスカラ、今後トモドウゾ何ンデモ御氣付ノ點ガゴザイマシタラ御鞭撻ヲ願ヒマス。

ソレカラ之ハ私ノ方ノ希望デゴザイマスガ、現在日本ノ國內ニ於テモ或ハ派閥ノ對立ヤ抗爭ト言フモノモアルニハアリマスケレドモ、今日大キナ國難ト云フモノニ當面シテ段々サウ言フモノガ影ヲヒソメツ、アリマス。イザト言フ時ニナレバ日本人ハ總ベテノコトヲ忘レテ一丸トナル。コレガ日本人ノ特長デアリ、尊イ所デアリマシテ此ノ點ニ「ヒットラー」ナンゾモ非常ニ興味ヲ持チ、何トカシテ日本人ノ此ノ氣持ヲ研究シテ取り入レヤウト努力シテ居ルノデアリマス。

サウ言フ次第デアリマスカラ、ドウカ海外ニ於キマシテ皆サンガ御指導ニナリマシテ一ツ出來ルダケ見苦シイ争ナドナイヤウニ力メテ頂キ度イト思フノデアリマス。



勿論人間ニハ夫々主義主張ガアルノデアリマスカラ、正シイ主張ノ爲ノ争ナラバ寧ロヤルベキ時ニハ大イニヤルベキデアリマスケレドモ、サウデナク單ナル團體ノ對立トカ、或ハ感情ノモツレトカ云フヤウナモノノ争デアルナラバ、此ノ二千六百年ノ目出度イ年ヲ記念ニ、此ノ國難ヲ機會ニ是非一掃シテ打ツテ一丸トナツテ項キタイノデアリマス。又其ノ意味ニ於テ領事ナドヲモ鞭撻御助力願ヒタイト思フノデアリマス。

最後ニ一ツ申上ゲタイコトハ、ソレハ私モ海外ニ居ツテ經驗ガアリマスガ、皆サンガ外ニ居ラレルト特ニ日本ト云フモノガ氣ニ掛ル。何ヲ見テモ、特ニ新聞ナドデ「J」ノ字ガ出テルトハツトシテ其處ヲ見ル、ソレガ「ジヤパン」ノ「J」デナクテモハツトスル。同様ニ我々モ亞米利加局ニ勤メテル關係デ「米」ノ字ガアルト「米國」ノ記事カト思ツテ見ル。丁度皆サンガ海外ニ居ツテ祖國ノコトヲ氣ニカケル様ニ、我々ハ内地ニ居ツテ米國ノコト並ニ其處ニ在留シテ居ラレル皆サンノコトヲ氣ニカケルノデアリマス。何レニシテモ我々モ「ベスト」ヲ盡シテヤル覺悟デ居リマスカラ、ドウカ皆サンモ一ツ祖

國ト云フモノヲ信ジ、我々ハ日本國民ト言フ誇ヲ以テ堂々ト海外ニ於テ國威ヲ發揚シテ頂キタイノデアリマス。

甚ダ斷片的デアリマシタガ平常考ヘテ居ルコトヲ取リ止メモナクオ話シ申上ゲタ次第デアリマス。ドウゾ皆サン御身體ヲ大事ニナサイマシテ折角此處迄奮闘サレテ、大キナ地盤ヲ築カレタノデアリマスカラ、今後モ其ノ上ニ立ツテ益々發展サレマシテ有終ノ美ヲナサレンコトヲ希望致シマス。

○坂(囑託) 態々御稿ヒスル積リデ御呼ビシマシテ、今日ハ少シ固クナリ過ギタ様デ申譯ガアリマセン。成ルタケ寛イデ懇談的ニヤリタイト思ツタノデアリマスガ、最初奥田サンガ立タナイト氣ガ濟マナイト云ツテ御立チニナツタモノダカラ皆立ツテ了ツタヤウナ譯デアリマス。デ之ハ全然私共ノ責任チヤナク奥田サンノ御責任デアリマスカラドウゾ御抗議ガゴザイマシタラ御遠慮ナク奥田サンノ方ヘ御掛合ヲ願ヒマス。今平澤サンモ申サレマシタヤウニ亞米利加局ノ第一課ニ關スル限りハ米國ト云フコトハ寸時トシテ誰ノ念頭カラモ離レナイノデアリマス。

之ニ付イテ面白イ話ガアルノデアリマスガ、先日米國カラ歸ツタ方ガ米ヲ持ツテ來タカラ輸入許可證ヲ貰ツテ呉レト言フノデ、農林省ニ行ツテ、米穀輸入許可證ヲ貰フノニ「穀」ノ字ヲ「國」ト云フ字デ書イテ非常ニ笑ハレタ様ナコトモアリマシタ。兎ニ角ソレ程我々カラハ米國ト云フコトハ寸時モ頭ヲ離レヌノデアリマス。ドウゾ今後共此方ニ對シテ御要求ナリ御希望ナリ何デモ思フコトガアリマシタラ御遠慮ナクドシ、領事ヲ通ジテナリ又直接デモ結構デスカラ申出テ頂キタイト思ヒマス。今日ハドウモ色々ト有難タウゴザイマシタ。之デ閉會致シマス。

午後四時十分 散會



第一回在外同胞代表者會議

(中南米部會) (一)

昭和十五年十一月七日 午前九時開會 於 法曹會館

出席者 (順序不同)  
代表者側

- 蜂谷 吾 輔 (ブラジル)
- 安瀬 盛次 (同)
- 畑中 仙次郎 (同)
- 脇山 甚作 (同)
- 賀集 九平 (アルゼンチン)
- 太田 長三 (チリ)
- 吉田 義憲 (ボリビヤ)
- 藤井 忠三 (ペルー)
- 加藤 英一 (キューバ)
- 加藤 平治 (メキシコ)
- 北條 隆一 (同)
- 岡 精一 (同)

100

近藤 平治 (同)

政 府 側

- 青木 南米課長 (拓務省)
- 石井 事務官 (同)
- 中島 通譯官 (同)
- 濱野 通譯生 (同)
- 長尾 囑託 (同)
- 小峰 通譯官 (外務省)
- 有山 屬 (同)
- 長嶺 神戸移住教養所長

○青木議長 是ヨリ中南米部會ヲ開會致シマス。皆サン連日ノ御活動デ御疲レノトコロヲ振ツテ御參集下サイマシテ洵ニ有難フゴザイマス。議事ニ入ルニ先立チマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス。今回多年ノ要望デアリマシタ在外同胞第一回代表者會議ノ開會セラレルニ至リマシタコトハ、洵ニ御同慶ニ堪ヘナイトコロデアリマス。此處ニ至リマス迄ニハ從來各方面カラ此ノ種ノ催シニ對スル要望ガアツタノデアリマス。日本ハ各方面ニ同胞ヲ送ツテ

居リマスガ、マダ移民會議ト云フモノヲ開イタコトガナイデハナイカ、宜シク代表的ナ人々ヲ招集シテ膝ヲ交ヘテ懇談シ能ク彼等ノ要望スルトコロニ耳ヲ傾ケ適切ナル政策ヲ立テルベキデハナイカト云フコトガ、議會ヲ始メソノ他各方面ニ要望セラレマシテ、斯ウシタ経緯ヲ受ケマシテ茲ニ在外同胞ノ中代表的ナ人ト考ヘラレマス有力ナル皆サンノ御參集ヲ願ヒ此ノ代表者會議ノ開催ヲ見ルニ至ツタノデアリマス。サウ云フヤウナ事情デアリマスカラ、ドウゾ皆様ニ置カレマシテモ、隔意ナキ御懇談ヲ願ヒ、又、此ノ席ニ居リマス者ハ代表者ノ方ト全部官廳側ノ者デアリマスカラ、何モ遠慮スルトコトナク御意見ヲ御述べ願ヒ私共ノ知ラザルトコロハ之ヲ教ヘ、又誤マレルトコロハ之ヲ質スト云フ御考ヲ以テ本年ノ記事ヲ進メテ戴キタイト思フノデアリマス。諸問事項ト致シマシテ私共ハ各地域ニ置ラレマス皆様デアリマスノデ要望モ色々地域ニ依ツテ違フダラウト思ヒマスガ、比較的協力的ノ事項ト考ヘラレマスコトヲ抽出シマシテ、茲ニ諸問事項トシテ提出致シタノデアリマス。ソノ外早目ニ御申出ノアリマス代表ノ方ノ提案モ此處ニ述べテ置キマシタガ

此處ニ書イテアリマセンコトデモ、時間ノ許ス限リ議案ノ御提出ヲ願ツテ議事ヲ進メタイト思フノデアリマス。尙ホ皆様ニ御承知願ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、本日ハ各部會ニ分レマシタ關係上拓務、外務兩省共省ノ幹部ガ部會ニ出席致シテ居ラナイノデアリマス。サウ云フ關係カラ又時間ノ關係モアリマシテ、本日ハ皆様ト私共トノ間ノ質疑應答ハヤラズニ進メタイト思フノデアリマス。此ノ點或ハ皆様ニ對シテ甚ダ物足りナイコトカト思ヒマス。併シナガラ此處デ御述べニナリマス皆様ノ御意見ハ、中南米ニ居ラル、十三、四ノ御意見デハナク中南米二十五萬ノ同胞ノ聲トシテ私共ハ同フノデアリマシテ皆様ノ御述べニナルコトハ一々コ、ニ速記ニ取ルノデアリマス。又、之ヲ伺ヒマス者ハコ、ニ列席シテ居リマス私共ダケデハナク、拓務、外務兩省ノ名ヲ以テ之ヲ伺フノデアリマス。從ヒマシテ皆様ノ御希望ノアルトコロハ御意見ノアルトコロハ十分ニ耳ヲ傾ケ、實行可能ナルモノハ實行シ、少クトモ皆様ノ御意見ニ對シテハ謝意ヲ以テ十分ノヲ研究スルノ義務アルコトハ勿論デアリマス。其ノ事情ヲ十分御諒承願ヒマシテ、二十五萬中南米在留



者各位ノ利益ノタメ又ソノ名譽ノタメニ、ドウゾ公正ニシテ無私ナル御意見ヲ御發表願ヒ、又、多年我國ノ現下ノ實情ニモ鑑ミマシテ實行シ得ルヤウナ案ヲ御提示願ヒマシテ、共ニ協議懇談致シテ此ノ會ノ目的達成ニ努力セラレンコトヲ切ニ御願ヒスル次第デアリマス。之ヲ以テ御挨拶ニ代ヘマス。尙ホモウ一ツ御協議申上ゲタイト思ヒマスコトハ本會ノ議長ハ皆様ノ中カラ御選出ニナルコトニ致シマスカ、ソレ共私ガ司會者トシテ一應致シマスカドチラニ致シマセウ。

○一同 課長サンニ御願ヒ致シマス。

○青木課長 ア、サウデスカ、ソレデハ私ガ議長ノ椅子ヲ汚サシテ戴キマス。諸問事項第一「第二世ノ教育ニ關スル件」ニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第一世ノ築キマシタ地盤ヲ繼承シテ更ニ之ヲ發展シテ海外發展ノ實ヲ上ゲマスタメニ第二世ノ教育ガ極メテ重要ナ問題デアルコトハ申ス迄モナイトコロデアリマス。然ルニ中南米ノ方面ニ於キマシテハ、所ニ依リマスト教育ノ機關ガ十分ニ行ハレテ居ラナイトコロモアリ、又、國ニ依リマシテハ近頃ノ國情トデモ申スベキ國粹運動ノ爲ニ第

二世ノ教育ガ非常ナ障礙ニ遭ツテ居ルトコロモアルノデアリマス。ソレデ斯ウシタ各地ニ於キマシテ現在ノ第二世ノ教育ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、障礙ガアリマシタナラバ此ノ障礙ヲ克服シテ教育ヲ行ツテ行クニハドウシタライ、カト云フヤウナコトニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。尙ホ之ニ關シマシテハ「ブラジル」代表ノ安瀨サン及ビ畑中サンカラモ御意見ガアルト申出ガアリマシタカラ、安瀨サンノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。

○安瀨君(伯國バウル管內聯合日會長) 私ハ「ブラジル」

代表デゴザイマス。第二世教育ノ問題ニ付キマシテハ、オ互ヒ今第一世ノ非常ニ惱ンデ居ル問題デゴザイマシテ如何ニシテ第二世ヲ育テ上ゲタライ、カト云フコトニ付キマシテ、色々ソノ國ノ事情ニ依ツテ教育方針ガ異ルト思ヒマスガ、私ハ「ブラジル」ノ第二世教育ニ付キマシテ聊カ所感ヲ述ベタイト思ヒマス。是迄「ブラジル」ノ國ハ餘リニ悠長ダト申シテ宜イカ、自由ニ日本ノ國ノ學校ヲ建テ、サウシテ外國ノ言葉ヲ學バサセマシタ。トコロガ國ノ文化ニ從ヒマシテ段々ト國家ノ教育方針ガ喧

シクナリマシテ、詰リ國粹ト云フ方針カラ喧シクナリ恰度一昨年ノ六月カラ外國語ハ教育法令ガ實施サレルコトニナリマシテ、詰リ外國人取締教育法令ト云フノデゴザイマセウ、「ブラジル」デモ四百名ト云フ日本人ノ學校ガ全部一時ニ閉鎖サレルコトニナツタノデアリマス。其ノ當時ハ在留民モ非常ニ教育ノ彈壓ヲ受ケタト云フヤウナコトデ憤慨ヲ致シマシテ、是デハ詰リ他ノ國ニ移轉シナケレバナラヌ、或ハ滿洲トカ支那ヘ行カナケレバナラヌト云フヤウナ感ジヲ起シタノデゴザイマシタ。然シ熟々吾々ガ考ヘテ見マスト云フト、吾々ハ「ブラジル」ノ國ノ御世話ニナツテ居ツテサウシテ其ノ國ノ法規ニ從ハナイト云フコトハ洵ニ是ハ不當ノコトデアル、ソノ國ノ御意志ニ從ツテソノ國ノ御世話ニナルト云フノガ吾々ノ勤メデアルト云フコトヲ考ヘ、近來デハ大部在留民ノ邦人ガ認識シテ來タヤウニ思フノデアリマス。ソレデソノ法令ハドンナコトニナツテ居ルカト言ヒマシレバ、決シテ外國語ヲ教ヘテハイケナイト云フ意味デハナイ、詰リ「サンパウロ」ソノ他ノ都市ヲ除イテ、農村ニ於ケル學校ハ十四歳以上ニナラザレバ外國語ヲ習ツテイ

ケナイ、又、學校ノ先生モ純「ブラジル」人デナケレバソノ教職ヲ取ルコトヲ得ズ、斯ウ云フヤウニナツタノデアリマス。ソレデ結局十四歳以上ノ子供ヲ日本人學校デ立派ニ日本語教育ヲ受ケサシテヤツタライ、ヂヤナイカト云フヤウナ説ノ下ニ色々研究シマシタガ、マダ「ブラジル」ハ日本人ノ入植シタ日ガ淺カツタ爲ニ、日本人ノ日本語ヲ教ヘルダケノ詰リ純二世トシテ生レマシタ「ブラジル」人トシテノ二世ガ、小學校、高等小學校ノ教師トシテ教ヘルトコロノ資格者ガ少カツタ爲ニ、結局ソノ農村ノ日本人學校ヲ閉鎖シナケレバナラヌヤウニナツタノデゴザイマス。又、經營上ニ於キマシテモ、地方農村ニハ十四歳以上ノ生徒ノミ澤山アリマシレバ、經營上ニ於テ差支ガナイノデゴザイマスケレドモ、十四歳以上ノ者ガ少イ、又十五歳、十六歳以上ニナレバ農村ノ手傳ヒモシナケレバナラヌト云フヤウナ爲ニ、結局學校ノ經營又、教師ノ資格者ガナイ爲ニ、地方農村ノ學校ハ閉鎖シタノデゴザイマス。ソノ反面ニ然ラバ十四歳以下ノ者ハ全部日本語ヲ止メタカト云ヘバ、サウデハナイ、法律ノ許ス範圍ニ於キマシテ、之ヲ家庭教育ニ移シマシ



テ、サウシテ家庭デ自ラ教師ニ就イテ日本語ヲ教ヘテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス。若シ家庭デ教ヘルコトガ出来ナイト云フ人ハ、隣リノ青年或ハソノ農村ノ人ヲ頼ンデ家庭教師ト致シマシテ、サウシテ大體教育ノ方針ヲ誤ラヅシテ日本語ヲ教ヘ、又日中ハ是迄日本ノ學校トシテ堂々トヤツテ居ツタソノ學校ヲ「ブラジル」學校トシテ、「ブラジル」ノ教育ヲスルコトノ便宜ヲ取リマシテ、サウシテ「ブラジル」ノ學校ニ一人モ殘ラズ行クヤウニナツテ居ルノデゴザイマス。デ、今デハ「ブラジル」ノ二世教育ノ方針トシマシテハ、大體日本語ハ家庭ニ於テ、又地方農村ノ團體ノ便宜ノ取レルトコロハ巡回教師ト云フヤウナモノヲ家庭教師ノヤウニシテサウシテ雇フ、サウシテ日本語ヲ教ヘルヤウニシテ法律ニ抵觸シナイ範圍ニ於テ之ヲヤルコトニナツテ居ルノデゴザイマス。今唯一ノ日本語教授トシテ統制シテ居ルノハ獎學舎デゴザイマス。「ブラジル」ノ「サンパウロ」州ヲ大別シマシテ、「サンパウロ」市並ニ、「マリリヤ」、「リンズ」、「アラサツバ」ト云フヤウナ日本人ノ澤山集團シテ居ルトコロニ中部近クニ獎學舎ト云フモノヲ建テマシ

テ、サウシテ地方ノ農村ニ於キマシテ十四歳以上ノ子供デ、マダ使フニハ早イ又經濟ノ許ス範圍ニ於テ、商業學校、中學校、或ハ專門、最高ノ學校ニ行ク生徒ヲ收容シマシテ、各班ノ小學校ニシ、サウシテ晝間ハ子弟ノ志願ニ於テ「ブラジル」ノ中學校、商業學校、專門學校ニ入學セシメ、ソノ餘暇ニ夜間ハ教師ガ日本語ヲ教ヘテ居ル。是ハ現在視學ノ方、詰リ監督官ノ方デモ大目ニ見マシテ公認ヲ受ケザル獎學舎ト雖モ自習室ニ於テ習フノハ父兄ニ習フト同ジコトデアルカラ構ハント云フコト迄申シテ居ルノデゴザイマス。又、澤山卒業スル獎學舎ハ、立派ニ法規ニ從ヒマシテ日本人ノ二世世ノ中相當ニ資格アル御方ヲソコノ校長ト定メ、サウシテ立派ニ我國ノ法令ノ下ニ法規ヲ受ケマシテ、十四歳以上ノ子供ヲ收容シテ教ヘテ居ルノデゴザイマス。私ノ特ニ御願ヒシタイコトハ是迄地方農村ノ二世教育ニ色々ト教育普及會ノ方カラ御援助ヲ戴イテ居リマシタガ、ソノ方ハサウ云フ關係カラ殆ドソノ實ヲ上ゲルコトガ出来ナクナツテ來タノデゴザイマシテ、唯々日本語ヲ教ヘ又、生徒ヲ收容シテ殊ニ精神訓練ヲ指導スルトコロノ唯一ノ機關ノ獎學舎ニ對シテ

モウ少シ力ヲ入レテ御援助ヲ願ヒタイト云フノガ——私バウルー領事館管下聯合日本會ノ會長ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、特ニ聯合會ノ方カラ此ノコトヲ陳情シマシテ、サウシテ御援助ヲ願フコトヲ歎願シテ戴キタイト云フコトヲ頼マレテ參ツタメデゴザイマス。時節柄我が母國ニ對シマシテ色々ノ援助ヲ願ヒスルコトハ洵ニ恐縮ノコトデゴザイマスケレドモ、民族發展又現在「ブラジル」ニ於キマシテ教育ノ彈壓カラ在留民ノ思想ガ動搖シマシテ日本ノ政府ニ付テハ、モウ南米移民ナンカドウデモイ、支那、滿洲ニ許リ力ヲ入レテ全然吾々ノ方ヲ別扱ヒニスルノデハナイカト云フヤウナ彼等ハ印象ヲ起シテ居ルノデゴザイマス。ソレデ此ノ際モウ少シ——決シテ日本人ニ對シマシテ詰リ在留民ニ對シマシテハ、サウ云フオ考ヘデナイコトハ吾々ハ能ク分ツテ居ルノデゴザイマスケレドモ、一般ノ在留民ハサウ思ツテ居ラナイ關係上、出來得ルコトナラバソノ方面ニモウ少シ力ヲ入レテヤツタナラバ、此ノ際非常ニ在留民ガ認識ヲ一變スルノデハナイカト云フコトモ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス。近來普及會ノ事業トシマテ育英制度ヲ以テ今二世世

ヲ一生懸命教育シテ居ルノデゴザイマス。ソノ二世教育ノ主ナル目的トシマシテ、中學校、大學、又師範學校ニ行ツテ二世ノ指導者トナル人ヲ今養成シテ居ルノデゴザイマス。是ハ最モ私共ガ希望トシテ御願ヒシテ、普及會ノ方ニ之ヲ實行シテ貰ツテ居ルノデゴザイマス。是ガ非常ニ優秀ナ成績ヲ今上ゲテ居ルノデゴザイマス。近キ將來ニ於キマシテハ立派ナル二世ガ教師トナツテ立派ナル資格ヲ以テ同胞子弟ヲ教育スルコトガ出來ルト云フコトヲ期待シテ居リマス。色々申上ゲタイコトモアリマスケレドモ、マア何カ御質問ガアリマシタナラバ教育方面ニ付キマシテハ、殊ニ關心ヲ有ツテ又、普及會ノ方ニ於キマシテモ役員ニナツテ居リマスカラ、大體ノコトニ付キマシテ一寸申上ゲマシタ。

○岡君(墨國タンビコ日會長) 一寸御伺ヒシマスガ、此ノ教育ニ付テドウ云フヤウナ教育ヲシロ、詰リ社會教育ヲシロ、サウ云フヤウナ程度ノモノデハゴザイマセンカ。  
○安瀬君 私ハ「ブラジル」ノコトニ付キマシテハ、「ブラジル」ノ普及會並ニ吾々ノ方針トシテ二世教育ノ方針ハ斯ウスル方ガ一番宜イト云フコトヲ考ヘテ居リマス。吾



マノ子弟教育ニ付キマシテハ、ソノ國ノ法令ニ從ツテ法令ノ許ス範圍ニ於キマシテ日本語ヲ授ケ、優秀ナル「ブラジル」人トシテ將來活躍スルモノヲ養成シタイ、斯ウ云フ方針デゴザイマス。ソレニ付キマシテハ日本語ノ程度ハ父兄ト能ク意志ガ疏通シテ、サウシテ我が日本ト云フ國ノ日本精神、此ノ美點ヲ能ク研究サセ、サウシテコノ好イトコロヲ「ブラジル」人、所謂第二世ノ魂ニ授ケサウシテソノ國ノ法令、ソノ國ノ掟ニ背カンヤウナ優秀ナル民族ヲ作りタイト云フノガ「ブラジル」ノ教育者ノ最近ノ要求ノヤウニ考ヘテ居リマス。又、吾々モソレヲ希望スルノデゴザイマス。

○畑中君(伯國バストス移住地支配人) 只今大體コノ案ニ付テ、私共ハ現地ニ居リマシテ將來ドウシテ行クカ、今迄造リ上ゲタ土臺ヲドウシテコノ儘持ツテ行クカト云フヤウナコトニ付テハ恐ラク何レノ方面ニ於テモ同ジト思ヒマス。ソレハ「ブラジル」トシテハ第一人ヲ殖ヤス、ソレヲ減ラサナイト云フコトガ一ツ、ソレカラ現在ソコニ居ル者ノ素質ヲ良クスルト云フコト、ソレハ取りモ直サズ斯ウ云フコトデアリマス。ソレハ第二世ノ教育、社

會的教育、二ツニ分レルト思フノデアリマス。ソレカラ第三ハ、現在築キ上ゲテ居ルトコロノ經濟的地盤ヲ確保スルコトガ解決ガ出來レバ洵ニ吾々トシテハ有難イコト、思ツテ居ルノデアリマス。現在「ブラジル」ニ於キマシテハ、今安瀾君ノ御話ノヤウニ政府ハ詰リ國家ノ總力ヲ擧ゲテ外國系ノ排斥ヲシテ居ルノデアリマス。是ハ御存知ノ通り「ブラジル」ハ非常ニ澤山ノ人種ガ居ルケレドモ、大體ハドイツ人、日本人ヲ目標ニシテ居ルノヂヤナイカト思ヒマス。日本語デ教育ガ出來ナイト云フヤウナコトガ發表ニナリマシテ、ソレガ爲ニ非常ニ日本人ヲ壓迫シタヤウニ取ツテ居ル人ガアルサウデゴザイマスガ、サウデナクシテ、是ハ外國人ト云フコトデ、日本人ダケデハナイト云フ考ヘガサウ云フコトニナツタノデアリマスカラ、結局ハ思想的ニモ、社會的ニモ統一ヲ圖ルト云フコトガ目的デアリマスノデ、ソノ目的ヲ達成スルト云フ手段トシテハ矢張り教育ニ重點ヲ置クト云フヤウナコトニナルノデアリマス。ソレデコノ外國語ノ教育ト云フコトヲ禁止シタノデアリマス。ソノ他學校ニシマシテモ、凡ユル愛國の團體ノ設立或ハ指導者、教育

者ノ養成ト云フヤウニ躍起ニナツテ居ルヤウナコトデアリマス。ソレデアリマスカラサウ云フヤウナ目的ヲ達スル爲ニハ隨分思ヒ切ツタコトヲスルノデアリマシテ、「ラテンアメリカ」ハオシナベテサウカト思ヒマスガ、實ニ完備シタ法律ガ出ルト思ヒマスガ、ソノ法律ヲ飽迄モ徹底サセテト云フヤウナコトガ餘リアリマセンデシタ。喧シイ法律ガ出マシテモ、イツノ間ニカ何ントカナル、然シコノ教育令ニ關スル限り非常ニ嚴格ニヤリマス。是ハ官民共ニサウ云フ心持ニナツテ居リマス。恐ラク此ノ國家外交力ノ大キナモノトシテ今ドウニモナラヌトコロ迄行ツテ居ルノデアリマス、マア言ヒマスレバ行クトコロ迄行ツタト云フコトニナリマシタガ、然シ「ブラジル」側カラ見レバ、是モ當然ノ話デアラウト存ズルノデアリマスガ、御承知ノ通りア、云フ難般ノ人種ガ居リマス。而モ「ナシヨナリズム」ノ下ニ於キマシテ、ア、云フ國民デハ、ドウニモナラヌ、國民性ヲ統一スルニハ、先ヅコノ外國語ヲ統一シナケレバナラヌ、「ブラジル」ノ人口ガ四、五百萬位アルノデゴザイマスガ、外國人ガ一千萬人以上居ルト云フヤウナ状態デアリマス。ソ

ノ子弟ハ恐ロシイ數ニ上リマス。ソレハ南米ナンカニ於テ同ジダラウト思ヒマスガ、ソコニ生レタ者ハ屬地主義ト申シマスカ、ソコノ國籍ノ如何ニ拘ラズ、「ブラジル」人ニナルト云フコトデアリマシテ、「ブラジル」人ナガラ、「ブラジル」語ヲ知ラヌ、外國語シカ話サヌト云フヤウナ外國人ハ困ル、是ハ最モ酷イ例ハドイツ人デアリマス。徴兵ニ行ツテ「ブラジル」語ガ分ラン、右向ケ右ラウト思フノデアリマス。ソレデ兎ニ角、「ブラジル」ニ生レタ者ハ「ブラジル」語ニ依ツテ、「ブラジル」ノ習慣ニ依ツテ善イ「ブラジル」人ヲ作ツテ呉レト云フコトガ、一言ニ申シマスレバ「ブラジル」ノ意圖デアリマス。ソレハ「ブラジル」デ卒業スル者ハ、吾々ハ許可ヲシナケレバナラヌト云フヤウニ今ナツタ譯デアリマス。併シナガラ今モ安瀾君ノ話ハ非常ニ「ブラジル」ハ自由デアリマシテ總テガ非常ニ寛大デアリマス。日本人ガ二、三十人參レバ、ソコニ一ツノ小學校ヲ拵ヘ、ソコロ中心ニシテ總テノコトヲヤルト云フヤウナコトデアツタノデア



リマスガ、サウシテ第一世ト云フモノハ日本デ大キクナリ、日本デ教育ヲ受ケテ居リマスカラ、今迄ハ詰リ自分等ガサウ云フ日本ノ教育ヲ受ケ、日本人ニナツテ來タノデ、其ノ儘ヲ第二世ニ教ヘルト云フヤウナコトデアツタノデアリマスガ、ソレガ本當ニ「ブラジル」ニ於ケル二世ノ教育デアルト云フヤウナ考ヲシテ居ツタノデアリマス。ソレガ俄カニ日本語ヲ初等教育ガ出來ナイト云フヤウナコトニナリマシテ非常ニ狼狽シテ居ルノデアリマス。實ハ二十二年程色々ナコトヲヤツテ見タノデアリマスガ、結局コノ「ブラジル」ハ先刻申シマシタ通り官民總力ノ是ハ力デドウシテモ是ダケハ實行サスト云フヤウナ氣持デ進ンデ居リマス。ソノ間多少マア昇格ト云フヤウナコトモアツタノデアリマス。然シ今申シマシタ通り結論トシテソコヘ行ツタノデアリマス。サウ云フコトデアリマスノデ、マアソレデヤ仕方ガナイカラ「ブラジル」ノ國策ニ協力シヤウト云フコトデ、小學校ノ教育ト云フモノハ「ブラジル」ノ學校ニヤル、ソノ學校モ日本人ガ集團シマスト自分デ大體校舍ヲ建テタノデアリマスガ、サウ云フトコロデヤツテ居ツタノデアリマスケレドモ、

日本語教育スルコトガ出來ナイノデ、「ブラジル」政府ニ御願ヒシタコトモアルシ、サウ云フコトデアリマスノデ、今、十四歳以下ノ小學校ノ子供ハ、晝ハ「ブラジル」人ノ學校ヘ參リマス。ソレハ大體四時間位ト云フノデアリマス。ソノ他ニ方法ガナイノデアリマス。日本語ノ教授ハ専ラ家庭デヤルト云フコトニ致シテ居リマス。家庭ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマスガ、尙ホ事情ノ許ストコロハ青年ガ二人、三人ノ子供ヲ見テヤルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス。兎ニ角、五人以上寄レバ皆ナ學校ト云フヤウナコトデ喧シイコトヲ言フノデアリマス。分散的ニ五人、七人集メテヤルコトハ出來ナイヤウニナリマシテ、全然家庭ヘ持つテ行クト云フコトニナツタノデアリマス。然シサウ云フコトデハ「ブラジル」語ハ習得スルコトガ出來マスケレドモ、日本語ハドウモ出來マセンケレドモ、此ノ二世ハドコノ國モ同ジダラウト思ヒマスガ、唯ソコノ國ノ言葉ダケデハドウモ不十分デアル、ドウシテモ日本語ヲ習フト云フコトハ是ハ絶對條件デアリマスノデ、十四歳以下ノ子供ガ法令デ禁ゼラレテ居ルノハ仕方ガナイトシテ、ソレ以上ノ所謂十五、六歳、廿

歳前後ノ青年ヲ訓育シヤウト云フコトニ非常ニ力ヲ入レ出シタノデアリマスガ、ソレハ今迄日本デヤツテ居ラレルヤウナ農民道場、或ハ訓練所ナンカアリマセンガ、講習會デ色々ヤツテ見タノデアリマスガ、然シ中々サウ云フ方面ノ専門家ガ居リマセン、吾々如何ニ熟ヲ以テヤリマシテモ、ツイ行詰ル。又、青年トシテモ飽クト云フヤウナコトデアリマシタノデ、中々巧ク行カンノデアリマス。サウ云フコトニ對シマシテハ、ドウシテモ此ノ日本ト密接ナル聯繫ヲ以テヤツテ行カナケレバ、日本トシテ非常ニ大キナ組織ガアルヤウデアリマスガ、此ノ間ノ新聞ニモ全國カラ一萬五千ノ者ヲ集メテ、内原訓練所デ再教育ヲヤルト云フヤウナコトガ載ツテ居リマシタガ、マアサウ云フコトヲ承リマス、吾々サウ云フコトニ常ニ頭ヲ悩マシテ居ル者ハ羨望ヲ懷クノデアリマス。然シ是ハ如何トモスルコトガ出來マセンノデ、出來ルダケ之ヲヤルヨリ仕方ガナイト云フコトデアツテ居リマス。ソレデ私共ノ御願ヒシタイコトハ、ドウシテモ青少年ニ日本人的ノ雰圍氣ナリ、情操ナリヲ打込マナケレバナラヌノデアリマス。此ノ日本ノ進ンダ青年指導ノ權威者ヲ時々

現地ニ派遣シテ戴キタイ。ソレデ費用ノ點モ敢テ政府ノトハ申シマセン。サウ云フヤウナコトハ現地デモ十分出來ルノデアリマス。昨年カラ今年ノ初ニ掛ケマシテ日本青年團ト云フソノ主事ノ秋山照禪氏ヲ招聘シタノデアリマスガ、是ハ母國ノ朝野ノ方ガ非常ニ御斡旋トサツタノデアリマスガ、恰度「ブラジル」ニ六ヶ月許リ居ラレマシテ、「アルゼンチン」「チリ」ト云フヤウナ方面ニ廻ツテ行カレマシタカラ、恐ラクアノ方面モ青年指導ト云フヤウナコトデ御話ガアツタノデアリマスガ、恰度私ガ急激ニ日本語ガヤレン、然ラバ青年訓練ト云フコトデ乗出シマシテヤツテ居ツタノデアリマスガ、今申シタ通り中々巧ク行カン、飽イテ來ル。指導者ソノ者ガ中々考ヘルト云フ状態デアリマシテ、言ハバ行詰ツタヤウナ時デアツタカモ知レマセンガ、非常ニ大キナ反響ヲ與ヘマシテ今尙ソノ影響ハ、頗ル大ナルモノガアルト思フノデアリマス。是ハヤルト云フコトニナレバ、サウ難シイコトデヤナイノデ實行出來ルコトダラウト思フノデアリマスガ、ソレト同時ニコノ現地ノ農村ニ居リマシテ離リシタ青年ヲ日本ニ送ツテ二、三年各方面デ教育ヲ打込ンデ貰フト



云フヤウナコトモ一方法ト思ツテ居リマス。サウ云フ手段モ是カラ取ルコトニナツテ居リマス。サウ云フ青年ガ日本へ歸リ指導者ノ指導者トナル。兎ニ角二十數萬ノ者ガ散在シテ居ル、各地ニ澤山集團ガアル。而モソノ集團ニ一人ヤ二人ノ指導者ガアレバ、青年ヲ教育スレバ非常ニ効果ガアル。私ハ二、三人連レテ來タイト思ヒマシテ來ルコトニナツテ居タノガ實現シマセンデシタガ、是非ハ是非實行シタイト云フヤウナコトヲ話合ツテ居リマス。昨日モコノ海外教育協會ノ方カラ、ソノヤウナコトヲ伺ツタノデアリマス。頗ル完備シタヤウナ組織デアルノデアリマスケレドモ、然シ私等ノトコロハ北米、「ハワイ」ト違ヒマシテ、日本ヲ離ル、コト非常ニ遠イト云フコトモアリマスシ、サウ澤山ノ者ヲ日本ノ方へ寄越シテ初等教育ヲサスコトハ中々出來ナイ。ア、云フコトハ洵ニ結構デアリマス。偉イ教育デ結構デスガ、全體カラ申セバ言ハバ九牛ノ一毛ト云フヤウナコトニナリマス。ソレヨリモ年々殖エテ行ク自然増加ガ約一萬位ダト思ヒマス。現在六萬七千ノ日本人ガ居リマス。而モ純二世ト云フヤウナ者ガ居ル。サウ云フ何萬ヲ教育スルト云フヤウナコト

トニ重キヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、然シソレハ詰リ在伯邦人ノ社會教育ト云フヤウナコトニナリマスノデ、大衆教育ト云フヤウナコトニナリマスノデ、是ハ餘リ話ガ長クナリマスガ、二世ノ教育トシテハ最モ實行性ノアル指導員ヲ送ツテ貰フ、又、コチラデモ指導員ノ指導員ニナル人ヲ養成シテ貰フ、今、安瀨君ノ話ニナツタ獎學舍、是非モ非常ニ今役立ツテ居リマスガ是ハ一層期待シテ置クト云フヤウナコトハ必要デアルト思ヒマス。煎ジ詰メレバ唯々ソレダケノコトヲ指導者ト云フコトニナルノデアリマス。

○岡君 私モ此ノ問題ニ付キマシテハ、三十ヶ年近クソノ所々ニ於キマシテソノ衝ニ當ツテ非常ニ苦心シテ居リマス。ソノ國ニ居レバソノ國法ニ從ハナケレバナラヌト云フコトハ當リ前ノコトデアリマス。「メキシコ」ニ於キマシテハ、滿七歳ニナレバ必ズ「メキシコ」ノ學校へ行カナクテハナラヌ。行カナケレバ巡查ガ戶籍調べシテサウシテ強制的ニ連レテ行ツテ教育ヲスル、ソレハ洵ニ結構ナコトデアリマス。ソレデ私共ハ「メキシコ」ニ居ツテ「メキシコ」ノ教育ヲ受ケル。サウシテ學校カラ歸

レバ一日置キ或ハ三日置キニ日本語ヲ教ヘテ、サウシテ自分ノ親戚カ、何カカラ、又日本カラ手紙ガ來レバソノ手紙位ハ讀メルヤウニ、日本カラ人ガ來タ時ハ應待ガ出來ルヤウニ或ル程度迄ノ日本語ヲ教ヘル。醫者ノ立場カラ考ヘルト、小サイ子供ノ時間外ノ詰リ「メキシコ」ノ學校ニ於テ五時間モ教ヘラレテ、ソノ上ニ又家庭ニ歸ツテ一時間、二時間ニ色々ナモノヲ教ヘルト云フコトハ、ソノ健康上ニ大イニ考慮セネバナラヌ、ソレデソノ點ノコトモ能ク注意シテヤツテ居リマシタ。トコロガデス、昨年カラ「メキシコ」ニ於テ凡ユル學校ニ於テ社會主義ノ教育ヲシナケレバナラヌ。殊ニ本年ニナリマシテハ、私立ノ學校、公立ノ學校ニ凡ユル學校ニ於テ、絶對的ニヤラナクテハナラヌ、是ハ普通ノ法律デアルカラ悉ク社會主義ノ教育ヲスル。斯ウ云フ實ハ法令ガ出タノデアリマスガ、私共モ非常ニ恐慌ヲ來シマスシ、又「メキシコ」人ノ家庭ニ於テハ非常ニ驚キマシテソレデ非常ニ反對シタノデアリマス。反對ノ聲ハ量々トシテ起リ、或ハ陳情シ、或ハ大統領ニ電報ヲ打チ非常ニ運動ヲシタ爲ニ、今デハ之ヲ強制的ニハヤラヌト云フ風ナコトニナツテ居ル

ノデアリマス。此ノ事ガ吾々同胞ノ子供ヲ持ツテ居ル社會ニ非常ニ反響ヲ與ヘ、自分ノ子供ガ學校ニ於テ社會主義ノ教育ヲ受ケタ場合ノ將來ハ實ニ憂慮ニ堪エナカッタモノデアル。是ハドウシタラ宜カラウカ、斯ウ云フ相談ヲ再々私ハ受ケルノデアリマス。ソレニ付キマシテ私ノ第一ノ案ハ、アナタノ家庭ガ經濟上ニ於テ許スナラバ學齡兒童ヲ日本ニオ歸シニナルナラバオ返シニナツテ日本ノ教育ヲ受ケナサイト云フコトヲ御話シテ居ル。私ノ見マストコロデハ、殆ド此ノ間カラ十二、三人日本ニ歸リマシテ現ニ私ノ歸リマス時モ二人ノ學齡兒童ヲ預カツテ歸ツタヤウナ次第デアリマス。然シソレハ經濟上ソレヲ許ス者ニ限ルノデアリマシテ、若シソノ金ノ無イ場合ニ於テドウスルカト云フ問題ガ必然的ニ起ル問題デアリマシテ、サウ云フモノニ對シマシテハ、矢張コノ家庭教育ト云フモノハ所謂昔カラ孟母ノ三遷ノ教ヘノヤウニ極メテ必要ナモノデアル。自分ノ子供ハ父ニ依ツテ受ケル影響ヨリハ母ニ依ツテ受ケル影響ノ方ガ大キイト云フコトハ、私ガ喋々申ス迄モナイノデゴザイマスカラシテ、ソノ家庭ニ於テ學校カラ今日ハ何ヲ習ツテ來タカソノ習ツ



テ來タコトヲ言ハサセ、此ノ社會主義ニ關スルコトハソノ家庭ニ於テ打消シテ、是ハサウ云フモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ實行シタライケナイト云フコトデヤツテ居リマシタ。至ツテ姑息ナ方針ヲ取ツテ居ルノデアリマス。トコロガ家庭ト云フモノハ極メテ不規則ナモノデアリマシテ、日本人ノ家内ヲ有ツテ居ル方モ、「メキシコ」人ノ家内ヲ有ツテ居ル方モアル、トコロガ「メキシコ」人ノ家内ヲ有ツテ居ル家庭ニ至リマスト其ノコトノ實行ガ殆ト出來ナイノデアリマス。ソレカラ日本人ノ家庭ニテモ長ラク外國ニ居ルト自分ノ子ヲ教ヘルダケノ資格ノナイ人ガ澤山アルノデアリマス。ソレニ付キマシテ斯ウ云フ方々ニ對シテハ「ブラジル」デ現ニ實行セラレテ居ルヤウナ家庭教育、詰リ時々ニ集會ヲ行ヒ、或ハ巡回教師ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ其ノ家庭ニ於テ子供ヲ教ヘルノデヤナイ。其ノ父ト母ニ付テノ詰リ正當ナル教育ヲ與ヘテサウシテコノ子供ヲ指導シ得ルヤウニヤツテ行ツタラドウダラウカト云フコトデ、自分モ私カニ心ヲ煩シテ居ルモノデアリマスガ、其ノ邊ノコトニ付キマシテモ當局ニ於テドウシタラ宜カラウカト云フ成案ガアレバ伺

ノ父母ノ下ニ於テ十分ノ教育ノ出來ナイ家庭ニ於テハ、家庭教育師或ハ巡回教師ヲ雇ツテ其ノ父ト母ノ教育ヲシタラドウカト云フヤウナ提案ヲ有ツテ居ルノデアリマス。

○安瀨君 只今ノオ話ニ付キマシテ私モ附加ヘテ御願ヒシタイト思ヒマス。最前私モオ話シタヤウニ、子供ノ教育ハ家庭教育ニ止メテ、詰リ日本語ハ家庭教育並ニ家庭教育師ニ止メテ大體ヤツテ居ルト云フコトニ付キマシテ是ハ最モ忽セニス可カラザル問題デ子供ノ精神ハ家庭カラ起ルト云フノハ當然デスガ、殊ニ家庭ガ確リシナケレバ子供ニ確リシタモノガ出來ナイト云フコトハ當然デアリマス。ソレデ青年指導ノタメ、父兄指導ニ講師ヲ送ツテ貰ヒタイト云フ御意見ニ對シマシテ、私ハ一方ナラヌ力ヲ入レテ戴キタイノデアリマス。父兄ガ二十年、三十年ト農園ニ入りマシテ、碌ナ雜誌モ讀マナケレバ新聞モ讀マナイデサウシテ唯々勞働ニノミ勵ンデ居ル人多イノデゴザイマシテ、從ツテ思想ガ退化シテ仕舞フノデゴザイマス。ソレデオ互イガ大イニ勉強シタラドウカト云フ點ハ尤ナ御意見デゴザイマシテ、吾々モソレニ付キマシテ色々ト心配シテ居ルノデゴザイマス。殊ニ時折サウ云フ

ヒタイモノデアリマス。ソレカラソノ次ニコノ子弟ヲ日本ニ送ツテ日本デ教育ヲスル、サウ云フコトニ付テ、是ハ中々此ノ間モ近藤サンノ御意見ヲ聞イタノデアリマスガ、日本ニ送ツテ幸ヒニソレヲ指導スル良キ家庭トカ、良キ家族ガアル場合ニ於テハ宜イ、然シ是モ中々難シイ問題デアリマシテ、自分ノ家内ガ自分ノ半生ヲ犠牲ニシテ子供ト一緒ニ日本ニ歸ツテ日本デ相當ノ教育ヲスルト云フコトニナレバ非常ニ結構デアリマスケレドモ、ソレハ極ク稀ノ場合デアリマシテ、自分ノ親戚ニ頼ンデソノ子供ノ教育ヲスルト云フコトニ付テハ随分澤山ノ惱ミガアルノデアラウト思フノデアリマス。ソレヲ進ンデソレニ適當シタ一ツノ學院ヲ拵ヘソノ學院ニ子供ヲ預ケテ、サウシテ戴イテ或ル程度ノ年限ヲ教ヘテ戴イテ、「メキシコ」ニ歸ツテ「メキシコ」デ父ノ業務ヲ助ケルト云フ風ナコトモ洵ニ結構ナコトデアアル。然シ子供ヲ教育スル上ニ於テソノ母ヨリ重大ナルモノハナシ、ソノ父ヨリ重大ナルモノデアリマスカラサウ云フ立場カラ設備モ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ子供ハ出來ル丈ケ父母ノ下ニ於テ教育ヲシヨウト云フ結論ヲ有ツテ居リマスノデ、ソ

講演者ガ巡迴シテ下サツテサウシテ地方ノ青年或ハ父兄ニ呼掛ケマシテ、新シイ日本ノ狀況、或ハ方針ニ付キマシテ認識シテ戴クコトガ出來マスルナラバ是以上ノ効果ハナイノデゴザイマス。詰リ、青年モ父兄モ又新シク教育シテ行ク必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ私ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス。ソノ意味ニ於キマシテ、是非之ヲ實行スルヤウニオ願シタイ。又然ラバ現地ニ於テ適當ナル人ガナイノカト申シマスレバ、現地ニ於テモ適當ナル人ガアルカト思フノデゴザイマス。ソレデ日本カラ送ツテ戴クノモ是ハ最モ宜イコトデゴザイマス。又日本カラ送レヌ場合ハ現地ニ適當ナル人ヲ採用シテ新シイ教育ヲ受ケサセタイト考ヘマス。一寸簡單デゴザイマシガ……。

○加藤君(墨都日會副會長) 教育ノ問題ニ付キマシテ「ブラジル」ノ安瀨サン、畑中サンノ色々ア、云フ多勢日本人ガ居ラレルトコロデノ御苦心ヲ伺ヒマシテ大變有難ウコザイマス。私ハ「メキシコ」ノヤウニ日本人ガ非常ニ散在シテ居リマシテ、一ヶ所ニ纏ツテ居ル邦人ノ數ガ少イ所ニ於キマシテドウシテ子弟ノ教育ヲスルカト云フ問題



ニ付テ長年「メキシコ」デハ憫シテ來タノデアリマス。ソレデ「メキシコ」市ニ於キマシテハ、日本人ノ數ガ約二百五十人、日本人ノ會員ニハツテ居ルモノガ約二百五十人ソレデ二百五十人デ一ツノ學校ヲ經營シテ行クコトハ可成リ經費ノ點デ困難ヲ來シタノデアリマス。漸ク昨年ノ暮現在ノ日本人會長松本君ト私ト二人デ全責任ヲ有ツテ拵ヘテ見ヨウデヤナイカト云フノデ外務省ニオ願ヒシテ教師ヲ二人聘ブコトニ致シマシタ。ソレハ全部經費ハ二人デ負擔シタノデアリマス。サウシテ先生ガ來レバ何ントカナルノダ、アトノコトハ相談スルト云フノデヤツタノデアリマス。今年ノ初ニ先生ガ來ラレマシテ愈々日本人ノ學校ヲ造ルコトニシマシテ、其ノ教師ヲ雇フニ付キマシテモ中々問題ガ起キマシタガ、幸ヒニ日本ノ越田公使ニ「メキシコ」ノ文部大臣ト直カ談判ヲシテ戴キ、日本ノ子弟ニ專ラ日本語ヲ教ヘルノデアル、但シ普通ノ義務教育ハ受ケサセルト云フ條件デ快ク「メキシコ」ノ文部大臣ハ承諾シテ呼ビ寄セルコトニナツタノデアリマス。學校ガ七月カラ開校ニナツタノデアリマスガ、ソノ經費ノ點ニ於キマシテ約月ニ一千二、三百ベソ、日本ノ

ノ上デ御算出願ヒタイ。斯ウ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス。私ノ申上ゲタイコトハソレ丈ケデアリマス。

○賀集君(亞國日本人花卉組合聯合會長)「アルゼンチン」ノ賀集デゴザイマス。「アルゼンチン」ニ於ケル日本語教育ガドウ云フ風ニ進ンデ來タカト云フ好イ例ヲ取ツテ申上ゲマスト云フト、私ハ十五年前ニ日本ニ歸リマス時ニ日本ニ勉強ニ來ル小學校ノ子供ト乗合セマシタ。ソノ時ニ十五年前ノ「アルゼンチン」ニ於ケル二世ハ「今日ハ、左様ナラ」モサウ言ヘナカツタノデス。ソレカラ五年前ニ又歸ツテ來マス時ニ、矢張り二世ノ子供ト一緒ニ歸ツテ來マシタガ、ソノ時ニハ大體支那人ノ日本語、位デ、「私、ソレ、アリマス」位ノ程度デアツタノデアリマス。ソレカラ此ノ度私ガ歸ツテ來マス時ニ矢張船ノ中ニ五、六名ノ子供ガ居リマシタガ、唯々「アルゼンチン」ノ奥サンヨ貰ツテ居ル混血兒ノ子供ダケハ日本語ハ出來ンデスガ、外ノ子供ハ殆ド能ク日本語ヲ話シテ居ル。日本ニ歸ツテ來テモチツトモ不自由シナイ程度ノ子供ガ大半ヲ占メテ居ツタト云フ此ノ例ニ依リマシテモ、十五年ノ間ニ日本語教育ガ非常ニ進歩シタト云フコトガ

金デ一千圓以上ノ金ガ要ルノデアリマス。生徒ノ數ガ現在四十人許リノトコロデ月ニ一千二百圓モ要ルノデス。年ニ三百六十ベソノ金ガカ、ルト云フコトハ、是ガ若シ非常ニ多勢ノ纏ツテ居ルトコロデアリマスレバ、例ヘバ同ジ生徒ガ百人居ツテモ、百五十人居ツテモ、一ツノ教室ニ八十人入レテモ、百六十人居ツテモ同ジ經費デ済ムノデアリマス。トコロガ四十人デモ百六十人デモ同ジ經費デアルト云フ意味カラ、非常ニ學校ノ經營ガ難シイト云フ現狀ニナツテ居ルノデアリマス。ソレデ政府ノ方カラシテ御補助シテ戴イテ居ルノデアリマスガ、此ノ補助ヲ御出シニナル規定ガ恐ラク生徒ノ頭數ト云フヤウナコトヲ「スタンダード」ニシテオ決メニナツタノデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ數ノ纏ツテ居リマスレバ、父兄ガ月十圓宛モ出セバ學校ガ經營出來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、吾々ハ子供ヲ學校ニヤツテ居リマセンガ、月二百圓位一人頭取ラレル。非常ニ學校經營ニ大キナ犠牲ヲ拂ツテ居ルト云フコトニ關心ヲ有ツテ戴キ、若シ政府ノ補助ヲ生徒ノ頭數デナク一ツノ學校ヲ經營シテ行ク「スタンダード」ノ最低ノオ考ヘ

コノ例ニ依ツテモ御判リノコト、思ヒマス。十五年程前ノ在亞同胞ノ日本語教育ノオ考ヘハドウカト云ヘバ、「アルゼンチン」ニ生レタノデ、「アルゼンチン」ノ國民デアルカラ日本語ナド教ヘナクテモ宜カラウト云フヤウナ方針デアツタ。ソレガ爲ニ殆ドソノ家庭ニ於テ日本語ヲ教ヘナカツタノデアリマスケレドモ、昭和二年二月二十二日ニ日本語小學校ガ日本人會附屬トシテ設立シタ。ソノ時モ相當反對ガアツタノデゴザイマスガ、ドウシテモ日本語ヲ教ヘナケレバナラヌト云フ方面ノ方ガ集マツテ日本語小學校ヲ設立シタノデスケレドモ是ハ日本語小學校ト申シマシテモ、日曜學校ト申シマシテ、日曜デアルトカ、祭日ニ日本語ヲ教ヘル。ソノ外ノ日ニハ「アルゼンチン」ノ公立ノ小學校ニ行クト云フヤウナ方針デアツタノデゴザイマス。ソレカラモウ少シ日本語ヲ十分教ヘナケレバナラヌト云フ譯デ、ソレカラ平日教授ニ約六、七年前ニ變ツタ、平日教授ト申シマスト一週間ニ二回ナリ三回ナリ日本語ヲ教ヘル、ソレカラ進ミマシテ昭和十三年ノ十月ノ九日ニ「アルゼンチン」ノ公認小學校ノ許可ヲ取り、サウシテ午前中ハ「スペイン」語



ヲ教へ、午後日本語ヲ教へルト云フ方針ヲ取ツテ居ル  
 ノデゴザイマス。「アルゼンチン」ハコノ日本語教育ニ  
 對シマシテハ少シノ制限モアリマセン。公認小學校デゴ  
 ザイマスカラ唯々校長ノ免狀丈ケノ試験デハイカンノ  
 デ、是ハ「アルゼンチン」ノ視學ガ來テ、サウシテ試験  
 シテ成績ノ好イ者ニハ進級サスト云フコトニナツテ居リ  
 マス。「アルゼンチン」デハ割合ニヨク落第サス所デス  
 ケレドモ、二回程進級試験ヲヤリマシタケレドモ日本小  
 學校ノ生徒ハ一人モ落第セズ皆優等デ卒業シテ今、非常  
 ニ日本人ノ子供ハ良ク出來ルト云フコトヲ言ハレテ居ル  
 ノデゴザイマス。是ハマア「ヴェノスアイレス」在亞日  
 本人會ノ附屬小學校ノコトデゴザイマス。ソレカラ地方  
 ノ日本人會或ハ地方ノ組合ニ約七ツノ小學校ガアリマス  
 ガ、是ハ主トシテ矢張り日曜祭日ノ教育ヲシテ居ル日曜  
 學校ト云フ程度ノモノデアリマス。ソレカラ未ダ二、三  
 最近ニ出來タノデアリマスガ、ソノ子弟ガ矢張り十四、  
 五名デ殆ド未ダ學校ラシイ學校ト云フコトハ出來マセン  
 ガ、先ヅ大體ニ於テ「アルゼンチン」ニ於テ日本語小學  
 校ガ十位アルト思ヘバ間違ナイノデゴザイマス。デコノ

「アルゼンチン」デハ、日本語教育ニ當ツテ一番困ツテ居  
 リマスノハ、コノ教師デス、小學校ノ先生ヲ見附ケルト  
 云フコトガ相當困難ナ仕事ニナツテ居ルノデゴザイマ  
 ス。日本人會或ハ組合アタリデ先生ヲ募集スル、サウス  
 ルト云フト中等學校或ハ専門學校位ヲ出タ人ガ相當履歷  
 書ヲ送ツテ來ルケレドモ、日本人會ノ書記デアルトカ、  
 組合ノ書記デアルトカ或ハ貿易商店ノ店員デアルトカト  
 云フヤウナ人ハ相當アリマスケレドモ、實際ニ於テ小學  
 校ノ教師トシテ子弟ヲ教育スルダケノ實際ニ適當ナル教  
 師デアルトカト云フコトニナルト云フト、中々難シイ、教  
 育ハアルケレドモ、ドウモ子弟ヲ教育スルニハアノ人ハ  
 人格ガ足ラヌ、或ハ品行ガ不良デアルト云フヤウナコト  
 ヲ見ルト中々良イ教師ガ見ツカラヌ、是デ一番私共ハ惱  
 ンデ居ルノデゴザイマス。ソレデコノ教育聯盟モ昭和十  
 五年ノ二月十七日ニ出來マシテ、教授ノ方針ヲ統一トカ  
 或ハ科目ノ一定、或ハ學校經營ノ聯絡統制、或ハ父兄ノ  
 啓發、或ハ教師、教目ノ充實ト云フヤウナコトヲヤツテ  
 矢張り小學校ノ先生ヲ見附ケルニ於テモ隨分苦勞シテ居  
 ルノデゴザイマス。デアリマスカラ、「アルゼンチン」ニ

於ケル日本語教育トシマシテハ、ドウシテモコノ教師ヲ  
 送ツテ戴クト云フコトガ一番ノ問題デナイカト思フノデ  
 ゴザイマス。デコノ教育聯盟モアルコトデゴザイマスカ  
 ラ、領事館ノ管轄ニコノ當ノ小學校ヲ統一スルトコロノ  
 領事館囑託ノ視學ノヤウナ人ヲ送ツテ戴イテ、サウシテ  
 コノ中央日本人會在亞日本人會ノ公認小學校ノ校長ヲ兼  
 任シテ、サウシテ教育ヲ統一シテ戴クト云フコトガ是ハ  
 一番大切ナルコトデハナイカト思フノデゴザイマス。現  
 在ニ於キマシテハ領事ガ此ノ教育聯盟ヲ統轄シテ居リマ  
 スガ、領事ハ二年ナリ、三年ナリシマストドン、變ツ  
 テ行ク、是デハドウモ困ル。アチラニモ校長、コチラニ  
 モ校長、校長會議ヲヤリマシテモ、ドウモ統一ガ取レヌ  
 ト云フ譯デス。私ノ望ムトコロハ、拓務省ニ囑託ガアル  
 ヤウニ囑託或ハ技師ガ居ルヤウニ、領事館内ニ日本ニ於  
 ケル教育ノ相當ノ經驗者デ、サウシテ人格總テノ點ニ於  
 テ備ハツタ人ヲ送ツテ戴イテ、サウシテアチラノ日本語  
 教育ヲ統一シテ貰フト云フヤウナコトヲ私ハ希望スルノ  
 デゴザイマス。「アルゼンチン」ハ先程申シマシタヤウニ  
 外ノ國トハ違ツテ、全然コノ小學校ノ日本語教育ト云フ

コトニ對シテノ制限ハ受ケテ居リマセン。是丈ヲ申上ゲ  
 テ置キマス私ノ希望ヲ申上ゲマス。  
 ○岡君 今一寸賀集サンノオ話ガアリマシタガ、子供ヲ日  
 本ニ歸ス上ニ於テハ日本語ノ教育ガナクテハナラヌ、私  
 ハ今度二人ノ子供ヲ連レテ歸リマシタガ、一人ハ七ツニ  
 一人ハ八ツニナル、向フノ學校デ一番イイ設備デ、一番  
 教師ノイ、學校デ、一番イ、子弟ノ入ツテ居ル學校デ兄  
 ノ方ハ二年級デ六十人ノ生徒ノ中デ一番デ賞盃ヲ貰ヒマ  
 シタ。弟ハ矢張り一年生デス、五十人ノ中デ二番デアリ  
 マシタ。ソレデ家庭ハ夫婦トモ日本人デゴザイマス。ソ  
 レデ將來マア日本ニ歸ス積リデアリマシタカラシテ、學  
 校ニ於テハ無論「スペイン」語デヤラナケレバナラヌ、  
 家庭ニ歸ツテハ復習ヲスル時ダケ「スペイン」語ヲ許シ  
 テ、アトハ絶體ニ日本語ヲ使ハセルト云フヤウナ方針デ  
 特ニ日本語ヲ使ハセルト云フヤウナ方針デ、特ニ日本語  
 ヲ獎勵シテヤツテ居リマシク。今度連レテ歸リ赤坂デ有  
 名ナ小學校ニ入レルト云フ考ヘデ兄弟二人連レテ歸リ、  
 二年ト一年ノ入學試験ヲ受ケタノデアリマス。非常ニ心  
 配シタノデスガ二人共巧ク一年ト二年ニ入學ヲシタノデ



アリマス。ソレハ別ニ優秀ト云フ譯デアリマセンガ、日本語ヲミツチリ叩キ込ダシタ爲ニ入學シ得タノデアリマス。ソレデ吾々ガ自分ノ子供ハ自分ノ二世デアル、デ自分ノ子供程可愛イモノハナク、又、自分ノ子供ガ良ク出来レバイ、ト云フコトヲ願フノハ皆ガ有ツテ居ル親心デアリマス。デ皆サンニオ願シテ置キタイコトハ、今賀集サンノ言ハレタヤウニ、若シモ自分ノ子供ヲ日本へ歸ス場合ハ日本語ヲ確リ教ヘテ戴キタイ、今言ツタ學校ハ「スペイン」語デアルガ、家庭ノ練習以外ニハ「スペイン」語ヲ使ハズ、悉ク日本語ヲ使ツテヤツテ行キタイ。斯ウ云フ考ヘデ居リマス。

○賀集君 今、岡サンノオ話モアリマシタヤウニ、日本語ハ學校ダケニ頼ツテ居ツテハ、ドウシテモ駄目ダと思フノデアリマス。私モ子供ガ四人居リマスガ、今、岡サンノ仰有ツタヤウニ絶體ニ家庭デハ日本語以外ニハ使ハサント云フヤウニシテ居リマス。私ハ「アルゼンチン」デ子供ヲ教育スル上ニ於テ、智育教育ハ「アルゼンチン」デハ少シモ不自由シナイ、私ハサウ信ジテ居リマス。唯々ソノ勤勞、ドウモ「アルゼンチン」邊リデハ金ガアレ

借リナケレバナラヌト思ツテ居リマス。

○加藤君(玫瑰日會長) 私ハ簡單ニ申上ゲマス。「キューバ」ノ在留邦人ハ七百人デアリマス。只今皆サンカラオ話ヲ承マハツテ大分感ジタデスガ、「キューバ」ニ於テハ二世教育ハ語學ト云フモノガ出来ナイカラ、家庭ニ於テ親ガ子供ニ凡ユル機會ヲ通ジテ教ヘヨウトシテ居リマスガ、ナゼカ家庭ニ於テ親ガ子供ニ教ヘルト云フコトハ難シイノデ、非常ニ吾々ハ惱ンデ居ルノデアリマス。サウシテ今一ツ皆サンニオ聞キシタイガ、「キューバ」ト云フ所ニ於キマシテ「キューバ」人ガ日本人ニ非常ニ好意ヲ有ツテ居ル。或ル一面ニ於テ日本人ヲ尊敬シテ居ルノデアリマス。ソレデ又ドウカト云ヘバ、ドウモ日本人ト「キューバ」人ハビツタリ来ナイ、是ガ他ノ外國人同ト「キューバ」人ハビツタリ来テ仲良ク本當ノ兄弟ノヤウニシテ居ルケレドモ、吾々日本人ト「キューバ」人ハ友達ニナツテモ眞ノ心ノ底カラ融和スルコトガ出来ナイノデアリマス。之ヲ二世達ニ聞クト、アスコデ教育ヲ受ケマシテベレ、ノ「スペイン」語ノ出来ル人間デモ、ドウモ私達ハ「キューバ」人トビツタリ来ナイ。自分達ヲ嫌フテ居ル

バ仕事シナイ、金ガナイ爲ニ働クノダト云フヤウナ考ヘヲ有ツテ居ル、例ヘテ言ヘバ今度私共船デ歸ツテ来タ、矢張り小學校ノ先生ト同ジニ歸ツテ来タガ、ソノ同ジ部屋ニ日本ノ小學校ニ入ツテ来ル女ノ子供ガ居ツタ。矢張り尋常六年位、ソレデソノ先生ガ「誰々サン、一寸之ヲ向フヘ持ツテ行ツテ下サイ」サウシマス「私ハ女中デデアリマセンヨ」ト云フヤウニ答ヘタト云フコトハ、矢張り小學校ノ先生ガ私ニソノ話ヲシタシマスガ、コノ一例ニ依リマシテモ、私共ガ一番心配シテ居ルノハソレナンドデアリマス。ソレデ智育教育ハ殆ド心配シテ居リマセン。私ノ教育方針トシマシテハ、子供ノ力ダケ「アルゼンチン」ノ教育ヲ受ケサスケレドモ、家庭ニ於テハ絶對ニ日本語ヲヤルト云フ方針デヤツテイマスガ、日本ニ連レテ来マシテモ、殆ド着イタソノ日カラ何ノ心配モナシニ三日目カラ三越ヘモ行ツテ来ルト云フ位何シテ居リマスカラ、マア餘リニ私ハ心配シテ居リマセンケレドモ、更ニ畑中サンデアツタカ申サレマシタヤウニ、子供ヲ教ヘルコトノ出来ヌ家庭ハドウスルカト云フ問題モアルノデスガ、コノ爲ニハ矢張りドウシテモ日本語學校ノ力ヲ

カト云ヘバサウデハナイ、嫌ツテ居ラナイ、或ル一面ニ於テハ寧ロ私達ヲ尊敬シテタレルガ、ドウモ私達ハ「キューバ」人トビツタリ来マセン。斯ウ云フヤウナ點ヲ考ヘマシテモ、ドウモ日本人ノコノ將來ノ教育ト云フコトハ非常ニ難シイコト、思フ。今、私達ノ指導方針トシテハ、先ヅアスコニ居ル二世ハ「キューバ」人ノ思想ト云フモノヲ基調トシテ日本精神ヲ授クベキカ、又、日本精神ト云フモノヲ基調トシテ「キューバ」人文化ニ貢獻スルカト云フコトニ分レルノデアリマスガ、ソレハ色々ノ議論ガアルダラウト思ヒマスガ今私達ハ家庭ニ於テハ根本的ニ日本の教育ヲシロ、所謂日本精神ヲ基調トシテ、サウシテ「キューバ」ノ文化ニ貢獻スベキ人間ヲ作ラウチヤナイカト云フ方針デ進ンデ居リマスガ、幾ラ籍ヲ「キューバ」ニ置キ、「スペイン」語ヲ習ツテモ、矢張り日本人ハ日本人デ、二世、三世、四世、五世デモ矢張り日本人ハドコ迄モ日本人デアラウト思フノデアリマス。又日本人ニ對シテ、ソノ國ノ教育ヲ習ハセルト云フコトハ虻蜂取ラズノ人間ニナツテ仕舞フ。今迄皆サンノ御高説ヲ承リマシテ非常ニ感激シテ居リマスガ、矢張り



二世問題ハ將來ニ於キマシテハ——同ジヤウナ風ニ外國語ヲヤラスト云フモノハ彈壓ヲ受ケルノデアリマスカラ、先ヅ私ハ持論トシテコノ二世教育ト云フモノハ家庭ニ於テ、サウシテ根本的ニ子供ノ教育ヲ授ケルト云フヤウナ方策ヲ取ツタライ、ト思ヒマス。一寸簡單デアリマスガ……。

○青木議長 尙ホ二世教育ノ問題ニ關聯シマシテ、二世世ヲ教育スルニ付テノ根本的態度、或ハ根本ノ肚トデモ言フベキコトニ付テ皆様ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。北米代表ノ方カラオ語ヲ承ツタトコロニ依レバ、北米ハ今年ノ八月「カリフォルニア」州デ、「サンフランシスコ」カ、「ロスアンゼルス」カ忘レマシタガ、第二世ノ大會ガアリマシテ、一千何百名トカ集ツテ大會ヲヤツタ。サウシテソノ席上ニ於テ第二世大會ノ決議トシテ吾々ハ「アメリカ」ノ市民デアルカラ「アメリカ」ノ憲法ニ對シテ絶體ニ服從スル、從ツテ日米間ニ最惡ノ事態ガ起キタ場合ハ、吾々ハ「アメリカ」ノ國民トシテヤルト云フコトニ吾々ノ態度ヲ決メル、然シサウシタ不幸ノ事態ガ發生シナイヤウニ、最善ノ努力ヲスルノガ吾々

第二世ノ責務デアルト云フヤウナ決議ヲサレタサウデアリマス。是ハ中南米ニ於カル、方々ニ於キマシテハ、未ダ歴史ガ淺イノデ第二世トシテ斯ウ云フトコロ迄突込シタ考ヘハ及ンデ居ラナイカト思フノデアリマス。「ブラジル」ニ於キマシテモ、サウシタ根本ノ肚ノ持チ方ニ付テハ相當迷ツテ居ラル、ノヂヤナイカト想像サレル節モアルノデアリマス。此ノ點ニ付キマシテ何カ腹藏ナキ御意見ヲオ述ベ願ヒタイト思ヒマス。

○賀集君 是ハ私一個ノ個人デ「アルゼンチン」全體デハゴザイマセン。私ハ自分ノ子供ノ教育ハ「アルゼンチン」デ全部ヤツテ居ル。サウシテ仕上ゲヲ日本ニ二年ナリ三年ナリ寄越シテ居ル。サウシテ又「アルゼンチン」ニ歸ツテ「アルゼンチン」デ仕事ヲサソウト云フ方針デヤツテ居リマス。ソレデスカラ「アルゼンチン」ノ大學ヲ出ル頭ノ子供デアレバ「アルゼンチン」ノ大學ヲ卒業サセテ、サウシテ日本ノ大學ノ研究科ナリ、聽講生ナリ、或ハ專攻科ナリニ入レテ、サウシテ二年ナリ、三年ナリヤツテ行ク、ソコデ日本の子供ヲ拵フ、サウシテ「アルゼンチン」ニ又歸ツテ「アルゼンチン」ニ於テ修業ナリ

色々ナコトヲヤラスト云フ方針デアリマス。デアリマスカラ日本ニ歸ツテ來テモ、コノ大學ナリ專門學校ナリヘ行ツテモ、教授ナンカ、講義スルコトヲ全部吞込メルダケノ語學ハ「アルゼンチン」デ仕込ミタイト私ハ思ツテ居リマス。

○吉田君(ポリビヤ國名譽領事) 私ハ「ポリビヤ」ノ山ノ中デゴザイマシテ先程カラ皆様ノ御高見ヲ拜聽シマシテ、非常ニ感激致シマシタ。然シ「ポリビヤ」國ニ於キマシテハ、現在小學校ノ設立ト云フヤウナ問題ニブツカツテ居ラスノデゴザイマス。ソレト申シマスノハ、在留民ガ少クテ比較的大キナ國デゴザイマスカラ集團シテ居ルノハ「ラパス」市ノ二百人、ソノ近クニ僅々デゴザイマス。其處ニ居ル方ハ殆ド商賣ヲサレテ居ル。比較的財的ニ惠マレテ居ル、商賣ヲスルニハ矢張り教育ハ日本ニ歸リ日本ノ教育ヲ受ケサセル。サウシテ又アツチヘ行ツテ自分ノアレヲ繼ガセルト云フヤウナ方針デゴザイマス。ソレト云フノハ「ポリビヤ」國ニ於テハマダ外國ノ學校ノ制限トカ、何ントカト云フヤウナ問題ニ現在至ツテ居リマセン。一例ヲ申上ゲマスト、「フランス」ノ經

營ノ學校モ二、三アリマス。「イタリー」經營ノ學校モアリマス。「ドイツ」ノ學校モアリマス。「アメリカ」ノ學校モアリマス。中々コノ學校ハ私ガ「ベル」ノ「リマ」邊リデ見マシタ日本人ノ小學校ノ經營ト全然趣キヲ異ニシテ居ルデアリマス。アスコハ「アメリカ」學校ト申シマシテ「アメリカ」ノ資料デ以テ造リマス。然シヤツパリ「ポリビヤ」ノ文部省ノ公認ヲ得マシテ、ソレデ開放シテ居リマスガ、「ポリビヤ」ノ子弟ハ「ポリビヤ」ニアル「アメリカ」學校ヘ入ツテ教育セラレル。「アメリカ」ノ人間モ公認學校ヘ入ツテ教育セラレルト云フヤウナコトデ、非常ニ教育ニ緩慢デコザイマス。是ハ私共ガ抑々海外ニ出ルト云フ根本方針カラ立ツテ行カナケレバ、今後ノ問題ハ皆サンノ結着點ガマダ纏ツテイナイノヂヤナイカト思フ。私共ガ海外ヘ三十三年前ニ出マス時分ノ日本ノ植民政策、植民ト云フ名前ハマダ私ハ聞キマセンデシタ。子供ノ時ニ殆ド移民ト云フ時代デアル。ソノ後今日デハ拓務省ノヤウナ立派ナ官廳ガ政府ノ方針ノ下ニ活動サレテ居ルノデアリマスカラ、大部ソノ方針ハ變ツタノデアリマスガ、然シ海外ニ出タナラ



バ、ソノ行ツタ土地ニ永住安定ノ地ヲ求メルト云フノガ抑々ノ目的デハナイカト思フノデアリマス。今日新體制々々ト申シマスガ、非常ニ私ハ此ノコトニ付テ考ヘマシタノデゴザイマスケレドモ、昨日モ拓務大臣閣下並ニ松岡外務大臣ノ御説明ニモアリマシタ通り、矢張りソレガ根本ノ問題トシテ見マスレバ、色々ノ方法ハゴザイマセウ。然シ家庭教育モ只今ノ岡サンヤ賀集サンノ御意見ノ通り大イニイ、コトデハゴザイマセウガ、是ハ私共ノ考ヘデハ結局吾々ノ二世ガ吾々ガドウカスウカ苦心シテ築キ上ゲタモノヲ、ヨリ以上有效ニ國家ニ盡スト云フコトガ目的デヤナイカ、サウスレバ、日本教育ト云フコトハ一寸コノ手紙ノ讀メル位ト云フコトニシテ、大體日本精神ト云フモノニ重キヲ置イテ、ソノ外ノ各々在留國ノ政治ニ基イテ、ソノ國ノ教育ヲ受ケサセテ立派ナ、ソコノ國民ニサシタナラバ吾々ガ三十年コツ／＼働イタヨリ以上ノ日本ノ國ノ爲ニ相成ル二世ガ出來ルノデヤナイカト思ヒマス。私ハソノ方向ニ向ツテ教育サシタナラバドウカ、ソレデ唯ノ御説明ノミナラズ、コノ際ニ特ニ私ハ日本政府ノ根本精神ガ昔モ今モ變ラナイ、要スルニ今

後斯ウ云フ方面ニ向ツテ慎重ナル御説明ガ願ヘレバ課長サンニ御願ヒシタイト思ヒマス。

○青木課長 私ガ今申上ゲタ意味ハ、私ノ言葉ガ足りマセシ爲、十分オ分リニナラナイヤウデアリマスノデ、モウ一度繰返シテ申上ゲマス。今中南米ノ方々ニハ大切ナル問題トシテオ感ジニナルカモ知レマセンガ、現在北米ニ居ラル、方々ニハ二世ノ教育ヲスルニ當ツテ、若シ日本ト「アメリカ」ガ戰爭シタナラバ、ソウナツタ場合吾々ガドウシマセウカト云フ問題ガアル。是ハ非常ニ眞劍ニ考ヘテミナケレバナラヌ問題ニナツテ居ルノデアリマス。サウシテ之ニ對シテ北米ノ二世ハ、コノ大會ニ見エタ代表者ノ方々カラ伺ヒマスト、吾々ハ「アメリカ」ノ市民デアルカラ、日米間ニ最悪ノ事態ガ生ジタ場合ハ北米國民トシテ立ツ、タ、サウシタ不幸ナル事態ヲ防止スル爲ニ最善ノ努力ヲスルノガ吾々二世ノ責務デアルト云フ斯ウ云フ決議ヲシタノデアリマス。中南米ト日本トノ間ニ北米ト日本トノ關係ノヤウナコトガ起ルト云フコトハ、今現在ノ状態ニ於キマシテハ考ヘ得ラレナイコトデアリマスケレドモ、二世ノ教育ニ對スル最後ノ肚ノ

持チ方トシテ、斯ウ云フ場合ニハ斯ウダト云フダケノ肚ハヤツバリ親トシテ決メテ置カナケレバナラヌ問題デヤナイカトサウ思フノデアリマス。或ハ親トシテ決メナイトシテモ、二世トシテ自ラ何ントカ斯ウ云フ問題ニ付テ種々ノ考ヘヲ持チ、或ハ有タナケレバナラヌ問題デアラウト思フノデアリマス。コノ問題ニ付キマシテ皆サンドウ云フ風ニオ考ヘニナリマス。

○岡君 私ノトコロハ極クマダ兒童ガ少イノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ聞イテ見マスト、「メキシコ」人ノオ母サンヲ持ツ子供ハ「メキシコ」側ニ立チ、日本人ノ家庭ノ場合ハ日本ニ歸ツテ日本ノ爲ニ働クト云フヤウニナツテ居リマス。又、私共ソノ指導方針ヲドウ云フヤウニ決メルカ未ダ定案ヲ持ツテ居リマセンノデ、今度ソノ問題ト新體制トドウ云フヤウナ關係ニナルカト云フコトヲ當局ニ御伺ヒシタイト云フ考ヘヲ有ツテ居リマス。

○畑中君 只今ノオ話ハ中々難シイ問題デアラウト思ヒマスガ、「サンパウロ」ニ學生聯盟ト云フモノガアツテ、斯ウ云フ公ノ席デ、ソノ中ノ或ル人ガ斯ウ云フコトヲ號ンデ居リマス。吾々ハ日本人デアルガ、「ブラジル」ニ生レ

タ「ブラジル」人デアルカラ、又「ブラジル」人ノヤウナ氣持ニナラザルヲ得ナイ、家庭カラハ日本のノコトヲ強イラレ、外ヘデ、ドシ／＼自分ノ環境ガ變ツテ來ル、吾々心ニ即チ忠ナラント欲スレバ孝ナラズ、孝ナラント欲ツスレバ忠ナラズト云フヤウナ氣持ニナルト云フノデアリマス。然シ是ハ結局コノ父兄ガグラ／＼シテ居ルノデアリマスカラ、所謂「ブラジル」ヲ指導シテ行ク原理ガ、根本方針ガ纏ツテ居ラント云フコトニ歸着スルノデハナイカト思フノデアリマス。恰度今ノヤウナオ話ヲ二三年前ニ承ツタノデアリマス。ソレハ中西大佐ガ駐在武官トシテ居リマシタ。アノ人ハサウ云フ方面ニ對シテ在伯邦人ノ蒙ヲ啓イテ呉レタノデアリマスガ、是ハ專ラ領事館ノ代行機關ヲシテ居ル、謂ハ、在伯邦人ノ各方面ノ元締ヲシテ居リマス關係デ、コ、ニ渋谷ト云フ中々議論家デアリマスガ、ソノ人ガ中西大佐ニ、例ヘバ今ノオ話ノヤウニ日本ト「ブラジル」ト戰爭スルト云フヤウナコトガアレバ、二世ハドウ云フヤウナ態度ニ出ナケレバイカンカト云フヤウナ質問ヲシマシタノデスガ、大佐ハ言下ニ「ソレハハツキリシテ居ル、ソレハ「ブラジル」ニ



生レタ者ハ「ブラジル」ガ母國デア、母國ノ爲ニ戰フ  
ト云フノハ是ハ日本精神デア、サウ云フコトガアル場  
合ハ、ソレハ日本ニ對シテ引クト云フヤウナコトハ己  
ムヲ得ナイ」ト云フヤウナ話ダツタサウデスガ、澁谷君  
ノ反問ニ曰ク、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、「ソナラ  
バ日本ハ盛シニ海外ニ移殖民スルヤウニ獎勵シテ居ルガ  
結局サウ云フ意味カラ言ヘバ日本ニ引ク人間ヲ殖ヤ  
スコトニナル」ト云フヤウナ反問ヲシタガ、大佐ハ大體  
ソノ移民ヲ出スコトハ他所ノ國ト喧嘩ヲスル爲ニ出シテ  
居ルノデハナイカラ、サウ云フコトヲ考ヘル必要ハナイ  
ト、アヤフヤニ終ツタト云フヤウナコトデアリマス。恐  
ラクコノ問題ニ對シテ、ハツキリシタ解決ヲツケルコト  
ハ困難ジヤナイカト思フノデアリマス。北米モソウ云フ  
決議ガアツタカモ知レマセンガ、私、北米ニ行ツタ譯デ  
ハアリマセンガ、(〇〇字削除)マシテ、聞クト強チ嘘デ  
モナサソウデアリマス。恰度「アルゼンチナ」丸デ北米  
ノ人ト乗合セテ一タ六、七十人ノ代表有志ガ寄リマシテ  
話ノ席ニ斯ウ云フコトヲヤリマシタ。吾々ノ方カラサウ  
云フコトニ對シテオ尋ネシタノデアリマスガ、ソノ人ノ

曰ク、兎ニ角日本デ教育受ケタ者ハ、北米ハ澤山日本へ  
直接教育ニ子弟ヲ出ス爲ニ、サウ云フノハ殆ド百%サウ  
云フ不幸ナ場合ハ祖國ノ爲ニ戰フ、祖國ノ爲ニト云フ考  
ヘヲ有ツテ居ル。ソレカラ本當ニ北米デ育ツタ日本モ知  
ラズ、日本精神ト云フモノモ知ラズニ育ツタノハ吾々ハ  
米國ノ爲ニ日本ニ對シテ鐵砲ヲ向ケルト云フヤウナ考へ  
ヲ有ツテ居リマス。又ソノ中間ニドウシテモドチラニモ  
附カント云フ者モアルト云フヤウナ事デ、三分ノ一宛位  
ノコトニナルダラウト云フヤウナ話デアリマシタガ、然  
シハ大變難シイ問題デアリマシテ、表面ハソウ云フ決  
議ヲシテモ、セザルヲ得ナイノヂヤナイカト思フノデア  
リマス。ソノ現地國ニ居リマシテ、吾々ハ祖國ニ對シテ  
忠誠ヲ盡スノダト云フヤウナコトヲ言ヒマス、ソノ現  
地ノ米國ニ居レント云フヤウニナリヤシナイカ、サウ云  
フ功利的ニ考ヘテ血ハ水ヨリ濃シデ、愈々切羽詰ツタラ  
ドシナコトニナルカ、恐ラクサウ云フコトニ直面シナケ  
レバ分ラント思フト云フ考ヘヲ有ツテ居リマス。ハツキ  
リシタコトヲ言ヘナイト云フコトハ非常ニ悲壯ナ問題デ  
アリマシテ、私等モサウ云フコトニ對シテ、ハツキリシ

タイト思ヒマスガ、中々ソコ迄行キマセン。吾々ノ兄貴  
分デア、北米デ六、七十年来長ク苦シデ居ラル、トコロ  
ハサウ云フ状態デアラシイ、私等ノ方モサウ云フコト  
ニ對シテハ、ハツキリシタ吐ヲ決メナケレバナラヌガ、  
中々サウ云フコトニ對シテ、ハツキリシタ見透シガツイ  
テ居リマセン。從ツテ在伯同胞二十數萬人ヲ指導シテ行  
ク原理ガ確立シテ居ラント云フヤウナ状態デアリマスノ  
デ洵ニオ恥シイ話デスガ、グラ／＼シテ居リマス。是ハ  
一應考ヘレバ、ソレガ本當ヂヤナイカト云フヤウナコト  
デ「ブラジル」ニハサウ云フコトニ對シテ、ハツキリシ  
タコトヲ言ヒ得ル者ハ一人モナイノデアリマス。  
○加藤君、只今ノ問題ハ非常ニ「デリケート」ナ難シイ問  
題デスガ、斯ウ云フ問題ヲドウ云フ風ニシロトカト云フ  
コトハ、表面ニ發表ノ出来ナイコトデアラウト思フ、私  
ハ皆サンカラ「ザツクバラ」ニコノ席ダケデ發表シナ  
イト云フコトナラバ、本當ノ心持ヲ聞カシテ戴クコトガ  
出来ルト思フ、前々ノオ話ヲ承ツテ居リマスニ、要スル  
ニ二世ナル者ハ日本語ヲ教ヘル、日本精神ヲ教ヘル、或  
ハ家庭ニ於テヤルヨリ奉公學院ナリデヤル、ソノ結果ニ

於テ彈壓ヲ受ケル場合ハ、家庭ニ於テモ何ントカ日本人  
ラシイ教育ヲ受ケタイト云フノガ、是ガ第一世ノ本當ノ  
心カラノ號ビデアラウト思ヒマス。ソコデ若シモコノ家  
庭ニ於テモ或ハ學院ニ於テモ日本人ラシイ教育ヲ受ケル  
ト云フコトニナツタラ、ソノ結果ハドウデアルカ、若シ  
ソノ結果ガ非常ニ優秀デアツタ場合ハドウデアルカ、是  
ハ一例ヲ言ヘバ私ニモ子供ガゴザイマシテ今十四歳ニナ  
ル、勿論中學ニ入ツタノデアリマス。私ハ勿論「キユー  
バ」ノ學校ヘ入レ、ズツト勉強サセ、家庭ニ於テハ私ノ  
家内ガ教ヘマシタ。私ハ家庭ニ於テハ前ニ申シタ如ク、日  
本人ニ對シテハ日本人ラシイ教育ヲ授ケルコトニシテ居  
ル。是ハ生キタ資料デスガ、或ル時ニ私ノ子供ノ「キユー  
バ」ノ學校デモ學校ノ先生ガ「キユーバ」ノ國旗ヲ出シ  
テ、皆サンコノ國旗ノ爲ニハ生命ヲ捨テ、コノ國旗ヲ  
守ラナケレバナラヌ、分ツタ者ハ手ヲ上ゲナサイ、ト言  
ツタ時ニ、全部ノ生徒ハ手ヲ上ゲタ、トコロガ私ノ子供  
ハ手ヲ上ゲナカツタ、アナタドウシテ手ヲ上ゲナイカト  
言ツタノデアリマス。ソノ時ニ私ノ子供ハ、私ハ日本人  
デアリマス、ソレデ 天皇陛下ノ爲ニハコノ生命ヲ捨テ



マス、ト答ヘタノデアリマス。幸ヒニシテソノ先生ハ私モ心易イ先生デアツタガ、私ノ根本精神ハ斯ウ云フヤウナ家庭教育ヲ授ケマスカラト云フコトヲ最初ニ諒解シテアツタノデアリマスカラ、ソノ時ニ先生ハ成程コノ子供ハ日本人デアルカラソレデ、日本人ハ日本ノ天皇陛下ノ爲ニ生命ヲ捨テ、皆サンハ「キユーバ」ノ爲ニコノ國旗ノ爲ニ生命ヲ捨テナケレバナラヌト仰有ツタノデアリマス。ソコデ私ハ子供ガ家ニ歸ツテソノコトヲ話シタノデ、ソレデ、日本人ハソレデナケレバナラナイト子供ノ前ニ言ツタノデアリマス。サウ云フ風デアリマシテ、兎ニ角日本人ハ皆ナ自分ノ子供ニ日本ノ教育ヲ授ケタイト云フノガ同ジ共通ノ希望デアラウト思フ。ソレデ日本ノ子供ニ日本ノ教育ヲ與ヘル、或ハソレヲ徹底的ニヤツタラドウカト云ヘバ、ソレガ本當ノ日本精神ナラバ、若シ日本ト「キユーバ」ト戦争ヲシタ場合、ソノ親ノ意志ヲ繼イダナラバ、ソノ子供ノ優秀ナル者ハ必ズ日本ニ附イテ「キユーバ」ニ鐵砲向ケルダラウト思フ、サウナラナケレバ本當ノ根本的ノ教育ハ出來ナイト思フノデアリマス。是ハ公然ト言フコトハ出來ナイノデアリ

マスガ、私ハサウダラウト思フ。ソレデ今度私ガコチラヘ來ル時ニ、コノ二世教育ニ携ツテ居ル學園ノ院長サン或ハ邦人デサウ云フ方面ニ非常ニ熱心ナルオ方ニ會ヒマシテ、本當ニドウ云フ心持ヲ有ツテイラツシヤルカト云フコトヲ聞イタノデアリマスガ、ソノ人ガ異口同音ニ言フニハ、先ヅ「アメリカ」ニ於テ二世チ一番成績ノ良イモノハドウカト云ヘバ、是ハ日本ヘ歸ツテ日本ノ教育ヲ受ケタ者、詰リ日本精神ノ漲ツテ居ル者ガ一番良イ成績デス、中邊ハ「アメリカ」ニ於テ「アメリカ」ノ公學院ニ入ツテ、家庭デハ日本精神ヲ味ツタ者、一番成績ノ惡イ者ハ是ハ日本語モ満足ニ出來ナイブラ、デアル、只今畑中サンノオ話ガアツタノデアリマスガ、ソレデ若シ日本ト「アメリカ」ト戦争シタ場合ハドウナルカト云ヘバ、一番成績ノ良イ者ハ日本ニ附イテ弓引ク、中邊ハドウカト云ヘバ、ドツカヘ逃ゲルデアラウ、皆サンノ本當ノ氣持ハ、吾々ハ親トシテ自分ノ子供ガ戦争始ツタナラバ、生命ヲ捨テ、日本ニ附イテ「アメリカ」ニ鐵砲ヲ向ケル人間ヲ希望スル、私ハ是ガ本當ノ二世、三世ハ違フカモ知レマセンガ、現在ニ於ケル一世ハソレガ本當ノ肚

ヲ割ツタトコロノ肚ノ中ノ希望チヤナイカト思フ。ソノ子供ヲ教育スルナラ本當ニ熱心ニ、又假令家庭ニ於テモ子供ヲ教育スルナラ恰度私ノ子供ノ如クニ、日本ト「キユーバ」ト戦争シタ場合ニ「キユーバ」ニ附カナイデ、日本ニ附イテ行クト云フ根本精神ガ出來ララウト思フノデアリマス。

○青木議長 コノ問題ハ根本的ノ問題デ極メテ難シイ「デリケート」ノ問題デ、私共トシテハハツキリシタ意見ヲ申上ゲラレズ、又、皆サマカラハツキリシタ御返事モ出來ナイト云フノガ、是ガ本當ノ落ツタトコロチヤナイカト思ヒマス。色々有益ナ御意見ヲ伺ヒマシテ有難ウゴザイマシタ。尙ホコノ問題ハ速配ニ取ツテ皆様ニ差上ゲルト云フノハ支障ガアリマスカラ、コノ點ハ削除致シテ宜シユウゴザイマスカ。

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○青木議長 二世ノ教育ノ問題ニ付テ色々御有益ナオ話ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、時間ノ都合上コノ次ニ致シタイト思ヒマス。二、邦人ノ農業的發展ニ關スル件 中南米在留邦人ノ大部分ガ農業者デアル農業的發展ニ關ス

ル件ト申シマシテモ、殆ド何カラ何マデ總テヲ含ムヤウデスガ、コ、デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスノハ、主トシテ農業ノ技術的方面或ハ農業經營ノ方面ト云フコトニ付キマシテ、モツト斯ウ云フ點ヲ改善スベキモノデハナイカ、或ハ政府トシテ斯ウ云フ點ヲ考ヘテ戴ク、改メテ呉レト云フヤウナ點ニ付キマシテ御意見デモアリマシタナラバ、コノ問題ニ付キマシテハ、「アルゼンチン」ノ賀集サンカラ特ニ之ニ關聯シタ提案モアリマスカラ賀集サンカラ……

○賀集君 日本ニ於ケル特殊産業ノ發達シテ居ルトコロヲ見マスト云フト、ソノ縣或ハソノ地方ニ本當ニ優秀ナルトコロノ指導者、或ハ技術者ト申シマスノハ技手デアルトカ、技師ノコトデスガ、ソレガ居ツテサウシテ總テノ點ニ於テ指導者ガ居ルガ故ニ、特殊ノ發展ヲシタト云フコトガ私ニハ痛切ニ感ジテ居ルノデゴザイマス。例ヘバ静岡縣ニ於ケル柑橘栽培ノ如ク、或ハ長野縣ニ於ケル、青森縣ニ於ケル林檎栽培ノ如ク、新潟縣ニ於ケル「チューリーツブ」栽培ノ如ク、是ハ特ニ優秀ナル技師或ハ技手ガ居ツタガ爲ニ、アノ發展ヲ成シタト私ハ信ジテ居ルノ



デアリマス。日本ニ於テハ農林省ノ農事試験場ガアリ、園藝試験場ガアリ、産業試験場ガ、畜産試験場ガアリマス。又縣ニハ各縣ニ試験場ガアルノデゴザイマス。デアリマスカラ私ハ、「アルゼンチン」デモ、「ペルー」デモ、或ハ「ブラジル」デモ、最モコノ産業ノ進歩改善ヲ圖ルニハドウシテモ本當ニ實力アルトコロノ技術者ガ要ルノデハナイカト私ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、唯々大學ヲ出タカラ農學士デアアルガ故ニ餘リニ外ヘヤルコトモ出來ナイカラ、「アルゼンチン」或ハ「ブラジル」ヘ送ツテ置クト云フヤウナコトデハ、アチラニ居ルコノ同胞ハ非常ニ迷惑スルノデゴザイマス。デアリマスカラ、何モ大學ヲ出ラレナイデモ、専門學校デモ或ハ中等學校デモ宜イ、本當ニ實力アルトコロノ本當ニ農民ト一緒ニナツテ共ニ語り、共ニ研究スルヤウナ特殊ノ技術者ヲ送ツテ戴キタイト思フノデゴザイマス。ト同時ニ一昨年頃カラ拓務省カラ、コノ研究費トシテ幾分私共ハ戴イテ居ルノデゴザイマスガ、アレハモウ少シ徹底シテ拓務省附屬ノ産業試験場ト云フヤウナモノヲ設立シテ戴ケバ、私共ハ非常ニ幸ヒト思ツテ居ルノデゴザイマス。私ノ言ハントス

ルトコロハ實力アルトコロノ技師或ハ技手ヲ送ツテ戴キタイト、モウ少シ試験場ヲ今迄試作場のノコトヲヤツテ居リマスガ、之ヲモウ少シ擴大シテ試験場のノモノヲ作ツテ戴キタイト、是ハ北米邊リニハ何等必要ナイダラウト思フノデアリマス。アチラデハ研究所或ハ試験場邊リデ非常ニ研究シテ居リマスガ、「アルゼンチン」邊リ、或ハ「ブラジル」邊リデハ向フノ政府ノ研究所或ハ試験場ハ、ドウモ餘リニ吾々ニ参考ニナルヤウナ研究ハ薄イト思フノデアリマス。デアリマスカラ折角拓務省ガアルノデゴザイマスカラ、コノ附屬トシテ試験場ヲ設置シテ戴キタイト云フノガ私ノ本旨デゴザイマス。

○青木議長 格別ニ御意見ハゴザイマセンカ。

○脇山君(伯國、日伯産業組合理事長) 一寸オ伺ヒ致シマス。那人ノ農業發展ハ「ブラジル」ハ二十一萬許リ居リマシテ、ソノ大部分ハ農民デアリマス。九十三%許リ農民デアリマスカラ約二十萬ノ者ガ農業ヲ營ンデ居ルスフ云フ譯デアリマスガ、今迄コノ色ナコトデ、ドウモ餘リ頭ガ上ツテ居ラナカッタ、ソレデ是カラ先ドウシタラ發展スルカト云フ問題ニナリマス。ト云フト、先ヅコノ

農業ノ技術的ノ指導者ガ必要デアルト思ヒマス。今迄ノ方ニハドウモ金融機關等ガ不備デアツタ爲ニ、折角農民ガ働イテ居ツタノヲ、中間デ惡辣ノ商人ニ拵ラレル、或ハ販賣ノ方法デ不利ニナルトカト云フ爲ニ、總テ生産物等ハ澤山取ツテモ結局自分ノ懐ニ入ルノハ少イ、斯ウ云フ狀況ニアツタノデアリマスガ、是ハ一ツ段々コノ項ノ産業組合組織ト關聯シテ私カラ合セテ申上ゲマスガ、段々自分等デ共同シテ、サウシテヤラナケレバイカント云フコトデ組合ヲ組織シテ、コノ共存共榮ノ精神ニ依ツテ金融機關ヲ作り、ソレカラ販賣ノ方法モ遂ゲルト云フ斯ウ云フコトデ漸次改善シツ、アリマスガ、尙ホ矢張り是ハコノ技術的ノ指導モ必要デアリマスシ、ソレカラコノ産業組合ヲ強化シテ、サウシテコノ組織ニ依ツテ指導シテ行クト云フヨリ外ナカラウト思ヒマス。「ブラジル」ハコノ總テノ團體組織等ハ豫算ガナイノデ斯ウ云フ經濟機構ヲシテイルノデアリマス。コノ産業組合組織ノ強化ニ依ツテ、經濟ト合セテ向フノ教育衛生ヲ進メナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマス。之ヲ一ツ農業的ノ發展ハ個人ノ技術指導ト合セテ産業組合ヲ強化

スルト云フヤウニナルダラウト思フノデアリマス。今「ブラジル」ハ約二十許リノ産業組合ガ出來テ居リマス。ソレデ中央會ヲ組織シテ、ソレヲ統一シテ居リマスガ、マダ全般ニ普及シテ居ラナイノデアリマス。約三分ノ一カ四分ノ一位シカ集ツテ居ラナイノデアリマス。之ヲ全般ニ普及サセテ是デヤツテ行クト云フコトニヤリマエ爲ニハ、中央會ノ強化、ソレカラ領事館ノ勸業部、勸業部ノ強化擴大ト云フコトニナルダラウト思ヒマス。ガ、兎ニ角在伯邦人ノ農民ノ大部分ハコノ方法デヤツテ貰フコト、吾々ハ現地デオ願ヒシテ自分デモ自肅シテヤラウト云フ積リデ居リマスガ、矢張りコノ政府ニ置カレテモ能クソノ邊ニ御注意願ヒタイノデアリマス。尙ホコノ移民ノ問題ハ人的ノ方モサウデスガ物的ニハ倉庫ヲ建テルトカ云フコトモ必要デアツテ、ドウシテモ是ハ一ツ中央會ノ強化ノ爲ニハ、有利ニ販賣シテヤルト云フコトニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス。ソレカラコノ生産物ノ處理ト云フコトガ非常ニ今迄ハ有利ニ行カナカッタ。殆ド金融ノ關係ノ不備ノ爲ニ高イ利子ヲ拂ツテ、サウシテヤラナケレバナラヌ、殆ド二割、三割モ利



子ヲ拂フ時ニ依ツテハ半分位利子ヲ拂ツテ仕舞フ、折角汗ヲ流シタ結果ガ皆ナ取ラレテ仕舞フト云フヤウナ景況デアツタノデアリマスルガ、段々改善サレツ、アリマスガ、之ヲ一ツ矢張り相當ノカラ産業組合ノ強化サレタ組織ニ依ツテ之ヲ漸次働イタ結果ハ自分等ニ歸ルト云フコトニシタイト思フノデアリマスガ、コノ生産物ノ處理ハ棉、コーヒーガ主デアリマスガ、棉ノ處分ト云フヤウナコトニ付テ、成可ク一ツ日本ニ必要ナモノヲ送リタイ、「ブラジル」ノ邦人が作ツタモノヲ日本ニ送リタイ、日本ニ送ル爲ニハ一ツ有利ナ中間ノ機關ヲ少クスルト云フ考ヘデ、昨年邊リカラ色々輸入割當等ヲ形成シテ居リマスガ、マダ許可サレルニ至リマセンガ、事實ハ色々ノ御指導等モ從來何モアリマセウガ、「ブラジル」農民ノ大部分ノ意願トスルトコロハ、成可生産物ヲ日本ニ持ツテ行ツテ、有利ニヤルト云フコトガ意願デアル入デ、之ヲ將來一層一ツ御考慮ヲ願ヒタイト斯ウ思フノデアリマス。簡單デアリマスガ……

○青木議長 第三、産業組合ニ關スル件「ブラジル」ノ臨山サンノ御説明ニ何カ御質問ガアリマスカ、尙ホソノ外

リマス。一方花卉園藝方面ニモ、現在日本人花卉園藝組合聯合會ト云フモノガアリマシテ、サウシテハハマダ社團法人トシテノ認可ハ取ツテ居リマセン。私ガ來ル時ニ申請スルトコロ迄ニナツテ居リマシタカラ、私ガ歸ル頃ハ大抵許可ニナツテ居ルト思ヒマスガ、コノ聯合會ニ於テモ購買組合ヲヤツテイマスガ、私共ノ終局ノ目的ハコノ日本人各業者ノ市場ヲ持タナケレバナラヌ、市場ヲ持ツカ否カガ將來日本人ノ各業者ガ伸ビ得ルカドウカノ分岐點デアラウト私ハ思ツテ居リマス。デアリマスカラ、私共ハコノ産業組合ヲ組織シ、初メハ購買組合カラ販賣組合ヲ組織シ、サウシテ各々市場ノ設立ニ迄進メテ行カナケレバイカント思ツテ居リマス。コノ金融問題モ「アルゼンチン」デハ元正金銀行ノ支店ガアリマシタケレドモ何カノ問題デ閉鎖シテ、今迄日本人ノ銀行ハ一ツモアリマセンノデス。唯「アルゼンチン」ニ於ケル邦人ノ金融ト申シマスト唯々無盡講ガアルダケデ、無盡講ノ數モ相當ニ達シテ相當成績ヲ上げて居リマシタケレドモ、或ル不正直ノ人モ出テ來テ潰シタ無盡講モアルノデアリマスカラ、ドウシテモ邦人トシテノ産業組合トナリ金融方面

「ブラジル」以外ノ方デコノ問題ニ對シテ御意見ガゴザイマセンデセウカ、産業組合ハ申ス迄モナク中小業者、殊ニ中小農民ノ利益ヲ擁護スル爲ノ機關デアリマシテ、殊ニ外國ニ於ケル邦人ノ産業組合ハソノ運用宜シキヲ得ル場合ハ中小業者ノ利益擁護ノ外ニ、更ニ邦人ニ組織ヲ與ヘルト云フヤウナ機能モアル。非常ニ移民ノ發展上重要ナル役割ヲ持ツモノト考ヘラレルノデアリマス。「ペルー」トカ、「アルゼンチン」トカ、斯ウ云フ産業組合運動ハゴザイマセウガ、或ハ又アリマシタラ之ニ付テドウ云フオ考ヘヲ有ツテ居ラレマスカ御意見ヲ伺ヘレバ幸デゴザイマス。

○賀集君「ヴェエノスアイレス」ノ郊外ニ於テ農業的發展シテ居ルノハ第一ニ蔬菜園諸業デゴザイマス。コノ蔬菜業者ガ大體二百五十人位アリマスガ、元在亞日本人蔬菜園藝組合ト云フ組織デヤツテ居ツタノデアリマスガ、二年程前ニ「アルゼンチン」政府ノ社團法人トシテノ産業組合ノ許可ヲ得テ、現在購買組合トシテ相當ノ成績ヲ示シテ居リマス。唯購買組合ノミナラズ、コノ販賣組合或ハコノ信用組合ノ方ニ迄モ漸次進メテ行キタイト思ツテ居

ニモ進マナケレバナラヌト思ツテ居リマス。現在「アルゼンチン」ニアリマス産業組合ハ、コノ蔬菜組合、ソレカラ花卉組合等ノ組合モアリマスガ、是モ邦人トシテノ認可ハ取ツテ居リマセン。「アルゼンチン」ニ於ケル産業組合ノ大體ハ大體是位デアリマス。

○青木議長「メキシコ」バドウ云フヤウナ狀況デス。

○加藤君 私、本會議ニ列席シマスニ付キマシテ「メキシコ」日本人商工會議所ノ全權ヲ握ツテ居リマス。「メキシコ」日本人商工會議所カラノ陳情ト云フヤウナモノヲ特ニ政府ニ申上ゲテ呉レト云フ依頼ヲ受ケテ居ルノデ、コノ部門ニ果シテ當ルカドウカ知リマセンガ、コ、ニ申述ベテ置キマス。「メキシコ」ニ於キマスル日本人ノ主トシテ貿易ニ關係シテ居リマス邦人ハ四十五名許リ集リマシテ、約五年以前カラ「メキシコ」日本人貿易組合ト云フモノヲ作ツテヤツテ來テ居リマスガ、是ハ主トシテ邦人ノ無益ナル競争ヲ避ケ、各自ノ業績ノ發展ヲ圖ルト云フ目的デ來タガ、ソノ中ニ實際問題トシテ各自ノ金融上ノ問題カラ濫賣、投資ト云フモノヲヤリマシテ、日本ノ品物ガ合理的ニ得ラレナイト云フコトヲ防止スル爲ニ、サ



ウ云フ場合ニ出來ルダケ金融ノ便ヲ圖ルト云フノデ、各自ガ少シ宛醸出シテヤツテ行ツタノデアリマス。然ルニ段々對外的ニモ各銘々ノ有力ナル國々ノ許可ニ依ツテ、「メキシコ」ハ「メキシコ」、「アメリカ」ハ「アメリカ」ノ商工會議所、「ドイツ」ハ「ドイツ」ノ、「イタリー」ハ「イタリー」ノ、「スイス」ハ「スイス」ノ許可ヲ有ツテ居ルト云フノデ、日本モ有ツ必要ガアルノデ、本年ノ二月ニ「メキシコ」政府ノ許可ヲ受ケ、日本人商工會議所ト云フノヲ作リマシタ。ソノ中ニ金融部ヲ設ケテ、コノ中ヘ日本ノ金融機關ヲ之ニ移管シタノデアリマスガ、之ニ對シテ非常ニ資金ガ不足シテ居ル、ソノ資金ヲ何ソトカ方法ハナイダラウカト云フヤウナ相談ヲ受ケテ參ツタノデアリマスガ、現在ニ於キマシテ日本ノ爲替管理トカソノ他ノ關係上、日本カラ低利資金ノ貸付ヲ願フト云フコトハ實際問題トシテ困難デアルト云フコトヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、事情許ス限り何等カノ場合ニ斯ウ云フ邦人ガ一團トナツテ活躍シテ居ル信用ノ確實ナルモノニ對シテハ、政府ノ御方針トシテ將來適當ナル時期ニ與フ限りノ低利資金ノ貸付ト云フヤウナコトニ關シテ、

御考慮ヲ願ヒタイ。勿論只今日ノ情勢ニ於テ之ヲ御ヒスル譯デアリマセンガ、斯ウ云フ意向ガアルダケ御承知置キ願ヒタイと思フノデアリマス。

○近藤君(墨國日會顧問) 只今「メキシコ」ノオ話ヲ伺ヒマシタガ、「メキシコ」ト「ブラジル」ハ大變事情ガ異ツテ居リマス。「メキシコ」デ農業ヲヤリマスニハ、別ニ技術者ノ要求、人間ノ必要ト云フコトハ餘リ認メナイノデアリマス。ソレヨリハ今加藤サンノオ話ノヤウニ、金融機關ノ必要ト云フコトガ非常ニ重大ナコトダラウト思ツテ居リマス。無論今金融機關ヲ日本ガ援助スルコトハ出來ナイ、「メキシコ」デ農業デ成功スルニハ、ドウシテモ一千圓ノ仕事ヲスルノニ一千圓ヲ使フノデハ決シテ成功シナイ、必ズ失敗ノ因ニナル。一千圓ノ金ハ六百元カ、七百圓位程度シカ使ツテ仕事ヲシナケレバ成功シナイ、ソレデ日本人ガ仕事シテモ全部失敗ニ終ル、ソレガ因ニナツテ、コノ頃ハ吾々ノ附近ハ之ヲ矯正シテ居ルノデ、大低成功スルヤウニナツタ。將來モ金融機關ノコトハ重大事デアルト思フ。

○青木議長 金融機關ハ「メキシコ」ノ國ノ農工銀行トカ

ト云フヤウナトコロカラ金融ノ道ハ。

○加藤君 矢張り産業問題ニ付テ一ツノ有力ナル組合銀行ノ設備……

○青木議長 或ハ産業組合デモ組織シテ。

○加藤君 産業組合ノ組織ガ第一ニラウト思ヒマス。

○青木議長 在留民ノ金ノアル方ハ金ガ餘ツテ銀行ニ預ケテ居ルノデ、今仰有ツタヤウニ金ノ融通ヲ受ケタイト云フ方ハ、サウ云フ方ガ一團トナツテ相互ノ信用ヲ基礎ニシテ組合ノ組織ニ依ツテ運用スルト云フヤウナコトハ考ヘラレナイノデスカ。

○加藤君 ソレニ付キマシテ昨年來「メキシコ」ニ於キマシテモ二、三ノ邦人ノ間ニ邦人ノ小サナ銀行デモ作ツタラドウカト云フ議モアルノデス。「メキシコ」ノ國內ニ於テモ、「メキシコ」人及ビ「フランス」人ト共ニ銀行ヲ經營シテ、コノ重役ニナツテ居ルト云フヤウナ人モアリマスノデ、ソノ話モ度々出タガ、斯ウ云フ小サイ銀行ヲ、資本金五十萬、百萬圓ト云フヤウナ銀行ハ親銀行ガナケレバ立行カナイ、サウ云フ小サイ資本デ獨立シテヤツテ行ケルモノデハナイ、實際ニ於テ銀行業務ハ出來ナイ、

親ニナル銀行ガナケレバ出來ナイノデアリマス。ソコデ是ハ「アメリカ」ノ國デアリマスカラ、「アメリカ」デハ御承知ノ通り太平洋銀行トカ色々ノ銀行ガアリマシタガ結局適當ナル親銀行ガナカツタノデ、イザト云フ場合親銀行ガ思ヒ切ツテ救済ヲシナイ、ソレハ業者ノ中ニ不健全ナル者ガアリ、正金住友ニ依ツテ徹底的ニ救済シテヤラウト云フ氣持ガオク、遂ニ倒レテ邦人ガ非常ニ迷惑シタト云フ例モアルノデ、斯ウ云フモノヲ日本人ノ吾々微々タルモノガ外國銀行ヘヤツテ見ルト云フコトハ可成亂暴ナル話デアル。ドウモソレニハ後援ガナケレバイカント云フノガ吾々ノ意見デアリマシテ、現在ニ於ケル公使閣下始メ、サウ云フモノヲ盛ンニ作ルヤウニ御懇願ガアリマスガ、責任ヲ以テ一ツヤツテ見ヨウト云フ決心ガツカナイト云フノガ現在デアリマス。

○青木議長 外ニ御意見ハゴザイマセンカ。

○藤井君(秘國リマ日本人商工協會理事) 是ハ晝カラ繼續サレルノデスカ。

○青木部長 四時迄ヤリマス。産業組合ニ關スル件、コ、迄御意見ガアリマシタラ午前中ニ伺ヒマス。午後カラ買



易ニ關スル件ヲオ伺ヒ致シマス。

○太田君(智利、大阪府立貿易館通信員) 今迄私何モ申上  
ゲマセンデシタガ、「チリ」ハ極ク僅カニ在留民七百  
デ、ソレデ教育問題ニ付テモオ恥シイ話デスガ、一番遅  
レテ居リマシテ、第二世ナド今「サンチャゴ」ノ子供ハ  
百五十人位居ルノデス、サウシテソノ中デ日本人ノ母ヲ  
有ツテ居ル者ガ三分ノ一位ナラデスカラ、教育モ日本人  
的教育ハ殆ド受ケズニ皆ナアチラノ學校ニ入ル、ソレカ  
ラ心アル人ハ極ク僅カニ家庭教育ヲスル、ソレカラモウ  
少シ資産ノアル方ハ皆ナ日本ヘ送り返ス、サウシテ現在  
日本人會デハドウ云フコトヲヤツテ居ルカト云ヘバ極ク  
僅カノ有志ノ日本人ノ子弟ヲ一週間ニ二度、一時間宛ト  
シテ日曜學校ニ、サウ云フコトデ唯々日本語ヲ補助的ニ  
教ヘテ居ルノデアリマシテ、恐ラク日本語ヲ少シ解スル  
者ハ百五十人ノ中三、四十名ダラウト思フノデアリマ  
ス。ソレカラ邦人ノ農業、是ハ大體ニ於テ菊ノ花ガアリ  
マス。或ル所ハコノ頃土地ヲ借りテ米ヲ作ツテ居ル、米  
ニシロ大キナモノヲ金ニシテ使ツテ居ルマダ極ク微々タ  
ルモノデアリマス。オ話スルヤウナコトモゴザイマセン

一三四

ガ、「チリ」國トシテハ、例ヘバ日本カラ米ノ技術者  
ガ來テ貰ツタラ宜カラウトカ、生糸ヲ取ル方法ハナイ  
カ、教ヘテ呉レト云フヤウナ希望ヲ政府ノ方デ有ツテ居  
ルコトハ度々聞キマス。産業組合ニ關スル件是ハ別ニド  
ウモ甚ダ微々タルモノデアツテ日本人トシテハ産業組合  
ヲ拵ヘルダケノ勢力ハゴザイマセン、ソノ外ニ私ノ意見  
トシテハ日本人ニアチラニ出テ貰ヒタイト云フコトハ始  
終持論デゴザイマスガ、是ハ大キナ問題デアリマシテ、  
又貿易ニ關スル件ノトコロノ部門ニ入ルト思ヒマスカラ  
是ハ又後刻ニ譲リタヒト思ヒマス。

○青木議長 ソレデハ午前ノ部ハ之ニテ休會致シマシテ食  
事ニ入りマス。午後一時カラ再開致シタイト思ヒマス。

(休憩 十二時二十分)

## 第一回在外同胞代表者會議 (中南米部會)(二)

昭和十五年十一月七日 午後一時三十分開會

### 四、貿易ニ關スル件

○加藤(平)君 貿易ニ關スル件ニ付キマシテ私カラ一言述  
ベサシテ載キマス。日本ト「アメリカ」トノ關係ガ斯ウ  
云フ逼迫シタ情勢ニナツテ參リマシタノデ、我々海外ニ  
居リマシテ貿易ニ從事シテ居リマス者ハ、先ヅ差當リ心  
配ナモノハ、貿易ノ帳尻ハ「ニューヨーク」ニ於テ是ハ  
決濟サレテ居ルノデアリマスルガ、若シモ「アメリカ」  
ガモツト經濟封鎖ヲ積極的ニ必然的ニ來ルヤウニ我々ハ  
考ヘルノデスガ、所ガ日本向ケノ「ドル」ノ通貨ヲ爲替  
ヲ「プロツク」スルヤウナコトガ行ハレマスト、日本ト  
「メキシコ」、「ペルー」ナドトノ間ノ貿易ト云フモノガ、  
ドウ云フ風ニシテ續ケテ貿易ヲヤツテ行クカニ付テ、眞  
劍ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ドウモ好イ案モ浮ビマ  
セヌ、結局其ノ國ト日本トノ間、國々ニ依リマシテ各國

別ニ物ヲ向フカラ持ツテ來ル、コツチカラモ持ツテ行ク  
品物デ大體ノ尻ガ片付ク、物々交換ト云フヤウナコトニ  
ナツテ來ルノデナイカト思フノデアリマスガ、此ノ場合  
ニ於キマシテ、今マデハ主トシテ南米ノ方カラ「バータ  
ー」デ日本ニ寄シテ來ル、日本ハ理窟バカリ言ツテ餘リ  
買ハナカッタノデ、日本ノ物ハ買ツテヤラナイト言ハレ  
テ來タノデ、今度ハ逆ニ賣ルノガ目的デナクテ、日本デ  
眞ニ必要ナ物ヲコツチヘ持ツテ來ル、斯ウ云フコトニナ  
ルノデヤナイカト私ハ愚考シテ居ル次第デアリマス。從  
ツテ向フカラコツチヘ持ツテ來ルモノニ付テ、如何ナル  
物ガ日本ノ物動計畫ト照シ合セテ日本デハ必要デアルカ  
ドノ位ノ數量デドウ云フ値段デ、ドコガ一番有利デアル  
カト云フヤウナコトハ御示シニナツテ居ラナイノデ、仕  
方ガナイノデアリマスガ、我々ノ考ヘマスニ先ヅ第一ニ  
外交ノ方針ノ根據トシテ、中南米ニ向ツテ「バーター」  
ヲヤル、各國別ニ「バーター」ヲヤルト云フ國ノ方針ヲ  
樹テテ戴キタイト思フノデアリマス。オ前ノ方カラ三千  
萬圓ノ品物ヲ買ツタカラ、俺ノ方ノモ買ヘ、「ニューヨーク」  
ク」ヲ通ラヌデモ、日本ノ方カラ中南米ヘ押付ケルト云



フ制度ヲ今ノ中ニ立ツテ置カナケレバナラヌガ、各國別ニサウ云フ交渉モ出來テ居ナイ。「アルゼンチン」ハ出來テ居ルヤウデス。「メキシコ」ハ「バーター」ハ出來テ居リマセヌ。特ニ此ノ點ヲ急速ニ御願ヒシタイト思フノデアリマス。若シ出來マシタナラバ出來ルダケ日本人ガ優先的ニ、日本人企業ニ於ケル品物デ、日本ガ必要トスル物ガアルナラバ、ソレヲ第一ニ優先的ニ取ル、日本人ガ「メキシコ」デ經營シテ居リマス鑛山ハ二三アリマスガ或ハヤリ掛ツタリ或ハ全部ヤラナイガ、向フノ者ト共同シテヤツテ居ル者ガアツタナラバ、サウ云フモノヲ第一ニ取ツテ戴ク、向フデ企業ヲ起スニ付テモ、日本デ必要トスルモノヲ出來ルダケヤラセル、棉ノ如キモノハ出來ルダケ邦人ノ手デ拵ヘル、例ヘバ「ブラジル」ニ於テ「コーヒー」ヲ作ルガ、「コーヒー」ハ日本人ハ消費シナイ、將來性ガナイ、斯ウ云フコトデ詰リ向フニ於ケル企業ト云フモノヲ從トシテ、日本ノ物動計畫或ハ日本ノ新體制ノ東亞建設圖ヲ確立スルニ必要ナ物資ヲ日本人ノ手デ生産スルト云フ、大キナ目カラ計畫的ノ指導ヲシテ戴キタイ。ソレデナケレバ何デモ儲カルモノハ勝手ニ作ツテ勝

手ニ賣ル、今迄ノヤリ方ハ……金貨デ物が買ヘナクナルト金ノ意味ガナイ、貿易局長カラモ伺ツタノデアリマスガ、私共モソレヲ痛感シテ居リマスシ、速急ニ是ガ對策ヲ立テナケレバナラヌト思ヒマス。繰返シテ申上ゲマスガ、日本ト中南米各國トノ間ニ「バーター」ノ外交交渉ヲ先ハヤツテ戴キタイ。日本人ノヤツテ居ル事業デ出來タ品物ヲ優先的ニ日本ヘ持ツテ來ルト云フコトニ付テ、邦人ノ向フノ企業ヲ助長シテ戴キタイト云フコトデアリマス。ソレカラモウ一ツ申上ゲタイノハ「バーター」ニ於テハ若シ買ハナイト云フ品物ガアリマシテモ、日本ガ必要デアル場合ニ之ヲ買フ、其ノ代リコトラノ賣ル物ニ付テ相當高イ値段デ賣ツテ、賣ツタソノ利益ト云フモノヲ損ノ方ヘ廻ハスト云フヤウナ、大キナ意味デアル。ソレガ爲ニ無論今日以後ハ段々ト貿易ト云フモノハ、國家ノ一ツノ方針ノ下ニ行ハレルカラ、個人活動ト云フモノハ或ル所マデ制限サレテ行フ、強力ヲ用ヒテモ宜イカラ今後日本ノ貿易ト云フモノハ、必要ナモノニ付テドンドント一方ヘ取纏メテ行クト云フヤウナコトモ、商工省トシテ御考ニナツテイラツシヤルデセウカ、ドウモ商工省

ノヤリ方ハ私共ハ取ラナイノデアリマス。日本商人ハ現地デ賣ツテソレヲ買取り、内地サヘ旨ク行ケバ後ハ構ハヌ、向フハ勝手ニセイト云フ氣味ガドウモ多イノデ、私共現ニヤツテ居リマスガ、サウデハナシニ現地ヘ渡ツテモ我々日本ノ延長デアルト云フ意味デ御指導ヲ願ヒタイ御監督ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。其ノ點ヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス。

○太田君 私モ今ノ「メキシコ」ノ加藤サンガ申サレタコトニ同感デアリマシテ、「アメリカ」デ爲替ヲ決済シナケレバナラヌ位置ニアル。今ハ「チリー」デハ「バーター」法ニ依ツテ居ルノデス。是ハ「チリー」ノ政府ノ方針デアリマシテ、コツチガ好キデヤツタ譯チヤアリマセヌ。ソレデ「チリー」デハ日本人間デモウ長ラク一年以上モ之ヲ大體一對一ノ生産協定ヲヤツテ戴キタイト云フコトヲ、日本ノ官憲ニ申上ゲテ居リマスガ、是ハドウ云フ具合デスカ未ダニ實現サレナイノデアリマス。ドウカーツ「アメリカ」ガ「ドル」ノ爲替ヲ「シヤット・アウト」スルヤウナ場合ニ、日「チ」貿易生産協定ト云フモノヲ成ルベク早く進メテ戴イテ、「アメリカ」ノ外貨ニ依ラズ、

日本ト「チリ」ト貿易ガ出來ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス。ソレデ日本ト「チリー」トノ貿易ハ相當重要ナモノデアリマシテ、大體一年輸出千萬圓、輸入千萬圓ト云フヤウナ具合ニ、或ル年ハ多ウカツタリ少ナカツタリシマスケレドモ、大體其ノ位ノ近所デアリマスガ、是ハ日本ノ方デモウ少シ「チリー」ノ物産ヲ買ツテヤレバ、モツト日本ノ物が進出スルコトガ出來マス。ソレデ日本トノ貿易ハ只今申上ゲタ一千萬圓ト云フモノハ、「チリー」ノ總貿易額ノ僅ニ四分ニ當ツテ居ル。斯クナ四分バカリノ貿易ニ對シテ「アメリカ」トカ「イギリス」ガ邪魔ヲスル。スルトカサレル程ノ貿易デハナイト思ヒマスカラシテ、モツト「チリー」カラ物ヲ買ツテ、サウシテ日本ノ貿易ヲヨリ多クヤリタイト思ヒマス。是ハ申上ゲテドウカ知レマセヌケレドモ、硝石トカ銅鑛トカ澤山日本ニ來マシテ、其ノ中ニ日本ノ或ル新聞デ見マシタガ、「アメリカ」デスカ「カナダ」カラデスカ、銅ヲ出サナケレバ「チリー」ハ世界ノ銅産國デアルカラシテ、「チリー」カラモ銅ヲ出スカラソナニ心配ハナイト云フヤウナコトガ書イテアリマシタガ、是ハ恐ラク事情ガ唯表面ノ觀察



ニ過ギナイモノデ、「チリ」ノ銅山ハ殆ド「アメリカ」ノ勢力範圍デアツテ、「アメリカ」ノ會社ガ「チリ」ノ銅ノ生産ノ八割位ヲ支配シテ居リマシテ、電氣銅モ出來マス。青銅モ出來マスケレドモ、之ト商賣スルノハ「チリ」ト直接我々ハ商賣ハ出來ナイノデス。是ハ「アメリカ」ノ本社即チ「ニューヨーク」ト日本トテ賣買シテ居ルノデアリマシテ、恐ラク又「アメリカ」ガ茶々ヲ入レレバ、是モ「チリ」ノ銅ヲ取りタイト思ツテモ取レナクナルダラウト思ヒマス。私ハ官憲ガ日「チ」貿易一對一ノ貿易生産協定ト云フヤウナモノヲ早ク結ンデ戴イテ、「ニューヨーク」デ爲替ノ決済ヲセズニ済ム、サウシテ済ムヤウナコトニ願ヒ、又同時ニ「チリ」ノ銅ト申シマスケレドモ、ナカク「チリ」一國デハソレヲ日本ニ賣渡スト云フコトハ出來ナイヤウナ状態ニアルカト、思ヒマスカラ、其ノ邊ノ事情ヲ申上ゲテ置キマス。

○蜂谷君(伯國蜂谷商會リオ支店長)「ブラジル」ノ現状ヲ申上ゲテ置キマス。現在「ブラジル」ハ日本カラ輸入額ハ非常ニ多イノデアリマシテ非常ニ片爲替ニナツテ居ルノデアリマス。日本カラ輸入スル六千五百萬圓、日本ヘ

向フカラ千八百萬圓、五千萬圓ニ近い輸入超過ニナツテ居ルノデアリマス。是ハドウシテモ日本品ヲ大イニ輸出シテ此ノ差異ヲ縮メナケレバナナイト思フノデアリマス。ソレニ對シテ在留商人ハ色々ト惱ムヤウデアリマスガ、實際ハ我々商人ガヤツテ居ル雜貨デハ大シタ是カラ發展スルト云フヤウナ希望ハナイノデアリマス。ト云フノハ相當皆研究シ盡サレテヤツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ自由ナ立場デヤツテ居ルノデアリマス。此ノ際發展スベキモノハモウ少シ品物ヲ警戒シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス。例ヘバ現在歐洲戰爭デ其ノ貿易尻ヲ去年ト今年ト比ベテ見マス、今マデ入ツテ居ツタノハ「アメリカ」デ、日本カラハソレニ對シテドウスル譯ニモ行カナイ状態ニアルト思フノデアリマス。我々モ交渉モスルノデアリマスガ、賣ルベキ品物ガナイト云フヤウニ思ハレルノデアリマス。此ノ點ニ關シマシテ餘リ立後レテハドウシテモ……機械トカ藥品、化學工藝品ニハモウ少シ何トカ手ヲ付ケル方法ヲ講ジテ行キタイト思フノデアリマス。尙ソレカラ我々ノ希望シタイトハ、日本デヤル色々ナ物ハ一時的ノモノデアリマシテ、大シ

タ効能ハナイト思フノデアリマス。在留民ヲ利用シテ何トカ見本ヲ送ルトカ云フ問題ヲ考慮シテ、商人ヲ利用シテヤツタラ、却ツテ其ノ方ガ効果的デアラウト思フノデアリマス。ソレカラ良品主義ト云フコトニ付テ、最近非常ニ値段ガ高クナリマシタ、同時ニ商品ガ悪クナツタ。ソレハ何カト云フト今更仕様ガナイカラソレデ宜シケレバ宜シ、イカナケレバ勝手ニセヨト云フヤウナコトデ、ソレカラ陶器ナンカニ付キマシテモ殆ド放漫状態ニナツテ居ルノデアリマシテ、品物ハ工藝品ヲ入レタラ賣ル餘地ガアルダラウト思ツテ居リマス。ソレカラモウ一ツハ日伯商業會議所モ五六年前出來マシタ。現在迄ハ餘リ經費モナイノデ何モ出來ナカッタノデアリマスガ、事務所モ出來、會長ハ(サブガード・フィービヨ)デ、私ガ副會長ヲシテ居ルノデアリマス。其ノ商業會議所ヲ大イニ利用シテ貰ヒタイト會長ニ頼マレマシタ。

○藤井君(祕露、リマ日本人商工協會理事)私ハ「ペルー」ノ者デゴザイマス。此ノ貿易ニ關シテ只今「メキシコ」ノ加藤サン、「チリ」ノ太田サン、「ブラジル」ノ蜂谷サンノ御話ハ、流石私共ノ先輩トシテ仰イデ居ル方デ、私

共申上ゲタイト思フコトガ全部述ベラレテ居ル。非常ニ同感デアリマス。唯此ノ「ペルー」ト日本トノ貿易ニ付キマシテ、少シバカリ支障ガアル點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス。「ペルー」ト日本トノ貿易ハ大體「ペルー」カラ日本ヘ來ル品物ノ量ガ少クテ、日本カラ賣込ム方ガ多カツタノデアリマス。今年度ハ話ニ聞キマスト五萬俵カラ綿ヲ買込ミマシタ關係上、却ツテ「ペルー」ガ受取勘定ニナツタヤウニ記憶シテ居リマス。「ペルー」側カラ見タ時ニ非常ニ希望ガ達セラレ喜ンデ居ルヤウナ状態デアリマスカラ、今後ノ貿易ハ非常ニ好轉スルノデナイカト、斯ウ云フヤウニ樂觀シテ居リマス。所ガ綿製品ハ日本ノ綿布ニ向ツテ制限サレテ居ル譯デス。其ノコトハ公使又ハ商工協會ナドカラ向フノ當事者ニ向ツテ其ノ徹底ヲ警告シテ居ルノデアリマスガ、マダ廢棄ニ至リマセヌノデ、今ハ丁度歐洲戰亂ノ爲ニ、今迄歐洲カラ流レ込ンダ品物ハ「ペルー」ノモノデアリマスカラ「バスター」製鐵廠ノ要求スルノニハ最モ好イ時期デナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス。機ヲ逸セナイヤウニ成ルベク敏速ニ此ノ問題ニ付テ、内閣ナリ其ノ他ノ關係者ニ此ノ機關ヲ



通ジテ、運動ヲ起シテ戴クコトヲ希望シテ止ミマセヌ。  
ソレカラ先程銀行ノ御話ゴザイマシタガ「ペルー」ノ  
在留民ト申シマス我々仲間ニ於キマシテ、金融機關ノ必  
要ト云フ點ニ付テ同志ト色々研究シタコトゴザイマス  
ルガ、結果ニ於テ先ヅ日本カラハ銀行業ニハ來テ戴カナ  
イ方が宜イダラウ、斯ウ云フヤウナ結論ニナリマシタ。  
ドウシテサウ云フヤウナ結論ヲ得タカト申シマス、今  
マデ餘所ノ國ニ日本ノ銀行ガ進出シテ居リマスガ、其ノ  
銀行ハ單ニ其ノ土地ノ送金其ノ他ヲ取扱フ位ノモノデ、  
決シテ其ノ土地ノ方ニ金融ノ便ヲ圖ツタト云フヤウナ例  
ガナイ。却ツテ送金ヲスルト云フコトハ、現地ノ金融ヲ  
逼迫サセルヤウナコトゴ多イト云フヤウナコトガ、日本  
ノ銀行ヲ迎ヘラレナイ理由デス。モウ一ツハ「ペルー」  
ニアリマス銀行ハ「アメリカ」「ドイツ」「イタリー」デ、  
比較的我々在留民ニ便宜ヲ圖ツテ居ルノデアリマ  
ス。サウシテ殊ニ「イタリー」ノ銀行トカ「ドイツ」銀  
行ト云フモノハ、一層日本人ト密接ナ關係ガアリマシテ  
日本人ハ眞面目デ正直デアルカラ好イ御得意サンノヤウ  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス。ソレデ御得意先トシテヤル

事務總長デ居ラツシヤル御方デアリマス。二世教育機  
關ニ關シテノ結論デスガ、「教育機關ノコトニ關シテ色々  
申上ゲマシタガ、要スルニ此ノコトハ如何ナル方面カラ  
見マシテモ、我々ノ使命デアルノデアリマス。成ル程經  
濟的不況ハ益々深クナリマシテ、平々坦々タルヲ許サヌ。  
將來事業界ノ不況ガ今後續々發シテ參リマス、ソコデ  
アノ暴動ガアリ、震災ガ何時矢繼早ニナイトモ限ラヌノ  
デアリマス。併シ其ノ爲ニ我々ハヤラナケレバナラヌ責  
任ヲ感ズル重サハ少シモ減ツテ居ラヌノデアリマス。若  
モ我々ニシテ精神的動搖ヲ受ケ、其ノ爲ニ足腰ガ震ヘル  
ヤウナコトガアリマシテハ、誠ニ申譯ケナイ我々トナル  
ノデアリマス。爲スベク爲サナケレバナラヌ事實ハ、文  
字通り雄々シクモ立上ツテ居ルノデアリマス。我々ガド  
ウ云フ心構ヘデヤルカ、是ハ直チニ我々二世ニ反映シ  
テ、二世達ガシツカリシタ人間ガ出來ルカ否カ、我々  
自體ガシツカリシテ居ルカ否カニ依ツテソレハ左右サレ  
マス。日本民族ノ血ヲ引イテ居ルコトヲ嚙占メテ此ノ「ペ  
ルー」ノ天地ニ運命付ケラレタト云フコト、此ノ事務ノ  
中ニ此ノ榮譽ノ中ニ生キルコトニ依ツテ、限りナキ喜ビ

「イタリー」ヤ「ドイツ」銀行カラ受ケテ居ルノデアリ  
マス。日本人ノ後援者ト云フヤウナ形ニナツテ居リマス。  
ソコデ日本ノ銀行ガ來マス御得意デモ取りヤセヌカト  
云フヤウナ疑心暗鬼ガナイトモ限ラナイ。マア現在ノ銀  
行カラ却ツテ遠ザカツテ行クト云フヤウナコトハ、ドウ  
シテモ此ノ際避ケナケレバナラナイカラ、日本ノ銀行ノ  
進出ハ此ノ際シテ貰ツタラ困ル。斯ウ云フヤウナ見方ヲ  
持ツテ居リマスカラ、チヨツト其ノコトヲ申上ゲテ置キ  
マス。サウシテ色々問題ハアリマスガ、折角立ツタノデ  
アリマスカラ、二世ノ問題ニ付テ「ペルー」デモ非常  
ニ問題ニナツテ居ル。チヨツト自分ノ「メモ」ヲ探シテ  
見マシタガ「ペルー」ノ教育聯盟總長ノ池山サント云フ  
方が、二世教育問題ニ付テ結論ヲ申サレタノデ、ソレヲ  
私チヨツト筆記シテアリマスノデ、餘談ニナリマスガ是  
ダケ申上ゲテ參考ニシテ戴キタイト思ヒマス。池山サン  
ハ帝大ノ文科ヲ出ラレマシテ、私共所謂四人デ自習寮ト  
云フ、二世ノ教育ノ爲ニ私立學校ヲ建テマシタ時ニ迎  
ヘマシテ、自習寮トシテ戴イタコトガアリマス。現在「ペ  
ルー」ニハ教育聯盟會ト云フモノガ組織シテアリマシテ

ヲ體驗シ、二世ガ世界ニ堂々ト送出スルヤウニナルコ  
トヲ衷心願フモノデアル。斯ウ云フヤウナ結論ヲ言ツテ  
居ルノデアリマス。デ今度ハ私ノ意見デアリマス。第二  
世ノ教育問題ハナカク容易ナラヌ問題デアリマシテ、  
迎モ一朝一夕デ結論モ何モ出來ルモノデナイト思ヒマ  
ス。現地ノ詳シイ報告ハ領事館ナリ或ハ學校經營者ナリ  
日本人會又ハ學校ノ父兄ナドカラモ外務省アタリへ、有  
ラユル方面カラ細密ニ亘ツテ詳報ガアルト思ヒマス。デ  
私ガ非常ニ期待シテ居ルコトハ、所謂新體制ト海外ニ於  
ケル二世ノ教育ハ如何ニスルカト云フ根本ノ方針ガ、  
外務省ナリ貴下方カラ聽カシテ戴クコトガ出來ルナラバ  
非常ナ光榮デアル。斯ウ云フヤウニ私ハ實ハ思ツテ居リ  
マス。先程北米ノ二世ハ今度ノ問題ニ付テ敢然北米側  
ニ立ツコトハ、私トシテハ賛成セザルヲ得ナイノデアリ  
マス。日本ノ海外ニ於ケル植民政策ハソコマデ來ナクテ  
ハ、眞ノ日本ノ海外發展ハ出來ナイト思ヒマス。是ハ多  
年親ト云フ立場カラ見マス、非常ニ悲シムベキコトノ  
ヤウニ思ハレマスケレドモ、併ナガラ日本ト云フ國ガ全  
世界ニ向ツテ移民政策ヲ施ス上ニ於テモ、ドウシテモ第



二世ハソコマデ來ルノガ理ノ當然デ、若モ北米ノ第二世ガサウシタ言葉デ決議スルナラバ、是ハ日本ノ植民政策ノ根柢デアルト云フコトガ、寧ロ世界ニ言明シテ欲シイ位ニ私思ヒマス。私ハ今マデノコトヲ攻撃スル譯デハナイノデアリマスガ、日本ハ果シテ海外ニ於ケル第二世ノ教育問題ナドニ付テ、確乎タル方針ガアルカドウカ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス。何故ソナコトヲ申スカト云フト、現地ニアリマシテ領事ガ迭ル度毎ニ、其ノ御考ガ多少御變リニナル。ソレデ現地ニ居ラツシヤル御方々ハ、一體ドウ云フ風ニシテ宜イノカ迷ツタコトガ度々デアリマス。勿論現地ニアル方々ハ皆其ノ職業其ノ他境遇ニ依リマシテ、自分ノ子供ノ教育ニ付テハ、必シモ一致ヲ強要スルコトハ出來マセヌ。但シ之ヲ國家ト云フ大キイ所カラ見マシタナラバ、何カ一ツノ指導方針ガアツテ日本人ハ斯ウ云フヤウニスベキモノダ、單ニ日本ノコトノミ考ヘズニ、十分ニ在留民ノ行クベキ道ヲ御指示ナサルコトガ、最モ必要ナ事柄チヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス。

○吉田君 貿易ニ關シテノコトデゴザイマスガ、是ハ先程

加藤サンカラモ蜂谷サンカラモ御意見ガアツテ、或ル一方デハ輸入超過、或ル一方デハ輸出超過ト云フヤウナコトハ、特ニ「ラテン」系ノ御承知ノ國民性ト申シマスカ東亞ノ國ノ眞似ヲシタイト云フノガ人情ナンデアリマス。サウ致シマス「ペルー」ハ輸出超過デアアル。「ブラジル」モ輸出超過デアアル。「アルゼンチン」ハ「パター・システム」デ來マシタ。「ポリビヤ」ハドウデアリマスカト云フコトヲ申上ゲタイ。此ノ「ポリビヤ」ハ二十二ヶ年殆下片貿易デアツタノデアリマス。ドナタカノ御意見ノヤウニ、向フデハ買ツテ賣ヒタイガ日本デ買ツテ賣レナイ。所ガ、今度ハ聖戰遂行ノ爲ニ或ル物資ノ必要ヲ感ジテ始メテ買フヤウニナツタト云フヤウナ状態デゴザイマシテ、勿論貿易ハ相手國ノ購買力ガ増セバ、必ズ多ク賣レルモノト私ハ斯ウ考ヘテ居リマス。ソレデ早晚「ポリビヤ」ト致シマシテモ隣國ノ眞似ヲスルノデナイカト思ヒマス。ソレデ今日日本ノ要望シテ居ル物資ハ金、錫ヲ始メ、總テノ鑛物ハ含マレテ居リマス。ソレデ商工省ノ方ヘ御願ヒシマス、目下ノ所デハマダ補給ハナサラナイト云フヤウナコトデ、折角向フニアルモノ

ガコツチニ入ラナイ。御承知ノ北米「クレヂット」ガ設定シタラ金ハ先ヘ出シテ後トカラ品物ヲ取ツテヤルト云フ便宜ガアリマスカラ、從ツテ其ノ方ニ行クト云フヤウナ状態ニナルノト、モウ一ツハ微弱國ノ弊ト致シマシテ金ノ管理ガ非常ニ強行デ、外貨不足ノ爲ニ折角片貿易デ日本ノ立派ナ御華客サンデアアルニモ拘ラズ、其ノ荷爲替ニ非常ニ困ルト云フ状態デ、「パター・システム」ヲ申サレマシタガ、其ノ國々ニ依ツテ日本ヘ賣ルダケノ爲替ノ決済ヲ「ニューヨーク」ノ「ドル」ニ依存シナイデ、直接物々交換的ノコトヲヤツテ戴イタナラバ、大イニ貿易モ發展スルノデナイカ。「パター・システム」ニ依リマシタナラバ、産業ニ第一ニ必要デアリマスモノハ金融機關デアリマスケレドモ、日本ニ之ヲ御願ヒスルノハ無理ト思ヒマスガ、或ル程度ノ金融ノ援助ヲ防グ爲ニ此ノ「パター・システム」ガ大イニ好イカト思ヒマス。デ私ノ意見ハ「ポリビヤ」ニ關スル限り加藤サンノ御意見ニ賛成デゴザイマス。

○畑中君 貿易ニ關係スルノデスガ、「ブラジル」ノ九十「パーセント」ノ農業者ニ依リマシテ、私共ノ經濟ト云

フモノハ農業ニ依存スルト云フコトヲ言ヒマスガ、其ノ農産物ノ八十「パーセント」以上アル所ヲ言ヒ得ルノデアリマス。段々綿ノ生産ガ殖エテ來ル。從ツテ日本カラ大キナ資本ヲ直接持ツテ參リマシテ、棉花トカ或ハサウ云フモノガ進出シテ來タノデアリマスガ、サウ云フノガ進出シテ來テオ互ニテシテニ重要ナコトヲヤルヤウナ状態デアリマス。所デ現在「ブラジル」ノ市場ト云フモノハ組織ガ非常ニ不完全ナモノデアリマス。ツイ多クノ者ガ色々ナコトヲヤリマス、禍根ヲ貽スト云フヤウナコトガ大分ニアルノデアリマス。ソコデ此ノ「クオート」ノ特別ノ許可ヲ戴イテ居ルノデアリマスルガ、是ハ唯二三ノ商社ガ唯利權ヲ爭フト云フヤウナ結果ニナツテ居ルノデアリマス。實ハ私モ一部相當ニ直接關係ガアルノデアリマスカラシテ、材料的ニ見テサウ云フコトハ面白クナイ。折角政府ノ有難イ趣旨モ在留邦人ノ外ニ通ジテ居ナイト云フヤウナ現状デアリマス。是ハ政府ノ有難イ思召ヲ逆ニ行ツテ居ル譯ナノデアリマス。誠ニ是ハ遺憾ナコトダト思フノデアリマス。ソレデ一方又此ノ綿ノ商人達ハ世界一ノ資本ヲ持ツテ來テ居ル。サウシテ盛



ンニヤツテ居リマス。是等ト競争シテヤルコトニナリマ  
 スト齒ガ立タヌ。今日日本ニ於テモ新體制、事變下ト云フ  
 コトヲ盛ンニ申サレ居リマスガ、此ノ機會ニ斯ウ云フモ  
 ノガ政府ノ御聲掛リデ纏リマシテ、サウシテ日本モ、彼ノ  
 輸出組合ノヤウナモノヲ拵ヘテ、協力シテヤルト云フ  
 コトニシタラドウカ、サウシテ、奥地ニ散在シテ居リマ  
 ス所ノ、恐ラク七、八千萬ノ棉ヲ生産シテ居ル其ノ他ノ  
 モノト「タイアツブ」シテヤルト云フコトニナリマシタ  
 ラ、如何ニ「アングソン」ガ強力ト雖モ其ノ中へ入ルダ  
 ケノ餘地ハナイ。昨日モ商工省當局ノ御方カラ御話ヲ聽  
 イタノデアリマスガ、私サウ云フ方面ノ専門デアリマセ  
 ヌノデ一向分ラナイノデアリマスガ、何デモ輸出ヲ主ト  
 スル會社ヲ拵ヘルト云フヤウナコトデ、何レニシマシテ  
 モ矢張り政府ノ御聲掛リデ統一シテ鞏固ナルモノヲ作ル  
 ト云フヤウナコトデアリマスナラバ、政府ノ有難イ思召  
 ガ在留邦人全體ニ及ブデナイカト云フヤウナコトヲ申シ  
 テ居ルノデアリマス。殊ニ今ハサウ云フコトノ絶好ノ機  
 會デナイカト云フコトヲ、歸ツテ來マシテ色々ノ御話ヲ  
 聽キマシテ痛切ニ感ズルノデアリマス。是ハ「ブラジル」

ニ居ル時デモサウ云フコトヲ痛切ニ感じテ居ツタノデア  
 リマス。二、三ノ會社ガ争フト云フコトハ實ニ見ツトモ  
 ナイバカリデナク、折角政府ノ思召ガ外ニ通ジナイ、サ  
 ウ云フコトヲ深く感じマシタ。是ハ或ハモウ既ニ政府ノ  
 方デサウ云フ御考カモ知レマセヌガ、サウ云フモノヲ組  
 織セラレルト云フヤウナコトニナリマスレバ、此ノ農産  
 物ガ少々安イニシテモ安全ニ如何ナル場合デモ賣レルト  
 云フヤウナコトガ、一番百姓トシテ強イノデアリマス。  
 百姓ノ立場カラモ此ノ貿易方面ニ於キマシテモ、サウ云  
 フ方針、主義ト言ヒマスガ、出來マスレバ結構デアリマ  
 スト云フヤウナ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス。

○脇山君 私先刻簡單ニ申上ゲタノデアリマスガ、此ノ生  
 産品棉ノ處分ニ付テノコトナンデ、今畑中サンカラモ述  
 ベラレタコトハ、私モ其ノ點ガ今非常ニ農民ガ一番苦シ  
 デ居ルノハ、綿ヲ適當ニ賣ラウト思フ時期ニ賣レナイ斯  
 ウ云フノデアリマス。サウシテ滞貨ガアル、之デ今迄モ  
 非常ニ苦シクデアリマスガ、日本ノ色々政府ノ補助ニ  
 依ツテ出來タ商事商社ガ出來タ爲ニ、色々ト日本ニ持ツ  
 テ來ルト云フコトノ途ハ開イタノデアリマスガ、競争ガ

アツタリ又ハ買ハナカツタリシテ、唯個人ノ自分ノ立場  
 ノミ考ヘテ、全農民ノ利害ト云フコトハ外ニシテ考ヘ  
 テ、總テ百姓ガ苦メラレルト云フヤウナ狀況デアアルノデ  
 アリマス。ソレデ是ハ「クオート」制ヲ許可スル  
 ト云フコトガ、我が在留邦人ノ爲ニ設ケラレルトスレバ  
 商社ガサウ云フコトデアツテハ困ル、ソコデ産業組合ニ  
 直接配當シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ願ツタ譯デアリ  
 マス。農民アタリデ此ノ貿易トカ細カイ六ヶ敷イコトハ  
 勿論、本ナドモアリマスガ、併シ自分ノ生産品ヲ需用者  
 ニ直接賣ルト云フコトハ大事ナコトデ、サウシテ又ソレ  
 ハ技術的ニ最後ノ細カイコトハ當事者ニ委シテモ宜イ  
 ガ、此ノ生産品ヲ日本ニ持ツテ來テ、最有利ナ方法ヲ以  
 テヤルト云フコトハ、或ル方法デ出來ルコトニナツテ居  
 ルノデ相當ニ研究シタノデス。ソレデ是ハ是非一ツ各方  
 面ノ研究ノ御方ノ御心配ニ依ツテ、農民ニ直接利益ニナ  
 ルヤウニシテ貰ヒタイト云フコトヲ、是ハ「ブラジル」  
 在留農民ノ念願デアリマス。ソレカラ先ツキ農業ノ發展  
 ニ付テノ指導監督ノ強化、中央會ノ自省、斯ウ云フコト  
 ヲ申上ゲマシタノデスガ、日本カラ今年産業組合中央會

カラ、拓務省ノ御骨折ニ依ツテ、有力ナ中央會ノ幹部ニ  
 指導シテ貰フ、是ハ毎年二回デモ宜シイ、有力ナ權威者  
 ヲ今年ノヤウニヤツテ貰ツテ、現地ノ現場デ指導教化ニ  
 努メテ貰フト云フコトハ至極効果ガアルノデゴザイマ  
 ス。ソレカラ産業組合ノ強化ニ付テ人ヲ要スルコトニ付  
 テハ、向フカラ適當ナ人間ヲ、コチラヘ青年ヲ派遣シテ  
 中央會ナリ或ハ其ノ他ノ學校ナリデ、將來組合ノ斯ウ云  
 フ所ノ一ツノ適當ナ機關ニ派遣シテ見習ハシテ、サウシ  
 テ訓練ヲシテ「ブラジル」ニ歸ツテ、教化指導者ニナル  
 ト云フヤウナコトモ既ニ考ヘテ居リマスガ、日本ニ於テ  
 色々ナ便宜ヲ與ヘラレムコトヲ關係當局ニ御願ヒシテ置  
 キタイ。

○青木議長 次ニ諮問事項

五、「ペルー」ニ於ケル邦人暴動事件ニ關スル件

本年五月十三日ニ始マリマシタ邦人暴動事件ハ、我が  
 移民史上一大不祥事件デアリマス。此ノ暴動事件ハドウ  
 云フ原因ニ依ツテ起ツタカ。又今後斯ウシタ不祥事件ヲ  
 防止スル爲ニ、我々邦人トシテドウ云フ點ニ付テ反省ヲ  
 シテ見ル必要ガアルカ。或ハ又今後「ペルー」ニ於ケル



邦人ハドウ云フ方向ニ向ツテ進ンデ行ツタラ宜イカ。或ハ又他ノ方法ヲ執ルベキカト云フヤウナ問題ニ付キマシテ、「ペルー」ノ藤井サンニ御願ヒシタイト思ヒマス。

○藤井君 此ノ點ハ單ニ「ペルー」ダケニ當嵌ルコトデ、私ハ「ペルー」カラ参リマシテ却ツテ皆様ノ前ニ恐縮シテ居ルヤウナ譯デアリマス。「ペルー」ノ在留民並ニ「ペルー」ニ駐在シテ居ラツシヤイマス公使領事或ハ又新聞社斯ウシタ方々ハ、常ニ「ペルー」人トノ親善關係ヲ、精神ハ能ク含シテ進ンデ参リマス。其ノ爲ニ毎年 日會アタリノ會合ノ時、或ハ運動競技ヲ通ジテ「ペルー」人ト融和ヲ圖ルト云フヤウナ、色々ナ方法デ「ペルー」民ト仲好クシテ行クト云フコトニ努メテ居リマス。一昨年「ペルー」カラ當地ヘ参リマシタアノ經濟使節團ハ、日本ノ朝野ヲ擧ゲテノ歡待ヲ受ケテ、非常ニ喜ンデ歸ツテ呉レマシタ。日本ヲ認識シテ下サツタ、所謂日本ヲ理解シテ下サツタ「ペルー」人ガ出來タコトヲ非常ニ私共ハ喜ンデ居ツタノデアリマスルガ、其ノ矢先斯ウ云フ事件ガ突發シテ、誠ニ慚愧ニ堪ヘナイ次第デアリマス。此ノ事ノ原因ハ直接間接モゴザイマスルガ、要スルニ誤解ニ基

クトデモ申シマセウカ。何故ナラバ此ノ事件ガ起キテカラ後ノ「ペルー」人ノ氣持ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マシテ、決シテ日本人ニ惡感情ヲ持ツテ居ナイ。ソレハ私共ノ店頭ニ於テモ分ルノデアリマス。デスカラ是ハ何カノ所謂チヨツトシタ出來事デアリマシテ、現在ハ公使ヲ通ジテ其ノ筋ヘ損害賠償モ請求シテ居ルヤウナ譯デアリマス。罹災者ノ方々ニ對シテハ誠ニ御氣ノ毒ニ堪ヘナイト思ヒマスガ、遠カラズ外交ノ力ニ依ツテ解決シ得ル問題ト私ハ思ヒマス。唯茲ニチヨツト申上ゲタイコトハ「ペルー」ニ於ケル日本人ノ勢力ト云フモノハ「ペルー」人ノ持ツ力ヨリ割合ニ在留民ノ力ガ多イト云フヤウナコトガ、「ペルー」人ノ將來日本人ヲ見ル上ニ於テ之レ以上日本人ヲ増加サセテハイケナイ、同時ニ日本人ニ今後ヨリ以上ニ發展ヲサセルト云フコトハ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、「ペルー」人ノ上層ダケデナク全般ヲ通ジテ、例ヘバ親日トカ排日トカ云フヤウナ關係ナクシテ一ツノ聲ノヤウニ思ハレマス。日本人ニハ惡イ感ジハ持タナイケレドモ、兎ニ角裸デ來テ三十年ノ後ノ今日デハ到ル處相當ナ地盤ヲ築イテ居ル。是ハ私ガ「ペ

ルー」ニ居リマシテ申上ゲマスト、我田引水ノヤウデアリマスガ、「ペルー」ニ於ケル日本人ノ發展狀態ト云フモノハ、南米ノ西海岸デハ他ノ國デハ見ラレナイ程、其ノ部面ニ依ツテ發展シテ居ルヤウニ私ハ思ヒマス。ソレデ現在日本人ハ「ペルー」ニハ約二萬二千居リマシテ、其ノ中ノ五、六千人ハ所謂第二世トシテヤツテ居リマシタガ、一萬四、五千人ノ日本人ノ中ニ四千名餘リノ御婦人が居ラレ、其ノ他子供モ居ラレマスガ、結局八、九千人ノ日本人ガ居リマシテ、此ノ財産ト云フモノハ約千萬圓計上スルダケノ力強イ發展ヲナシテ居ルノデアリマス。ソレデソレ等ノ方々ハ農業ニ或ハ商業ニ相當ノ地盤ヲ築イテ居ルト云フコトガ、多少「ペルー」人ニ恐怖ノ念ヲ懷カセルヤウナコトガナイトモ言ヘナイノデアリマス。最近日本人ノ排斥トデモ申シマセウカ、日本移民ノ人國制限トカ或ハ使用人八割ニセイ、是ハ「ペルー」人十人使ヘバ必ズ八人ハ「ペルー」人デナケレバナラヌト云フノデアリマス。支拂フ賃銀モ千圓ノ八百圓ハ必ズ「ペルー」人ニ拂ヘト云フノデゴザイマス。サウシタモノガ次々ト現ハレルノヲ見マシテモ、「ペルー」人ノ望ンデ居ル

所ハ結局モウ之レ以上日本人ニ發展ヲシテ貰ツタラ困ルト云フコトニナル譯デアリマス。所ガ我々ノ方カラ考ヘマシタラ現在ノ狀態ヲ以テ決シテ満足シ得ルモノデナク、是カラ發展シテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ氣運ニナツテ居リマスノデ、斯ウシタコトガ一種ノ遠イ原因デアツテ、此ノ動亂ノ端緒ニモナツタノデハナイカトモ見ラレルノデアリマス、要スルニ私共ガ是カラ後發展シテ行ツタナラバ、其ノ發展ノ力ノ有無ニ依ツテ必ズソレニ對スル障礙ガアルコトヲ覺悟セネバナラヌノデアリマスガ、私共在留民ハ此ノ暴動事件ニ鑑ミテ、今後ハ一層慎重ニ親善ヲ進メテ行クヤウニ、目下公使館ヲ始メ在留民全般ノ方々ガ、ドウ云フ風ニシテ今後發展スルカト云フコトガ結局題目トナツテ、審議ヲ重ネテ居ルヤウナ次第デアリマス。若シ此處ニ居ラツシヤイマス方々ニ何カ今後斯ウシタラ宜イデヤナイカト云フ御話デモ聽カシテ戴キマスルナラバ、私ハ非常ニ仕合セト思ヒマス。

○吉田君 私ハ「ペルー」ノ隣リニ居リマシテ、元々「ペルー」移民デゴザイマシタノデスガ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ時々「ペルー」ノ中央日本人會ノ方カラ又領



事館ノ方ニ伺ツテ居リマシタ。甚ダ僭越デゴザイマスガ比較的「ペルー」ノ事情ニハ詳シイモノト確信致シマス。只今藤井サンノ御説明ノ通り、ア、云フコトハ何カノ間違ヒデ起ツタノデアラウ、現地ニ對シテ皆様がサウ云フ考ヲ持タレタ。シテ見マスト飽迄之ヲ糺彈スベキモノデハナイト私ハ考ヘマス。今後ア、云フコトガアツテハ是ハ取返シノ付カナイコトデハゴザイマスガ、是レ以上日本人ガ「ペルー」ニ發展サレテハ怖イト云フヤウナコトヲ國民ニ持タセルノハ、我々ノ發展上私ガ彼之レ申ス必要ハナイト思ヒマスガ、勿論私共日本人ノ側カラ申スノハ、藤井サンノ申サレル以上ニ發展シタイ。向フハ發展サレテハ困ル。コツチハ益々發展シタイト云フコトニナリマス、結局斯ウ云フ暴動ハ防グノハ當然デゴザイマスガ、其ノ方法ト致シマシテ歸スル所ハ私ハ重複スヤルウデゴザイマスガ、結局第一番ノ二世ノ教育問題ト云フヤウナコトニ關スルコトト私ハ思フノデゴザイマス。ソレデサウ云フ間違ヒガ起ラヌヤウニスルノト、又各民族ノ發展ニ資スル爲ニ、此ノ一代一世デハ勿論是ハ解決出來ナイ。「ペルー」ニ於ケル二世ヲ純然タル有

カナル「ペルー」國人ニ作りトゲテ、現ニアスコニ在ル「イタリー」系ノ國民ガ、今日「ペルー」ノ牛耳ヲ執ルト云フヤウニナツタナラバ、勿論問題ハ自然消滅スルモノデナイカト思ヒマス。今後斯ウ云フコトヲ防グ點ニ於テハ目先ノコトデハ解決出來ナイト思ヒマス。今後ノ損害ハ被害者ノ方ニ誠ニ御氣ノ毒デゴザイマスガ、出來得ル限リ外務省ノ方デモ考慮サレテ御盡力ニナルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、私ガ考ヘマスニハ飽迄之ヲ糺彈シテ賠償ヲ「ペルー」國政府ニスルト云フコトハ、今後日本人ノ發展ニ大イニ支障ヲ來スノデハナイカ。今ノ三百萬圓ノ損害ガ結局後ニヨリ以上ノ損害ヲ與ヘラレルノデヤナイカト云フ虞レガ必ズ出テ來ルト私ハ思ヒマス。斯ウ云フコトハ寧ロ我々ニ致シマシテハ不幸ナコトデゴザイマスガ、今ヲ防遏スルニハ二世ヲ立派ナ有力ナ「ペルー」人ニ作ツテ、サウシテ斯ウ云フコトヲ防ガナケレバ現在ノ姑息ナ防遏手段デハ解決出來ナイモノト察スル次第デゴザイマス。

○青木議長 吉田サンカラ大變貴重ナ御意見ヲ伺ヒマシテ此ノ問題ハ「ペルー」ニ起ツタ問題デスガ、對岸ノ火災

視スベキ問題デナク、中南米ニ居ラレマス方々ニ於キマシテモ、此ノ「ペルー」事件ニ鑑ミテ、現在居ラレル所ノ邦人トシテ、將來斯ウ云フ風ニシテ行カナケレバナラヌノデヤナイカト云フヤウナコトモ、御感ジニナルコトモアルカト思ヒマス。或ハ又「ペルー」ニ對スル邦人ノ今後ノ對策トシテ斯ウ云フ風ニ向ケテ行ツタラト云フヤウナ御提案モアラウカト存ジマス。若シサウ云フ御意見ガゴザイマシタラ……。

○北條君(墨國、齒科醫) 「メキシコ」ノ北條デゴザイマス。私ノ所デモ丁度今カラ七、八年前ニ支那人ガ追出サレタ。同時ニ其ノ餘波ヲ食ヒマシテ日本人排斥ニ引ツ掛リマシタ。ドウモ此ノ暴動ナドヲヤラレマス、直グサウ云フコトガ染リマシテ、只今ノ御話ノヤウニ「ペルー」デ起ツタノガ又隣リノ國デ眞似ヲシテヤルト云フヤウナ弊ガアリマス。アチラノ方デハ……デ勿論是ハ原因ガ何處ニアルカト云フコトヲ研究スル必要ガアリマスガ、少シ遠隔ノ地方ヲ考ヘマスト、何時モ起ツタ所ニ住ム在留民ノヤリ方ガ悪イ、斯ウ云フコトヲ直グ言フ人ガアリマスケレドモ、ソレハ御承知ノ通り現地ニ於キマシテ、何

モ自分カラ好シク排斥的ノ暴動ヲ起サセルヤウナコトハ絶對ニスルヤウナコトハ私ハナイト信ジマス。私ハ現在排斥セラレ掛ツタ時ニ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレマシテ、アスコノ連中ハ我利々々デ何モ分ラナイカラ、其ノ位ノコトハ當リ前ドラウト云フヤウニ、直グ其ノ責任ハソコニ居ル在留民ニアル、斯ウ云フ風ニ取ラレルノデアリマス。非常ニ遺憾ニ思ヒマシタ。勿論在留民ノ方ノ心掛モ必要デゴザイマスガ、ドウシテモ是ハ原因ヲ能ク探究シテ、ドノ邊カラ出タ、中ニハ只今仰ツシヤツタヤウニ、ヨリ以上ニソコノ土地ノ人間ヨリ、在留民ガ發展シタ爲ニ、嫉妬ノ念デ、ソレヲ抑ヘルト云フヤウナコトデ起ル場合モアツタノデセウシ、又同ジ商賣人同志ノ敵同志ノコトニ依ツテ起ル場合モアルカト思ヒマスガ、斯ウ云フコトハ只今吉田サンカラ仰ツシヤツタヤウニ、ドウシテモ政府ノ要人トカ或ハソコノ土地ノ有力者或ハ殊ニ日本人ニ對シテ日頃惡イト云フヤウナ奴ニ喰込ンデ、マア無茶ナ奴デアルケレドモ、一杯吞マシテヤラウ、所謂個人外交デソナヤウナコトヲスルノハ、非常ニ有効ダト思ヒマス。私ノ方デハ最近縣知事ノ選舉トカ、延イ



テハ大統領ノ選舉マデ、表面的デアアリマセヌケレドモ殊ニ市民權ナドヲ有ツテ居ル者ハ選舉權モゴザイマスノデ、ソノナヲ利用シマシテ、例ヘバ大統領ナドモ此ノ人間ガ出タラ非常ニ在留民ニ好クシテ呉レルダラウト云フヤウナ場合ニ、一定ノ選舉運動費ヲ出スト云フヤウナ風ニシテ、喰込ムコトガ非常ニ好イコトト思ヒマス。色々方法ハアリマスガ、チヨツト斯ナコトヲ申上ゲテ置キマス。

○加藤(平)君「ペルー」ノ暴動事件ノ後始末、希望ト同時ニ、當局ニ於カレマシテモドウ云フ方針デアルカ伺ヒタイト思ヒマス。是ハ又其ノ國々ノ國民性ト云フコトモアルダラウト思ヒマスシ、又此ノ暴動ナルモノガ、日本人側ニ全然落度ガナカツタト云フヤウナ場合ニ、斯ウ云フ問題ヲ處理スルニハ、私達トシマシテハドコ迄モ強ク解決シテ戴イタ方ガ好クハナイカト思ヒマス。此ノ點ニ付テ當局ノ考ヘテ居ラツシヤル所ヲ一遍伺ヒタイト思ヒマス。

○青木議長 會ノ劈頭ニ申上ゲマシタ通り、本日ハ質疑應答ト云フ建前デアアリマセヌカラ、又是ハ拓務省ノ所管

マシガ、若シ果シテサウデアツタナラバ、或ハ暴動デアラレタオ店ナドデ、抵抗シタ者ハ殆ドヤラレタ、「ピストル」ヲ持ツタ勇敢ナ御婦人ハ、自分ヲ殺シテカラヤレト言ツタ。サウ云フ抵抗ノアル所ハヤラナカツタ、或ハ市ノ目抜キノオ店ハヤラナカツタ、ト云フヤウナ所カラ考ヘテ見マシテモ、サウヒドイ深い根柢ガアツタノデナイカト、實ハ考ヘラレル、深い根柢ガアルナラバ目抜キノ大商店ヲ打壞ハスベキデアルノニ、抵抗ノ少イ小サナモノヲヤツタト云フノハ、ドウモ私共サウ云フ風ニハ考ヘラレナイ所ガアリマスガ、實ハ私共ノ知りタイノハ、此ノ原因ヲ明確ニ一ツ突止メテ戴イテ、茲ニ本當ノ原因ガアツタ、オ前達モ氣ヲ付ケト云フコトヲ、他ノ二十何ヶ國ノ我々ノ所ニ御知ラセテ願ヒタイノデアリマス。ソレニ依ツテ私共モサウ云フコトニ再ビナラヌヤウナ對策ヲ立テタイノデアリマス。ドコニ火元ガアツタカ細カイ所マデ何トカ方法ヲ持ツテ一ツ御調査ヲ此ノ機會ニ御願ヒ致シマス。

○加藤君 七八年前デスガ、支那人ガ非常ニ發展シマシテ「メキシコ」ノ殆ド町ハ全部支那人デ、或ル所ノ者ハ經濟

デアリマセヌノデ、外務省ノコトデアリマスカラ、外務省側ノ其ノ方面ノ係ノ方ガ差支ノタメ御見エニナリマセヌノデドウカ……

○北條君 私モ「ペルー」邦人暴動事件ニ付キマシテハ能ク内容ハ存ジマセヌガ、「ペルー」ニ當時居ラレマス佐藤領事ガ「メキシコ」ニ轉任ニナリマシテ、度々御目ニ掛リマシテ、私モ對岸ノ火災視シテ居ルコトハ出來マセヌ。イツ何時「メキシコ」ニ起ラヌトモ限ラヌ、當時「ペルー」ニ起キタコトヲ聞キマシテ、公使ヲ始メ我々ハ心配シマシテ、「メキシコ」ノ新聞ニハ一切載セナイ爲ニ非常ニ骨ヲ折ツテ、一行ノ記事モドノ新聞ニモ載ラナカツタ「メキシコ」ハ此ノ事ヲ知ラナイト云フコトニナツタデアリマス。ソレモ隠レタ努力モアツタ譯デアリマス。是ハ附和雷同シテ宣傳ノ虞レナキニアラズト思ヒマシタノデアリマス。ソレカラ只今藤井サンノ御話ノヤウニ多クハ計畫的ニヤツタ者ハ極ク一部分ノ者ガヤツタノデ、後ト大部分ハ隣リ近所ノ人間ガ打壞ハシニ掛ツタ。カツパライデ儲カルト云フヤウナ根柢ガ大キナ原因ヲ成シタ。大部分ハカツパライヲ働イタヤウナ風ニ見テ居ラレ

關係デ支那人ノ壓迫ヲ受ケタノデ、破壊シヤウト云フヤウナコトデ、支那人ハ殆ド全部逃ゲテ了ツタ、或ル者ハ「アメリカ」ノ方ヘ逃ゲ込ダ、殆ドモウ居ラヌヤウニナツテ了ツヒマシタ。サウ云フ點ヲ日本人モ商賣ヲ獨占シテ了フ、其ノ國民ノ生活ヲ取ツテ了フト云フコトモ一ツノ考慮ニ入ルベキコトデナイカト思ヒマス。

○岡君 極ク小サイコトヲ御參考ニチヨツト申上ゲマスガ今カラ十四五年前ノコトデゴザイマシタガ、「メキシコ」ノ革命ノ爲ニ、日本人ノ大半ガ損害ヲ被リマシタ。其ノ時ニ仲裁シマシタ古谷公使ガ御出ニナリマシテ、各地ノ日本人會ニ通牒サレマシテ、ドレ位ノ被害ガアツタカト云フコトヲ、公使館ニ報告シタコトガアリマス。公使ハ其ノ報告ヲスツカリ研究サレマシテ、是ハドウデアラウカト云フ風ナ交換條件ヲ持出シタ、日本ノ損害ヲ蒙ツタ全部ノ賠償金ハ取ラヌ代リニ、日本人ノ移民ハ勝手ニ入レサセル、幾ラデモ移民ヲ入レル、サウ云フ交換條件ノ下ニシタコトガアリマス。斯ナ問題ニ打ツカツタ得合ニ於テ、之ヲ有耶無耶ニスルヨリハ、政治上ノ交換條件ヲ御出シニナツタラト、是ハ御參考ノ爲ニ申述べテ置キ



マス。

○吉田君 附加ヘテ置キタイト思ヒマスノハ、勿論現地ニ  
公使館、領事館ガアリマシテ、随分其ノ原因ヲ確メ、又  
「ペルー」政府カラ賠償金ヲ取ラヌトモ、或ル方法ニ於テ  
被害者ニ假令半分ナリ或ル金額ナリノ辨償ノ方法ハ講ジ  
テ居ラレルコトト私ハ信ジテ居リマス。私ハ今後ニ對ス  
ル意見トシテ申上ゲタ次第デアリマス。其ノ邊御了解ヲ  
願ヒマス。

○青木議長 諸問事項ハ之テ終了シマス、次ニ

一、代表者提案事項

一、移民ノ送出ニ關スル件

○畑中君 私一ヶ年バカリ居ツテ、地方ニ於テ眞面目ニ南  
米移民ト云フコトニ付テ可ナリ各方面ニ宣傳セラレタヤ  
ウデアリマスガ、併シドノ地方モサセテ居ナイ、或ル縣  
デハ官廳ノ役人ガ、今南米移民ノ話ヲ出シテハ困ル、滿  
洲移民ノコトガアルノデ、サウ云フ話ハ引ツ込メロト云  
フヤウナコトヲ聞キマシテ、非常ニ意外ニ感ジタコトデ  
アリマス。勿論日本ノ國是トシテ滿洲移民ヲスルト云フ  
コトハ、是ハ當然ナ話デアリマスガ、併シ我々ノ如キモ

表面ハ如何ニモ其ノ方ヘ人ヲ出スヤウニ言ツテ、裏面デ  
ハ南米ノ方ヘ人ナンカヤレヌゾト云フヤウナコトヲ言ツ  
テ居ツタ、今度ノ新體制ノ大臣ノ方ハ決ジテサウ云フコ  
トハナイ、ソレハモウサウ云フコトヲ公表セラレタ以上  
ハ安心シテ宜シイト云フヤウナコトモ承リマシタ。益々  
安心シテ譯デアリマスガ、サウシテ見ルト結局上意ガ下  
達シテ居ラヌト云フヤウナコトデ、段々色々ナ法律ガ出  
ルガ、法律ノ精神ト云フモノヲ能ク嚙分ケズニ、唯字句  
ヲ解釋スルト云フヤウナコトモアリ、或ハ惡意ヲ持ツテ  
臨ムト云フヤウナコトデ、随分苦ムコトモアリマスガ、  
是ハ結局煎ジ詰メルト政治ガ惡イコトニナリマスガ、兎  
ニ角皆擧ツテサウ言ハレマシテ我々非常ニ力強ク感ジル  
ノデアリマス。新シキ日本ノ文化ヲ持ツテ來ルナラバ、  
沈滯勝チデアル移民ニ非常ニ刺戟ヲ與ヘル、ドウシテ  
モ新シイ人ヲ寄越シテ貰ハナケレバナラヌト云フ状態ニ  
アリマスノデ、今後日本ノ上層部ノ人ガサウ云フ御考デ  
成ルベク出來ル範圍ニ於テサウ云フコトデアリタイコト  
ヲ熱望シテ居ル譯デアリマス。併シ一面我々ハドウデア  
ツタカト云フコトヲ考ヘテ見マス、我々モ大變御協力

一五二

ノガ考ヘマシテモ、日滿「プロツク」東亞ノ共榮團ト云  
フコトガ確立シテモ、矢張り世界ヲ相手ニ雄飛セニヤナ  
ラヌト云フ時ニ、サウ云フ偏ツタコトハドウモ了解ニ苦  
ム、是ハ恐ラク地方ノ人達ニサウ云フ疑念ヲ持ツテ居ツ  
タノデアリマスガ、四日カラ色々方々カラ祝辭ナリ御  
挨拶ナリ色々拜聴致シマシテ、サウヂヤナイト云フコト  
ガマア薄々分ツテ來タノデアリマスガ、或ハ外ノ御話ヲ  
聞キマシテモ矢張りサウデアアル。昨日外務大臣、拓務省  
ノ御挨拶ヲ伺ヒマシテ、サウデナイト云フコトガハツキ  
リシタ譯デアリマス。尙拓務局長ナリ通商局長ノ御話ヲ  
聞キマシテ、愈々サウ云フコトガハツキリシテ來タ譯デ  
アリマス。現在ハ此ノ東亞ノ大共榮團確立スルコトニ一  
生懸命ニヤツテ居ル、併シヤレル所ハ出來ルダケヤルノ  
ダト云フヤウナ力強イ御話ヲ伺ヒマシテ、非常ニ安心シ  
タ譯デアリマスガ、チヨツト昨晚或ル偉イ方カラ御招キ  
ヲ受ケマシテ、サウ云フ話ガ出タノデアリマスガ、君等  
ハ好イ時ニ歸ツテ來タ、一年程前ナラバナカノ、サウハ  
行カナカツタ、今時勢ガ變ツテ來テ誠ニ好イ時ニ歸ツテ  
來タ、ソレデ今迄ノ大臣ニハ隨分手形ヲ出シタ人ガアル

アリマシタコトヲ、母國ヘ歸リマシテ痛切ニ感ジル譯デ  
アリマス。今マデ現地ニ居ツテ母國ニ呼掛ケナイト云フ  
コトハ、我々ノ大キナ落度デアリマス。通信ナリ或ハ色  
々ノ方法ヲ以テ南米ヲ紹介シテ、母國ノ人ニ呼掛ルト云  
フコトニ對シテ、怠慢デアツタト云フコトヲ痛切ニ感ジ  
ルノデアリマス。ソレト多イ中ニハ粗相ノアル者モアリ  
マシテ、斯ウ云フ時局ニナリマス満洲或ハ海南島ア、  
云フ所へ行ケバ子供ノ教育モ出來ル、或ハ經濟上ニモ惠  
マレルノミナラズ、日本國家ノ下ニ働クト云フ氣樂サモ  
アルト云フ下ラヌコトヲ書イタ新聞モアリマシタ。併シ  
是モ時日ガ經ツニ從ヒマシテ段々サウ云フコトモナクナ  
リマシタ。餘程其ノ動搖モ止ミマシタケレドモ、幸ニシ  
テ私共其ノ他ニ七人參ツテ居リマスガ、是等ノ者ガ母國  
ノ事情ヲ擱ンデ參リ、歸ツテ審サニ其ノコトヲ報告シマ  
シテ、我々今後ノ行キ方ニ付テ新シイ決心ヲ要シマスガ  
兎ニ角出來ルダケ新シイ移民ヲ送ツテ載クコトヲ御願ヒ  
シタイノデアリマス。是ハ現地ニ居ル者ニ調査ヲサセテ  
行クト云フコトニナリマスレバ、誠ニ結構ト思ヒマス。  
其ノ點ニ於テ我々モ大イニ努力致シタイト考ヘテ居リマ

一五三



ス。ドウカ御當局ニ於キマシテモ出來ルダケ、上意下達ガ出來ヌノハ是ハシヤウガナイノデスガ、其ノ地方ニハ何等カノ方法ヲ講ジテ戴クヤウニ御盡力願ヒタイト斯ウ思フノデアリマス。

○脇山君 昨日拓務大臣ノ御挨拶ノ中ニアリマシテ、中南米ノ方ニ大イニヤラナクチャナラヌト、サウ云フヤウナ御話デ安心シタ譯デアリマスガ、其ノ御趣旨ハ今日始マツタノデナク、前カラサウ云フ御意見ガアツタト云フコトハ伺ツテ居リマシタガ、實際此ノ實施ノ方面ニ行キマスト徹底シテ居ラナイ。私モ連ニ歸ツテ來テ及バズナガラ宣傳シヤウト云フ考デ南米課ニ申上ゲタ。又直接縣ニモ行ツテ色々交渉シタガ、丸デ相手ニシテ呉レナイ。ドウ云フ譯ダラウト思ツテ、色々聞イテ見ルト矢張りマダ中央ノ方針、趣旨ガ徹底シテ居ルトハ言ヘナイ。聞イテハ居ツテモソレハ事實上ニ現ハレテ居ナイ。二三ノ縣ニ色々聞イテ見マシテ其ノ話ヲシテ見ルト、其ノ係ノ者デサヘ南米ノコトハ頭ニ置イテ居ナイ、其ノ掛リ仕事ニ從事セニヤナラヌ者ガ滿洲ノ方ニ取ラレテ了フ、滿洲ノ方ヲヤラナケレバナラヌト云フノデ、滿洲移民ニ全力ヲ注

グ。國策上是ハ宜シイトシテ、滿洲ノ方ニ力ヲ入レル者ガ十人居ルトスレバ、南米ノ方ハ一人カ二人ノ人デ必ズ南米ニ全力ヲ注グト云フコトヲ徹底シテヤツテ貰ヒタイ。南米ノ方ハ南米ノ移民ヲ申出ルト、ソレハヤメテ了ヘ、滿洲移民ニ障リガアル、斯ナコトヲ言フ。ソレデハ到底仕事ニ従事シテ居ル者ハヤリ難イニ違ヒナイ、ソレデ或ル縣ノ當事者ハ南米ノコトニ従事シテ居ル必要ハナイノデ止メタ。サウ云フヤウナコトデ、ドウカサウ云フ點ハドコニ何ガアルカ能ク御調べノ上ニ、一杯來ルヤウニ今マデノ移民ノ培養ニ努メルト云フコトニシテ御願ヒシタイノデアリマス。唯或ル縣二三デナク滿洲移民ノ方ノ有力者ノ話モ聞キマシタノデ、是ハ甚ダ怪シカラヌト思フノデ、滿洲ニ力ヲ注グノモ宜イガ、矢張り同様ニ南米ニ南洋ニ並行シテヤルト云フコトガ必要ダト云フコトハ當然デアリマス。昨日ノ御話ヲ聽キマシテ私ハ安心ヲシマシタガ、極力南米課ノ方カラ御鞭撻御助力ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス。

領令ニ依ツテ移民法ガ改正ニナリマシテ、親子並ニ妻以外ノ入國ハ出來ヌト云フ法令ガ出タノデゴザイマス。ソレデ事實上入國ハナカク困難ニナツタヤウナ譯デゴザイマス。「アルゼンチン」ニ行キタイト云フ人ハ相當アルノデゴザイマス。昨年モ日本ニ歸ツテ來テ私ト入レ違ヒニ「アルゼンチン」ニ歸ツテ來タ其ノ人ノ話ニ依ルト「アルゼンチン」ニ連レテ行ツテ呉レト云フ人ハ随分アル。ソレヲ斷ルニ相當難儀ヲスルト云フコトヲ聞カサレテ私ハ歸ツテ來タノデスケレドモ、矢張り其ノ通りデ私ガ歸リマスト毎日三通或ハ五通位「アルゼンチン」ニ連レテ行ツテ呉レト云フヤウナ手紙モ届イテ居ル次第デゴザイマス。又外務省デハ千九百三十五年カラ「アルゼンチン」ダケデハアリマセヌガ、南米諸國ニ實習生ヲ送ルヤウニナツテ「アルゼンチン」ニモ最初試験的ニ農業實習生三名、商業實習生二名、此ノ五名ヲ送ツタノデゴザイマスケレドモ、成績ハ好ク毎年二十名程行ツテ居ル。先程申シマシタヤウニ親子並ニ妻以外ノ入國ハ六ケシイコトニナツテ居ルノデゴザイマスケレドモ、或ル特殊ノ事情デ技術者トシテハ簡便デハナイケレドモ、手續ヲス

レバ入國出來ルヤウニナツテ居ル、向フデ土地ヲ有ツテ居ルトカ或ハ事業ヲ經營シテ居ルト云フヤウナ人ノ、働ク意味ノ技術者デアツタラ或ル程度マデ入國出來ルヤウナ譯デゴザイマスカラ、當局ニ於キマシテモサウ云フ方面ヲ能ク御研究下サイマシテ、成ルタケ向フニ行キタイト云フ人ニハ、渡航出來ルヤウニ御盡力願ヒタイノデゴザイマス。向フデハ幾ラデモ仕事ガアルノデゴザイマス。殊ニ私共ノ國藝方面、蔬菜園藝果樹園藝デアルトカスウ云フ方面ノ仕事ハ集約農業デアツテ、技術ヲ骨子トスル職業デアリマスカラ、特ニ日本人デナケレバ出來ヌヤウナコトハ相當アルノデゴザイマス。デ五、六年前マデハ私共ノ農園ニ働イテ居ル人ハ殆ド日本人デアツタノデゴザイマスケレドモ、此ノ頃入國スルコトガ困難ナ爲ニ、日本人ガ三分ノ一位、外ニ外人ノ労働者ヲ三分ノ二位使ハナケレバナラヌト云フヤウナ譯ニナツテ居ル、ソレデ日本人ノ入國ハ出來ナクナツテ來マス、我々ノ經營ノ事業ニモ將來ト云フコトニモ相當影響スル譯デゴザイマスカラ、ドウカ外務省或ハ拓務省ニ於テアチラニ行ク希望者ガナケレバシヤウガナイケレドモ、相當アルノ



デゴザイマス。外務省ノ方ニ聽キマシテモ實習生ヲ募集シテ見ルト、殆ド八、九割ハ「アルゼンチン」ノ志望デアルト云フコトヲ申サレテ居ル。又今年ノ如キモ募集シテ居ルノデスケレドモ、相當「アルゼンチン」ノ志望者ガアルト云フコトヲ、外務省ノ方カラ實際ニ聞イテ居ル次第デゴザイマス。ドウカ「アルゼンチン」ノ事情ハ斯ウ云フヤウニナツテ居ルト云フコトヲ御含ミ下サイマシテ、澤山ノ人ヲ送ツテ戴クヤウニ御願ヒスル次第デゴザイマス。

○青木議長 中南米ニ對スル移民ノ問題ニ付キマシテ、昨日ノ本會議ニ於テ、移民送出ハ今後ト雖モ變更シナイト云フコトヲハツキリ申上ゲタ次第デアリマス。上意下達ガ十分行ハレテ居ラナイコトハ、誠ニ私共トシマシテハ至ラナイ所デアリマシテ、恐縮ニ堪ヘナイデアリマス。現在ノ日本ノ事情トシマシテ海外ニ對スル移民送出ト云フコトハ、國內事情トシテ益々必要ニ迫ラレテ來テ居ルデアリマス。皆様ハ新聞デ毎日御覽ノ通りデアリマスカラ、日本ノ外交轉換、之ニ伴フ日本ノ産業組織再編成ニ依リマシテ、從來從事シテ居ツタ職業ヲ廢メテ、

他ノ職業ニ轉換シナケレバナラヌト云フ人多數出テ參ツテ居ルデアリマス。此ノ職業轉換ノ人達ガ滿洲初メ南洋南米ノ海外ニ發展シヤウト云フコトガ、日本ノ國內問題トシテ今將ニ登場シテ來タノデアリマス。只今モ急イデ南米方面ニ對スル移民ノ輸送費、補助費ヲ追加豫算トシテ計上シナケレバナラヌト云フヤウナコトデ協議サレテ居ル次第デアリマス。斯ウ云フヤウナ現狀ニナツテ居リマスカラ、私共トシマシテハ揮ツテ南米方面ニ移住シマスヤウニ、移民送出ニ協力致シタイト存ジテ居リマス。又皆様ニ於カレマシテモ中南米方面ニ於テ、終始地盤ヲ鞏固ニ築カレテ居ル有力ナ方々デアリマスカラ、斯ウシタ邦人ノ指導ト云フコトニ付キマシテ、今後共一層御努力アラムコトヲ御願ヒスル次第デアリマス。尙此ノ問題ニ付キマシテハ「ブラジル」ノ安瀾サンカラ御提案ガアリマシタ、何カ御意見ガアリマシタラ……ソレデハ移民送出ノ問題ハ之位ニシマシテ、尙其ノ外ニ皆様ノ中カラ御提案ニナル問題ガゴザイマスレバ……

○加藤(英)君 是ハ提案シテゴザイマセウガ、現地ノ官廳ニ付テ、例ヘバ領事館、公使館ナラバ公使、此ノ官廳ノ

任期ニ付テチヨツト希望シタイトゴザイマス。私ノ居リマス「キューバ」ナンカハ、一遍友達ニ會ヘバ十年モ友達ニナツテ居ルヤウニ、何カ頼ムト直グヤツテ呉レルヤウナコトデアリマスケレドモ、ナカノヤツテ呉レナイ。色々官廳ノ人達モ一、二年經テバ相當仕事ガ出來ルヤウナ考ヲ持タレルヤウデアリマスガ、ヤツテ見ルト決シテサウデナイデアリマシテ、「ラテン」系ノ國民ヲ相手ニスルニハ、唯上下袴デ行クヨリモ、寧ロ内面カラ飲ミ食ヒシテオ互ニ心安クナツテ、サウシテ行カナケレバ思フヤウニ外交モヤツテ行カレナイノヂヤナイカト思ヒマス。從來ハ大抵二年カ二年半位デ直グ送ツテ了レルノデゴザイマシテ、是ハ非常ニ不利ノヤウデアリマス。本省ノ御内規ハドウ云フコトニ出來テ居ルカ、此ノ邊ハ改メテ戴キタイ。書記生ノ方ハ大體五年六年居ラレルヤウデアリマス。若イ時ニハ方々歩イテ色々勉強ナサルコトモ必要デセウガ、館長タル人ハ少クモ數年間ハ任地ニ居ツテ戴クヤウニヤツテ戴キタイト思ヒマス。希望ヲ申上ゲテ置キマス。

○吉田君 昨晚モ局長サンニ御願ヒシタノデアリマスケレ

ドモ、此處ニ御列席ノ皆様ハ大使館、公使館ヲ皆モツテ居ラレルガ、私ノ方ハ御承知ノ通り領事館モ今日迄ナイデアリマス。勿論只今ノ加藤サンノ御意見ノ通り領事若クハ公使ガ少クトモ數年其ノ國ニ任期ヲ長クサレテ居ラナケレバ、一ツモ仕事ハ本當ニ完全ニハ出來ナイ。又折角御盡力ニナツテ出來掛ツタモノヲ、轉任サレテ、又新タニ後任ノ方ガヤリカヘルト云フヤウナ弊ハ誠ニ情ケナイト申シマスカ、「ボリビヤ」ニハ今以テ領事館モナイデアリマス。是ハ在留民ト致シマシテモ既ニ二十年來ノ念願デアリマス。度々御願ヒ致シマシタケレドモ今日迄其ノ實現ガナイノデゴザイマス。是ハドウシテモヤツテ費ハナケレバ、アスコノヤウニ今日迄一回ノ排日サウ云フ意思表示サヘモナイヤウナ國デ、比較的國土ハ大キクテ、將來性ノアル國ニ現在八百人ノ在留民ガアルニモ拘ラズ、今日迄領事館ガナイト云フノハ、非常ニ片手落ナコトノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス。「ベネズエラ」ノ如キ僅々百名内外デアリマスガ、ドウ云フ政治上ノ關係カ公使館モアリマス。「ボリビヤ」ニソレガナイト云フノハ何ダカアスコノ在留民ガママ子扱ニサレテ居ル



ヤウニ、一般カラ考ヘマスト言ヘルノデゴザイマス。斯ウ云フ機會ニ其ノ實現ヲ御願ヒ申シテ吳レロト云フコトヲ、此ノ際ニ御願ヒシテ置ク次第デゴザイマス。

○北條君 是モ議案ニ出テ居リマセヌガ、私カラ御願ヒ申上ゲタイノデアリマス。ソレハ現在拓務省カラシテ中南米ニ掛ケテ確カ二人鑛業關係ノ技術者ヲ出シテ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデゴザイマス。此ノ間コツチヘ參リマス時ニ拓務省ノ囑託デアラレル大阪帝大ノ清水博士ト御一緒ニナリマシテ色々伺ツタノデアリマス。「メキシコ」ナドニアリマシテモ、在留邦人デオ醫者様ヲ商賣ニシテ居ラレ相當色々ナコトデ成功サレテ居ル、其ノ金ヲ鑛山ノ方ニ使フト云フヤウナ人が随分アルノデアリマス。御經驗ガナイ爲ニ所謂山デ大キナ失敗ニ終ルト云フコトガ今迄度々アリマスノデ、出來マスナラバドウカ「メキシコ」ノ方ヘモ御廻シヲ願ヒタイ。大體中南米何レノ地ニ於テモ相當日本ノ必要トスル物資ガ鑛物關係デアリマスカラ、其ノ方ノ指導者トシテモツト多ク御派遣ニナルヤウニ御願ヒシタイノデアリマス。其ノ技術者ガ山其ノモノヲ鑑定シテ、投資シテ宜イト云フ鑑定ヲシテ戴ク、同

時ニ日本デ必要トスル物資カラ仕事ヲ始メルヤウニ導イテ戴ク、斯ウ云フモノハ日本トシテ必要ナンダカラ是ナラバ努力シヤウト云フヤウニスル。同時ニソレヲヤリ出シテ、仕事ヲ其ノ關係官ヲ通ジテ日本ノ輸入許可ト云フモノニ迄御配慮ヲ願ヒタイ。山カラ石ガ出テモ日本ニ入レルコトガ出來ナイノデハ何モナラナイノデアリマスカラ、サウ云フコト迄連絡ヲシテ制度ヲ一ツ立テテ戴キタイ。是ハ小サナ企業トシテモ助長スルト云フコトヲヤツテ戴キタイ。勿論大資本デ多クノ技術ヲ使ツテヤルト云フ場合ニハ是ハ必要ガナイノデアリマスカラ……必要ダカラサウ云フ基礎的ノ研究ヲシテ居ラレル。此ノ意味ニ於キマシテモ是非共先程御話ガアリマシタ農業ニ關スル技術者ト關聯致シマシテ、鑛業ニ關スル技術者モ御増員願ヒタイノデアリマス。

○畑中君 私共モ此ノ度歸國致シマシテ承ツタ數々ノコトハ勿論、此ノ現地ニ居リマス者ニ有ラユル手段ヲ以テ願ツベキデアリマスノデ、昨日戴キマシタアノ拓務大臣、外務大臣ノ御挨拶、アレガ戴ケマスナラバ早速現地ノ新聞ニ掲載シタイト思フノデアリマス。ア、云フ御挨拶ヲ

現地ノ者ガ讀ミマスナラバ、非常ニ政府ニ於カレテモ温カイ心持デ居テ下サルト云フヤウナコトガ直接分リマス。サウ云フ御取扱ガ出來マスナラバ、一ツ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。

○青木議長 外ニ御意見ガゴザイマセヌケレバ、丁度時間ニナリマシタカラ、之ニテ本日ノ會議ヲ閉會致シマス。閉會ニ先立チマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲサシテ戴キマス。

本日ハ朝カラ長時間ニ亘リマシテ御熱心ニ御協議下サイマシタコトハ誠ニ有難ウ存ジマス。皆様ノ多年ニ於ケル海外生活ノ貴重ナル體驗ニ基ク有益ナル御話ヲ伺フコトガ出來、又私共トシマシテハ今迄考ヘナケレバナラナカツタコトヲ、迂濶ニ居タ問題ニ付キマシテ、寸鐵人ヲ刺ス如キ御意見ニ接シマシテ伺ツテ居リマスル中ニ、思ハズ襟ヲ正シマシタコトハ一再ナラズアツタノデゴザイマス。皆様ノ御意見ハ移住地ノ其ノ土地ニ發展シテ、永久的ニ發展ノ基礎ヲ築イテ行カウト云フ御考ニ基イテ御述ベニナツタモノデアリマシテ、皆様ノ立場トシテ一々御尤ナコトト考ヘル次第デアリマシテ、私共モ之ニ依ツ

テ非常ニ啓發セラレ、今後仕事ヲヤツテ行キマス上ニ、多大ナル參考ニナルコトト信ジテ疑ヒマセヌノデアリマス。皆様ノ御熱心ナル御協議ニ依リマシテ、本日ノ會議ヲ極メテ有益ニ終始スルコトガ出來マシタコトヲ、厚ク感謝致シマス。之ヲ以テ閉會ト致シマス。(拍手起ル)

午後三時三十分閉會



# 第一回在外同胞代表者會議

(南洋部會) (一)

出席者(順序不同)

- 諸 隈 彌 策 (比律賓)
- 小 坂 彰 二 (蘭領印度)
- 小 川 山 三 郎 (比律賓)
- 下 田 楯 之 助 (英領馬來)
- 日 高 秋 雄 (タイ國)
- 西 山 英 清 (ニューカレドニア)
- 佐 藤 茂 (蘭領印度)
- 中 川 安 次 郎 (蘭領印度)
- 小 杉 佐 喜 藏 (ボルネオ)
- 小 里 事 務 官 (拓務省)
- 砥 上 理 事 官 (拓務省)
- 三 浦 理 事 官 (拓務省)
- 仁 瓶 技 師 (拓務省)
- 柴 山 事 務 官 (外務省)
- 高 野 屬 (外務省)

昭和十五年十一月七日 午前九時三十分開會

一六〇

○小里事務官 一寸御挨拶ヲ申上ゲマス。私拓務省ノ南洋課ノ事務官ヲヤツテ居リマス小里ト申シマス。實ハ南洋課長ガ出マシテ、御挨拶ヲ申上ゲル筈デアリマスルガ、ヤ」ノ方ヘ行ツテ居リマシテ、マダ歸ツテ參リマセヌノデ、甚ダ失禮デゴザイマスガ、私カラ御挨拶ヲ申上ゲマス。毎日朝カラ晩迄ノ御活躍デ嚙ゾオ疲レニナリ、且御迷惑ノコト、ハ存ジマスルガ、今回ノヤウニ世界各國カラ在留同胞ノ代表者トシテオ集リニナルコトハサウ度々ハナイモノト考ヘマスノデ、今日ハ各國カラオ集リノ方ノ各地域毎ニ部會ヲ構成致シマシテ、コ、ニ南洋部會ヲ開キマシテ、皆様ニ種々御懇談ヲ願ヒシヤウト思ヒマシテ、オ集リヲ願ツタ次第デアリマス。皆様ハ十數年或ハ數十年前ニ南洋ノ方ニオ出掛ケニナツテ第一線ニ立ツテ御活躍ニナツテ居ル方々バカリデアリマスガ、恐ラク皆様ガ日本ヲオ出ニナリマシテ、南洋ニオ渡リニナツタ時カラ現在ノヤウナ斯フ云フ國際情勢ニナリ、南洋

ト云フモノガ日本ニ取ツテ必要欲クベカラザルモノトナリ、日本トシテハドウシテモ南ノ方ニ進マナケレバイカヌト云フマウナ態勢ニナルコトヲ心ニ持シテ、又サウ云フ確信ヲ以テオ出掛ケニナツタモノト考ヘマシテ、今回此ノ二千六百年ノ式典ノ舉行セラレマス佳キ年ニ、所謂南進時代ト申シマスルカ、斯ウ云ツタ時期ニ日本ニオ歸リニナリマシタニ付テハ、過去ヲ振返ヘラレマシテ、感慨ノ一入深イモノガアラウカト想像致スノデアリマス。多年現地デ御活躍ニナツテ居リマシテ、或ハ其ノ間ノ御苦心談、御經驗談、御體験、或ハ現地ニ居ラレマシテ、モツト日本トシテハ斯ウ云フ風ニシタラ宜イノデナイカ、或ハ政府ハ何ヲヤツテ居ルカ、色々ト御希望ナリ御意見ナリ、御不滿ナリガアラウカト存ズルノデアリマス。ソレカラ又現在ノヤウナ時勢ニナツテ參リマシテ、日本ガ大キナ大東亞ノ建設ト云フヤウナ目標ヲ立テ、進ム上ニ於テハ斯ウシナケレバイカヌノデヤナイカ、政府デハ斯ウ云フヤウニシテ貰ヒタイ、政府デハ今何ヲヤツテ居ルカト云フヤウナオ小言モ澤山オ有リカトモ思フノデアリマス。皆様ノ本當ノ腹ヲブチ撒ケテ腹藏ノナイ御

意見ヲオ聴カセ願ヒマシテ、或ハ何カ御質問等ガアリマスレバ、外務省カラモオ出デニナツテ居リマスルカラシテ、差支ノナイ範圍デ御答ヘスルコトモアラウカト存ジマス。ドウカサウ云フオ積デ一ツドンナ事デモ、現地ノ狀勢ナリ、御希望ナリ、オ小言ナリ、何デモ宜シウゴザイマスカラ十分仰ツシヤツテ戴イテ我々ノ參考ニ資シタイト考ヘル次第デアリマス。部屋モ斯ンナ小サナ所デ洵ニ恐縮デアリマスガ、一ツ打チ解ケテ皆同ジヤウナ氣持デ御發言ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス。簡單デゴザイマスガ、御挨拶ニ代ヘル次第デアリマス。ソレカラ此ノ懇談會ヲ進メテ行ク上ニ付キマシテ、實ハ先程モオ話ガアリマシタ通り、ドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フコトニ付テ甚ダ不行届デ、昨日來色々研究致シマシタノデスガ、實ハ今日此ノ各部會ガ濟ミマシテカラ、各部會毎ニ代表者ヲ出シテ頂キマシテ、サウシテ南洋部會デハ斯ウ云フ意見ガ出タ、斯ウ云フ意嚮ダツタト云フヤウナコトヲ打合セシテ頂キマシテ、サウシテ九日ノ午後ガ報告總會トナツテ居リマスガ、其ノ報告總會ニ此ノ南洋部會ノ様子ナリ皆様ノ御意嚮ナリヲ御報告ニナツテ、サウシ



テ政府ニ對スル建議トカ決議トカ云フヤウナモノガアレバ、サウ云フモノモ決メタイト云フコトヲ此ノ部會ガ濟ンデカラ代表者ノ方ニオ打合セテ願フコトニナツテ居ルノデアリマス。ソレデサウ云フ風ニ取運ビマス上ニ付テ皆様ノ中カラ誰方カニ取纏メ役ト申シマスカ、會ヲ司會シテ頂キマシテ、サウシテ皆様ノ意嚮ヲ全部纏メテ頂クト云フヤウニシテ頂イタ方ガ、明後日ノ報告ノコトモ考ヘマシテ、都合ガ好イカト考ヘルノデアリマスルガ、ソレデ一ツ比律賓ノ諸限サンニ座長ヲオ願ヒシマシテ、サウ云フ風ニヤツテ頂キタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ。

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○小里事務官 ソレデハ一ツ御迷惑デモ諸限サンニオ願ヒ致シマス。

○諸限君(比島、太田興業社長) ソレデハ皆様ノオ許シヲ得マシテ、南洋部會ノ座長ヲ勤メサセテ頂クコトニ致シマス。私ハ不肖其ノ任ニ非ズト考ヘテ居リマスケレドモ皆様ノ御協力ニ依ツテ主宰ノ意ノ有ル所ニ協力スルコトガ出來マスレバ、洵ニ幸セト存ズル次第デアリマス。本

ニ……

○小里事務官 一應速記ヲ取りマシテ、外部ニハ出シマセヌ。

○下田君 其ノ事ガ分リマスト私共ハ再ビ新嘉坡ニ歸レナイコトニナリマスカラ。

○佐藤君 ソレデハ私ノ希望ヲ述ベサセテ頂キマス。向フヲ經チマス時分ニ、大體蘭印ノ概況ヲ申上ゲタイト思ツテ原稿ヲ作ツテ來テ居ルノデアリマスガ、主トシテ皆様ニ聽イテ頂キタイト思フコトハ農企業ニ付テデアリマスガ、ソレデ若シオ許シヲ得マシタナラバ、約三十分程ノ時間ヲ頂イテオ話申上ゲタイト思ヒマス。

○諸限座長 何トカ十分間程度ニ纏メル譯ニ行キマセヌカ詳シイ事ハ抜キニシテ總括的ノオ話ヲ願ツタラ如何デスカ、サウスレバ詳シイ事ハオ互ヒニ質問スルト云フ形モ起ツテ來ルダラウト思ヒマス。詳シイコトハ其ノ時ニシテ大體ノオ話ヲ願ツタラ十分間デ出來ヤシナイカト思ヒマスガ。

○仁瓶技師 如何デセウ、三十分ニシテモ大體三時間デ済ミマスガ、時間モ餘裕ガアルヤウデスカラ、中ニハ短イ

日ハ只今ノオ話ノ如ク成ルベク四角張ラナイデ色々協議シタリ、オ話ヲシテ居ル中ニ適當ナ案件ヲ發見スルコトモ出來マセウシ、其所ニ南洋部會トシテ何等カ利益スル所モアラウカト思ヒマスノデ、忌憚ナイ意見ヲ吐露シテ頂イテ、全ク一團トナツテ先ヅ此方ノ一致シテ結束ノ下ニ審議ヲ進メテ頂タイト要望スル次第デアリマス。ソレデハ是カラ懇談會ヲ開クコトニ致シマス。ソレデハ一番最初ニ十分間位ノ程度デ御意見ヲ述ベテ頂キタイト思ヒマス。其ノ間ニ又纏メテ審議スル問題モ起ツテ來ヨウト思ヒマスカラ、ドウゾ其ノ程度デオ願ヒ致シマス。ソレデハ佐藤サンカラ一ツドウゾ。

○佐藤君(蘭印、佐藤農工商事社長) ドウ云フ事ヲ話スノデスカ。

○諸限座長 貴方ノ抱懷シテ居ラレル大體ヲ述ベテ頂ク譯デアリマス。貴方ノ經歷ナリ或ハ斯ウ云フコトガ必要デアルト思フトカ、詰リ貴方ノ有ツテ居ラレル抱負ナリヲオ話下サルト云フ形ノモノデ宜カラウト思ヒマス。

○下田君(馬來、士母他公司主) 此ノ懇談會ノ結果ハ何カ雜誌トカ、印刷物トシテ出ルノデスカ、或ハ新聞トカ

方モアリマシウカラ、大體三十分以内ト云フコトデオ話ヲ願フト云フコトニシタラ……

○小里事務官 大體午前中ニオ話ヲシテ頂イテ午後ハ自由討議ト云フヤウナコトデ……

○諸限座長 ソレデハ二十分間位ノ程度デ。

○下田君 三十分ニシテ頂イタラ大體ノ説明ガ出來マスケレドモ、十分デハ要領ヲ得ナイト思ヒマス。

○諸限座長 ソレデハ三十分ニ致シマセウ。佐藤サン、一ツ三十分位ノ範圍デオ願ヒ致シマス。

○佐藤君 サウサセテ頂クト大變良イト思ヒマス。ソレデハ是カラオ話ヲ申上ゲルコトニ致シマス、私ハ「バンドン」市介ヲ頂キマシタ佐藤デゴザイマス。私ハ「バンドン」市ニ於テ人絹織物工場ト國産機械類ノ輸入販賣並ニ馬鈴薯農園ヲ經營シテ居ル者デゴザイマス。此ノ度ハ圖ラズモ選バレマシテ、海外同胞奉祝大會ノ御招待ニ依リ光輝アル紀元二千六百年ノ記念祝典ニ參列スルノ光榮ニ浴シ、本日ハ又蘭領印度ノ農企業ニ付テオ話ヲ申上ゲル機會ヲオ與ヘ下サイマシタコトハ、私ニ取りマシテ洵ニ光榮且欣快ニ存ズル所デアリマス。私ノ居リマス「バンドン」



カラ約百八十軒隔テタ「バタビヤ」デハ只今我が國ノ代表ノ方々、只今小里事務官カラオ話ノ通り南洋課ノ川本サンナドモ御越シニナツテ居リマシテ、和蘭當局ト經濟會商ガ行ハレテ居リマスコトハ、皆様モ既ニ御承知ノコト、存ジマス。蘭領印度ハ曩ニ帝國政府ガ中外ニ聲明サレマシタ大東亞共榮圈ニ於キマシテモ、地理的、歴史的又人種的將又經濟的ニモ我が國ト最モ密接且重要ナ關係ヲ有シテ居ル所デアリマス。大共榮圈内ノ心臟部トモ言フベキ所デアリマス。倍テ私ガ瓜哇ニ參リマシタノハ明治四十二年デゴザイマシタ。皇紀二千五百六十八年四月デ今カラ三十二年前ノコトデアリマシタ。當時ノ蘭印ハ勿論今日ノヤウニ文化モ進ンデ居リマセヌ。又在留邦人モ至ツテ少カツタノデアリマス。僅カニ「バタビヤ」トカ「スラバヤ」「スマラン」「マカツサー」「メダン」等ノ大都會ニ僅カバカリノ邦人ガ賣藥行商トカ又ハ雜貨等ノ小賣ヲヤツテ居ツタ位ニ過ギマセヌ、其ノ他ノ營業モ少々ハアリマシタガ、所謂其ノ當時ハ邦人ノ草分時代トモ言フベキ時デアリマシタ。然ルニ日露戰爭ニ於ケル忠勇無雙ナ皇軍ノ武威ガ赫々トシテ此ノ方面迄傳ハリマシ

タ爲ニ、日本人ハ戰勝國民トシテ到ル處ニ非常ナ歡迎ヲ受ケマシタ。其ノ當時迄ハ支那人ト同様ニ取扱ハレテ居ツタモノガ、ホ、デ一等國民ト云フ待遇ヲ受ケルヤウニナツタノデアリマス。併シナガラ邦人ノ經濟的發展ハ其ノ當時ハマダ極メテ微々タルモノデアリマシテ、然ルニ今日ニ於キマシテハ、三井トカ三菱、正金、臺灣等ノ大商社、銀行ヲ始メ大小貿易商船會社、倉庫會社、大小農企業、各種ノ工場、百貨店トカ小賣商店等ガ堂々ト外國人ヲ相手ニ目覺シイ發展ヲ示シテ居ルノデアリマス。其ノ活躍振ヲ見マス、全ク隔世ノ觀ガアルノデアリマス。昔ノコトヲ追懷致シマシテ感慨無量デアリマス。前置キハ此ノ位ニ止メマシテ、是カラ蘭領印度トハ一體ドウ云フ所デアルカト云フ概念ヲ極ク簡單ニ申上ゲルコトニ致シマス。最近時局ノ波ニ乘リマシテ、「クローズアップ」サレタ蘭領印度ハ我が南洋、臺灣ト一衣帶水、殊ニ昨春帝國ノ領土ニ加ヘラレタ新南群島カラ蘭領ノ一番北ノ「ナツナ」島迄ハ僅カニ三百五十哩デ全ク指呼ノ間ニ在ルノデアリマス。地圖ヲ御覽ニナレバオ分リデアリマスガ、「バラオ」カラ蘭印ノ北端ノ「セレベス」島ノ「メ

ナド」港迄ハ僅カニ二晝夜位デ着キマス、神戸カラ南洋海運ノ優秀船ニ乘リマス、今日デ八十日間デ行ケルコトニナツタノデアリマス。蘭領一ノ商都ト言ハレマス「スラバヤ」ハ僅カニ十日間デ着クノデアリマス。私ノ參リマシタ當時ハ約一ヶ月モ掛ツタノデアリマスガ、丸デ今日デ見マス、オ隣リヘ行クヤウナ近距離ニナリマシタ。蘭領印度ノ面積ハドノ位有ルカト申シマス、百九十萬平方キロ程アリマシテ、日本ノ領土ノ約三倍デアリマス。和蘭本國ノ實ニ五十八倍ニ當ツテ居ルノデアリマス。人口ハ是ハ一九三〇年ノ古イ統計デアリマスガ、蘭領印度デ約六千七百萬、内土人ガ五千九百萬、支那人、華僑ト申シマスノガ百二十萬、歐洲人ガ二十四萬ニ過ギマセヌ、日本人ハ七千人居リマスガ、是ハ歐洲人ノ中ニ入ツテ居リマス。本年ハ丁度我が國ト同ジヤウニ國勢調査ガ向フニモアリマスガ、多分七千萬人ヲ超エルノデナイカト思ヒマス。サウシテ土人ノ增加率ハ十ヶ年ニ大抵一割五分位ノ割合ニ殖エテ居ルヤウニ承ツテ居リマス。ソレカラ華僑ハ日支事變以來非常ニ渡航者ガ多クナリマシテ、今日デハ恐ラクハ百七八十萬或ハ二百萬モ居

ルノデナイカト思ツテ居リマス。蘭印デ一番經濟的ニ開發サレ且又文化ノ進ンデ居リマスノハ、皆様モ御承知ノ通り瓜哇デアリマシテ、其ノ廣サハ十三萬二千平方キロアリマス。人口ハ約四千二百萬、蘭印人口ノ七割ヲ瓜哇デ占メテ居ルノデアリマス。「スマトラ」ハ四十七萬平方キロデ八百萬人、「ボルネオ」ハ五十三萬九千平方キロデ二百二十萬人、「セレベス」ガ十九萬平方キロデ四百二十萬人、「ニューギニヤ」其ノ他ヲ併セマシテ、約四百萬人トナツテ居リマス。併シ是ハ先程申上ゲマシタ通り、一九三〇年ノ調査デアリマスカラ、一寸ソレヲ斷ツテ置キマス。ソレカラ是等ノ群島ニハ火山脈ガ走ツテ居リマシテ、火山ハ約二十餘程アリマスガ、「ニューギニヤ」ノ中央山脈ニハ五千米ヲ超エルヤウナ高イ山ガアツテ、千古ノ雪ヲ頂イテ居ルヤウナ所モアル次第デアリマス。第三紀層ノ「ボルネオ」ヲ除キマシタ外ハ大體火山系ノ壤土デ地味ハ至ツテ肥沃デ、ソレニ熱帶デアリマスカラ、熱ト光ト雨ニ恵マレマシテ、而カモ暴風ノ危險ハナク農作物ノ生育ハ旺盛デアリマス。植物界ニ取ツテハ本當ニ「バラダイス」トモ言ハレル所デアリマス。特ニ瓜哇ニハ先



程申上ゲマシタヤウニ、四千二百萬ノ土民ガ住ンデ居リマスガ、此ノ豐富ナ安イ勞力ガ得ラレマスカラ、農企業ナドヲヤリマスニハ、最モ必要ナ條件ガ具備サレテ居ルノデアリマス。前ノ獨逸皇帝カイゼルガ熱帶ヲ支配スル者ハ世界ヲ支配スルト言ハレタサウデアリマスガ、實ニ是ハ金言デナイカト思ヒマス。今日ノ持テル國英吉利ヲ始メ、其ノ他ノ外國ハ何レモ皆熱帶ニ領土ヲ持ツテ居ナイ國ハ無イト言ツテ宜イ位デアリマス。此ノ和蘭ガ西歐羅巴ノ一角ニ猫ノ額位ノ本國デアルニモ拘ラズ、世界ノ富國ノ列ニ位シテ、今春五月十日獨逸軍ガ進駐シマス迄其ノ獨立ヲ守ツテ來マシタト云フコトハ、此ノ熱帶ノ寶庫ヲ三百四十年ノ長イ間ニ亘ツテ領有シテ居ツタカラデハナイカト思ヒマス。後デ詳シク申上ゲマスガ、和蘭ハ蘭印ノ農企業ニ對シテ十五億萬「ギルター」ニ達スル巨額ノ投資ヲ爲シテ居リマス。而シテ熱帶農產物ノ豐富ナルコト、又其ノ生産額ノ多イ點ニ於キマシテハ、列強ノ植民地中デ異彩ヲ放ツテ居ルノデナイカト思ヒマス。是ハ和蘭ガ世界ニ誇リマス一大功績デアリマシテ、政府ハ各地ニ砂糖、ゴム、茶、規那、コーヒー等ノ既成農業ハ

勿論、新興農業ニ對スル各種ノ試験研究所ヲ設ケテ、品種ノ改良トカ、生産ノ増加、耕作法ノ改善、病虫害ノ豫防驅除等ニ民間ト協力シテ非常ニ努力シテ居リマス。ソレガ爲ニ莫大ノ經費ヲ拂ヒマシテ、學者、専門家ヲ世界各國カラ招聘シマシテ、農業ノ科學的研究ヲ進メテ居リマス。ソレデ今日ノ隆盛ヲ來タシタノデアリマス。是ハ私ノ専門デヤナイノデアリマスガ、「スマトラ」ノ「アフロス」農事試驗場ニ於テ研究發表致シマシタ「ゴム」ノ芽接法ノ如キハ「ゴム」栽培界ニ革新的大發明デアリマシテ、蘭印ハ勿論英領馬來地方迄モ普及サレマシテ、驚異的成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス。此ノ「ゴム」ノ事ハ私ハ専門デアリマセヌカラ、此方ニ居ラレル方ニオ譲リシマシテ、砂糖ノ最近ノ狀況ヲ申上ゲマス。砂糖ハ古クカラ「バツスルアン」糖業試驗場等ニ於テ各種ノ研究ヲ進メ、甘蔗ノ人工交配ニ依ル品種ノ改良ヲヤツテ居リマスノデ、一町歩當リノ砂糖ノ生産額ハ非常ナ増加ヲシテ居リマス。殊ニ今年邊リハ聞ク所ニ依リマスト、昨年ヨリ十三パーセント強ノ增收ヲ得タト云フコトデアリマスガ、此ノ砂糖ノ生産量ハ實ニ非常ナ増加ヲ示シテ居リ

マス。日本ノ臺灣ノ糖業ハ瓜哇ガ先生格デ、瓜哇ニ學ブ所ガ多クツタコトハ御承知ノ通りデアリマス。殊ニ蘭領ノ農業ノ特徴ハ瓜哇「スマトラ」デハ海拔三米ノ低イ所カラ二千米ノ高イ所迄耕作ガ出來ルコトデアリマシテ、其ノ高度ニ應ジテ適當ナ作物ガ植付ケラレテ居リマス。學者ハ之ヲ立體農業ト申シテ居リマス。之ヲ分類シマスト、代表的作物ハ低地ハ米、タビオカ、薩摩芋、砂糖、ゴム、椰子、煙草、サイザル、玉蜀黍、大豆、落花生等デ、高地作物トシテハ規那、珈琲、茶、アカシヤ、馬鈴薯、蔬菜類等デアリマシテ、海拔一千米カラ二千米位ノ高地デ生育シテ居リマス。要スルニ瓜哇ト「スマトラ」デ大雜把ニ申シマスト、溫帶ト亞熱帶、熱帶ノ作物ガ作レマスコトデ、唯其ノ内麥類ガ出來ナイダケデ、恐ラク日本ニ出來ル物デ瓜哇「スマトラ」ニ出來ナイ物ハ無イヤウニ思ヒマス。次ニ蘭印ノ農企業ニ付テ資本的ニ分類シテ見マスト、歐洲人ノ農業ト土人ノ農業ニナツテ居リマス。歐洲人ノ農業ハ大資本ヲ擁シマシテ、近代的方法ニ依ル科學的、集約的ニ經營サレテ居リマス。其ノ生産物ハ「ゴム」ヲ始メ砂糖、茶、規那、珈琲、オイルパー

ム、煙草等ノ國際的商品デアリマス。土人ノ農業ハ極メテ粗放的ナ小規模ノ經營デアリマシテ、生産物ハ米、ゴム、タビオカ、薩摩芋、椰子、煙草、大豆、玉蜀黍等デ其ノ大部分ハ住民ノ消費ニ充テラレテ居ルノデアリマス。御參考迄ニ蘭印ニ於ケル各國ノ農企業ニ投資サレタ額ヲ申上ゲマスト、總投資額ハ二十億六千萬「ギルター」日本金ニ換算スルト實ニ四十五億四千萬圓ニ達スルノデアリマス。和蘭ガ十五億三千、英國ガ二億七千、佛蘭西ト白耳義ガ一億二千、米國ガ五千、日本ガ千九百萬トナツテ居リマスガ、是ハ數字ノ誤リデ三千萬「ギルター」トナツテ居リマス。獨逸ガ千七百萬、其ノ他ガ約五千萬「ギルター」位デアリマス。尤モ此ノ數字ノ中ニハ土人農業ノ投資額ハ含ンデ居リマセヌ、此ノ投資ノ中デ砂糖ガ最モ多クテ七億九千三百萬位投資サレテ居リマス。次ガ六億六千萬ノ「ゴム」デアリマス。茶ガ二億數千萬「ギルター」、珈琲ガ一億三千、煙草ガ一億二千、椰子ガ八千八百萬「ギルター」、硬質纖維是ハ最近瓜哇デ栽培サレツ、アリス「ガンヂイバツク」製造用デ四千二百萬位ニナツテ居リマス。規那ガ二千五百萬「ギルター」トナツテ居リ



マス。是等ノ投資カラドレダケノ收穫ガアルカト申シマ  
 スト、一九三八年ノ調査デアリマスガ、砂糖ガ百三十七  
 萬噸、「ゴム」ガ二十七萬噸、茶ガ約七萬噸、珈琲ガ四萬  
 五千噸、煙草ガ五萬噸、油椰子ガ二十二萬噸、硬質纖維  
 ガ九萬噸、規那ガ一萬噸デアリマス。此ノ生産高ノ内「ゴ  
 ム」規那、茶、砂糖等ハ世界的經濟界ノ不況ノ爲ニ國際  
 協定ニ依リマシテ、數年前カラ生産制限ガ行ハレテ居リ  
 マスノデ、其ノ産額ハ非常ニ減ツテ居リマス。若シ今後  
 生産制限ガ撤廢サレマシテ、自由ニ生産サセテ費フコト  
 ニナレバ、砂糖ハ恐ラクハ三百萬噸、「ゴム」モ十人「ゴ  
 ム」ヲ入レマス、六七十萬噸以上ノ生産ガ出來ルノチ  
 ヤナイカト豫想サレテ居リマス。從ツテ是等ノ農産物ノ  
 輸出貿易上ニ於ケル地位ハ蘭印ノ全輸出貿易ノ六十パー  
 セント以上ニ上ルト聞イテ居リマス。如何ニ此ノ蘭印農  
 業ガ此ノ國ノ經濟上又世界經濟界ニ重要ナ役割ヲ果シテ  
 居ルカヲ知ルコトガ出來ルト思ヒマス。即チ最近三ヶ年  
 ニ於ケル農産物ノ輸出高ヲ見マス、五億五千三百萬「ギ  
 ルダー」、一九三八年ハ四億二千五百萬「ギルダー」、一九  
 三九年ハ四億九千三百萬「ギルダー」ノ輸出トナツテ居リ

マス。歐洲人ノ企業ニ掛カルモノハ此ノ程度ニ止メマシ  
 テ、次ニ土人農業ノ主ナル物ヲ申上ゲマス、是ハ主ト  
 シテ米トカ煙草、椰子、胡椒、珈琲、カボツク、玉蜀黍、  
 タビオカ、芋、落花生、薩摩芋、大豆、棉花、馬鈴薯、  
 蔬菜、シトロネラ、斯ウ云フ物デアリマシテ、歐洲人ノ  
 農業ニ比ベルト、非常ニ粗放農業デ、規模モ極ク小サイ  
 ノデアリマス。一九三八年度ニ於ケル生産額ヲ申上ゲマ  
 スト、煙草ガ一萬四千五百噸、「コブラ」ガ五十五萬四千  
 噸、胡椒ガ五萬四千噸、珈琲ガ六萬一千噸、「カボツク」  
 ガ一萬三千噸、玉蜀黍ガ百九十二萬噸、大豆ガ二十八萬  
 噸、是ハ今年邊リハ三十五萬噸位出ルト聞イテ居リマス。  
 馬鈴薯ハ僅カデ三萬八千噸、「ゴム」ガ十四萬六千噸、是  
 ハ土人「ゴム」デアリマスガ、此ノ數字ハ少シ違ツテ居ル  
 カモ知レマセヌ。茶ガ一萬二千噸、米ハ概テ六百六十萬  
 噸、白米ニシテ四百十六萬噸、之ヲ日本ノ石ニシマス  
 二千七百萬石位ニナリマス。ソレカラ瓜哇ノ水田ノ面積  
 ヲ申シマス、三百九十六萬町步デアリマシテ、一反歩  
 當リノ收穫ハ僅カニ白米七斗見當デ、日本ノ平均收量ニ  
 比ベマス、三分ノ一ニシカ當ツテ居リマセヌ、瓜哇ノ

水稻ハ大體二年ニ三回、即チ八ヶ月ニ一回ト云フコトニ  
 ナツテ居リマス。前ニモ申トゲタヤウニ常夏ノ上ニ灌溉  
 ノ設備ガ行届イテ居リマスカラ、平地ニ於テハ植エル季  
 節ハナク、何時デモ植エルコトガ出來ルヤウニナツテ居  
 リマシテ、年中收穫シ、年中田植ヲヤツテ居ルヤウナ具  
 合デアリマス。ソレカラ大豆、落花生ナドノ薯科作物ヲ  
 最近ハ盛ニ獎勵シテ居リマスガ、是ハ地力ヲ保持シテ行  
 ク爲ニ政府ガ類リニ獎勵シテ居ルノデアリマス。瓜哇ノ  
 米作ハ無肥料デアリマス。是ハ今少シ改良シテ原始的ナ  
 耕作方法ヲ改メマシタナラバ、現在ノ二倍ニスルコトハ  
 樂ニ出來ルノチヤナイカト思ヒマス。サウナルト、五千  
 萬石位ノ收穫ニナルノチヤナイカト思ヒマス。此點カラ申  
 シマス、早く日本ノ技師ナドヲ向フヘ派遣シテヤレバ  
 宜イト思ヒマス。蘭印政府ハ餘リ土人ヲ殖ヤスコトヲ好  
 ミマセヌカラ、サウ云フコトヲセズニ寧ロ原始的ナ儘デ  
 放ツテ置クヤウナ方針ヲ採ツテ居ルヤウデアリマス。本  
 年蘭印カラ日本ノ方ヘ米ヲ送ツタノハ始メテデアリマシ  
 テ、四萬噸バカリノ物ヲ送ツテ居リマス。ソレデ瓜哇ノ  
 水田ガ巧ク行キマスレバ、日本ナドモ美味シイ米ガ食ベ

ラレテ非常ニ都合ガ好イノチヤナイカト思ヒマス。日本  
 ガ食糧ニ困ツタ時ニハ瓜哇ノ方ト巧ク連絡ガ着ケバ、食  
 糧問題ノ解決モ出來ルノチヤナイカト思ヒマス。最後ニ新  
 シイ産業ヲ一寸申トゲテ置キマスガ、近頃ハ新興産業ト  
 致シマシテ、「ローゼル」ノ栽培ガボツ／＼起ツテ來テ居  
 リマス。是ハ印度ノ「ジユート」ニ能ク似タ物デアリマ  
 ス。米トカ砂糖ナドノ包装材料ニナルノデアリマスガ、  
 瓜哇デハ「ジヨクジャ」ノ附近ニ一ヶ所其ノ事業ヲ始メ  
 テ居リマスガ、年産額約五百萬袋ヲ目標トシテ盛ニ造リ  
 出シテ居リマス。ソレカラモウ一ツハ「アカシヤ」、「デ  
 クレンス」、是ハ「タンニン」劑デアリマスガ、瓜哇デハ  
 陸軍省ガヤツテ居リマス。「スマトラ」ニ於テモ試験的ニ  
 ヤツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、非常ニ需要  
 ノ多イ物デアリマス。其ノ皮ハ「タンニン」材トシテ使  
 用シマスシ、又幹ハ「セルローズ」ヲ多分ニ含ンデ居リ  
 マスノデ、「バルブ」用材トシテ非常ニ有望視サレテ居ル  
 ヤウデアリマス。マア大體蘭印ノ農企業ハ私ノ知ツテ居  
 ル範圍デハ此ノ程度デアリマス。ドウモ貴重ナ時間ヲ頂  
 キマシテ有難ウゴザイマシタ。



○諸隈(座長) 有難ウゴザイマシタ。次ハ蘭領東印度ノ中川サンニオ願ヒシタイト思ヒマス。

○中川君(蘭印、マラン日會長) 私ハ「スラバヤ」ニ長ク住ンデ居リマス關係上、日本人ノ草分時代ノコトヲ少シ申上ゲタイト思ヒマスガ幸ヒ只今開催ニナツテ居リマス大和民族海外發展展覽會ニ出品スベク準備中ノ「スラバヤ」草分時代回顧録ヲ持合セテ居リマスノデ少シ時間ガ掛カルカモ知レマセヌガ、一ツ朗讀サセテ頂キマス。私ハ目下我ガ日本帝國ト蘭印トノ會商デ問題ノ中心トナツテ居リマス蘭領東印度、瓜哇「スラバヤ」ノ「マラン」市デ一雜貨商店ヲ經營シテ居リマス中川安次郎ト云フ者デアリマス。此ノ度我等ノ母國大日本帝國ノ輝ク紀元二千六百年奉祝記念大祝典ガ舉行サレルニ付キマシテ、此ノ曠古ノ盛儀ニ參列ノ光榮ニ浴シ、蘭印在住同胞七千人ノ代表ノ一員トシテ歸ツテ參リマシタモノデ、私ノ榮譽トシテ長ク子々孫々ニ傳ヘ我ガ家ノ誇リトシ、喜ビト致ス次第デ洵ニ言葉ヲ以テ言ヒ表スコトノ出來ヌ程感謝感激ニ堪ヘナイ次第デアリマス。先ヅ私ハ蘭領東印度ニ對スル我ガ日本帝國トノ通商ガ斯ク迄盛トナリ、又我ガ日

本人ノ商權ガ蘭印ノ市場ヲ左右シ、又我等日本人ガ蘭印ニ於テ世界的ニ知ラレルヤウニナリマシタコトニ付キマシテ、今ヨリ三十五年程昔ニ溯リ、俗ニ申ス瓜哇草分時代ノ日本人ノ活躍、又苦心狀態ヲ少シオ話申上ゲタイト存ジマス。是ハ主トシテ明治四十年前後方ラ大正十年前後ニ亘ル間デアリマス。俗ニ申シマス「羅馬ハ一日ニシテ成ラズ」トカヤ、然リ、瓜哇島ニ於ケル日本人今日ノ此ノ活躍、此ノ發展狀態モ決シテ一朝一夕ノモノデハアリマセヌ。其ノ起源ヲ追レバ或ハ二百年以前ノコトデアルカモ知レマセヌ。古キ文献ニ依レバ、「バタバヤ」ノ一角ニ雜貨商ヲ營ンダ某日本人ノ墓碑ガ「バタバヤ」領事館ノ官邸内ニ發見サレタト云フヤウナコトガアリマスガ、斯ク調べテ見マシタナラバ、他ニモ由緒アルモノガ多ク發見サレルモノト思ハレマスケレドモ、判然ト瓜哇ニ於ケル日本人ノ足跡ヲ追リ、今日ノ日本人ノ盛況振リヲ成セル遠因又ハ近因ヲ擧ゲマスナラバ、南洋方面一帶ニ飛躍シ、活躍致シマシタ有名ナ日本娘子軍ト又俗ニ言フ吹キ矢、玉轉シ及ビ日本賣藥行商人等ヲ忘レルコトハ出來ナイト思ヒマス。此ノ娘子軍等ノ始メテ瓜哇ニ

渡リマシタノハ明治三十年頃ノヤウニ聞イテ居リマス。

明治三十年頃ニ新嘉坡ヨリ數名ノ者ガ渡ツテ來テ市内ノ一角デ商賣ヲシテ居ツタト云フコトデアリマス。爾來年ヲ逐フニ從ツテ是等ノ娘子軍ノ數モ殖エ、私ガ「スラバヤ」ニ參リマシタノハ明治四十年デスガ、既ニチヤンチヤント云フ町ニハ約十數軒ノ家ガ軒ヲ並ベテ、又「スラバヤ」舊港ノ「ウジョン」部落ニモ一廓アツテ、此ノ二ヶ所ヲ合セマスト、約百名近イ日本ノ婦人ガ其所ニ居ツタノデアリマス。斯クシテ斯ウ云フ娘子軍モ益々殖エ、商賣ガ盛ニナルニツレ、各種ノ日本商店ノ殖エルノハ當然デアリマス。然ルニサシモ盛大ヲ極メテ居リマシタ是等ノ日本娘子軍モ時ノ總督令ニ依ツテ公娼廢止ノ已ムナキニ至リマシテ、全ク影ヲ沒シマシタノハ、明治四十四年頃デアリマス。次ニ吹キ矢業、玉轉シニ付テ少シ御話申上ゲマス。是ハ現在日本ニ於テモ何カノ緣日トカ其ノ他ノ場合ニ能ク見受ケルモノデアリマスガ、説明スル迄モナク御承知ノコト、思ヒマス。此ノ吹キ矢トカ玉轉シハ瓜哇内地ノ到ル處ニ日本人ノ手ニ依ツテ實ニ目覺マシイ活躍ヲシタノデアリマス。現今ト違ヒ其ノ頃ノ瓜

哇人等ハ斯カル賭博ニ類シタモノニ對スル奢倖心ノ盛ナル彼等デアリマスカラ、要スルニ自分達ノ藁口ノ底ヲハタク迄ハ夢中ニナツテ、其ノ果テニ金ガ無クナレバ自分ノ飼ツテ居ル鶏迄モ賣拂ツテ吹キ矢、玉轉シニ夢中ニナツタモノデアリマス。而シテ昔「スラバヤ」ニ中野萬吉商店ト云フ店ガアリマシタガ、此ノ人ハ京都ノ出身デアリマシテ、兄弟ガ四、五人居リマシテ、是等ノ人ガ支那人ヲ澤山使ヒマシテ、盛ニヤツテ居リマシタガ、全ク吹キ矢業ヲ專業トシテ瓜哇全島到ル處ヲ巡業シテ、日本ノ商店ガ營テ設ケラレテナイ所ニ行キマシテモ、此ノ中野商店ノ吹キ矢業ノ無イ所ハナイ位ニ盛ニヤツテ居リマシタ。而カモ之ガ外領ニ、外領ト申シマスト、蘭領東印度ノ瓜哇ト「マツラ」島ヲ除キマシタ他ノ島ヲ外領ト申シマスガ、其ノ外領ニ迄發展シマシタコトヲ見テモ、此ノ種類ノ商賣ガ如何ニ旺盛デアツタカガ分ルノデアリマス。斯クシテ彼等ガ儲ケタ金ハ相當ノ額ニ達シタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、併シ中野氏等ノ晩年ヲ見タリ聞イタリシタ所デハ餘リ芳シクナカツタノデアリマス。斯クシテ儲ケタ人達モ澤山アリマシタガ、結局惡銭身ニ



着カズデアリマシテ、此ノ種業者ノ成功者ヲ聞イタコト  
ハアリマセヌ。是ハ先キニ申シマシタ娘子軍ノ親方ト撰  
ヲ同ジクシテ一攫千金ヲ夢見タ結果ハ惡銭身ニ着カズシ  
テサウ云フ連中ノ成功者ヲ殘サナカツタノデアリマス。  
是等日本人ノ草分時代ニ於テ日本人ノ商賣ヲシテ最モ眞  
面目ニ着々功ヲ奏シマシタノハ、日本賣藥ノ行人デア  
リマス。日本カラ瓜哇邊リニ參ル青年ハ商店ノ店員ト成  
リ、或ハ又何等ノ當テモナク漂然ト渡來スル者モアリマ  
ス。何レモ志ヲ立テ、一旗擧ゲムト郷關ヲ出テ大ナル希  
望ヲ有ツテ來タノデアリマスガ、ソレ等ノ内多クハ獨立  
獨歩ノ青年行人ガ多カツタノデアリマス。ソレ等ノ行  
商人ハ「スラバヤ」、「スマラン」、「バタバヤ」方面ニ於  
ケル日本商店デ賣藥其ノ他ノ雜貨ノ仕入ヲ爲シテ各地ヲ  
行商シテ居リマシタ。サウシテ其ノ當時ニ於ケルオ客ノ  
多クハ華僑デアリマス。次イデ瓜哇人デアリマス、現今  
ト違ツテ瓜哇ノ島内旅行ハ汽車ト違ヒ、行キ先ニ於テ人  
足ヲ雇ツテ荷物ヲ擔ガシテ行ク、又旅舎トシテモ是亦今  
日ト違ヒ設備不完全、不潔ナル支那人ノ宿屋ニ泊ル外ナ  
カツタノデアリマス。食事ハ總テ外部ノ支那人ナリ、瓜

哇人ノ飲食店デ求メル。サウ云フ不便ナ時代デアリマシ  
テ、併シ其ノ半面ニ於テハ之ガ行人ニ取ツテハ經濟的  
デアリマシタ。サウ云フ爲ニ彼等ガ自ラ之ヲ選ンダノモ  
理窟ノアル所デアリマス。併シ又茲ニ特筆大書シテ皆様  
ニ申上ゲタイノハ、行先キニハ必ラス旅館ガアツテ泊ル  
ニ自由シナイ現今ト違ヒマシテ、其ノ當時ノ旅行者ハ  
今ノ人々ノ想像ダモ及バヌ程デ、支那人ノ旅館ノ數モ少  
ク、大ナル町ナライザ知ラズ、是等行人ハ小サナ町ヲ  
漁ツテ歩クノデアリマス。從ツテ旅館ナドノアル所ハ殆  
ドナイノデアリマス。斯様ナ場合ハ其ノ土地々々ノ「ウ  
イキメストル」ト稱スル支那人ノ區長ノ宅ニ宿ヲ乞フノ  
デアリマス。又彼等「ウイキメストル」ト云フ支那人ノ  
區長モ日本人ニ對シテ全ク誠心誠意歡迎シタモノデアリ  
マス。其ノ人情ノ厚キコトハ涙ノ出ル程デアリマス。然  
ルニ近年蘭領東印度ニ居リマス所ノ華僑ガ我等日本人ニ  
對シテ抱イテ居ル惡感情、即チ日貨排斥、排日云々、其  
ノ他有ラユル反日的氣分ハ濃厚デアリマス。併シ此ノ日  
本商品ニ對スル「ボイコット」ノ聲ノ起リマシタノハ、  
私ノ知ツテ居ル範圍ニ於テハ明治ノ末年頃ニ起ツタ第二

辰丸事件ト云フノガアリマスガ、此ノ時カラ始メテ「ボ  
イコット」ト云フ聲ヲ蘭印デ聞イタヤウニ思ツテ居リマ  
ス。ソレ迄ノ蘭印ニ於ケル日支間ノ親睦サハ全ク圓滿其  
ノモノ、如キ提携振リデアリマシタガ、何時ノ日ニカ又  
再ビサウ云フ提携振リヲ見ルコトガ出來マセウヤ。併シ  
今日東亞ノ新秩序ガ建設サレ、大東亞ノ盟主我ガ日本帝  
國ト唇齒輔車ノ關係ニアル盟邦新支那政府ノ樹立サレマ  
シタ今日、遠カラズ蘭印華僑ト我等ハ昔ニ還リ、日支ノ親  
睦ハ必然的ニ結バレルモノト信ジテ居リマス。否最近瓜  
哇華僑ヲ見マスノニ、新東亞ノ情勢ヲ認識スルニ至リマ  
シテ、其ノ態度モ可ナリ我々ニ接近シツ、アルノデアリ  
マス。僭テ是等賣藥行商カラ叩キ上ゲマシタ青年ハ意思  
堅固ニシテ、風ノ日モ雨ノ日モ、炎暑灼クガ如キ日デモ  
倦マズ撓マズ努メテ毎日毎ヲ訪問シテ行商シテ居リマ  
シテ、一度旅ニ出マスナラバ、長キハ二、三ヶ月、短キ  
ハ一ヶ月位ハ旅ヲ續ケルノデアリマス。斯クシテ或ル程  
度ノ蓄財ヲ成シタル者等ハ始メテ適當ノ地方ニ獨立スベ  
ク居ヲ構ヘ、コ、ニ於テ社會ニ立ツベキ第一段階ヲ造ル  
ト云フコトガ常識ニナツテ居リマス。勿論是等ノ青年ハ

最初カラ言葉ガ十分デアリマセヌ、其ノ日其ノ日ノ必  
要ナ言葉ダケヲ筆記シテ大膽ニモ出發シテ地方ヲ廻リ、  
或ル者ハ一二年、或ル者ハ四五ケ年モ行商シタ人モアリ  
マス。其ノ間ニ十分ニ言葉ヲ習得シ、コ、ニ始メテ一商  
店ヲ築クノデアリマス。斯ク觀ジ來タレバ順風ニ帆ヲ上  
ゲテ安全ナル航海ヲ續ケテ來タヤウニ思ハレル方ガアリ  
マスガ、決シテサウデハアリマセヌ。此ノ長キ年月ニハ  
賣レル日モ亦賣レナイ日モアリマス。サウシテ食ヲ求メ  
ムト欲シテモ買フ店ノ無イ所モアリマシタラウ。又言葉  
ノ不十分ノ爲ニ自分ノ意思ヲ十分表示出來ナイコトモア  
リマシタラウ。又泊ラムトシテモ宿ノ無イコトモアラウ。  
日ハ正ニ西ニ沒セントシテ身體ハ疲レ切ツテ居リマス。  
斯カル場合ニ誰ニ向ツテ一夜ノ宿ヲ乞ハムトシマスカ、  
實ニ其ノ當時行人デアリマシタ人々ノ心中ヲ察シマス  
ルト洵ニ才氣ノ毒ナ次第デアリマシタ。又時ニ依ルト、  
旅ノ宿デ一週間乃至十日位ハ病氣ノ爲ニ業ヲ休ムコトモ  
アリマス。ソレヲ思ヒ之ヲ考ヘテ第三者ノ立場カラ思ヒ  
マスレバ、其ノ感ヤ如何ト云フ感ジヲ致スノデアリマ  
ス。斯クシテ粒々辛苦ノ結晶ガ即チ今日廣ク瓜哇全島到



ル所ニ日本商店ノアル所以デアリマス。日本商店無キ處モ到ル處下ノ國ノ人ノ店ニ於テモ日本商品ヲ以テ埋メラレテ居ル状態デアリマス。其ノ基ヲ遠ク質シマシタナラバ、意思堅固ノ是等青年諸氏ノ賜ニ非ズシテ何ゾヤト言ヒタクナル位デアリマス。其ノ勞苦ヲ思ヘバ近時後カラ來タ人々ハ大イニ手ヲ合セ感謝スベキデハナイカト思フノデアリマス。況ヤ唯現今ノ雜貨小賣商ノミナラズ多種多様ノ日本輸入業者ハ言フ迄モナク、其ノ他有リト有ラユル日本ノ商社ノ今日ノ隆昌ヲ成シタル其ノ遠キ元、近キ惠ミハ皆是等ノ先輩ノ蔭イタル種子ニ依ルモノト思ヒマス。借卸商アツテノ小賣商、小賣商アツテノ卸商デアリマスガ、コ、ニ一言セザルヲ得ナイコトハ、其ノ昔日本ノ卸屋バカリガ多クアリマシテ、其ノ輸入商品ハ何人ノ手ニ依ツテ奥地ニ供給サレ、又誰ノ手デ直接各消費者ニ行渡リマシタカ、其ノ當時ト致シマシテハ、總テ中間商人デアアル支那卸商、支那人ノ小賣商ノ手ニ依ツテ殆ト全部ニ近ク迄賣捌カレテ居ツタノデアリマス。又ソレガ普通デアリマシテ、又當然デ何人モ之ヲ疑ハナカツタ。現今カラ見ルト實ニ不思議ノヤウニ思ハレルノデアリマ

ス。日本商品ノ販路ハ皆支那商人ニ取扱レ、又彼等商人ノ勢力圈内ヨリ脱スル如ク努力シマシタガ、日本品ニ對スル彼等支那人ノ「ボイコット」ノ聲ニ脅カサレタコトハ幾度アリマシタカ。日本輸入商ノ倉庫ニハ滞貨ガ積マレテ山ノ如シ、其ノ間狡猾ナル支那商人ハ裏面ヨリ手ヲ廻シテ之ヲ安ク叩キ落シテ之ヲ奥地ニ於ケル支那小賣商ニ賣ツテ居リマシテ、日本商品トシテドシ／＼公然ト取引ヲシテ儲ケテ居ルノハ支那卸屋デアリマシタ。サウシテ「ボイコット」ダ、日貨不買同盟ダト鳴物入りデ脅シテ大騒ギヲヤル、是ハ彼等ノ常套手段デアリマス。排日貨トハ何ゾヤト申シマス、言ハズモガナ、彼等支那商人ノ儲ケル手段デアリ又秘訣デアリマシタ。故ニ奥地方面ニ日本人ノ小賣商店ヲ設置スルコトガ、進出スルコトガ邦人發展ノ道デアリマス。又日本品販路擴張ニハソレヨリ外ニ途ガアリマセヌ、是ハ一石二鳥ノ方法デアルト思ヒマス。「スラバヤ」市内ハ勿論ノコト、全瓜哇ノ隅々迄進出シ、今日デハ目ボシキ町ニハ必ズ日本商店ノ無イ所ハナイ迄ニナツテ居リマス。斯クナリシ今日ハ昔ノ如ク支那人ガ「ボイコット」ヲ實行セムトシタナラバ却

テ大損失ヲ來タシ、自ラ墓穴ヲ掘ルモノナリト云フコトヲ彼等自身ガ今日デハ漸ク感ジテ來タノデアリマス。後々カラ來マシタ日本人ガ今日此ノ瓜哇ニ於ケル日本人發展ノ状態ヲ見マシテ、之ガ自然ノコトナリ、又斯クナルノガ當然ナリト考ヘズ、草分時代ノ青年達ノ勤ヤ歟ノ結果ガ今日コ、ニ芽生ヘタ。而シテ今日此ノ大發展ノ基ヲ成シタト云フコトヲ忘却セザルヤウニ申上ゲタ次第デアリマス。甚ダドウモ詰ラヌコトヲ申シマシタガ、要約致シマス、蘭領東印度ノ今日ノ發展ノ基ヲ築イタノハ詰リ斯ウ云フ先輩ノ青年諸君ガ斯ク迄苦心ヲシテ成シタモノデアルト云フコトヲ概略申ヒゲタ次第デアリマス。

○諸限(座長) 次ニ小坂サンドウゾ……。

○小坂君(蘭印、昭和ゴムプロマンデ農園支配人) 私ハ「スマトラ」ノ東海岸ノ昭和ゴム株式會社ニ勤務シテ居ル者デアリマス。只今佐藤サンヤ中川サンカラ蘭印ノ事ニ付イテスツカリ御話ガ出マシタノデ、別ニ私ハオ話スルヤウナ事モ大シテ持チ合セガ無いノデアリマスガ、最近ノ「スマトラ」ノ事情ヲ十分間程簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス。第二次世界大戰ガ始マリマシテ、今年ノ五月十日ニ

獨逸ノ電撃作戰デ和蘭本國ガ殆ト壊滅ニナリマシタ。當時ノ蘭印ノ状態ハ獨逸人ガ急ニ一日、二日ノ間ニ全部收容サレマシテ、非常ニ「センセーション」ヲ捲起シ、其ノ當時日本人モ相當慌テマシテ、引揚ゲ準備ナント云フコトデ色々騒イダノデアリマスガ、ソレハ解決セラレマシタ。其ノ當時獨逸人ハ農園關係、商社ノ者達ガ一度ニ收容サレマシテ、現在デハ「スマトラ」ノ中央山脈ノ「コタチャネ」ト云フ所ニ約二千人バカリ收容セラレテ居リマス。サウシテ其ノ待遇ハ非常ニ良イノデアリマシテ、運動場、プール等モ出來テ居リマシテ、食物モ大變良イサウデアリマス。サウシテ最近ノ和蘭關係ハ小林使節ガ行カレタ當時ハ非常ニ好カツタノデアリマスガ、三國同盟ニナリマシテ、幾分氣分的ニ悪イヤウナ傾向ガアルト思ヒマス。其ノ時ニ面白イ話ガアリマスガ、和蘭本國ガ爆撃サレマシタ當時、日本人ノ藥屋サンノ「アダリン」ガ全部賣切レタ。ドウ云フ譯カト言ヒマス、自分ノ兩親、兄弟ガ和蘭ニ居ルガ、ドウ云フ状態ニナツテ居ルカ心配デ夜寝ラレナイ。ソレデ「アダリン」ガ全部無クナツタ。當時和蘭人ハソレ程悲痛ナ状態ニ陥ツタト云フコ



トガアリマシタ。又最近和蘭人ハ今申上ダタヤウニ一寸氣分的ニ悪イノデアリマスガ、私ガ此方ヘ來ル少シ前デアリマスガ、從來ハ人ガ代ツテモ日本人ノ所ニ挨拶ニ來ルト云フヤウナコトハナカツタノデスガ、今度更迭シタ時ハ態々私共ノ所ニ迄新任ノ挨拶ヲシテ色々ナ座談ヲシテ歸ツタト云フヤウナ状態デ、日本人ニハ相當敬意ヲ表シテ居ルヤウニ見受ケラレル。商業方面ハ是ハ「メダン」ノ方デアリマスガ、和蘭人ナリ外國人相手ノ商店ハ非常ニ好クナイヤウデアリマス。殊ニ美術品トカ云フ物ハ非常ニ賣レ行キガ悪イノデ、日常生活モ非常ニ切詰メマシテ、肉ナドモ一斤シカ食ハレナイト云フヤウナ状態デ、非常ニ詰メテ生活シテ居ルヤウデアリマス。從ツテ和蘭相手ノ日本商店ハ非常ニ振ツテ居ナイ、ソレニ反シテ土人トカ支那人ヲ相手ニ商賣ヲシテ居ル者ハ相當ニ好イヤウデアリマス。農業方面デアリマスガ、最近「ゴム」ハ丁度今カラ六、七年前カラ生産制限ニナリマシテ、一時ニ非常ニ制限ノ率ガ嚴シカツタノデアリマスガ、最近殊ニ今年ハ平均ガ七十五「パーセント」位ノ輸出許可量ガアリマスカラ、非常ニ成績ガ好ク、又産量モ相當ニ出マ

スノデ、「ゴム」園ハ相當ニ利益ヲ擧ゲテ居ル。ソレニ反シテ油椰子邊リハ悪イノデアリマシテ、最近ハ「コスト」モ割ツテ居ルヤウナ状態デ、相當悲境ニ陥ツテ居ルヤウナ状態デアリマス。而シテ「ゴム」ハ詳シク申上ゲル時間ハゴザイマセヌケレドモ、先ヅ最近「ゴム」ノ出ル所ハ殆ド亞米利加デアリマシテ、亞米利加ハ現在デハ一月ニ五萬噸以上ノ消費量ガアルヤウデ、此ノ八月迄ニハ約四、五萬噸シカ出テナイノデアリマシテ、今後ドウシテモ七十萬噸位迄「ストツク」ヲ有ツ傾向デアリマスカラ、來年ノ三、四ヶ月頃迄ニハ相當亞米利加ガ買付ヲ致シマスカラ、先ヅ「ゴム」ハ好イヤウデアリマス。ソレデ「ゴム」ノ方ガ非常ニ景氣ガ好クテ從ツテ會社ノ方モ相當儲カリマスケレドモ、コ、ニ戰時利得稅ヲ取ラレルコトニナリマシテ大變デス。是ハ昨年ノ九月一日カラ今年ノ八月三十一日迄ノ一ケ年ノ總益ニ對シ、其ノ六十三「パーセント」ヲ取ラレルノデアリマス。非常ニ是ハ高率デ其ノ外ニ所得稅、會社稅デアリマスガ、ソレガ總益カラ今ノ戰時利得稅ヲ引キマシテ、尙三十五「パーセント」取ラレル。平均シマスト、七十五「パーセント」以上モ

總益ニ對シテ取ラレマスカラシテ、我々ノ會社ハ相當儲カリマシテモ、殆ド利益ガナイト云フヤウナ非常ニ悲境ナ状態ニアルノデアリマス。又輸出稅ト云フモノガ課カリマス。是ハ「ゴム」バカリデナク規邦トカ色々ナ物ニモ課カリマスガ、「ゴム」ニ付テ申シマスト、一キロニ對シテ八仙八厘ノ輸出稅ヲ取ラレル。來年ハ是ガ一仙上ツテ九仙八厘トナル譯デアリマス。非常ニ輸出稅モ高イノデアリマス。ソレカラ送金デアリマスガ、現在蘭印カラ日本ニ金ヲ送ルヤウナ場合デモナカク巧ク參リマセヌ。無論是ハ銀行ノ許可ヲ得マシテ、送金ハ出來ルノデアリマスガ、日本ニ全部送金シテ了ヒマスト、其ノ次ニ現地デ何か仕事ヲヤル場合、稅金ヲドツサリ取ラレルヤウナ時ニ困リマスカラ、ソレガ問題デアリマス。此ノ間「スラバヤ」ノ正金ノ支店長ト此方ノ内地ノ正金ノ方トノ交渉ガ巧ク纏リマシテ、金ハ直接内地ニ送ラナイデ、正金銀行ニ定期預金ノ形デ預ケマシテ、ソレダケノ金額ヲ時價ニ換算シテソレノ内地ノ正金銀行ニ組入レルト云フコトニナリマシテ、此方デ二十萬「ギルダー」ノ半分ヲ使ヒマシテモ、後十萬「ギルダー」ハ彼方ニ殘ツテ居ルト

云フ譯デアリマスカラ、現業地デ金ガ取レルコトニナツテ居リマス。デスカラ馬來半島ト違ヒマシテ、蘭印ノ方ハ送金ヲスルノニ割合ニ現在ハ簡單ニ行クノデアリマス。最近ノ蘭印市場ヲ先ヅ一般的ニ申シマスト、和蘭人ノ心理状態ガサウ云フ工合ニ非常ニ動搖シテ居リマスケレドモ、先ヅ日本人トシテハ別ニ何等ノ不安モナク現在ハ仕事ヲヤツテ行ケル状態ニナツテ居リマス。デ一體和蘭人ハドウモ日本人ヲ餘リ認識シナイノデアリマシテ、日本人モ亦和蘭人ヲ餘リ認識シテ居ナイト云フヤウナコトガアルノデヤナイカト思ヒマス。例ヘテ申シマスレバ日本人ハ和蘭人ト云フ者ガアノ北歐ノ古イ國デ非常ニ優秀ナ國民デアル。而カモ統計學ニ於テハ世界ニ冠タルモノデアルト云フヤウナコトヲ日本人ハ餘リ知ラナイ。又和蘭人モ三百年ノ通商關係デ自分ノ方ガ先生デアルト云フヤウナ頭デ以テ今デモ日本ノ化學的進歩、有ラユル方面ニ發展シテ居ル状態ヲ知ラナイヤウナ現狀ニアルト思ヒマス。デアリマスカラ今後ハドウシテモ日蘭ハお互ヒニ知り合ツテ、而シテ友好關係ヲ結ンデ行カナケレバ安全ナ親密關係ハ生レナイノデヤナイカト思ヒマス。大體



簡單デアリマスガ、又何カ「スマトラ」ノ方面ニ付テ御  
質問デアリマスレバ、オ答ヘスル積リデアリマス。

○諸限座長 英領馬來ノ下田サン。

○下田君(新嘉坡土母他公司主) 只今御紹介ニ與リマシタ  
海峽植民地馬來ノ下田デアリマス。概略私ノ今日迄ヤリ  
マシタ事ト、新嘉坡ノ現在ノ状態ヲオ話シタイト思ヒマ  
ス。私ハ大正二年ニ新嘉坡ニ參リマシタ。唯何ノ當テモ  
ナク元々神戸ノ印度商館、支那商館ト商賣ヲシテ居リマ  
シタノデ、行ク／＼ハ直接取引ガ出來ルモノト考ヘテ漠  
然トシタ考デ新嘉坡ニ參リマシタ。行キマシタ當時ハ邦  
人貿易商トシテハ三井物産ト大阪ノ正宗商店ノ二軒ガア  
リマシテ、六百ノ娘子軍ガ居リマシタ。其ノ周圍ニ小賣  
店ガ二十軒バカリアリマシテ、是ハ娘子軍ヲ中心トシタ  
商賣デアリマス。約六年間色々計畫シテヤツテ見マシ  
タガ、再ビ六年目ニ日本ニ歸リマシテ、獨立スル積デ資  
本家ヲ探シマシタガ、ナカ／＼資本ヲ出シテ呉レマセヌ、  
其ノ當時流行感冒ガ流行リマシテ、私モ約半年バカリ患  
ツテ居リマシテ、再ビ起ツコトガ出來ナイ程ノヒドイ病  
氣ニ罹ツタノデアリマス。私ガ全快シタ當時ニ丁度濟南

事變ガ起ツテ、新嘉坡ハ非常ナ排日ガアリマシテ、其ノ  
爲ニ歸ルノガ遅レテ丁度一年半バカリ遅レテ歸リマシ  
タ。一文モ金無シデアリマシタケレドモ、貧乏百姓ヲシ  
テ居ル兄ニ頼ンデ六百圓ノ金ヲ借りテ新嘉坡ニ歸リマシ  
タ。私自分今日モサウ云フ氣分デアリマスガ、金ヲ溜メ  
ルト云フコトヨリハ商賣ヲスルト云フコトヲ私ノ趣意ト  
シテ居リマス。大阪ヲ立チマス時ハ今日ノヤウニ頭ヲ分  
ケテ居ツタノデアリマスガ、一ツノ決心ヲ致シマシテ、  
此ノ六百圓ノ金デ年額百萬弗ノ商ヒラスル迄ハ頭ヲ分ケ  
ナイト云フ決心ヲシテ始メマシタ處ガ、丁度六年目ニ百  
萬弗ノ商ヒラスルコトニナリマシタ。次ニ年額千萬弗ノ  
商ヒラスルト云フ計畫ヲ立テマシテ、ソレカラ丁度六年  
目ニ年額一千万弗ノ商ヒラスルヤウニナツテ、三年間ソ  
レヲ續ケテ居リマシタ時ニ、政廳ニ此ノ綿布ニ對スル「コ  
ーター」制度ガ出來マシテ、ソレ以來四分ノ一ニ制限セ  
ラレテ、今日ハ二百萬弗、三百萬弗ノ商ヒヲ繼續シテ居  
ルヤウナ状態デアリマス。海峽植民地ハオ出デニナツタ  
方ハ御承知デアリマセウガ、馬來半島ダカラ馬來人ガ多  
クハナイカト考ヘニナルカモ知レヌガ、總人口ノ六割

五分ハ支那人、一割五分ガ印度人デ、一割足ラズシカ馬  
來人ハ居ラナイノデアリマシテ、經濟界ノ全勢力ヲ有ツ  
テ居ルノハ支那人デアリマス。「タイ」或ハ蘭領印度ノ如  
キ緩イ「ポイコツト」デハナイノデアリマス。日支事變  
ガ起ツテカラハ從來ト一變致シマシテ、從來ハ花火線香  
ノヤウナ状態デアリマシタガ、最近ハ「ポイコツト」ノ  
指導者ガ非常ニ上手ニナリマシテ、何レノ町會内ニモ指  
導者ガアリ、又同業組合ニモ指導者ガアリマシテ、水モ  
洩レヌヤウナ計畫ヲ以テ日本品ヲ買ツタ支那人ハ其ノ翌  
日制裁ヲ加ヘラレルト云フヤウナ状態デ、今日モ依然ト  
シテ一ツモ緩和サレナイ。在留民トシマシテハ「ポイコ  
ツト」以來今日ノ輸入ノ六割ヲ日本人ガヤツテ、後ハ支  
那人ト猶太人デ取扱ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ三年  
間非常ナ苦痛デヤツテ來タノデアリマスガ、引續イテ歐  
洲戰爭ノ結果英國ハ早速輸入制限ヲスル、大部分ノ物ガ  
制限サレマシテ、約十五品種ノ物ガ無制限ニナツテ居リ  
マシテ、此ノ十五品種デ以テ殆ド在留民ノ全部ヲ賄ツテ  
居ルヤウナ状態デアリマス。事實上商賣ガ立ツテ行カナ  
イヤウナ立場ニアリマス。試キマシテ、私ガ代表者トシ

テ歸リマス時ニ、商工會議所ノ會議ヲ屢々開キマシテ、  
色々ノ註文ガゴザイマシタガ、ソレハ時間ガ長クナリマ  
スノデ略シマスガ實際是デハ迎モ立チ行カヌト思ヒマス  
ノデ、私共商工會議所トシマシテハ、領事館ヲ通ジテ政  
府ニ對シテ抗議ヲ申込ミマシタガ、其ノ内ニ日支事變ガ  
殆マリ、一九三七年ノ翌年三八年ニハ從來ノ輸入ノ一割  
五分位ヨリゴザイマセヌ、其ノ一割五分ヲ基準トシテソ  
レニ又制限スル、ソレヲ制限ノ「ベース」トシテ居リマ  
シテ、實際オ話ニナラナイノデゴザイマス。ソレデ總領  
事ガ民政長官ニ抗議ヲ申込ダ、處ガ民政長官ハサウ云  
フコトガ若シアルナラバ勿論ヤリ直ス、斯ウ云フ質言ヲ  
取ツタノデスガ、實際ハ一割五分ヲ「ベース」トシテヤ  
ツテ居ル。少シモ抗議ノ效果ガアリマセヌ、現在モサウ  
云フ状態デ、益々日英間ノ感情モ良クナイモノデスカラ、  
一層意地悪クシテ居ルヤウナ状態デアリマス。日本ノ郵  
船會社、商船會社ノ船ガ入りマシテモ、水モ供給シナイ、  
口實ハ英本國ニ今電報デ照會中ダカラト云フコトデ五日  
位モ掛カル、假リニ水ヲ供給シテ呉レタトモシ今度ハ  
出帆許可ヲシナイ、サウ云フ風ニ意地悪クヤツテ居ルヤ



ウナ状態デアリマス。日本デハ一向無頓着ノヤウデアリ  
マスガ、英國ハ獨逸ト宣戰布告ヲスルト同時ニ日本ヲ假  
想敵トシマシテ、市内ノ重要ナ處ニ土囊ヲ積ミ、壘壕ヲ  
拵ヘ、「トーチカ」ヲ拵ヘ、最近ハ特ニ海岸全部ニ鐵條網  
ヲ張ツテ居リマス。非常ナ警戒防備ヲシテ居リマス。ソ  
レハ獨逸ニ向ツテ、ナク日本ニ對シテ、アリマス。又從  
來カラ非常ニ日本人ノ取調ガ嚴シイノデスガ、昨今ハ一  
層強クナツテ私共ガ出發スル時デモ一々ハ調ベマセヌ  
ガ、或ル人ナド非常ニ嚴シク調ベラレテ、手紙、印刷物、  
「タイプ」ニ打ツタ物ガアリマス、全部引上ゲテ翻譯  
スル、私ノ所持ツテ來テ呉レマシタガ、出帆實際ニナツ  
テモ返シテ呉レナイ、サウ云フ工合デ非常ニ嚴格デアリ  
マスカラ、私ハ全部審査ヲ受ケル手續ヲ採リマシタガ、  
靴モ時々全部調ベラレマス。ソレカラ昨今ハ統制モ嚴シ  
クナリマシテ、今日米モ「カード」式ニシテ配給シテ居  
リマス。食料品ノ珈琲トカ、「ビスケット」等モ許可ヲ受  
ケナイト持出シガ出來ナイト云フヤウナ状態デス。斯様  
ナ状態デ各商店ガ立ツテ行カナイ時ニ當リマシテ、此ノ  
度大藏省ノ方カラ爲替送金ハ「アットライト」ニシロ、

斯ウ云フ指圖ガ來テ居リマスガ、處ガ在留民ノ方デ申シ  
マス、國ノ國策上犧牲トナツテ三年間「ボイコット」  
ノ苦痛ヲ忍ンデ來タ、又國策上英國トノ關係ガ面白クナ  
イ爲メ益々壓迫ヲ受ケル、サウ云フ際ニハ日本政府カラ  
幾分デモ在留民ニ對シテ援助シテ貰ハナケレバナラヌニ  
拘ラズ、此上更ニ爲替ノ取引上壓迫ヲ加ヘルト云フコト  
ハ、日本在留民ノ困窮ニ更ニ拍車ヲ掛ケルト云フヤウナ  
状態ダカラ、其ノ點ヲ十分オ考ヘ下サレテ海峽植民地馬  
來半島ダケハ從來通りニシテ貰ヒタイト云フコトデアリ  
マス。私個人ノ意見トシテハ商工會議所ノ會議ニ於テ申  
上ゲマシタガ、今日ノヤウナ危険ナ場合ニ日本政府トシ  
テモ最モ貴重ナ金デ拵ヘル商品ガ外貨獲得ノ爲ニ出シテ  
居ルノデアアルガ之ガ若シ萬一ノ場合ニハ我々目ノ前ニ獨  
逸人、伊太利人ガ財產沒收ヲ受ケテ居ルノデアアルカラ、  
爲替ヲ拂ツテ居ラナケレバ全部沒收セラレルカラ、當然  
大藏省カラサウ云フ風ニ言フテ來ルノハ當リ前デヤナイ  
カト言ツタ所ガソレハ貴方ノ立場デ在留民全體ノ意見デ  
ヤナイ、是非全體ノ意見トシテ從來通りノ正金ニシテ貰  
ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトデアリマシタノデスガ、個

人トシテ考ヘマスルニ、今ノヤウナ状態ガ後半年モ續キ  
マス、在留民ノ大部分ハ破産スルノデヤナイカ、家賃  
ガ四ヶ月溜ツタソレガ爲ニ差押セラレルト云フ結果ニナ  
ル、何故ナラバ最近迄ハマダ前ニ註文シタ品物ガ次々ニ  
入ツテ來ルカラ維持出來タノデアリマスガ、今後ハ新タ  
ニ註文出來ナイ店ニ賣ル物ノ補充ガ出來ナイ、物價モ戰  
争ノ爲ニ騰ツテ居リマスカラ、ソレガ爲ニ經費ハ嵩マル  
バカリデ、結局商賣ヲセズニ賣食ヒヲスル、賣食ヒヲス  
ル結果從來通りノ條件ナラバ半年持ツモノガ三ヶ月或ハ  
二ヶ月デ行詰ルノデヤナイカ、サウ云フ状態デ昨日モ外  
務大臣ニ御話申上ゲマシタヤウニ、蘭領印度ノコトハ仰  
ツシヤルガ、馬來半島ノコトハチツトモ仰ツシヤラナイ、  
馬來ノ方デハ日本ノ國ガ攻メテ來ルノデヤナイカ、斯ウ  
思ツテ居ルノニ馬來ノコトハ撥ネラレルト云フコトニナ  
ルト、是ハ眞綿デ首ヲ締メラレルヤウナ立場ニナツテ居  
ル、私個人ダケノ考ヘデアリマスガ、若シ何カ根本方針  
ガ立ツテ居ルナラバ、新嘉坡ヲ放ツテ置イテ蘭領ヲドウ  
スル、「タイ」ヲドウスルト云フコトハ出來ナイノデヤナ  
イカ、私ハ軍事專家デナイカラ分リマセヌガ、サウ云

フ風ニ考ヘマスガ、瓜哇ヲ手ナツケル、平和的ナ交渉デ  
日本ノ言フ通りニナレバ結構デアリマスガ、ソレガ出來  
ナイト、我々ハ犠牲ニナルモノト考ヘテ居ル。引揚ゲル  
ト申シテモ今トナツテハ失敗ダ、送金ハ二百五十弗以上  
ハ出來ナイ、財産處分ヲシテモ持ツテ歸レナイ、日本ニ  
金無シデ引揚ゲルカ、捕虜ニナルカ、糞度胸ヲ決メテ居  
ルヨリ仕方ガナイ、ソレナラバ一層早クヤツテ貰ツタ方  
ガ南洋全體ガ宜イノデヤナイカ、私個人ノ考デアリマス  
ガ、馬來半島ダケデナク新嘉坡ハ他ト違ヒマシテ、非常  
ニ悲觀的ナ立場ニアリマスノデ、極ク簡單デアリマシタ  
ガ、此ノ點ヲ申上ゲテ置キマス。

○諸限座長「ボルネオ」ノ小杉サン。

○小杉君(ボルネオ、タワヲ日會幹事) 私ハ英領「ボルネ  
オ」ノ小杉デアリマス。英領「ボルネオ」ハ餘リ話ノ材  
料ガ無イノデアリマスガ、大體日本人ノ活動ガ「タワオ」  
ト云フ所ニ集中サレテ居リマスノデ、自然私ノオ話ハ「タ  
ワオ」ノコトニナリマス。農水産業デスガ、之ガ代表的  
ナ大キナ事業デアリマス。三ツノ會社デ獨占的ニ權利ヲ  
得テヤツテ居ル外ニハゴザイマセヌ、ソレニ個人經營ノ



農園ト云フモノガ喰着イテ居ル、「タワオ」ノ市場ハ餘リ是迄何サレテ居リマセズ、又個人農園ノ經營モ小サナモノデアリマシテ、支那人ノ側ヲ見マシテモ、支那商店ナドハ此ノ「タワオ」ノ在ニ散在シテ居ルノデ、此ノ農園ガ邦人發展ニ餘程關聯シテ居リマスノデ、餘リ世間ニ紹介サレテ居ナイ個人經營ノ話ニナルノデアリマスガ。一ツ御諒承ヲ願ヒ致シマス。此ノ「タワオ」ノ個人農園ト云フノハ二十三年以來ノコトデ新シイノデアリマス。今留ツテ居ルノハ三十名位デ、前カラ計畫シテヤリ掛ケタ人ヲ通算シマスト七十人位ニナリマスガ、ソレガ半分以下ニナツテ居ルノデ、兎ニ角相當ナ犠牲ヲ拂ツテ居マス。何故犠牲者ガ出來タカト申上ゲマス、矢張り其ノ原因ヲ究メテ見マス、麻ナリ椰子ナリ植エル物ニ適シタ土地ヲ選ンダ者ガ残り、選ビ損ツタ者ガ全部失敗シテ居リマス。是カラヤル者ハドウシテモ土地ノ選定ト云フコトガ肝腎ナ問題デアルト思ヒマス。ソレカラ野獸ヲ防グ柵、之ガ又大キナ失敗ノ原因ニナツテ居リマス。ダカラ現ニ開墾ヲヤツテ居ル人ノ山ニ入りマス、一番初メニ柵ガ目ニ着ク、サウ云フ事情デ非常ニ犠牲者ヲ出シマ

シタ、漸ク三十名足ラズノ者ガ今残ツテ居ル、其ノ残ツテ居ル者ガ殖産組合ヲ造ツテ居ル、サウシテ生産品ヲ賣メテ日本ニ出シテ居ル、斯ウ云フ關係デアリマス。最近デハ椰子、「コブラ」ガ新嘉坡ノ方デ一弗七十仙、生産費ヲ入レルト二弗五十仙、手数料等ヲ入レルト四弗以上ニナルカモ知レマセズ、麻ハ相當ナ植ガシテ居リマスカラ宜イノデスガ、「コブラ」ハ一弗七十仙程ノモノガ日本ニ入レルト四弗位ノ計算ニナリマスシ、日本人ノ農園ハ幸ヒ殖産組合ノ如キモノモアリ、此方ノ官廳カラ日本ニ入ル爲ニ大分助カツテ儲カツテ居マス。ソレデ日本人ガ造ツタ物ガ日本ニ入り易イヤウニシテ頂クコトガ絕對ニ必要デアルト思ヒマス。今向フノ農園業者ハ大體ノ安定ヲ得テ一寸開墾ヲ始メテ居マス。是ハ洵ニ結構ナ事デアリマス。一寸先程モ控室ノ方デオ話ガアリマシタガ、個人ガ寄ツテ殖産組合ヲ造ツテ居ルガ、何カ仕事ヲヤツテ居ルノカ、一向仕事ハマダヤツテ居ラヌ、モウ少シ個人ノ營業者ヲ殖ヤシテ、發展ヲ圖ルト云フ方面ノ仕事ハ出來ナイモノカト云フオ話ガアリマシタガ、ナカ／＼難カシイノデ、ソレハ極ク最近例ノ生産物ハ殖産組合ガアルガ

爲ニ特別ニ日本ニ入ルヤウニナツタ。ソレガ爲ニ四弗ニモナルト云フヤウナコトデ、目ニ見エテ團結ガナケレバ何モ出來ナイト云フコトハ分ツテ居リマスガ、其ノ團結ト云フノモ銘々個人ノ利益ト云フコトガ動機ニナツテ居リマス爲ニ、ソレヲ心カラヤルトナルト、例ノ新體制ト云フヤウナ問題ニナツテナカ／＼難カシクナル、一寸考ヘルコトデスガ、向フノ個人ノ農園業者ハ若イ青年ガ欲シイ、三年程前ニ臺灣拓殖ノ關係デ臺灣人が少シ入ツテ來タ、色々話ガアツテ殖産組合デ賞ヒマセウト云ツテ、組合員ノ希望者ヲ募ツタ所ガナカ／＼多イ、其ノ分配ニ困ツタ、處ガ使ツテ見ルト、ドウモ困ツタ、間ニ合ハヌ、欲シイコトハ欲シイノデスガ、擴張スルトカ何トカ云フコトガアリマセヌ限リハ、始メカラ擴張ヲ見込ンデ多ク取ツテ置クト云フヤウナコトモ出來マセヌ、第二番目ニハ擴張シヨウト思フトドウシテモ助手ガ要ル、一人トカ二人トカソウ云フ者ガナイト擴張ガ出來マセヌ、ソレデ助手トシテ働ク若イ者ガ日本人デ欲シイ、サウシテ働イタ人間ハ之ガ又個人農園ノ氣分ニナツテ、個人農園主ニナラウト思ツテヤリマス、存外工合ガ好イト云フ現狀

デ、其ノ農園ガ途中デ嫌ヤニナツタ所デ構ハヌ、サウ云フノハ僅メテ居ル中ニ淘汰サレル、二年ナリ三年ナリ我慢シテ一ツ農園主ニ成ラウト云フ者ガ獨立シタ時ニハ先ヅ大體ニ於テ成績モ宜シイ、僅カ三十名位ノ農園デ僅カナモノデアリマスガ、併シ鼠算用ノヤウナコトニナリマス、馬鹿ニナラナイ、是ハ青年ヲ欲シガツテ居ルト云フコト、關聯シテ何カ出來サウニモ思ハレル。彼方ニ歸リマシテ何カ案ガ出來タ曉ニハ一ツオ骨折ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス。農園ノコトハ先ヅ此ノ位ニシテ置キマシテ、商業ノ方、是ハ門外デスケレドモ、大體非常ナ不況ニアルコトハ間違ヒナイ、「ゴム」ノ靴ナドモ稅關デ一足四十仙モ關稅ヲ取ラレル、「タワオ」ノ町デハ六十仙程デ賣ツテ居ル、何處カラ來ルカト云フト、香港邊リノ製品ガ廻ツテ居ルラシイ、兎ニ角商賣ハ輸出入ノ統制ナンカノ關係上非常ニ弱ツテ居ルラシイ、官廳ノ方ノ關係ハ政廳ニ於テハ其ノ書記ナドヲ支那人ガ皆ヤツテ居ルソナノ關係デ上ノ英國人ハ上手ニヤツテ居ツテモ實際事務ヲ取扱ツテ居ル支那人ガ間ニ居ルモノデスカラ、非常ニ工合ガ悪イト云フコトハ事實デス。是ハ又他ノ機會ニ



申上ゲルコトニ致シマシテ、甚ダ取止メノナイ話デアリ  
マシタガ、私ハ此ノ位デ……

○諸隈(座長)「タイ」國ノ日高サン。

○日高君(泰國日會長)「タイ」國ノ「バンコック」ニ住ン  
デ居リマス日高デアリマス。今カラ十三年程前ニ向フニ  
參リマシテ、小サナ雜貨商ヲヤツテ居ル者デアリマス。  
「タイ」國ノ貿易ハ輸出一億萬「バーツ」ト申シマス  
ガ、蘭領印度、馬來半島ト比ベマシテ、非常ニ小サイノ  
デアリマス。尙小サイ小雜貨ヲヤツテ居ル私ガ貿易論ヲ  
申上ゲマシテモ、何ノ御參考ニモナラヌト思ヒマスノデ  
大體日本人ガ今ドウ云ツタヤウナ仕事ヲヤツテ居ルカ、  
サウシテ又「タイ」政府ガドウ云ツタ方針デ華僑ニ對シ  
テ居ルカ、華僑問題ト申シマス、ソレニ附キマス排日  
問題、先程新嘉坡ノ下田サンガオ話ニナツタ問題ト關聯  
ノアルコトデアリマス。最後ニ日「タイ」親善、今日本  
デヤカマシク言ハレテ居リマスガ、サウ云ツタコトニ對  
シテ向フノ在留邦人ガ、「タイ」國人ガドウ云フ心持ヲ有  
ツテ居ルカト云フコトヲ申上ゲテ見ヨウト思ヒマス。殆  
ド在留邦人ハ「バンコック」ダケニ居リマス。此ノ統計

貿易上ニ於キマシテモ、金額ガ増加ヲ續ケテ居リマシテ  
大體對日貿易ハ四、五年前迄ハ日本カラ向フヘ賣込ンデ  
居ツタ物ガ多ゴザイマシタ。昨年迄ハ其ノ傾向ガアリマ  
シタガ、今年度ニナツテカラ日本ノ食糧政策ヲ加味シテ、  
「タイ」米ヲ非常ニ澤山内地ノ方ヘ持ツテ來テ居リマス關  
係上、日本ノ輸入貿易ガ多ゴザイマシテ、「タイ」國カ  
ラ考ヘマスト、日本ハ非常ニ好イオ得意サンニナツテ居  
ルコトハ昨日水野サンカラオ話ガアツタ通りデアリマ  
ス。大體日本ニ參ツテ居ル米以外ノ品物トシテハ非常ニ  
少イノデアリマス。マア南洋方面デ變ツタ產物ヲ出シテ  
居リマスノハ、「チーク」材ガ大分來テ居リマス。ソレ  
カラ棉、蓄音器ノ盤、電線ノ絶緣材料ニ使フ物等ガ相當  
内地ノ方ヘ入ツテ居リマスガ、向フヘ參ツテ居ル日本商  
品デ十萬圓以上ノ商品ノ名前ヲ舉ゲマスト、殆ド其ノ三  
分ノ二ハ綿糸、綿布デアリマス。綿布屋サンガ非常ニ多  
イ。其ノ外ニ電氣器具、硝子製品、亞鉛引キ鐵板、玻璃  
鐵器、油脂、自轉車製品、サウ云ツタ物ガ大體十萬「バ  
ーツ」デアリマス。日本金ニシテ十五萬圓以上ノ物ガ入  
ツテ居リマシテ、殆ド日本人ハソレノ貿易ニ從事シテ居

ニハ五百數人トナツテ居リマスガ、大體ニ於テ六百程  
居リマシテ、其ノ中百人ガ田舎ニ居ツテ、五百人ハ「バ  
ンコック」ニ居リマス。其ノ中臺灣人ガ大體ニ於テ七、  
八十人、或ハ百人位ニナツテ居ルカモ分リマセヌ。是ハ  
新シイ情勢デアリマシテ、南支那ニ皇軍ガ進出致シマシ  
テ、廈門、汕頭方面デヤツテ居ラレタ方ガ一旦臺灣ニ引  
揚ゲテ來タ。丁度仕事ノ關係デ直グ臺灣デ仕事ヲスルヨ  
リハ外地ニ行ツテ居ツタ關係上、差當ツテ目指シテ來タ  
ノガ「タイ」國デアツタト思ヒマス。「タイ」國ヘ臺灣ノ  
方ガオ見エニナツテ非常ニ活躍セラレテ居リマス。是ハ  
後程申上ゲマスケレドモ、「タイ」國ニハ潮州人ガ非常  
ニ多イ。潮州人ト言フト、廣東省ノ汕頭方面ノ人間デ、  
其ノ潮州語ト臺灣語トガ能ク似テ居ツテ、臺灣ノ方々ガ  
向フニ行カレテ六ヶ月バカリサウ云ツタ方々ト交リマス  
ト、簡單ニ潮州語ガ喋ベレル。斯ウ云ツタ有利ナ點ガア  
リマスノデ、臺灣ノ方々ガ此方ニ參リマシテ、非常ニ活  
躍サレテ居リマス。大體日本人ノ貿易屋サンガ三十人程  
アリマシテ、三井、三菱、正金、大阪商船、斯ウ云ツタ  
陣容ヲ備ヘテ相當今日活躍シテ居リマス。又歐洲戰亂後

リマス。次ニオ話申上ゲヨウト思ヒマスモノハ、最近非  
常ニヤカマシク言ハレ、新聞紙上ニモ出テ居リマスガ、  
「タイ」國政府ガ探ツテ居ル方針デアリマス。是ハ向フ  
ノ言葉デ申シマス「ラタニヨム」運動ト申シマス。所  
謂日本ノ新體制運動ト同一ナ働キヲ有ツテ居ルモノト思  
ヒマスガ、國粹運動ノ一種デアリマス。ソレヲ「タイ」  
國政府ガ民衆ニ呼ビ掛ケマシテ、又民衆モ之ニ呼應シマ  
シテ、非常ナ勢力ヲ有ツテ居リマス。其ノ一ツノ現レト  
シテ最近コ、一年程前カラ支那人ニ對シテ非常ナ壓迫政  
策ヲ加ヘテ居リマス。「タイ」國ニハ二百五十萬人ノ支  
那人ガ住ンデ居リ、其ノ支那人ガ經濟權ヲ握ツテ居ル。  
サウシテ又有ラユル方面ニ活躍シテ居リマシテ、「タイ」  
國人ガ支那人ヲ壓迫シナクチャドウモ自分等ノ面目上ノ  
問題モアリ、又經濟的ニモ何トカシテ自分等モ其ノ中ニ  
進ンデ行カウト云フ譯デ支那人ヲ壓迫シテ居リマス。其  
ノ一ツノ現レトシテ随分ヒドイコトヲヤルモノデ、支那  
人ガ阿片ヲ喫フノハ皆様御承知ノ通りデアリマスガ、サ  
ウ云フ所ガ百二十軒モ「バンコック」ノ町ノ中ニアリマ  
ス。昨年デアリマシタガ、夜中ノ十二時ニ軍隊ヲ配備シ



マシテ、十二時カラ先キニ居ル奴ハ浮浪人デアルト云フ  
 ノデ、五千人バカリノ支那人ヲ珠數繋ギニシマシテ、其  
 ノ内外人登録名簿ニ依ツテ登録セラレテ居ル者トカ、人  
 頭税ヲ拂ツテ居ル者ノ外ノ四千人バカリヲ數度ニ分ケテ  
 支那ニ返シマシタ。支那ノ方カラハ非常ナ抗議ガ來マシ  
 タガ、支那ト「タイ」國ハ無條約デ領事モ居リマセヌノ  
 デ、サウ云フヤウナ壓迫方法ヲヤラレテモドウモ致シ方  
 ガナイ、支那人ハ泣キ寝入りノ有様デアリマス。其ノ後  
 五千人程ヤリマシテ、又後ニ一千人ヲヤリマシテ、苦力  
 階級ヲ「タイ」人ニ代ラサウト云フ政策ガ見エマス。  
 又入國制限デスガ支那人ニ對シマシテ非常ニ酷ナル身體  
 検査ヲヤル、花柳病ガナイカ、或ハ文字ガ讀メルカ、書  
 ケルカト云フヤウナコトヲヤリマシテ、大概「チエツク」  
 サレルト云フヤウナ入國制限ヲヤリマス。其ノ外特殊ナ  
 商賣、例ヘバ政府ガ專賣シテ居ルヤウナ商品ノ販賣ニハ  
 殆ド「タイ」人ヲ使フ。例ヘバ石油、「ガソリン」、其  
 ノ外「タイ」國政府ガ最近ニ於テ始メタ物ノ中ニモ支那  
 人ニ依ラズ、「タイ」國人ニ依ツテ商賣ヲヤラシテ居リ  
 マス。防空壕ナンカモ家デ以テ防空壕ヲ造リナサイト云

フコトガ四月一日カラ始マリマシテ、外國人ニ對スル壓  
 迫モアリマスケレドモ、殆ド支那人ヲ目當テニシタモノ  
 デアリマス。其ノ外看板税、是ハ其ノ外ニモアルト思ヒ  
 マスガ、大キナ何々精米所ト云フ風ニ書キマスト、二百  
 「バーツ」、三百「バーツ」ト云フ税金ヲ取ラレル。是デ  
 ハイカスト云フノデ小サナ看板ニスルト、大體一圓位デ  
 濟ム。ソレデ支那人ノ精米所ハ斯ンナ看板ヲ上ゲテ居  
 ル。大體支那人町デアツタ「バンコック」ヲ「タイ」人  
 町ニ變ヘヤウ、支那人ノ看板ヲ下サス目的カラヤツタモ  
 ノデ、支那人ノ看板ガ大分下リテ了ヒマシテ、「タイ」  
 語ノ看板ガ出テ來マシタ。住ンデ居ルノハ支那人デアリ  
 マスケレドモ、支那人町ガ段々薄ライデ來ルヤウナ景況  
 ガ見エテ來マシタ。ソレカラ支那人ノ有ツテ居ル五十噸  
 乃至七、八十噸ノ船デアリマスガ、大體一千隻位アリマ  
 ス。サウ云フ支那人ガ操ツテ居ル船ニ對シテ今後三年間  
 ニ全部「タイ」人ニ變ヘテ了フト云フ法令ヲ出シテ、  
 船ノ新造ハ「タイ」人ノ名テナイト許サヌ。船ハサウ云  
 ツタ工合ニヤリマスシ、沿岸航路デ支那人ガ随分活躍  
 シテ居リマスガ、沿岸航路ノ船員ハ七十五「バーセント」

迄「タイ」國人ヲ使用スベシ、サウシテ又「タイ」國ノ  
 會社デナケレバ沿岸航路ハ許サヌ。其ノ「タイ」國ノ會  
 社ハ國籍ガ「バンコック」ニアリ、其ノ資本系統ノ六十  
 五「パーセント」以上「タイ」國人ノ資本ガ入ツテ居ラ  
 ヌ場合ハソレヲ認メヌ、全然「タイ」人ノ船ハ一ツモ  
 無イニ拘ラズ、現在數千人ノ支那人ノ船ノ苦力ヲ全部  
 「タイ」人ニ變ヘヨウトシテイマス。モウ一ツ急激ナ政  
 策デ支那人ノ壓迫方法デアリマスガ、「タイニヨム」何  
 ト言ヒマスカ、政府入札請負會社トデモ云ヒマシヨウ、  
 政府ノ局長デアツタ人ガサウ云ツタ會社ノ重役ニ成リマ  
 シテ、商賣ヲヤツテ居ル支那人系統ノ「タイ」人ヲ以テ  
 社長ニスルトカ云ツタ式ニ、其ノ會社組織ヲ改メマシテ  
 今迄外國商社カラ鐵道省デアルトカ、或ハ海軍省、陸軍  
 省方面ニ色々ナ品物ヲ賣込ンデ居リマシタノヲ、此ノ會  
 社ヲ通ジテ入札ヲヤラス、サウスルト「タイニヨム」ニ  
 註文ガ落チルヤウニナルト云フ方法、之レニハ支那人モ  
 困ツテ居ルト云フコトヲ聞キマシタ。ソレカラモウ一ツ  
 ヒドイノハ、「タイ」國ノ鐵道ハ從前カラ新嘉坡ノ方カ  
 ラノト佛領印度支那ノ線トニツアリマスガ、物販販賣會

社ト申シマスカ、「タイ」國ニ於ケル色々ナ商品ヲ取扱  
 フ會社ヲ半官半民デ拵ヘマシテ、其ノ會社ニ貨車ノ配  
 給ヲ全部鐵道省ガ依頼ヲスル。商賣人ガ其ノ貨車ヲ何車  
 輛頂キタイト云フ場合ニ直接鐵道省ニ行ツタノデハ言ヲ  
 左右ニシテナカク聞イテ呉レナイ。其ノ會社ニ行ツテ  
 頼ムト直グ配給ニナル。其ノ代リニ其ノ貨車ニ積ンダ物  
 ノ代金ノ二「パーセント」乃至三「パーセント」ハ其ノ  
 會社ニ納メナサイ。其ノ品物ハ會社ノ名前デ買ツタノダ  
 カラ會社ノ物ダ、ト云フ譯デアツタ支那人ハ泣キ面ニ蜂デ隨分  
 困ツテ居リマス。之レナンカモ支那人ヲ壓迫スル政策デ  
 餘リ急激ニ色々ヤリ出シタノデ、支那人ノ資産家連中ハ  
 非常ニ内心好イ感じヲ有ツテ居リマセヌ。サウシテ又十  
 分持ツテ居ル連中ハ銀行ニ預金シテ商賣上ハ餘リ手ヲ染  
 メテ居ラナイノデヤナイカ、斯ウ考ヘラレマス。サウシ  
 タ「タイ」國政府ノ壓迫下ニ居リナガラ矢張り支那人ハ  
 營々トシテヤツテ居リマスシ、又「タイ」國政府ノ要人  
 ノ中ニハ支那人ノ血ヲ受ケタ者ガ半分以上ハ入ツテ居リ  
 ヤスカラ、然ルベクヤル方法モアリマセウシ、中ニハ活  
 躍シテ居ル支那人モアル譯デアリマス。ソイカラ「タイ」



マシテ、十二時カラ先キニ居ル奴ハ浮浪人デアルト云フ  
 ノデ、五千人バカリノ支那人ヲ珠數繋ギニシマシテ、其  
 ノ内外人登録名簿ニ依ツテ登録セラレテ居ル者トカ、人  
 頭税ヲ拂ツテ居ル者ノ外ノ四千人バカリヲ數度ニ分ケテ  
 支那ニ返シマシタ。支那ノ方カラハ非常ナ抗議ガ來マシ  
 タガ、支那ト「タイ」國ハ無條約デ領事モ居リマセヌノ  
 デ、サウ云フヤウナ壓迫方法ヲラレテモドウモ致シ方  
 ガナイ、支那人ハ泣キ寝入りノ有様デアリマス。其ノ後  
 五千人程ヤリマシテ、又後ニ一千人ヲヤリマシテ、苦力  
 階級ヲ「タイ」人ニ代ラサウト云フ政策が見エマス。  
 又入國制限デスガ支那人ニ對シマシテ非常ニ酷ナル身體  
 検査ヲヤル、花柳病ガナイカ、或ハ文字ガ讀メルカ、書  
 ケルカト云フヤウナコトヲヤリマシテ、大概「チエツク」  
 サレルト云フヤウナ入國制限ヲヤリマス。其ノ外特殊ナ  
 商賣、例ヘバ政府ガ專賣シテ居ルヤウナ商品ノ販賣ニハ  
 殆ド「タイ」人ヲ使フ。例ヘバ石油、「ガソリン」、其  
 ノ外「タイ」國政府ガ最近ニ於テ始メタ物ノ中ニモ支那  
 人ニ依ラズ、「タイ」國人ニ依ツテ商賣ヲヤラシテ居リ  
 マス。防空壕ナンカモ家デ以テ防空壕ヲ造リナサイト云

フコトガ四月一日カラ始マリマシテ、外國人ニ對スル壓  
 迫モアリマスケレドモ、殆ド支那人ヲ目當テニシタモノ  
 デアリマス。其ノ外看板税、是ハ其ノ外ニモアルト思ヒ  
 マスガ、大キナ何々精米所ト云フ風ニ書キマスト、二百  
 「バーツ」、三百「バーツ」ト云フ税金ヲ取ラレル。是デ  
 ハイカスト云フノデ小サナ看板ニスルト、大體一圓位デ  
 濟ム。ソレデ支那人ノ精米所ハ新シナ看板ヲ上ゲテ居  
 ル。大體支那人町デアツク「バンコック」ヲ「タイ」人  
 町ニ變ヘヤウ、支那人ノ看板ヲ下サス目的カラヤツタモ  
 ノデ、支那人ノ看板ガ大分下リテ了ヒマシテ、「タイ」  
 語ノ看板ガ出テ來マシタ。住ンデ居ルノハ支那人デアリ  
 マスケレドモ、支那人町ガ段々薄ライデ來ルヤウナ景況  
 ガ見エテ來マシタ。ソレカラ支那人ノ有ツテ居ル五十噸  
 乃至七、八十噸ノ船デアリマスガ、大體一千隻位アリマ  
 ス。サウ云フ支那人ガ操ツテ居ル船ニ對シテ今後三年間  
 ニ全部「タイ」人ニ變ヘテ了フト云フ法令ヲ出シテ、  
 船ノ新造ハ「タイ」人ノ名デナイト許サヌ。船ハサウ云  
 ツタ工合ニヤリマスシ、沿岸航路デ支那人ガ随分活躍  
 シテ居リマスガ、沿岸航路ノ船員ハ七十五「バーセント」

迄「タイ」國人ヲ使用スベシ、サウシテ又「タイ」國ノ  
 會社デナケレバ沿岸航路ハ許サヌ。其ノ「タイ」國ノ會  
 社ハ國籍ガ「バンコック」ニアリ、其ノ資本系統ノ六十  
 五「パーセント」以上「タイ」國人ノ資本ガ入ツテ居ラ  
 ヌ場合ハソレヲ認メヌ、全然「タイ」人ノ船ハ一ツモ  
 無イニ拘ラズ、現在數千人ノ支那人ノ船ノ苦力ヲ全部  
 「タイ」人ニ變ヘヨウトシテイマス。モウ一ツ急激ナ政  
 策デ支那人ノ壓迫方法デアリマスガ、「タイ」ニヨム」何  
 ト言ヒマスカ、政府入札請負會社トデモ云ヒマシヨウ、  
 政府ノ局長デアツタ人ガサウ云ツタ會社ノ重役ニ成リマ  
 シテ、商賣ヲヤツテ居ル支那人系統ノ「タイ」人ヲ以テ  
 社長ニスルトカ云ツタ式ニ、其ノ會社組織ヲ改メマシテ  
 今迄外國商社カラ鐵道省デアルトカ、或ハ海軍省、陸軍  
 省方面ニ色々ナ品物ヲ賣込ンデ居リマシタノヲ、此ノ會  
 社ヲ通ジテ入札ヲヤラス、サウスルト「タイ」ニヨム」ニ  
 註文ガ落ちルヤウニナルト云フ方法、之レニハ支那人モ  
 困ツテ居ルト云フコトヲ聞キマシタ。ソレカラモウ一ツ  
 ヒドイノハ、「タイ」國ノ鐵道ハ從前カラ新嘉坡ノ方カ  
 ラノト佛領印度支那ノ線ト二ツアリマスガ、物販販賣會

社ト申シマスカ、「タイ」國ニ於ケル色々ナ商品ヲ取扱  
 フ會社ヲ半官半民デ拵ヘマシテ、其ノ會社ニ貨車ノ配  
 給ヲ全部鐵道省ガ依頼ヲスル。商賣人ガ其ノ貨車ヲ何車  
 輛頂キタイト云フ場合ニ直接鐵道省ニ行ツタノデハ言ヲ  
 左右ニシテナカク、聞イテ呉レナイ。其ノ會社ニ行ツテ  
 頼ムト直グ配給ニナル。其ノ代リニ其ノ貨車ニ積ンダ物  
 ノ代金ノ二「パーセント」乃至三「パーセント」ハ其ノ  
 會社ニ納メナサイ。其ノ品物ハ會社ノ名前デ買ツタノダ  
 カラ會社ノ物ダ、ト云フ譯デ支那人ハ泣キ面ニ蜂デ隨分  
 困ツテ居リマス。之レナンカモ支那人ヲ壓迫スル政策デ  
 餘リ急激ニ色々ヤリ出シタノデ、支那人ノ資産家連中ハ  
 非常ニ内心好イ感ジヲ有ツテ居リマセヌ。サウシテ又十  
 分持ツテ居ル連中ハ銀行ニ預金シテ商賣上ハ餘リ手ヲ染  
 メテ居ラナイノデヤナイカ、斯ウ考ヘラレマス。サウシ  
 タ「タイ」國政府ノ壓迫下ニ居リナガラ矢張り支那人ハ  
 營々トシテヤツテ居リマスシ、又「タイ」國政府ノ要人  
 ノ中ニハ支那人ノ血ヲ受ケタ者ガ半分以上ハ入ツテ居リ  
 ヤスカラ、然ルベクヤル方法モアリマセウシ、中ニハ活  
 躍シテ居ル支那人モアル譯デアリマス。ソイカラ「タイ」



國政府ハ現在國粹主義ヲ「モットー」トシテ支那人ノ壓迫ニ掛ツテ居ルガ、支那人ハ又日本人ニ對シテ今次事變以來、先程小杉サンカラモオ話ガアリマシタガ、統制的「ボイコット」ヲ目下續ケテ居リマスガ、現在ニ於テモ矢張り其ノ勢力ハ相當立派ナ勢力ヲ有ツテ居リマシテ、暴力團デアリマス。抗日青年救國會トカ色々ナ團體ヲ設ケテ、國民政府内ノ共產黨ニ操ラレテ居リマシテ、現在サウ云ツク團體ガ「バンコック」ニハ四ツバカリアリマス。サウシテ下田サンノオ話ニモアリマシタガ、脅迫狀ヲヤル、「バンコック」デハ實際ニ刺殺スルノデアリマス。私ハズツト前カラ居リマスガ、事實犠牲ニナリマシタ支那人ノオ客連中ハ大キナ店ノ主人ガ五十五、六名アリマス。昨年カラ今年ニ掛ケマシテ、此方ノ新聞ニモ「ニュース」ガ來テ居リマセウガ、現ニ臺灣ノ方モ向フデ殺サレマシタ。息ヲ引取ル時ニ私モ日本人會ノ役員トシテ見舞ニ行キマシタガ、實ニムゴイコトヲヤル、針ノ先ノ尖ツタ奴デ腸ノ一番柔イ所ヲ突ク、立派ナ醫術ガ進ンデ居リマセヌカラ、大概ハ一週間位デ亡クナリマス。現ニ私ノ家ニ使ツテ居ル支那人ノ番頭モ一昨年ノ正月デ

アリマシタガ、問屋ニ參リマシテ、色々ナ話ヲシテ歸ル所ヲアレハ日高洋行ニ使ツテ居ル人間ダト云フノデ、「ボイコット」團ノ者ニ兩双ノ薄イ物デ刺サレ直グ倒レタ。私ハ自動車デ飛ンデ行キマシテ、血ガタラ／＼出ル奴ヲ日本人ノ醫者ニ連レテ行ツテ、危ブナカツタノガ八日バカリノ入院デ助カリマシタガ、其ノ時ニ四人ノ支那人ガ殆ドヤラレマシテ、到頭三人ハ罷メテ了ヒマシタガ、私ノ方ノ支那人ハ私が非常ニ親身ニナツテ介抱シテヤリマシタノデ、命ガ助カツタノヲ非常ニ恩ニ着テ防彈「チヨツキ」ヲ買ツテ呉レト云フノデ、買ツテヤツタラソレヲ着テ先生ハマダ働イテ居リマス。支那人ニハ非常ニ青年層ガ多イシ、若イ血氣ニ迷ツタ奴モ相當居リマスカラ、サウ云ツク暴力團ガ日夜横行シマシテ、支那人ノ金ヲ持ツテ居ル連中ハ恐クテ仕方ガ無イ。日本人ノ店ニハ決シテ來マセヌ、サウシテ現在ヤツテ居ル商賣ハ相當アリマスガ、サウ云ツク連中ノ番頭、手代ト云ツク式ノ者ガ店ヲ新タニ持ツタ二流ドコノ店ハ日本人ヲ通シテナリ、印度人ヲ通シテナリ日本商品ヲ取扱ツテ居ル現状デアリマシテ、華僑ノ排日問題ハ非常ニ酷ナモノガアリマス。耳

位デハ濟マス、大概直接行動ヲヤル、サウシテ犬ノ血デアルカ、豚ノ血デアルカ分ラヌガ、サウ云フモノヲ並ベル。日本人ノ倉庫ニ火ヲ付ケル、現在私ノ所ニモ倉庫ヲ持ツテ居リマスノデ、巡查ガ居リマス。サウシテ警戒ヲ嚴ニシテ頂イテ居リマスガ、日本人ヲヤルト後ガ恐イ、臺灣人が死ンダ時ニモ一網打盡ニ五百人位ノ犠牲者ガ出タ。ソレデ日本人ニハ一寸遠慮シテ居ルノデ、日本人ハ一人トシテヤラレテ居リマセヌガ、商賣上ノ爲ニ臺灣人が支那人ニ成リ切ツテ居ル者ガヤラレル、マア日本カ第三國ノ國旗ヲ擧ゲテ居レバヤリマセヌ。其ノ代リバツタリ支那人ノ出入リハ止ツテ了フ。只今デハ排日ガ非常ニ多イト云フ現状デアリマスガ、支那人デモ傷ケラレタ者ガ「タイ」ノ警察ニ行ツテ、アレガ犯人ダカラ何トカシテ貰ヒタヒト申出テモ、又自分ノ息子ナリ其ノ嫁ナリガ直接行動デヤラレル爲ニ、後ノ崇リガ恐イノデ言ハナイ。又向フノ巡查ハ徵兵制度デアリマシテ、一年カ二年巡查ニナツテ居レバ又自分ノ家ニ歸レルノデ、泥棒ガアツテモ成ルタケ知ラヌ顔デ立ツテ居ルト云フ關係ニアリマスノデ、犯人ガ分ラヌ。サウ云ツク所カラ犯人ガ餘リ

舉リマセヌノデ、現在モ非常ニ根強イ排日ヲヤツテ居リマス。ソレカラモウ一ツ「タイ」國ノ方々ガ色々考ヘテ居ルコトデアリマスガ、日本ノ方モ日泰新善ト言フテ非常ニ新聞紙上デヤカマシク言ハレテ居リマスガ、今迄「タイ」國ノ政府ノ中ニハ顧問ガ居リマシテ、現在十六人程ノ英米人、佛蘭西人ノ顧問ガ居リマス。大臣ヨリモ權力ヲ有ツテ居ルト云ツク關係デ、日本ニ對シテ非常ニ不利ナ法規ヲ色々ト現ニヤツテ居ルコトモアリマスガ、一昨年變リマシタ重量稅ニシテモ日本ニハ不利デ、英國ニハ有利ニ出來テ居ル。ソレカラ「タイ」國ニ一ツ砂糖會社ヲ拵ヘヨウ、鑛山會社ヲ拵ヘヨウト云フコトデ色々話ガアリマシタガ、ソレナンカモ始メハ非常ニニコ／＼シテ何デモ直グヤツテ呉レルダラウト云ツク考ヲ日本ノ方ハ持チマスガ、ナカ／＼言フ左右ニシテヤラナイ。サウシテ土壇場ニナツテ日本デ出來ナイヤウナ條件ヲ出ス。先達モ印度洋海岸デ鐵鑛山ヲヤラウトシタガ、蟲ノ好イ條件デ日本鑛業方面ノ開發ヲ拒ミマシタ。ソレカラ又藝術使節トカ何トカ拵ヘマシテ、「タイ」國ニ色々呼ビ掛ケマスガ、今迄ノ「タイ」國ト申シマス、日本人ニ一目置